

MFJ ライディング 臨時増刊 1992 MFJ MOTORCYCLE SPORTS RULES

国内競技規則書

1992年版





オフィス文書を安全にリサイクル

MSシステムシュレッダーで
再資源化を推進します。



MSシステムシュレッダー

MSO-9000Auto • MSO-I SYSTEM • MSO-II SYSTEM

Security & Ecology

株式会社 **明光商会**

〒102 東京都千代田区五番町1-1 Tel.03(3262)1611
フリーダイヤル 0120-161186

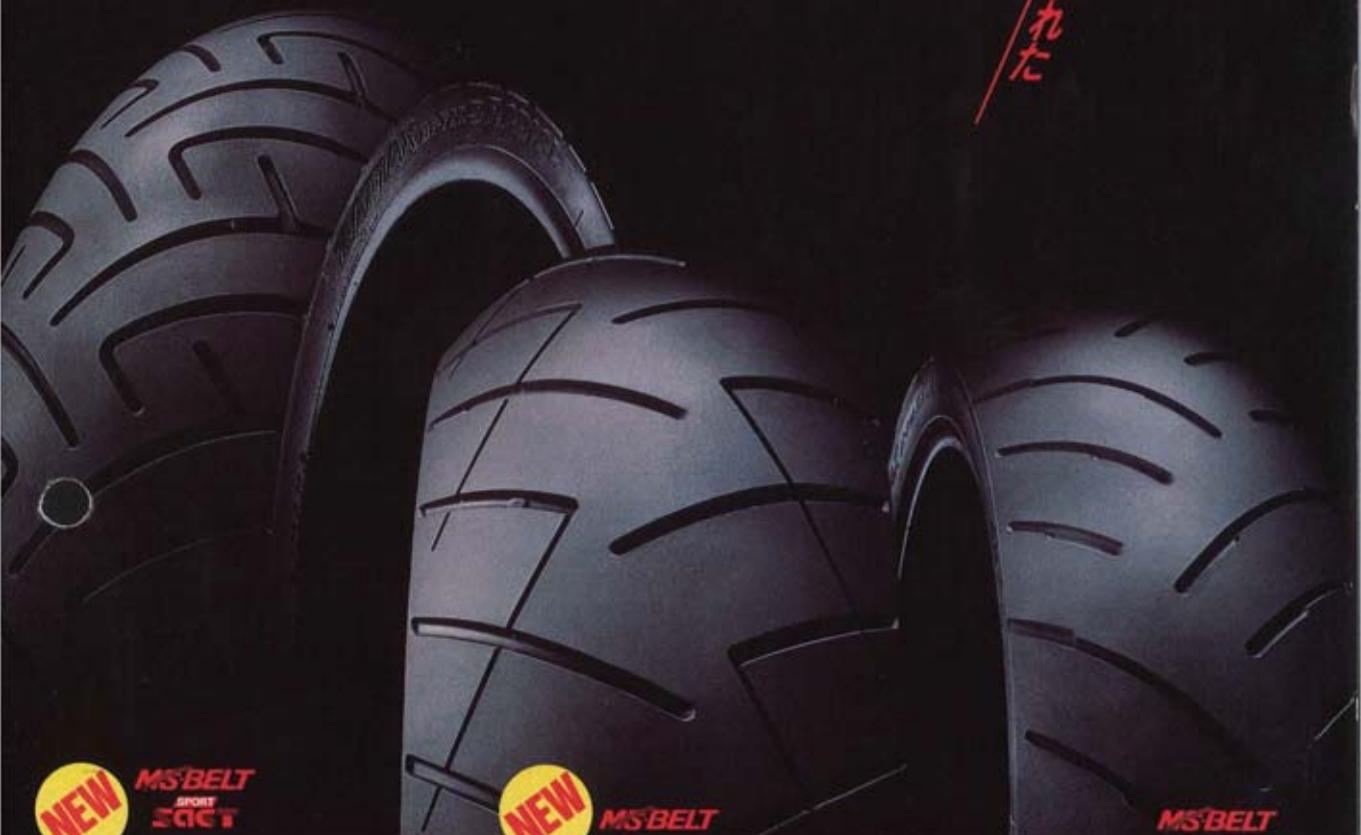


BRIDGESTONE

1本のコードからはじまる、
MS・BELT ラジアルズ。



走りの
高品質
力学
グリップ。
から生まれた



NEW

MS-BELT
SPORT
SAC T

BT-725 RADIAL

NEW

MS-BELT

BT-50 RADIAL

MS-BELT

BT-705 RADIAL



MS-BELT

従来のラジアルとは、発想も、走りも異なる。シンプルな構造による軽量化、グリップ、旋回性、高速性能の向上。そして優れたダンピング効果を実現。これが新しいラジアル、MS・BELT(モノスバイラル・ベルト)。このラジアル新構造は、サーキットでのドライ戦闘力の高さで定評のあるBATTLAX BT-705 RADIAL(リア)にすでに搭載。そしていま、このMS・BELTと、運動性能を追求したトレッド3分割構造「スポーツサクト」をダブル採用したBT-725 RADIALが新登場。さらに、ハイパワーを誇るビッグマシン専用のBT-50 RADIALも、新登場。ともに、ドライ&ウェットで高運動性能を發揮するオールラウンドなスポーツラジアルだ。MS・BELT——高度な走りを求めるライダーの一つの答えがここにある。

BATTLAX
from BRIDGESTONE MOTORSPORT

1992年MFJ国内競技規則 正誤表

- ★P18 ページを26ページに訂正。
- ★P26 信号旗 ロードレース表中の国内A級SP750(前面)を削除。
- ★P31 2. 公認競技会、承認競技会の格式及び種目の
2. 格式の内分け及びその優先順位の表中の優先順位とする。
5. 国際競技会の(スーパーカップ含む)を(全日本選手権含む)
に訂正。
- ★P35 (2)ロードレース①のア 国内B級ライセンスの文中最後から2
行目の なお有効実績は前年度('90.11.1~'91.10.31)を
なお有効実績は前々年度に訂正。

ロードレース

- ★P57 2) スタート15分前(2)の文中(上から10行目)
5分前ボードを3分前ボードに訂正。
- ★P70 スーパーカップ・イースタンシリーズカレンダー表中第6戦筑波
大会の開催クラスを下記のとおり訂正する。

SS250	SS400	SS250	SS400
○	○		○

モトクロス

- ★P87 4. 開催部門・クラス 3) ③に下記文を追記する。
(ただし総合ランキング上位3名の者については、250ccクラスへの移籍申請をすることができる。)

トライアル

- ★P113 13. 車両検査 5) の最後に下記文を追記する。
ただしスペアとして車両検査に合格し、マーキングされたサイレンサーは例外とする。
- ★P119 8. ゼッケンナンバー 1) を下記のとおり訂正する。
1) ゼッケンナンバーは、下記ゼッケンナンバー決定基準により
指定される。
- ★P119 8. ゼッケンナンバーの最後に下記決定基準を追記する。
スタジアムトライアル全日本ゼッケンナンバー決定基準
1) 前年度スタジアムトライアル全日本選手権シリーズランキン
グ順により決定する。
2) 上記以外の選手については大会ごとに与えられる。
- ★P120 14. 競技方法 1. スタート 1) 及び 2) を下記のとおり
訂正する。
1) 第1戦のスタート順序は、ゼッケン下位の者からとし、前年
度全日本選手権において無得点の者のスタート順は抽選にて決定
する。

2) 第2戦以降は、前大会迄のランキング順下位の者からとし、無得点の者のスタート順は抽選にて決定する。

★P121……18. 賞 3. オールクリーン賞を下記のとおり訂正する。

3. オールクリーン賞

決勝進出者で、予選から決勝まで全てのセクションをクリーンで通過した選手にオールクリーン賞を贈呈する。

第7章ロードレース基本仕様

★P129……13. ナンバープレート 5. のSSクラスの色分けを下記のとおり訂正する。

SS 紺地に白文字

第10章SPクラスの車両規則

★P136……03. 公認車両に対しては下記事項は仕様の変更はできない。の4. を下記のとおり訂正する。

4. シリンダー(スリーブ含む) を(スリーブ及びライナー含む) に訂正する。

第11章SSクラスの車両規則

★P139……03. 公認車両に対しては下記事項は仕様の変更はできない。の4. を下記のとおり訂正する。

4. シリンダー(スリーブ含む) を(スリーブ及びライナー含む) に訂正する。

第16章国内トライアル

★P148……03. 公認車両に対しては下記事項は仕様の変更はできない。の48) タイヤに(1)として下記文章を追記し以下項目番号を繰り下げる。

(1)タイヤはMFJ公認タイヤでなければならない。

60条TTフォーミュラの技術仕様

★P150……03. 下記の点に関しては認可されたモデルに変更を加えることはできない。の4. 項の最後(材質) を(铸造) に訂正する。

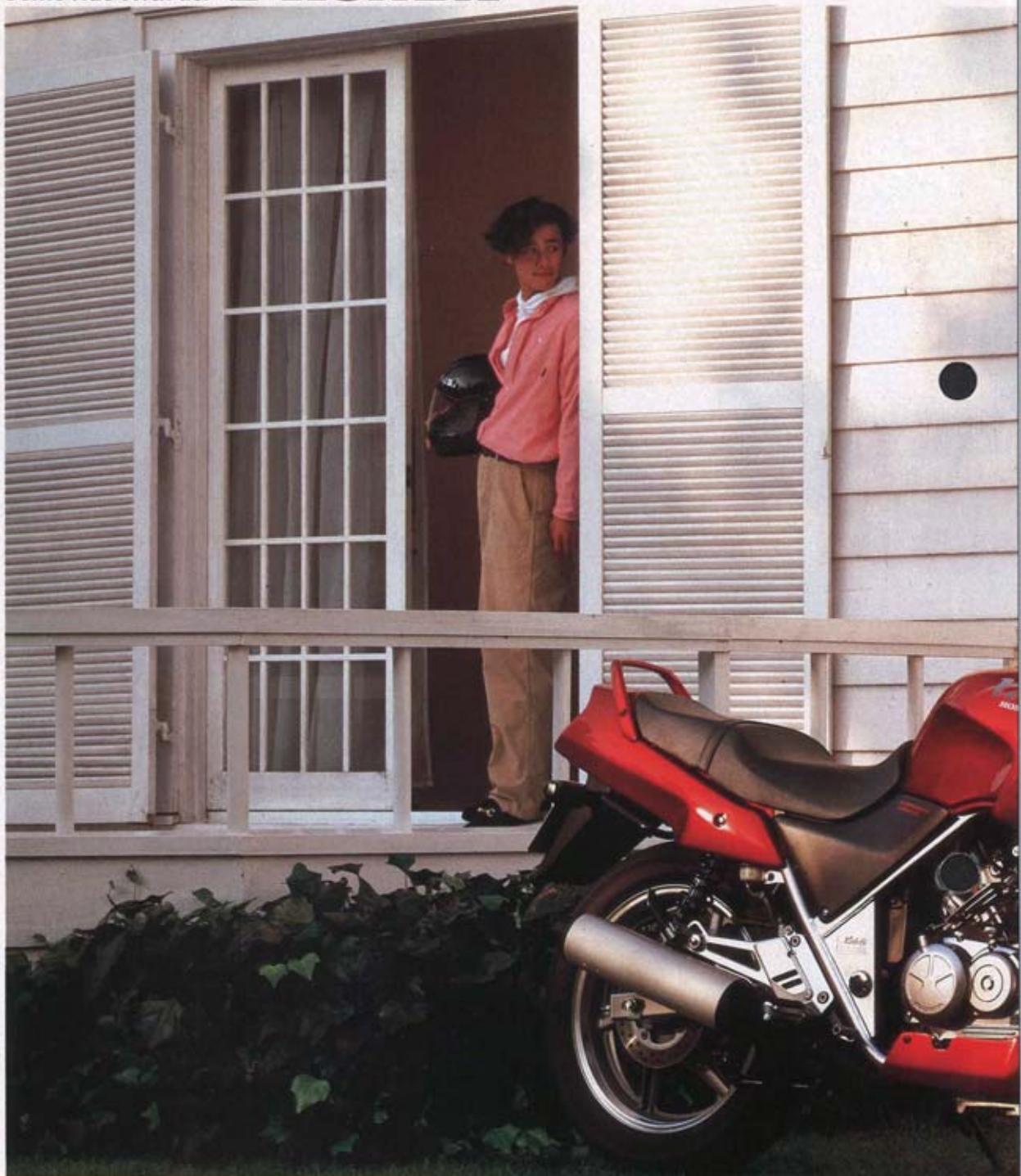
59条スーパーバイクの技術仕様

★P151……03. 下記の点に関しては認可されたモデルに変更を加えることはできない。の4. 項、文中のシリンダー後に(スリーブ及びライナー含む) を追記する。

★P152……05. 車重に下表を追記する。

排気量区分	気筒数	最低重量
400cc を超え750cc 以下	4 気筒	165kg
550cc を超え1000cc 以下	2 気筒	140kg

Come ride with us.  HONDA



❖遊びにあたらしいレギュラー❖

NEW **XELVIS**
ゼルビス

気疲れなしで、リラックスできる。堂々と

○街乗りからツーリングユースまでを得意科目とする。水冷90度Vツインエンジン ○さまざまな走り方や色
主要諸元 ●型式MC25 ●水冷4サイクルDOHC V型2気筒・249cm³ ●最高出力36PS/11,500rpm

バイクが好きだから、セーフティライド。

カタログ請求
料金
内国
送付

カタログご希望の方は、カタログ請求券と切手175円分を同封し、住所・氏名・年令・職業を明記の上、〒107 東京都港区南青山2-1-1 本田技研工業㈱二輪販売グループ「XELVIS」係まで。



誕生
ノリのよさ。
ゼルビス
年中夢中の、

走れて、リフレッシュできる。遊びのエリアをひろげる、250Vツインです。

・勝手にも、無理なくマシンコントロールできる快適なポジション ◎しなやかなフットワークを支える、前後油圧式ディスク ◎片手でワンタッチ開閉できるシートの下に、ユーティリティBOXを設置

●最大トルク2.6kgm/8,500rpm ●乾燥重量156kg ●車体色：キャンディグローリーレッド、グラニットブルーメタリック メーカー希望小売価格（北海道、沖縄および一部離島を除く）￥489,000

*価格には保険料・税金（消費税を含む）・登録などに伴う諸費用は含まれていません。実価格は参考価格ですので、詳しくは販売店にお尋ねください。※速度警告灯装着車もタイプ設定しております。（10,000円別）

静かにやさしく、いい運転。

・やめよう、マフラーの不正改造！

・いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし！

マフラーの芯をぬいたり、マフラーを切ったり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに付けかえたりする改造は、騒音のものと、みんなに迷惑をかけてしまいます。

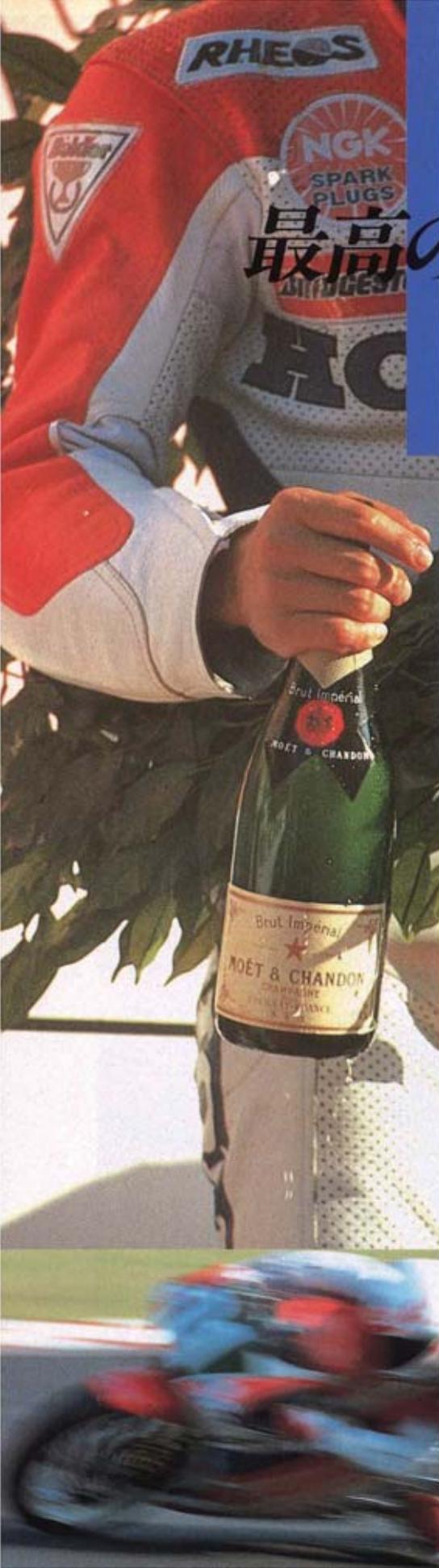
見る・見られる・いい運転。

・バイクは昼間もライト・オン！

・カーブ・交差点では、スローライングダウソ！



人とバイクの友好生活



最高のパートナーシップを

北海道

株オートランド 札幌

〒062 札幌市厚別区厚別中央三番1-1-6
TEL:011-852-3223

株ナカガワ

〒064 札幌市中央区北6条2丁目2-1
TEL:011-611-6417

ホンダ札幌販売

〒064 札幌市中央区北6条2丁目2-10
TEL:011-610-5240

バイクーズ

〒060 札幌市東区北野町1-10-12
TEL:011-44-32-6310

雅ホンダウイング北

〒060 札幌市東区北野町1-10-14
TEL:011-784-5111

岩手

株エヌエー盛岡(宮)

〒029 盛岡市新町1-10-4
TEL:010-36-21-2514

宮城

㈱クルーズ

〒960-15 青森市奥田町152
TEL:010-42-0871

㈱ホンダスポーツ ウィリー

〒960-15 青森市大字大野田字下谷237-14
TEL:010-296-25175

ホンダ宮城販売株

〒960-11 仙台市青葉区本町1-3-9
TEL:022-47-0123

広野輸入業会

〒960-11 仙台市青葉区本町2-4-31
TEL:022-47-0256

㈱ライドスポット ピバ

〒960-11 仙台市青葉区本町2-4-32
TEL:022-716-3225

赤色で記載されているのがHRCサービスショップです。

あなたとレーシング・スピリットを語り、

ウィニング・ランに向けてバックアップしていく。

それがHRC商品取扱店です。

ホンダ・レーシングが頂点で磨き、フィードバックしてきた

市販レーサー・マシンと各種キット・バーツの販売はもちろん

レースで培ってきたテクノロジーや知識、ノウハウを紹介。

あなたのレース・シーンはここから始まります。

勝利を目指して走るのなら、

必ずや、最高のパートナーシップが実現します。

北海道

㈱ピックフォー小松島

〒700-00 佐賀市武松町字中通4-2
TEL:092-374-1116

㈲原町ホンダ

〒700-00 佐賀市原町字原町1-62-2
TEL:092-279-1084

ホンダスポーツ ウイング

〒700-00 佐賀市原町字原町1-62-17
TEL:092-261-2439

秋田

横手サイクルセンター

〒700-00 横手市石町1-1
TEL:010-623-2001

山形

㈱ホンダウイング 荘内

〒700-00 荘内市大字庄内字中通2-1
TEL:0234-92-3038

㈱ホンダウイング 夢屋

〒700-00 夢屋町大字中通2-20-33
TEL:023-49-2091

ホンダウイング サイトウ

〒700-00 芳賀郡中里町1-1
TEL:023-22-1681

サイクルショップ川口

〒700-00 山形市喜久井町2-2-10
TEL:0238-62-6736

福島

モト・ピット・マックス

〒700-11 福島市本郷町字中通4-1-1
TEL:024-25-0498

コシマート

〒700-00 西白河郡西郷村大字小高1-1
TEL:024-25-2024

ホンダウイング福島

〒700-00 福島市喜久井町字中通4-1-4
TEL:024-43-6437

茨城

㈱ワールド ツクバ

〒300-00 桐生郡八千代町大字平山字井神40-2
TEL:0298-49-3138

カシマレーシング BIKE SHOP

〒300-00 麻生郡麻生町10-20
TEL:0295-63-7426

モトアルファ

〒312-00 鶴嶺町鶴嶺14-4
TEL:0291-70-1088

日立ホンダ販売株

〒310-00 日立市新堀町2-3-3
TEL:0294-62-0684

オートショップ 大月

〒310-00 常陸那珂郡大月町中央1-11
TEL:0291-7-0304

モトショップ ユタカ

〒300-00 鹿嶋郡新治村大字新治2-15
TEL:0298-62-4120

栃木

|-FACTORY

〒329-00 中山町本郷1-1-4
TEL:028-25-0500

宇都宮ホワイトハウス

〒320-00 宇都宮市栄町1-1
TEL:028-22-0501

㈱ホンダセンター栃木 西川田店

〒320-00 西川田町西川田町30
TEL:028-25-0506

求めて。



株小林商会

〒205- 埼玉県戸田市2-1405

TEL:042-42-3204

モトハウス アスカ

〒202- 埼玉県戸田市2-1405

TEL:042-42-3204

大芦輪業

〒201-03 埼玉県日高市太字田沼444

TEL:042-54-2304

南バイクショップ竹沢

〒202- 埼玉県戸田市2-1405

TEL:042-54-2304

群馬

オートショップ金谷

〒237-21 埼玉県深谷市本町2-107

TEL:047-76-1200

機工エア工具(営)

〒237-21 埼玉県深谷市本町2-107

TEL:047-24-3101

マイティースロード ツツミ

〒237-21 埼玉県深谷市本町2-107

TEL:047-81-3808

株式会社ツツミ

〒237-24 埼玉県深谷市本町2-107

TEL:047-54-1803

久保田モーターサイクル

〒236-01 埼玉県大里木本町1-11

TEL:047-73-0407

セフェー ウィング 玉木

〒236-01 埼玉県大里木本町1-11

TEL:047-73-0407

モト

シロタ

〒237-12 埼玉県深谷市本町2-107

TEL:047-81-3202

株モトエイ

〒237-12 埼玉県深谷市本町2-107

TEL:047-81-3202

アンデルセン トライアルパーク

〒237-12 埼玉県深谷市本町2-107

TEL:047-81-3202

ホンダWING ミツマタ

〒237-12 埼玉県深谷市本町2-107

TEL:047-81-3202

埼玉

種ホンダショップ 和光

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-7428

南オートショップ ミズシマ

〒234- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-4327

南オートショップ ミズシマ

〒234- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-4327

車記載内容は1991年11月1日現在のものです。



南エンジニアリング

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-7428

株インター テック

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-4327

モトウイング ガル

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-7427

株サイクリロード イト

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-7427

南バイクショップ タマキ

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-7427

株佐藤本店

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-7427

オートショップ赤石

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-75-4728

株ユリ

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-7427

AZTEC鴻巣

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-75-5421

バイクショップ ハラグチ

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-7426

ホンダウイング メカハウス

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-41-7426

株エヌエー 大宮(宮)

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-51-1411

オートランド TOM

〒236- 埼玉県和光市2-23-11

TEL:048-75-4728

南ロッカーズ

〒236- 埼玉県和光市2-23-2

TEL:048-54-6888

AZTEC所沢

〒236- 埼玉県和光市2-23-12

TEL:048-75-5211

ホワイトハウス

〒236- 埼玉県和光市2-23-2

TEL:048-41-7426

モトショップノースアイランド

〒236- 埼玉県和光市2-23-2

TEL:048-75-4728

有ライン

〒236- 埼玉県和光市2-23-2

TEL:048-75-1727

株インター テック蒲和店

〒236- 埼玉県和光市木更町137-1

TEL:048-674-7665

南モトロマン

〒236- 埼玉県和光市木更町137-3

TEL:048-97-1258

有金城サイクル ミサト

〒236- 埼玉県和光市木更町137-1

TEL:048-51-2800

千葉

U-GEAR(ユー・ギア)

〒236- 埼玉県和光市木更町137-4

TEL:048-674-1001

岩内モータース

〒236- 埼玉県和光市木更町137-5

TEL:048-674-7550

南スポーツショップ フクシマ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-6

TEL:048-75-2754

レーシングサプライ フクシマ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-6

TEL:048-75-1105

ホンダウイング ドリームハウス

〒236- 埼玉県和光市木更町137-6

TEL:048-75-2222

越川モータース16号店

〒236- 埼玉県和光市木更町137-6

TEL:048-75-2217

東京

株ボールポジション

〒236- 埼玉県和光市木更町137-6

TEL:048-75-3001

オートショップ スガラ有

〒236- 埼玉県和光市木更町137-2

TEL:048-75-7500

株マン島スポーツ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-3

TEL:048-75-3611

HONDA SPORTS MOTO BUM

〒236- 埼玉県和光市木更町137-3

TEL:048-75-4095

株桜井ホンダ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-2

TEL:048-674-0088

有城北ホンダオート

〒236- 埼玉県和光市木更町137-4

TEL:048-952-4024

有ハルク・プロ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-4

TEL:048-75-3851

南オートショップ風

〒236- 埼玉県和光市木更町137-7

TEL:048-298-2999

南多摩川縫業

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-548-2927

株バシフィック

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-548-2206

オートボーイS. P.

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-674-0706

テクニカルショップ ファントム

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-548-2206

株エヌエー

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-548-2206

株エヌエー

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-548-2206

東京国武道村

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0004

株平野モータース

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0004

デルタオート モーティブ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-348-0003

南折懸スピードショップ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-348-0003

河合製作所

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

株上野バーチセンター

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0004

石塚輪業

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

ホンダ販売限無

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-348-0003

株エイサー

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

久保モーターサイクル

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

ライティングハウス

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

株SRTアバッチ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

南若林製作所

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

山田オート販売

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

南奥村輪業

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

株エヌエー多摩(営)

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

モトショップ ブユニコ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

株エヌエー一大宮(営)

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

株モトライフ

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

桜井ホンダII

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

小松屋商店輪業

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

有オフ・サイド

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

株羅梨伊

〒236- 埼玉県和光市木更町137-11

TEL:048-347-0003

南バイクアイランド ポバイ

〒236- 埼玉県和



フルパンクした相手が視界にある。
リアが滑っている。カウルが当たっている。
しかし右手はフルオープンを考えてた。

神奈川

ホンダショップ成田

〒280-1344 成田市中条町字平井47
TEL:047-411-0111

株スーパーウイング まるやま

〒250-0863 中野区本郷2丁目19
TEL:03-3612-0461

有ライダーズサロン 横浜

〒220-0016 横浜市西区北幸町18
TEL:045-783-3838

ホンダウイング鎌倉

〒250-0012 鎌倉市宮前町1-18
TEL:0467-46-2702

有ピックフォー

〒250-0012 鎌倉市宮前町1-21-14
TEL:0467-544-4888

有モトフット

〒250-0012 鎌倉市宮前町5-20-1
TEL:0467-40-3802

有モトガレージ・トモ

〒250-0012 鎌倉市宮前町5-18-18
TEL:0467-541-3467

保田オートサービス

〒250-0012 鎌倉市宮前町1-1
TEL:0467-44-2327

株ワーカス

〒250-0012 鎌倉市横山1-1-1
TEL:0467-54-1818

株モーターサイクルドクター須田

〒250-0012 須田町字13-13
TEL:0467-56-4111

モトファクトリー エアー

〒250-0012 鎌倉市横山1-17-3 鎌倉ビル
TEL:0467-23-4738

モトレブイ内レーシングチーム フジミ

〒250-0012 鎌倉市宮前町1-21-5
TEL:0467-57-1308

タクミモータース相模原店

〒255-0025 横浜市青葉区西堤2-18-15
TEL:045-972-4008

株ウイング マサル

〒255-0025 横浜市青葉区1-1
TEL:045-91-4611

杉山ホンダ販売FC III店

〒255-0025 杉山町字3-18-1
TEL:045-947-5000

有エムシーライン

〒250-0012 小田原市南町2-18-18
TEL:0460-16-0436

モーターサイクル レミング

〒250-0012 小田原市南町2-11-1
TEL:0427-47-0882

藤川プロモーションズモトプラザ セラヴィ

〒250-0012 藤川町字18番地2-18
TEL:0469-942-4710

有山上輪業

〒250-0012 小田原市南町2-11-1
TEL:0469-722-5202

株モトワールド

〒250-0012 小田原市北区吉良町1-20
TEL:0469-723-0304

有エス・エム・エス北ウイング

〒250-0012 小田原市北区吉良町1-31
TEL:0469-579-3388

石川モーターサイクル

〒250-0012 石川町字近野103
TEL:0469-754-0177

ファクトリーホンダ

〒250-0012 横浜市都筑区三ツ境2-4-3
TEL:0457-18-0882

長野

有モト・ショップ・ハマ

〒390-0041 長野市大門町1-12
TEL:0263-67-3121

バイクボックス

〒390-0041 長野市大字木曾野村前路104-7
TEL:0263-43-1307

有原ホンダ

〒390-0041 長野市大字木曾野村カヌ338-6
TEL:0263-22-2096

ホンダショップ浅間

〒390-0041 小諸市平賀東通1610-10
TEL:0263-23-3022

モトスポット ヒラサワ

〒390-0041 小諸市平賀東通1610-2
TEL:0263-65-2199

バイクショップ サイトウ

〒390-0041 上田市大字中野107-8
TEL:0268-53-3121

有スノーニー轟販

〒390-0041 長野市大字木曾野村106-7
TEL:0268-58-2200

有ライディングモード

〒390-0041 中野市大字木曾野村104-4
TEL:0268-52-1715

株ホンダショップナゴノ上松店

〒390-0041 長野市上松町30-15
TEL:0263-25-4044

新潟

ホンダウイング TAKAHASHI

〒940-0041 新潟市南区出羽町11-3
TEL:025-92-0778

モーターショップ ヤマシゲ

〒940-0041 新潟市南区神村中央168
TEL:025-92-0778

ホンダイン・金沢

〒920-0041 新潟市南区神村中央168
TEL:025-92-0778

バイクショップオオヤ

〒920-0041 新潟市西区2-4-1
TEL:025-21-0805

有ホンダ販売・教習

〒920-0041 新潟市西区2-10
TEL:025-92-4962

越谷

バイクショップTRY

〒350-0041 新潟県柏崎市柏崎1-103
TEL:0253-75-7707

有ノースウイングJC

〒950-0041 新潟市土居町1-1
TEL:0252-93-4401

レーシングショップT・ロ

〒950-0041 新潟市土居町1-1
TEL:0252-94-1702

MOTO BOX

〒950-0041 新潟市土居町1-1
TEL:0252-21-9179

アカミチバイクセンター

〒950-0041 新潟市西区出羽町11-18
TEL:025-75-9891

有エヌエー長岡(宮)

〒940-0041 新潟市東区東河原2-2-1
TEL:025-98-1721

レーシングショップOFF・ON

〒950-0041 新潟市東区東河原2-2-1
TEL:025-29-4512

フルパンクした相手が視界にある。
リアが滑っている。カウルが当たっている。
しかし右手はフルオープンを考えてた。

モトスポーツ金沢

〒920-0041 金沢市若狭町1-1
TEL:0763-35-3164

長野テクニカルレーシングクラブ

〒390-0041 長野市若狭町1-1
TEL:0263-32-3405

有モトスポーツ イシバシ

〒920-0041 金沢市大芦戸362864-1
TEL:0763-33-1123

ロックサイド

〒920-0041 金沢市本多町3-2
TEL:0763-24-1422

大和ホンダ

〒920-0041 金沢市正門大森町1番地
TEL:0763-34-1001

富山

〒930-0041 富山市本町1-2-1
TEL:076-22-3000

ホンダレッドシティー

〒930-0041 富山市本町1235
TEL:076-22-3121

有オートバーツ北陸

〒930-0041 富山市本町1234
TEL:076-25-2300

堀田オートパーク

〒930-0041 上越市西大津野町102
TEL:076-54-0242

オートショップ越

〒930-0041 富山市南東町11-5
TEL:076-51-0100

有かはしサイクルセンター

〒930-0041 富山市南東町2-2
TEL:076-22-4221

石川

〒920-0041 金沢市本多町1-1
TEL:076-21-6111

ホンダイン・金沢

〒920-0041 金沢市本多町1-1
TEL:076-21-6111

有ホンダ販売・教習

〒920-0041 金沢市本多町2-10
TEL:076-92-4962

堀井

〒920-0041 金沢市本多町2-10
TEL:076-92-4962

モトクラフト タカミ

〒920-0041 富山市西田町1-1
TEL:076-54-3473

モトクラフト スギクラ

〒920-0041 金沢市西田町3-10
TEL:076-42-47-0513

スピードアーリミテッド

〒920-0041 金沢市西田町2128
TEL:076-54-5000

ホンダバイクショップ可児

〒920-0041 可児市高須2057-1
TEL:052-24-4022

赤色で記載されているのがHRCサービスショップです。



'92 RS125R

HRC

HONDA RACING

愛知

ラ・モト・KOHSAKA

オートショップフリーランド

スポーツプラザ イトウ

ホンダウイング モトライヴ

㈱エヌエー古屋（宮）

碧南ホンダ

ホンダバイクハウス オクムラ

㈱モトイアンド

モロ商会

伊東モータース

㈱オートプラザ ヒラノ

㈲プロト

㈱アトランタ

㈱バーッップ ウカワ

〒441 河内町中里新町1-102
TEL:052-361-0022

オートショップまき

〒441-61 宝飯郡小竹町小竹字佐井平大郷2号
TEL:052-28-2768

ホンダ販売はざの

〒487 奈良市吉瀬町3-11
TEL:0548-51-0228

㈱バッパ

〒441-21 岡崎市鴨田町25(1)
TEL:0564-25-4798

㈱ボーネイ

〒445 名古屋市名西橋3-12
TEL:052-852-1123

日＆日新栄会

〒447 岐南市鶴見町1-1
TEL:0566-61-2184

東海オートトレーディング㈱

〒430-12 岐阜市本郷町下森30
TEL:058-21-5111

三重

ホンダワールド㈱

〒511 鈴鹿市住吉町1-1
TEL:051-85-4166

ザ・バイク・イサカ

〒510-02 鈴鹿市鶴来町700-15
TEL:051-45-3476

MITANI MOTOR SPORTS

〒510-01 木曽郡多度町604
TEL:051-6-2222

モトショップ ヨシハル

〒510 木曽郡南木曽町240-17
TEL:052-76-1770

㈱鶴脛エンジニアリング

〒510 木曽郡南木曽町105-17
TEL:052-76-0886

ボーテクラフト 2 & 4

〒510 木曽郡南木曽町109-1
TEL:052-76-1862

マルチレーシング

〒510 木曽郡南木曽町14-23
TEL:052-76-0385

㈱加藤ホーリング

〒510 木曽郡南木曽町2-21
TEL:052-52-0274

バトルファクトリー

〒510 木曽郡南木曽町147-47
TEL:052-76-0881

ササキスポーツクラブ

〒490 木曽郡南木曽町301-1
TEL:052-84-1602

若オートreck

〒510 木曽郡南木曽町301-1
TEL:052-52-0322

レーシングガレージ ニワ

〒510 木曽郡南木曽町301-1
TEL:052-84-1602

㈱ブルーフォックス

〒510 木曽郡南木曽町301-1
TEL:052-76-0385

山本エンジニアリング

〒510 上野村字田原字中瀬87-1
TEL:056-28-2344

道

㈱モビリティプラザ タナダ

〒510 守山市守山町301-4
TEL:051-82-3227

富江ホンダ

〒441-25 富江市鶴来町川柳堂304
TEL:0564-45-0021

ホンダランド小林

〒512 守山市守山町4-6-1
TEL:051-86-1028

京都

スーパー・ネッシー コタニ

〒601-12 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

モトマック

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

㈱ホンダ京南

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

㈱久保保モータース

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

カンズ・バイク

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

RSひいたあばん

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

㈱カスノモーターサイクル

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

カメオカ トライアルランド

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

㈱オートショップ阪口

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

バイク工房岩崎

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

青柳山モータース

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

㈲ビバオート ナカムラ

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

株豊夢

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

石原自動車商会

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

セーフティスポーツ カタヤマ

〒601-02 京都市伏見区住吉町440-6
TEL:077-4-6238

シグナル・ランプに赤が点灯する。
わずか数秒後のために、誰もが意識を集中している。
前へ。誰よりも速く、前へ。

*記載内容は1991年11月1日現在のものです。

明日のウイニング・ランを共に。



大阪

株スーパー モンキー
〒558 大阪府守口市本町2-27
TEL:029-94-3111

株アールエス タイチ
〒531 大阪府守口市内3-1-25
TEL:029-74-2088

株ニューホンダ高根
〒556 大阪市住吉区森美西2-11-18
TEL:028-612-5278

ライダーズ・スクエア・ゲンズ
〒557 大阪市住吉区森美西2-1-13
TEL:028-77-7550

長居モータース
〒558 大阪市住吉区森美西2-11-18
TEL:028-612-5278

橋田郎品株
〒559 大阪市住吉区森美2-3-25
TEL:028-456-5440

株ルーニー
〒557 大阪市住吉区森美2-104
TEL:022-77-1952

ベストスポーツ
〒557 大阪市住吉区森美2-9-1
TEL:029-77-0822

アイラブホンダ ハマヒラ
〒558 大阪市住吉区森美2-12
TEL:028-75-1884

オートプラザ寺川
〒557 大阪市住吉区森美2-6-6
TEL:029-91-8818

株日本ビート工業
〒557 大阪市住吉区森美2-10
TEL:022-57-7880

㈱キタコ
〒557 大阪市住吉区森美2-3-2
TEL:028-763-5311

左吉自動車
〒557 大阪市住吉区森美2-10
TEL:028-308-5220

有月木オートセンター
〒557-15 大阪市守口市中守口3-1-1
TEL:028-47-1168

ぱわあくらふと
〒554 大阪府守口市内3-1-3
TEL:028-72-6161

ホンダシップルアルト
〒554 大阪府守口市内3-1-4-6
TEL:028-72-6081

ヨシイレーシング
〒557 大阪市守口市内3-1-6
TEL:028-40-1617

㈱ミスター ヒロ
〒557 大阪市守口市内3-1-6
TEL:028-36-1580

オートマック㈱
〒557 大阪市住吉区森美2-18オートジャパン 大阪内
TEL:028-71-0584

オーヴァーレーシングサービス
〒558 大阪市住吉区森美2-1-1
TEL:028-78-1770

㈱ウイング32
〒558 大阪市住吉区森美2-1-1
TEL:028-42-3532

三興部品商会
〒552 大阪市守口市内3-1-34
TEL:028-62-1671

バイクランド
〒552 大阪市守口市内3-1-13
TEL:028-37-2956

TECHNICAL SHOP GOLD WING
〒558 大阪市守口市内3-1-6
TEL:028-63-0486

モトスポーツGLAD
〒551 大阪市守口市内3-1-25
TEL:028-87-1181

モリハルティ 山下ワールドトレーディング㈱
〒551 大阪市守口市内3-1-25
TEL:028-87-1181

レーシングワールド
〒556 大阪市守口市内3-1-5
TEL:028-57-0285

兵庫

スポーツ コーナー マツモト

〒552 守口市守口町3-1-18
TEL:021-32-4161

㈱サイクル ワールド

〒554 守口市西宮森南4-1-3
TEL:028-52-6847

ミネ モーター サイクル

〒554-01 守口市西宮森南4-1-3
TEL:028-73-5482

福岡オート&ツール

〒551 守口市西宮森南4-1-18
TEL:028-51-3186

㈱U・S・A

〒551 守口市西宮森南4-1-4
TEL:028-41-1026

㈱工ボム

〒551 守口市西宮森南4-1-10
TEL:028-57-3144

パワーサービス イマツ

〒551 守口市西宮森南4-1-1
TEL:028-51-3186

オートバイ屋

〒551 守口市西宮森南4-1-1
TEL:028-51-3187

神戸オートショップ

〒552 神戸市北区北野2-1-5
TEL:028-57-7422

BITO R&D

〒558 守口市守口町3-1-1
TEL:028-63-0425

ホンダオート・ファミリー

〒551-12 神戸市北区北野2-1-5
TEL:028-581-5264

モトデボルテヨシカワ

〒551 神戸市北区北野2-1-5
TEL:028-57-6980

モト・ビット フジワラ

〒551-01 神戸市北区北野2-1-14
TEL:028-94-3119

フリーウエイ

〒552 守口市西宮森南4-1-17
TEL:028-41-3217

イシイモーターサイクル

〒552 西宮市上ヶ原町2-4-1
TEL:021-52-0294

㈱ホンダプラザ鈴蘭台

〒551-11 神戸市北区鈴蘭台2-12-14
TEL:028-587-5388

㈱ビーライン

〒551 花園市大和町1-1-1
TEL:028-481-0151

㈲大橋ホンダ

〒551-02 花園市大和町1-264-18
TEL:028-48-2561

Kコレーシング

〒551 花園市大和町1-264-4
TEL:028-48-4240

奈良

ヨシカワレーシング

〒551-1 大和郡山市北内町108-1
TEL:024-52-0587

映光自動車㈱

〒551 大和郡山市北内町108-1
TEL:024-52-0588

シマ エンタープライズ

〒551 大和郡山市北内町108-1
TEL:024-54-9588

岡山

㈱梅木商会

〒550 岡山市東区長瀬1-2-9
TEL:086-32-0801

NOVA

〒550-01 岡山市北区長瀬400-1
TEL:086-3-2-3915

㈱ドック

〒550 岡山市北区長瀬400-2
TEL:086-3-2-3915

スーパー ブライベート R

〒550 岡山市北区長瀬400-1-346-4
TEL:086-21-3206

㈱鶴壽モーター

〒554 岡山市北区長瀬757
TEL:086-3-3617

赤色で記載されているのがHRCサービスショップです。





悩んだ結果、
フロントフォークの油面を上げた。
取り合えずマシンに、もう問題はない。
明日は決勝。
残るはライダーの問題だけだ。



東ホンダウイング カドヤ

〒711-13 津市赤坂町1丁4
TEL:088-28-0400

木村商会

〒711-13 津市赤坂町100-3
TEL:088-28-2261

X-1 ロガサワラ

〒711-13 津市赤坂町14-1
TEL:088-28-0401

海岡崎車輌

〒711-13 津市赤坂町100-1
TEL:088-28-0201

広島

ホンダウイング 尾道

〒712-01 広島市中区通川1119
TEL:084-41-0819

東ホンダウイング ウタリ

〒711-13 津市赤坂町100-6
TEL:088-231-4011

ホンダウイング ワタリ

〒711-13 津市赤坂町100-9
TEL:088-231-2111

モトバンリンクス

〒711-13 津市赤坂町100-10
TEL:088-231-0522

ウイング広島

〒712-01 広島市西区舟町1-24
TEL:082-77-0560

單車屋

〒711-13 津市赤坂町1-3-7
TEL:088-28-7088

森オートショップ福山

〒711-01 福山市幸田町8-122
TEL:084-41-0251

バイクシティ広島

〒712-01 津市赤坂町1-24
TEL:088-231-3398

相模輪業

〒231-01 横浜市保土ヶ谷区鶴間町西200-10
TEL:042-574-7520

ホンダオート山田

〒712-01 横山町幸太郎3-2-4
TEL:084-571-3869

東ホンダスポット ステージワン

〒712-01 津市赤坂町100-2
TEL:088-281-8101

株/バイクワールド エルフ

〒712-01 津市赤坂町100-18
TEL:088-288-8800

山口

シゲムラサイクル

〒710-01 津市赤坂町4-11-10
TEL:088-24-2888

ホンダウイング山口

〒710-01 津市赤坂町4-11-08
TEL:088-45-1235

ケイケイ鍵業

〒710-02 幸田町大字幸田200-4
TEL:088-41-8101

徳島

東ホンダアロー

〒770-01 津市赤坂町100-2
TEL:088-45-2500

鳴門ホンダ二輪

〒711-01 鳴門市赤坂町幸田200-3
TEL:088-65-2500

愛媛

松本M/Cショップホンダ

〒710-01 松山市生石町3-1-13
TEL:088-72-2507

福岡

ホンダショップ ライフ

〒802-01 福岡市中央区片野新町1-1-1
TEL:092-922-8814

ホンダショップ タジマ

〒811-01 福岡市東区大須1-9-6
TEL:092-511-3611

グランドオート ヨシムラ

〒810-01 福岡市東区大須150-1
TEL:092-911-2100



'92 TLM260R

宮崎

オートサロン永松

〒881-12 宮崎市東洋松原町1-12-14
TEL:090-461-1638

熊本

株/R. S. C

〒884-12 宮崎市大字柳原100-1
TEL:090-311-2505

大分

ホンダショップ大分

〒870-01 大分市北下郡平野町346-1
TEL:093-62-5000

大分

モトハウスむぎわら帽子

〒870-01 宮崎市198-1
TEL:093-61-25-0205

宮崎

オースポーツJIN

〒870-01 宮崎市幸田200-1
TEL:090-21-3-7101

沖縄

沖縄モトショップウイリー

〒980-01 沖縄市幸田200-1
TEL:098-27-7701

HRC
HONDA RACING

人が、好きなバイクのそばに立つ姿は美しい。

1台のバイクを選ぶという行為は、

自分の生き方の表現そのものなのかもしれない。

どんなロードが走っているのか、どんなRが官能的なのか。

RGV250Fの魅力の本質は、つまり無言のうちにそれを出るところにある。

WORLD GPという領域の中で、RGV-Fにより

高次元のレベルにて昇華された GP SPIRITS。

それは、直系のパフォーマンスとしてRGV250Fにあざやかに

フィードバックされ、ライダーと一体身の大のロマンとなって存在している。

RGV250F。人の感じる速度にいちばん近いバイク。

LUCKY
STRIKE

Arai
HELMET.



WHITE/BLUE TWO-TONE

GP SPIRITS
RGV250F

静かにやさしくいい運転。

●やめよう。マフラーの不正改造!

●いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし!

マフラーの音を鳴けたり、マフラーを切ったり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに行きかえたりする者は、馬鹿のひとみに力を送りかけて下さい。

見る・見られる・いい運転。

●バイクは昼間もライトオン!

●カープ・交差点では、スローライングダウン!



人に

運転にやさしく

人とバイクの友好生活

好きなバイクに乗ろう。



●VJ22A ●2-Stroke, water-Cooled, V-mim cylinder ●Piston displacement: 249cc ●Maximum power: 45ps/9,500rpm ●Maximum torque: 3.9kg m/8,000rpm ●DC-ALBOX frame, CAL-BOX swingarm ●Upside-down front fork
● Floating front double discs with staggered-diameter 4-pot caliper ●Front tire: 110/70R17 54H, Rear tire: 150/60R17 66H ●Dry mass: 135kg ●Body colors: White/Blue two-tone, Black/Green two-tone ●¥000,000/¥000,000(SP,SPII)
●価格はメーカー希望小売価格です(北海道・沖縄および一部離島を除く)・価格(CIE: 保険料+税金(消費税を含む)+首年などに伴う諸費用は含まれていません)・消費税額は、税込計算の上、申し受けます・販売店にお問い合わせ下さい

*速度警告灯装着率もタイプ設定しております(10,000円高)カタログご希望の方は、機種名、諸記名を明記し、切手175円分を同封のうえ、〒432-91 浜松市高塚町300 スズキ株式会社 インフォメーションセンター RGV250D係へ

もっと個性的に、もっとあなたらしく
Personal Best  **SUZUKI**

幻想が、満ちてくる。

MIND TRIP QUARTER BALIUS

- Engine type: Liquid-cooled 4-stroke 4-cylinder DOHC 16-valve • Displacement: 249cc • Max. power: 15hp • Max. torque: 2.8kg-m • Max. rpm: 11,500rpm • LxWxH: 1,270mm x 730mm x 1,050mm • Weight: 14kg • Color: Black, Pearl, Candy pearl, Red, Metallic, Royal blue
- メーカー希望小売価格 499,000円
- 機種名は登録商標です。●本機は音楽著作権法で保護されています。●複数台を複数台で同時に購入する場合は、必ず複数台に分割して購入ください。
●連続再生機能、リピート再生機能、シャッフル再生機能、ランダム再生機能などを同時に動作させることはできません。
- 当商品は、お子様の手の届かないところに保管してください。

Let the Good Times Roll!
アービング・スティーヴンソン



静かにやさしくいい運転。

●やわらかマフラーの不正改造 /

●いつもどこでも、絶対に空ぶかし /

マフラーにこもれいマフラーをビンゴ! マフラーはすんだり、シース用ひ
マフラーに付けてたりする方法は、駄目の人へみんなに迷惑をかけています。

見る・見られるいい運転。

●バイクは運転もライトオン!

●カーブ、交差点では、スローライングダウン!

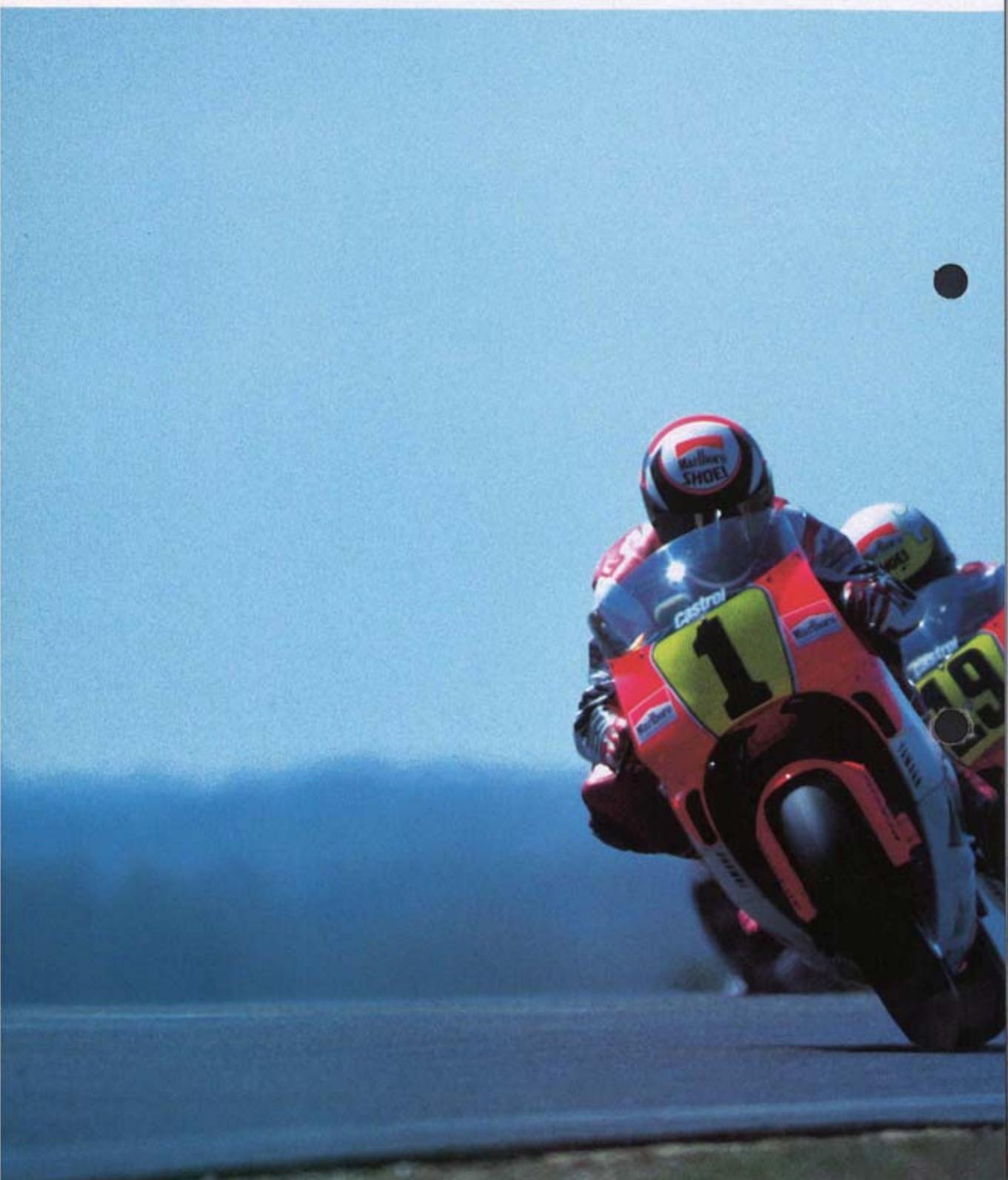
人にやさしく

人とバイクの友好生活



Kawasaki
カワサキオートバイ販売株式会社

「あかるいスポーツ」宣言。
YAMAHA MOTORCYCLE



静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造！
- いつでもどこでも、絶対しない変ふかし！
- マフラーの芯をぬいたり、マフラーを切ったり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに付けたりする改造は、種類のもとみんなに迷惑をかけてしまいます。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライトオン！
- カーブ・交差点では、スローライングダウン！



人に、地帯にやさしく走ろう。

人とバイクの友好生活

ウェイン・レイニー&YZR500 '91WGPを制す!

V2

9月8日、フランスのル・マンにてYZR500を駆るW・レイニーは有効ポイント数233を獲得し、最終戦を待たずして'91年世界GP 500ccクラスのチャンピオンを決定しました。一方、J・コシンスキーはマレーシア最終戦を優勝で飾り、500cc初参戦ながらランク4位を決定これにより、ヤマハは昨年に引き続き2年連続の500ccクラス・メーカー・チャンピオンを獲得しました。15戦中6回の優勝 加えてほぼ毎戦にわたる上位入賞という輝かしい戦果は、ディフェンディング・チャンピオンにふさわしいW・レイニーの沈着冷静なタクティクスとその走りに応えたYZRのホーネンシャルの高さの証明といえましょう。有効ポイント制、マシン重量規制など、新しいFIMレギュレーションが採用された本年の世界GP。その中でヤマハは、チーム・ロバーツとの強力なコンビネーションでレイニーをサポート。それは、常にマン・マシンの一体化を目指すヤマハの情熱にほかなりません。私たちは、このV2から得た経験を来シーズンの糧とするとともに、より良いモーターサイクル創りのための原動力にしてまいります。たくさんのご声援、ほんとうにありがとうございました。

CHAMPION 1991 FIM ROAD RACING WORLD CHAMPIONSHIP
500cc : WAYNE RAINY & YZR500
TEAM MARLBORO YAMAHA ROBERTS

YZR500、'91全日本も制す!

'91全日本ロードレース選手権500ccクラスでもヤマハ勢が大活躍。10月27日、筑波での最終戦を終えP.ゴタードがチャンピオンを決定。藤原儀彦も2位の座を獲得!

ON^a_nd OFF_d

バイクとマリンスポーツの総合情報TV番組

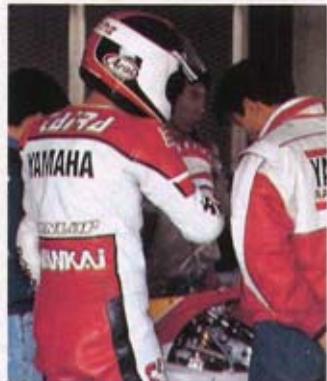
●テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビセントラル、テレビ九州、テレビ北海道/
土曜日18:30から●東日本放送/土曜日24:00から●静岡放送/日曜日10:45から
●テレビ新広島/木曜日24:35から

YAMAHA

ヤマハ動植物株式会社

RSS

Racing Service Shop



プロの眼が見つめ

静かにやさしく、いい運転。

- やめよう、マフラーの不正改造！
 - いつでもどこでも、絶対しない空ぶかし！
- マフラーの芯をぬいたり、マフラーを切ったり、マフラーをはずしたり、レース用のマフラーに付けたりする改造は、騒音のものとみんなに迷惑をかけてしまいます



見る・見られる・いい運転。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン！
- カーブ・交差点では、スローイングダウン！

コンペモデル(レース専用車)

RCC SUGOのキットパーツ
は、RSSで扱っています。

コンペモデルに関する御相談は技術と信頼のRSS
をおすすめします。お近くのRSSに御相談下さい。



TZ250



YZ250



YZ125



TY250R



る勝利への軌跡

*改良の為、製品の仕様は予期なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

人に、地球上に、やさしく走ろう。



YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社

RSS Racing Service Shop

YSP 北海道地区	Rpitオオキ	RR 花巻オート	MX 有三魔モータース	RR 船岡オートショップ大月	RR YSP 大宮中央	RR YSP 小平
YSP 札幌南	RR MCプロショップZip	RR YSP 氷沢	RR MX YSP テラオ	RR MX YSP 北茨城	RR MX YSP 大森	RR MX YSP 小金井
YSP 札幌東	RR モトショップクワクス	RR ライターサイクロン大泉	RR MX YSP いがらし	RR MX YSP MOTO	RR MX YSP バイクシティ	RR MX YSP 堀生
三カ国スポーツ	MX 小野モータース	MX 南極岸オート	RR YSP ヤマカ	RR MX カシマレーシング	RR MX バイクハウスZERO	RR MX YSP 八王子西
YSP 木原	MX ハヤシ商会	MX YSP 鶴巣	MX YSP 山形西	RR MX バイクショップ竹沢	RR YSP 川口北	RR MX YSP 八王子南
YSP SHIMA	MX YSP 海底	RR 南松木屋整備販売会社	RR MX YSP ワンバイワン	RR MX バイクショップ竹沢	RR MX YSP イヤマ	MX バイブルーム多摩
YSP 札幌西	RR ハサシモーターフロジクト	RR トレーリーショップタケダ	MX,TR YSP 西	RR MX バイクショップ竹沢	RR MX YSP 仙台中央	RR YSP 八王子中央
YSP 幸平	RR YSP 刃削	RR YSP ヨコエマハ	RR MX YSP ピンクトンターミナル	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 仙台	RR MX YSP 宮大和
YSP 札幌中央/RRMX	RR YSP スピード	RR YSP ヨコエマハ	RR MX YSP ピンクトンターミナル	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台	MX モーターレーシングバー
YSP トヨキ	MX 国際マジマ	RR YSP タカタ	RR YSP ヨコエマハ	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
YSP 内モータースポート	RR YSP ライティングBSP	RR YSP ヨコエマハ	RR MX YSP ピンクトンターミナル	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
ばくはくはすサンランダード	RR スナダオート	MX 南郷保険会バイバズ店	RR YSP 福島南	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
北庄オート松村商会	RR YSP 山本	RR YSP 仙台東	RR YSP 松本	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
オートフレンド北海道	RR 楠野町商会	RR YSP 仙台東	RR YSP 福島北	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
ライディングハウス	RR YSP サイクリングMX,TR	RR YSP 仙台西	RR YSP 福島北	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
YSP 小平	RR YSP サイクリングMX,TR	RR YSP 仙台東	RR YSP 福島北	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
YSP アサヒ	MX 沢田モータース	RR YSP 仙台東	RR YSP 福島北	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
YSP 佐々木	RR YSP サイクリングMX,TR	RR YSP 仙台東	RR YSP 福島北	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
YSP 道戸	RR YSP サイクリングMX,TR	RR YSP 仙台東	RR YSP 福島北	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
ガレージワークス	RR YSP 開野フィールド	MX ピークハウスカラーワーク	RR YSP 佐田大曾	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
YSP オカジマ	RR YSP 佐藤和歌麻理	RR YSP 石巻	RR MX 三沢モータース	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
YSP 加川	RR モーターフンク山田	RR YSP 石巻	RR MX 三沢モータース	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
南紀伊セカンド	RR 荒崎モータース	RR YSP 石巻	RR MX 三沢モータース	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
株モンク	RR YSP 竹沢	RR YSP 美加屋	RR MX 三沢モータース	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
YSP ほうけんしゃ	RR HOT-STAFF三重	RR YSP 美加屋	RR MX 三沢モータース	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台
バイク屋にやるめ	RR YSP フルダ	RR YSP 美加屋	RR MX 三沢モータース	RR MX 三沢モータース	RR MX YSP 伊豆	RR MX YSP 仙台

* 各ショップの得意部門を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)の記号でショップ名の右側に表示

HAVE A NICE RIDE!

ナイスライディングをよろしく。

Y.E.S.S.

バイクライフ
Y.E.S.S.に、参

SHOEIのMFJ公認へ

オンロードをはじめモトクロス、トライアルと、バラエティ豊かなラインナップ。

X-8シリーズ
「ビルトイン・メカシールド」の採用で、風切音や風の巻き込みを減少した、革新的のヘルメット。

X-8 ■グッドデザイン商品【G】輸送機器部門
¥35,000 白、黒、ライトバーブル、黒/青色銀、
¥36,000 キャンディーピンク、キャンディブルー、ディープルーメタリック



X-8 SONIC ¥42,000
●カラー：白/青色銀、ライトバーブル、黒/青色銀、
■/ダークシルバー&銀、黒/銀&赤



X-8 CREST ¥42,000
●カラー：黒/赤&銀、白/赤&銀、黒/ダークシルバーア&銀、白/青&銀



X-8 RAINIER
¥44,000



X-8 KOCINSKI
¥45,000



X-8 LAWSON
¥44,000



X-8 GARDNER
¥44,000



X-8 MAGEE
¥44,000



X-8 SHIMIZU
¥44,000



【X-8シリーズ共通スペック】

●規格：スネル規格M90、JIS規格C種(MFJ公認) ●構造：新素材&ファイバーグラス複合構造
●構造：シールド(C-X-1)は標準装備のフロントモードと別売のクリア、スマート、オレンジの4種類。各¥3,800です。※実用新案出願中、販売登録出願中

【特長】

- フラッシュサーフェイスを実現した、革新的な新機構「ビルトイン・メカシールド」。
- スピーディで、簡単・確実なシールド交換が可能。
- ベンチレーション効果を高め、シールドの曇り止めに威力を発揮する、アップエアロ・エアインテク+新サイトレーション・システム。
- あご回りの風の巻き込みとヘルメットのリフト感を低減する、頸部のスリムカット&首回りのハイカット構造。
- ホールド性を高め、かつ、通気性・吸汗性を高めた新内装布地。
- シールドの曇りを除去・防止する、SHOEI独自のプリセットオープニング機構。



RSV-Sシリーズ シールドカバーに「シーメックス」を採用した、充実のバリエーション。

RSV-S ¥32,800 ●カラー：白、黒、コスミックブルー

【RSV-Sシリーズ共通スペック】

●規格：スネル規格M90、JIS規格C種(MFJ公認) ●構造：ケプラー&ファイバーグラス複合構造 ●シールド(C-10A)は標準装備のクリアと別売のスマート、メロスマート、オレンジの4種類。各¥3,500です。また、別売のティアオフ・フルム(クリア・スマート・セット)付のC-20Aシールド(クリア、スマート)各¥4,500、C-10A・ANTI-FOGシールド(クリアのみ)¥4,500も選用可能。ティアオフ・フルム(クリア、スマート)各¥4,500も選用可能。



RSV-R ¥34,000

●カラー：白、黒、コスミックブルー
●規格：スネル規格M90、JIS規格C種(MFJ公認) ●構造：ケプラー&ファイバーグラス複合構造 ●シールド(C-10A)は標準装備のクリアと別売のスマート、メロスマート、オレンジの4種類。各¥3,500です。また、別売のティアオフ・フルム(クリア・スマート・セット)付のC-20Aシールド(クリア、スマート)各¥4,500、C-10A・ANTI-FOGシールド(クリアのみ)¥4,500も選用可能。



超軽量化を実現。

RSV-SP ¥36,000

●カラー：白、黒、コスミックブルー
●規格：スネル規格M90、JIS規格C種(MFJ公認) ●構造：新素材&ファイバーグラス複合構造 ●シールドはC-10A・ANTI-FOGシールド(クリア)、¥4,500を標準装備。別売のC-10Aシールドはクリア、スマート、オレンジの4種類。各¥3,500です。また、別売のティアオフ・フルム(クリア・スマート・セット)付のC-20Aシールド(クリア、スマート)各¥4,500も選用可能。



RSV-S-TROY LEE ¥38,000
●カラー：オオピンク



RSV-S-PLESIQ-II ¥38,000
●カラー：オオピンク



RSV-S-ZIG ¥37,800
●カラー：白/青、白/黒、白/銀、白/黒



RSV-S-ZAG ¥37,800
●カラー：白/青/シルバー、青/オレンジ/シルバー、青/黒/シルバー



RSV-S-AXIO ¥38,000
●カラー：白/青/黒、白/黒/青、白/黒



RSV-S-BRAIN ¥39,800
●カラー：オレンジ/黒



ルメット。

モトクロス ライディングシーンをきわ立たせる、先進の

For better concentration



TOKYO
LOS ANGELES
ANTWERP
PARIS

VF-X ¥35,000

*グッドデザイン商品
(SIJ輸送機器部門)



●規格:スネル規格M80、JIS規格C種●カラー:白●構造:ダイニーマ、カーボン、ピコロン&ファイバーグラス複合積層構造●トロイ・リーバイザー標準装備●取りはずして洗えるディッチャブル内装●交換できる2種類のノーズカバー付

[特長]

- すべての内装がはずして洗える、ディッチャブル内装。
- 頸部チンバーのワイド化により、安全性、ホールド性を向上。
- 走行風を調節するエア・スリット付き上下可変機構のトロイ・リーバイザー。
- 好みに合わせて交換可能な、2タイプのノーズカバーを標準装備。
- ゴーグルのズレを防止し、ホールド性を高めるスリップブルーフ機構。

FX-TOURING ¥26,000

●規格:JIS規格C種(MFJ公認)●カラー:白、黒、赤、黄、紺●構造:ファイバーグラス積層構造



VX-4R ¥32,000

●規格:JIS規格C種(MFJ公認)●カラー:白、黒、赤、黄、紺●構造:ファイバーグラス積層構造●取りはずして洗えるディッチャブル内装



VZ-II ¥28,000

●規格:JIS規格C種(MFJ公認)●カラー:白、黒、紺●構造:ファイバーグラス積層構造●シールとロアカバーのツーピース設計
*グッドデザイン商品(技術革新部門)



VJ-X ¥26,000

●規格:スネル規格M80、JIS規格C種(MFJ公認)●カラー:白/キャンドゥード、白/キャンドゥブルー、白/黄、白/緑、ブルーメタリック/ピンク●構造:ファイバーグラス積層構造●取りはずして洗えるディッチャブル内装



VJ-1 ¥19,000

●規格:JIS規格C種(MFJ公認)●カラー:白、黒、赤●構造:ファイバーグラス積層構造



フォルム。

FX-1 ¥22,000

●規格:JIS規格C種●カラー:白、黒、赤、黄、紺●構造:ファイバーグラス積層構造



VX-COUGAR ¥39,800

●規格:JIS規格C種(MFJ公認)●カラー:白/キャンディード、白/キャンディブルー、白/黄、白/緑、ブルーメタリック/ピンク●構造:ファイバーグラス積層構造●取りはずして洗えるディッチャブル内装



VX-TROY LEE ¥39,800

●規格:JIS規格C種(MFJ公認)●カラー:白/青/赤、白/青/黄、白/青/緑●構造:ファイバーグラス積層構造●トロイ・リーバイザースタンダード●取りはずして洗えるディッチャブル内装



TR-2P ¥21,000

●規格:JIS規格C種(MFJ公認)●カラー:白、紺●構造:ファイバーグラス積層構造

トライアル



オンロード 街で、ツーリングで、洗練されたテクノロジーが快適ライディングをサポート。

TSV ¥30,000

●カラー:白、黒、スターメタリック
*グッドデザイン商品(技術革新部門)



TSV-LUDO ¥36,000

●カラー:黒、赤、黒/銀



RHV ¥25,000

●規格:JIS規格C種(MFJ公認)●カラー:白、黒、スターメタリック●構造:ファイバーグラス積層構造



SHOEI純正オプション
(別売)

AIR
MASQUE

¥3,500



SHIELD

3次曲面ハードコート・ポリカーボネート製シールド
C-X-1シールド(クリアー、スマート、メロスマート、オレンジ)各¥3,800、C-X-2シールド(クリアー、ソフトスマート、スマート)各¥3,800、C-10Aシールド(クリアー、スマート、メロスマート、オレンジ)各¥3,800、C-105シールド(クリアー、スマート)各¥3,800、C-20Aシールド(クリアー、スマート)ティアオフ・フィルム(クリアー、スマート5枚入りセット)各¥4,500●適応対象機種:RSVシリーズ、GRVシリーズ、RHV(Sサイズを除く)
C-10A・ANT-FOGシールド(クリアーのみ)¥4,500●適応対象機種:RSVシリーズ、GRVシリーズ、RHV(Sサイズを除く)
C-100・ANT-FOGシールド(クリアーのみ)¥4,500●適応対象機種:RSVシリーズ、GRVシリーズ、RHV(Sサイズを除く)
※「C-10A」ではクリックカラー部が異なります。ご注意ください。

C-10Aの適合機種:RSVシリーズ、GRVシリーズ、RHV(Sサイズを除く)

C-100の適合機種:HGXシリーズ、TFシリーズ、HR、RF-G

[TSV]シリーズ共通スペック

●規格:スネル規格M80、JIS規格C種●構造:ケブラー&ファイバーグラス複合積層構造●シールド(OX-1)と別売のシールド(スマートモードと別売のクリアー、スマートの3種類、各¥3,800です)●標準装備のシールド(C-X-2)と別売のシールド(C-X-1)を交換することにより、シールドのカバーレス化が可能です。

●別売のOX-1シールドセット(シールドベース+シールドビス付)は¥5,200です。

■SHOEIのヘルメットサイズは、次の通りです。

スペックにサイズ表示のない機種は、S→XLまでサイズ(一部を除く)そろっています。下記の数字を

自宅にて正しいサイズをお選びください。

X-S (53~54cm) S (55~56cm) M (57~58cm) L (59~60cm) XL (61~62cm)

*X-Bシリーズ、R/HVシリーズのフレンチカラーはX-S→XLまで5サイズそろっています。

●ヘルメットのあごひもはしっかり締めましょう。●安全確保のため、改造はしないでください。●部品、修理、その他ご要望、ご質問等は最寄りの営業所サービス課までお問い合わせください。●商品は改良のため、予告なく仕様変更することがあります。●標準小売価格には、消費税は含まれていません。●ケブラーはテュボン社の登録商標です。

昭栄化工株式会社
本社/東京支店 東京都渋谷区新橋2-9-2 橋田ビル TEL 03(3502-0301)
大阪支店 06(3411-0080) 九州営業所 09(3411-7048)

仙台営業所 022(346-0156) 名古屋営業所 052(703-3171)

賞金総額 3,500万円

'92年 ショウエイ賞 募集要項

'92年

ショウエイ賞

時代のヒーローは、ここから生れる。

幾多のライダー達から信頼され、
愛され続けてきたSHOEI。
(日本のモータースポーツ発展
のために少しでもお役に立ちたい)
と設けたこの賞も今年で13年目。
モータースポーツの成長とともに
ますます充実してきました。
国際A級ライダーならどなたでも
参加可能な「ショウエイ賞」が、
栄光ある未来への登竜門になる。



昭栄化工株式会社

本社/東京支店
〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル ☎03(3502)0301
大阪支店 ☎06(451)6069 九州営業所 ☎092(411)7048
仙台営業所 ☎022(246)0155 名古屋営業所 ☎052(703)3171
○東京工場 NO.364106 ○茨城工場 NO.371101 岩手工場

ショウエイカホンダオリジナルヘルメット(ショウエイ製)を着用し、MFJ公認全日本選手権シリーズの下記イベントに出走し、入賞されたライダーに規定の賞金を贈り、その栄誉をたたえます。

○対象レース区分(全日本選手権シリーズ)

ロードレース	500cc/250cc/125cc/F-I	国際A級決勝
モトクロス	250cc/125cc	
トライアル	オープン	

○適用期日

- '92年度ロードレース全日本第一戦より最終戦まで。
- '92年度モトクロス全日本第一戦より最終戦まで。
- '92年度トライアル全日本第一戦より最終戦まで。

○参加資格および条件

ショウエイ賞の趣旨に賛同し、賞金制度の適用を望まれる国際A級ライダーで、原則として全日本選手権を全戦出場予定している方。ショウエイステッカーおよびワッペン等を、ヘルメット・マシーン・レーシングスーツに貼付けることが条件となります。特典として、ショウエイヘルメットを提供します。

○賞金額(単位:万円)

ロードレース	1位	2位	3位	4位	5位	6位
500ccクラス決勝レース 全日本第1戦~全日本最終戦	20	10	8	6	4	2
250ccクラス決勝レース 全日本第1戦~全日本最終戦	20	10	8	6	4	2
125ccクラス決勝レース 全日本第1戦~全日本最終戦	20	10	8	6	4	2
T.T.F-Iクラス決勝レース 全日本第1戦~全日本最終戦	20	10	8	6	4	2
モトクロスレース	1位	2位	3位	4位	5位	6位
250ccクラス決勝レース全日本第1戦~全日本最終戦(各ヒート)	20	10	6	4	3	2
125ccクラス決勝レース全日本第1戦~全日本最終戦(各ヒート)	15	8	5	3	2	1
両ヒート1位の場合、賞金額は250ccクラス:30万円、125ccクラス:20万円になります。						
トライアルレース	1位	2位	3位	4位	5位	6位
オープンクラス決勝レース(アウトドア)全日本第1戦~全日本最終戦	6	5	4	3	2	
オープンクラス決勝レース(スタジアム)全日本第1戦~全日本最終戦	6	4	2	—	—	

○グランドチャンピオン賞

ショウエイ賞申し込み者で、賞金対象レース部門の全日本MFJランキングチャンピオンを獲得された方に対し、別途の通り賞金を贈呈します。

グランドチャンピオン賞対象	MFJ全日本ランキングチャンピオン獲得者
ロードレース	500ccクラス
	250ccクラス
	125ccクラス
	F-Iクラス
モトクロス	250ccクラス
	125ccクラス
トライアル	オープンクラス(アウトドア)

●ショウエイ賞に参加ご希望の方は

①氏名②住所(〒番号)③年令④電話番号⑤所属クラブ⑥MFJ会員番号⑦参加クラス⑧ゼッケンナンバー⑨希望ヘルメットのサイズ⑩賞金振込先(銀行・支店・口座番号)を明記の上、下記まで、ハガキでお申し込みください。

参加申し込み期間: 1992年1月1日より1992年3月末日まで。

申し込み先:

〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル

昭栄化工株式会社

モータースポーツ・ショウエイ賞係

心を動かす力がある。

The impression has a power to move our heart.



もっと、もっと、感動してください。もっと深く、大きく、汗と涙を流してください。

勝った人もいる。負けた人ももちろんいる。

でも一生懸命頑張った人のまわりには、必ず、感動という二文字が存在します。

心を動かす力があります。私たちのタイヤはそう伝えています。

ものではなく、心を作りたい。

アイ・アール・シーはそんなイノアックグループの一員です。

The Motosport Spirit
IRC
A DIVISION OF **INDAC**

アイ・アール・シー 井上ゴム工業株式会社

広報室／〒104 東京都中央区銀座2-4-14 イノアックビル ☎ 0120-041718

SIGNAL FLAGS

信号旗

(合図旗および合図)

競技中、競技役員が次の信号旗(フラッグ)を示した場合、各ライダーはこの旗の指示に従わなければならない。

旗の種類	旗の意味	
	ロードレース	モトクロス
国旗	レーススタート (通常緑シグナルで示す)	レーススタート (スターティングマシン) で行なう場合もある。
黄旗	静止	危険予告・追い越し禁止 危険予告・減速
	振動	コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。 減速・停止準備・追越禁止 危険予告・徐行・停止準備 安全確認・追い越し禁止
白旗	静止	1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり
	振動	直前に徐行中の介入車両あり
赤ストライプ付 黄旗	コース表面が滑りやすい状態	
緑旗	先に出した合図の解除 (コースクリア)	先に出した合図の解除
赤旗	レースまたはブラックティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。サーキットを開鎖する場合にも用いる。	
黒旗	白ナンバーを付けた黒ボードを併用する。 示されたナンバーを付けているライダーは次のラップでピット停止。	
青旗	静止	追越しシグナル、1台またはそれ以上のスピードの速いマシンが追い越そうとしている。
	振動	追い越される寸前 警告、ラップされようとしている。
チェック旗	レース終了	レース終了

レースナンバープレート ライセンス識別カラー

ロードレース

国際A級対照番号は、
15cc, 25cc, 50cc, SS, F1, SB, 耐久

前面：タテ255×ヨコ255mm
側面：タテ250×ヨコ300mm



国際A級(125cc)(前面) 国際A級(250cc)(側面) 国際A級(500cc)(側面)
(↑ゼッケン番号に同色)
国内A級→Aマーク
国内B級→Bマーク



国内A級SS(前面)
(↑ゼッケン番号に同色)
国内A級→Aマーク

F1/SB(側面)

耐久(側面)



国内A級SP750(前面) 国内B・C級SP(側面)

注：タテ×ヨコの
数字は、ナンバープレートの寸法。
数字の書体は、
FIMの指定に基づくMFJの正規のものである。

モトクロス

●タテ235×ヨコ285mm



ジュニア

国内B級

国内A級



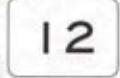
国際A級(125cc)

国際A級(250cc)

国際B級

トライアル

●タテ150以上×ヨコ175mm



ジュニア

国内B級

国内A級



T.NIPPON

T.NIPPON

国際A級

ヘルメットのMFJ公認マーク



ロードレース特選 ロードレース用、モトクロス用 トライアル用、ツーリング用
※MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークの貼付されていないヘルメットは、特別検査料(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。

レーシングスーツのMFJ公認マーク

*92年度より使用されるレーシングスーツにはMFJ公認マークを付けてなければならぬ。



MFJ

国内競技規則書

1992年版

C O N T E N T S

信号旗/レースナンバープレート・ライセンス識別カラー	26
財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会の組織	28
MFJ国内競技規則	30

ROAD RACE

ロードレース競技細則 1	51
'92全日本選手権大会特別細則 2	63
'92スーパーカップ選手権大会特別細則 3	67
'92全日本ロードレース選手権サークル図	72

MOTOCROSS

モトクロス競技 細則 4	83
'92全日本選手権大会特別 細則 5	87

TRIAL

トライアル競技 細則 6	103
'92全日本選手権特別 細則 7	111
スタジアムトライアル全日本選手権特別 細則 8	118

TECHNICAL RULES

基本仕様〈ロードレース〉	128
基本仕様〈モトクロス〉	132
基本仕様〈トライアル〉	134
SPクラスの車両規則	136
SSクラスの車両規則	139
耐久レースの追加仕様	142
国内GPクラス	143
国内モトクロス	146
国内トライアル	148
SUPPLEMENT	
MFJライセンス昇格・降格に関する規則	155
MFJ共済会制度	160
MFJ公認ヘルメット・レーシングスーツ・タイヤ	161
歴代チャンピオンリスト	167

1992年1月1日発行
ライディング臨時増刊・通巻268号

財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441

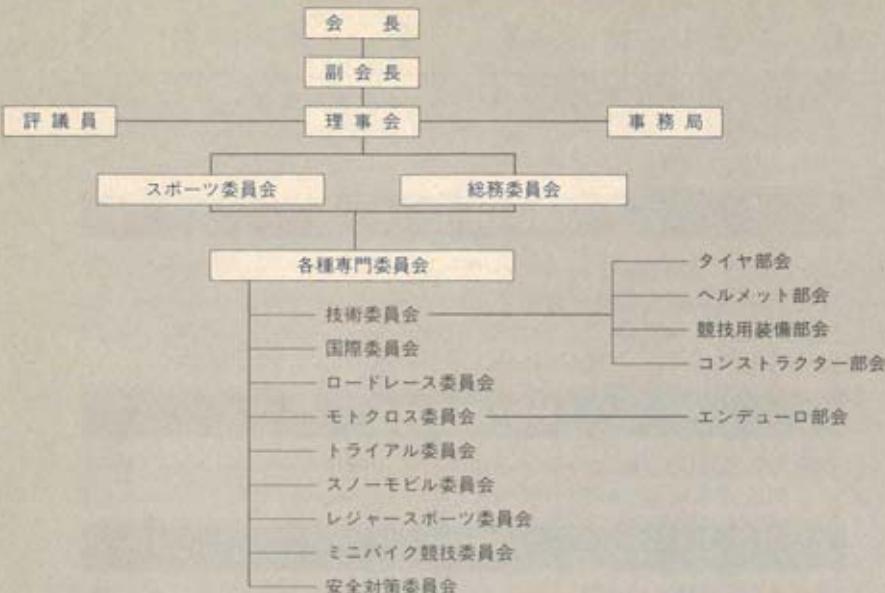
■発行所：財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会

■編集：AGEN co., Ltd. ■印刷所：SANSYUDO co., Ltd.

財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 の組織

(財)日本モーターサイクルスポーツ協会組織図

財団 法人 日本モーターサイクル
スポーツ協会(MFJ)



●スポーツ委員会

役職	氏名	役職	氏名
委員長	外川 一雄	常任委員	安松 幹夫
副委員長	伊藤 光夫	委員	鈴谷 孟一
副委員長	藤井 琉美	委員	猪股 謙一
常任委員	前川 和範	委員	若木 恵一
常任委員	倉直	委員	富浪 拓一
常任委員	岩崎 茂樹	委員	高武 富久美
常任委員	吉田 武彦		
常任委員	秋木 敏道		
常任委員	木下 道司		
常任委員	村上 伸隆		
常任委員	山本 伸浩		
常任委員	杉沼 浩		

MFJ主要役員 ('92年1月1日現在)

●ロードレース委員会 ●モトクロス委員会 ●トライアル委員会

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
委員長	藤井 章美	委員長	村上 正司	委員長	山本 隆一
副委員長	神谷 忠	副委員長	齊藤 重政	副委員長	木村 唯人
副委員長	杉本 五十洋	委員員員	小野寺 道弘	委員員員	鈴木 弘拓
委員員員	佐藤 學	委員員員	井上 道隆	委員員員	成田 克
委員員員	太田 美典	委員員員	高橋 道信	委員員員	大野 喜政
委員員員	内藤 初	委員員員	中野 雅夫	委員員員	山野 勝浩
委員員員	鈴木 康典	委員員員	宮川 駿	委員員員	杉沼 駿
委員員員	山本 真一	委員員員	井上 道喜	委員員員	安松 幹夫
委員員員	川本 一夫	委員員員	高橋 浩夫	委員員員	吉田 喜一
委員員員	竹内 明二	委員員員	宮川 浩夫	委員員員	杉沼 幹夫
委員員員	健信	委員員員	萩原 浩夫	委員員員	吉田 喜一
委員員員	二番浩夫	委員員員	沼田 浩夫	委員員員	安松 幹夫
委員員員	吉野 浩夫	委員員員	安松 幹夫	委員員員	吉田 喜一

●技術委員会

役職	氏名	役職	氏名
委員長	伊藤 光夫	委員長	宮本 正之
副委員長	秋吉 方彦	委員員員	東山 真一
委員員員	溝口 正泰	委員員員	高橋 雄一
委員員員	堤利和	委員員員	杉本 胜也
委員員員	吉田 志朗	委員員員	沼田 浩夫
委員員員	杉沼 浩	委員員員	安松 幹夫

●スノーモビル委員会

役職	氏名
委員長	宮本 正之
委員員員	東山 真一
委員員員	高橋 雄一
委員員員	杉本 胜也
委員員員	沼田 浩夫
委員員員	安松 幹夫

都・府・県支部モーターサイクルスポーツ協会

都道府県	区分	〒	所 在 地	電話番号
北海道	北海道ブロック	065	札幌市東区東雁来3条1-4-3 札幌地区軽自動車協会内	011(782)1492
	札幌	065	札幌市東区東雁来3条1-4-3 札幌地区軽自動車協会内	011(782)1492
	旭川	070	旭川市1条通5丁目右7号 株細川商會内	0166(22)7301
	釧路	084	釧路市鳥取大通6-1-1 釧路地区軽自動車協会内	0154(51)0745
	帯広	083	帯広市西19条北1-8-3 带広地区軽自動車協会内	0155(35)8025
	北見	090	北見市三輪25 北見地区軽自動車協会内	0157(24)6130
	函館	041	函館市亀田本町57-32 藤尾輪業株内	0138(43)1801
東北	東北ブロック	983	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県二輪車安全普及協会内	022(284)9484
	青森	030	青森市大字浜田字豊田129-13 株青森県軽自動車会館内	0177(39)0441
	岩手	020-01	盛岡市みたけ5-16-27 岩手県軽自動車会館内	0196(43)8895
	宮城	983	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県二輪車安全普及協会内	022(284)9484
	秋田	010	秋田市八橋大畑2-12-55 秋田県二輪車安全普及協会内	0188(62)6219
	山形	990-22	山形市立谷川2-449-7 山形県軽自動車会館内	0236(86)3600
	福島	960	福島市吉倉字谷各地16-7 株福自販会館内	0245(46)2577
関東	関東ブロック	108	港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内	03(3472)6241
	東京	108	港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内	03(3472)6241
	茨城	310	水戸市往吉町292-8 茨城県軽自動車協会内	0292(47)5832
	栃木	321-01	宇都宮市西川田本町1-2-37 栃木県軽自動車協会内	0286(45)0958
	群馬	379-21	前橋市野中町322-1 群馬県軽自動車協会内	0272(61)0505
	埼玉	330	大宮市大字中釣2082 埼玉県軽自動車協会内	048(624)1221
	千葉	260	千葉市新港223 千葉県軽自動車協会内	0472(42)1564
東	神奈川	226	横浜市緑区池辺町3575 神奈川県軽自動車協会内	045(931)4290
	新潟	950	新潟市大形本町117-3	025(275)5704
	山梨	406	山梨県東八代郡石和町唐柏791-1 山梨県軽自動車協会内	0552(62)7548
	長野	380	長野市大字西和田字東和田境438-3 長野県軽自動車協会内	0262(43)1967
	中部ブロック	466	名古屋市昭和区天白町大字富士見ヶ丘110-6 愛知県軽自動車協会内	052(833)9676
中部	静岡	422	静岡市国吉田32-7 静岡県軽自動車協会内	0542(61)4455
	富山	930	富山市藤木521-1 富山県軽自動車協会内	0764(24)6420
	石川	921	金沢市入江3-134 石川県自動車販売店会館内	0762(91)7111
	福井	910-37	福井市浅水町138字上植木11-2 福井県軽自動車協会内	0776(38)0558
	岐阜	501-61	岐阜県羽島郡柳津町大字高桑字立野3276-1 岐阜県軽自動車協会内	0582(79)1561
	愛知	466	名古屋市昭和区天白町大字富士見ヶ丘110-6 愛知県軽自動車協会内	052(833)9676
	三重	514-03	津市雲出長常町六の割1190-1 三重県軽自動車協会内	0592(34)8611
近畿	近畿ブロック	550	大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会内	06(534)6422
	滋賀	524-01	守山市木浜町2298-1 滋賀県二輪車安全普及協会内	0775(85)7507
	京都	612	京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館内	075(671)5887
	大阪	550	大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会内	06(534)6422
	兵庫	651-21	神戸市西区玉津町居住67-1 兵庫県軽自動車協会内	078(927)7701
	奈良	630	奈良市南京終町2-321-1 奈良県二輪車安全普及協会内	0742(61)5593
	和歌山	641	和歌山市西浜中川向坪1660-389 和歌山県二輪車安全普及協会内	0734(32)5378
中国	中国ブロック	700	岡山市柳町2丁目10-17 桜代ビル2F	0862(22)8625
	鳥取	680	鳥取市千代水3-15 鳥取県二輪車安全普及協会内	0857(28)6850
	島根	690	松江市八幡町725番地 島根県二輪車安全普及協会内	0852(37)1685
	岡山	700	岡山市柳町2丁目10-17 桜代ビル2F	0862(22)8625
	広島	730	広島市中区光南1-4-17 広島県二輪自動車共同組合	082(241)6999
	山口	753	山口市葵一丁目5-58 山口県軽自動車協会内	0839(22)8877
	四国ブロック	761	高松市香西東町536 株ホンダ二輪香川内	0878(82)1182
四国	徳島	770	徳島市西新町4-7 株富浪商店内	0886(22)5545
	香川	761	高松市香西東町536 株ホンダ二輪香川内	0878(82)1182
	愛媛	791-11	松山市南高井町1812-3 愛媛県二輪車安全普及協会内	0899(76)4505
	高知	781-02	高知市横浜1657 高知県二輪車安全普及協会内	0888(42)4311
	九州ブロック	861-41	熊本市近見町2273-1 株ホンダ熊本二輪	096(355)5075
九州	福岡	816	福岡市博多区半道橋2-7-70 西京ホンダ販売株内	092(474)6196
	佐賀	840-01	佐賀市若楠2-10-7 佐賀県二輪車安全普及協会内	0952(30)8442
	長崎	851-01	長崎市田中町581-3 村上ホンダ販売株	0958(37)8421
	熊本	862	熊本市東町4-71 熊本県二輪車安全普及協会内	096(367)5488
	大分	870-01	大分市三川上一丁目4-35 大分県軽自動車協会内	0975(53)1910
	宮崎	880	宮崎市花ヶ島町屋形町1204 スズキ二輪㈱宮崎営業所	0985(25)8400
	鹿児島	891-01	鹿児島市谷山港2-4-3 鹿児島県二輪車安全普及協会内	0992(61)8966
	沖縄	901-21	浦添市字仲西146 沖縄ホンダモーター㈱内	0988(77)2558

('92年1月1日現在)

1992

MFJ国内競技規則

▼第1章 総 則

1. モーターサイクル・スポーツの国内的統括	31
2. 公認競技会、承認競技会の格式および種目	31
3. 大会特別規則ならびに公式通知	32

▼第2章 ライセンス

4. 競技ライセンスとその種目	33
5. 競技ライセンスの取得資格	34
6. 競技ライセンスの有効期間	35
7. 競技ライセンスの効力の失効等	35
8. 競技ライセンス資格の昇格および降格	35

▼第3章 競技会

9. 競技参加者	36
10. 競技参加者の遵守事項	36
11. ライダーの装備	37
12. 競技出場の申し込み	38

13. 出場料およびMFJ共済会掛金	38
14. 競 技	38
15. 入 賞	39
16. 公式得点	39
17. 出場車両	39
18. MFJ公認車両および公認部品・用品	39
19. 燃料およびオイル	40
20. 車両検査	40
21. ライダーおよび車両の変更	40
22. 優勝者の決定	40
23. 入賞者の車両検査	41
24. 競技結果および記録の公表	41
25. 競技会の延期および中止等	41
26. 暫定結果に対する抗議	41
27. 損害に対する責任	42
28. 大会審査委員会の権限	42
29. 違反行為に対する罰則	42

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motocycliste:略称FIM)の国際スポーツ憲章、FIM競技規則に基づいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。

第1章 総則

① モーターサイクルスポーツの国内的統括

- この規則は、わが国のモーターサイクル・スポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正および秩序を保持することを目的とする。
- 財團法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）は、国際モーターサイクリスト連盟(Federation Internationale Motocycliste以下「FIM」という)の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- モーターサイクル・スポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、本国内競技規則ならびに特別規則等を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- この規則は、MFJの主催またはMFJの公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会（以下「承認競技会」という）についても適用される。
- 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該大会審査委員会が行い、これを最終的なものとする。

また競技会において疑義が生じた場合、本規則に規定されていない事項はFIM国際スポーツ憲章、FIM競技規則およびその趣旨により判定する。

② 公認競技会、承認競技会の格式および種目

1. 公認競技会の格式

1) 国内格式競技会

国内格式競技会は、MFJライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営にはMFJ国内競技規則が適用される。

2) 國際格式競技会

国際格式競技会は、各国モーターサイクル協会（FMN）が発行するFIMインターナショナルライセンスを所持する複数のFMNのライダーが参加することができ、この競技会はFIM競技規則が適用される。

2. 格式の内わけおよびその優先順位は、下記のとおりとする。

優先順位	公認競技会		技術会	
	国際格式	優先順位	国内格式	会
1	世界選手権競技会(FIMカップ含む)	6	全日本選手権	
2	国際選手権競技会	7	スーパーカップ選手権	
3	日本(MFJ)グランプリ	8	特別競技会	
4	全日本選手権	9	地方選手権競技会	
5	国際競技会(スーパーカップ含む)	10	県選手権競技会	

3. 公認競技会の種目

公認競技会の種目は次のとおりとする。

- 1) ロードレース 5) ドラッグレース
- 2) モトクロス 6) エンデューロ
- 3) トライアル 7) その他MFJスポーツ委員会で認める競技
- 4) スノーモビル

4. 承認競技会の種目は、競技会の格式が銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。

- 1) ロードレース 5) エンデューロ
- 2) モトクロス 6) ミニバイクレース
- 3) トライアル 7) その他MFJスポーツ委員会で認める競技
- 4) スノーモビル

③ 大会特別規則ならびに公式通知

1. 競技会は、この規則および各種目別細則に基づいて行われるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの特別規則、公示または公式通知によって行われる。

2. 大会特別規則および公式通知は、競技主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。

- 1) 大会特別規則には次の各項が示される。
 - (1) 競技会の名称・格式
 - (2) 競技会の組織
 - (3) 主催者の名称、所在地および連絡先
 - (4) 開催日時・場所
 - (5) 競技の種目および内容
 - (6) 参加資格
 - (7) 出場申し込み受け付け場所
 - (8) 出場申し込み期間
 - (9) 出場料とMFJ共済会掛金
 - (10) 出走者の定員
 - (11) 賞およびその詳細
 - (12) その他

3. 公式通知には大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および大会特別規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができます。

ただし、その内容は大会特別規則およびMFJ国内競技規則に反するものであってはならない。



第2章

ライセンス

④ 競技ライセンスとその種目

1. ライセンスには、競技ライセンス、Jライセンスおよびピットクルーライセンスがあり、競技ライセンスは公認・承認競技会に、Jライセンスは承認競技会に参加するため必要な証書である。

※ また、ライセンスを受けた者は、自動的にその住所地を管轄する財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会都・道・府・県支部（以下「県支部」という）に所属する。

2. 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は、次のとおりとする。

●競技ライセンスの種目

種目 クラス	ロードレース	モトクロス	トライアル
国際A級	○	○	○
国際B級	-	○	○
国内A級	○	○	○
国内B級	○	○	○
国内C級	○	-	-
ジュニア	-	○	○

●スノーモビルの競技ライセンス

スノーモビル	
クラス	A級
	ジュニア

●ドラッグレースの競技ライセンス

ドラッグレース	
クラス	A級
	B級

●競技ライセンスの種目

参加できる 種 目	競技ライセンス							
	ロードレース ライセンス	モトクロス ライセンス	トライアル ライセンス	スノーモビル ライセンス	ドラッグレース ライセンス	エンデューロ ライセンス	Jライセンス	
公認競技会	○	-	-	-	-	-	-	-
	-	○	-	-	-	-	-	-
	-	-	○	-	-	-	-	-
	-	-	-	○	-	-	-	-
	○	-	-	-	○	-	-	-
	-	-	-	-	-	○	-	-
承認競技会	○	-	-	-	-	-	-	-
	○	○	○	○	○	○	○	-
	○	○	○	○	○	○	○	-
	○	○	○	○	○	○	○	-
	○	○	○	○	○	○	○	-
	○	○	○	○	○	○	○	-
	○	○	○	○	○	○	○	-
その他MFJ スポーツ委員会の認める競 技会	○	○	○	○	○	○	○	-

※運転免許を受けているものに限り、ピットクルーライセンスでライダーとして承認競技会に参加できる（Jライセンスと同じ）

3. FIMライセンス (MFJ経由)

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することができるライセンスの区分は、次のとおりである。

種 目	競技ライセンス区分	取 得 資 格
ロードレース	① 1大会のみ有効なライセンス 国内における世界選手権競技会に使用できる	当該種目の国際B級以上のライセンス所有者
モトクロス	② 年間ライセンス 国内・国外で行われる世界選手権、国際競技会に使用できる	当該種目の国際A級ライセンスを取得後1年以上経過した者
トライアル		

5 競技ライセンスの取得資格

- 競技ライセンス取得申請を行う者は、次の要件をみたしていなければならぬ。
 - 日本にスポーツ国籍を有すること。
 - 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に3ヵ月以上継続的に居住した外国国籍の者が、その期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ当人が所属する国の代表機関の承諾書を受けていること。ただし、当人が所属する国の代表機関(FMN)からFIMインターナショナルライセンスの発給を受けており、かつFMNからの移籍許可を得て、MFJスポーツ委員会が認めた場合は、3ヵ月の居住証明は不要とする。
 - 過去6ヵ月以内に重大な刑法上の犯罪により処罰された者でないこと。
 - 種目による条件
 - モトクロス、トライアル、スノーモビル、エンデューロ、Lライセンス
 - 運転免許(小型特殊免許を除く・以下同じ)を受けていること。
 - 運転免許を受けていない9歳以上の者は競技ライセンス講習会の修了証(発行後6ヵ月以内のものに限る・以下同じ)を受けていること。
 - 運転免許を受けることのできる身体的要件を備えていること。



(2) ロードレース

- ① 運転免許を受けており、下記の要件を満たしていること。

ア. 国内B級ライセンス

MFJの公認するロードレース・国内B級ライセンス講習会の修了証を受けていること。またはMFJの公認するサーキットにおける3時間走行証明書を受けていること（走行券やカードは不可）。または国内C級ライセンスにて、公・承認ロードレース大会に2回以上の出走実績があること。または、公認・承認ロードレース競技会において、予選出走台数20台以上のレースで10台以内10台以上のレースで6位以内に入賞実績のあること（どちらか1回で可）。なお、有効実績は前年度（'90.11.1～'91.10.31）の大会からとする（MFJ指定の用紙で申請すること）。

イ. 国内C級ライセンス

MFJの公認するサーキットのライセンス講習会の修了証を受けていること。

サーキットライセンスを取得していること。

(3) ドラッグレース

運転免許を受けており、下記いずれかの要件を満たしていること。

- ① 日本ドラッグレース協会の行う講習会の修了証を受けていること。

- ② ロードレース国内C級以上のライセンスを取得していること。

(4) ピットクルー

16歳以上であること。

6 競技ライセンスの有効期間

1. MFJの発行するライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。

7 競技ライセンスの効力の失効等

1. 次の者のライセンスの効力は失効し、または停止される。

- 1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
- 2) 運転免許の効力を失った者、または停止されている者。
- 3) 氏名・年令等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
- 4) MFJの認めないモーターサイクル競技会に出場した者。
- 5) 前条の有効期限を経過し、継続申請をしなかった者。
- 6) MFJスポーツ委員会の裁定により、停止処分を受けた者（スポーツ委員会の定める期間）。

8 競技ライセンス資格の昇格および降格

1. 競技ライセンスの昇格および降格については、別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による（155頁参照）。

競技会

⑨ 競技参加者

1. MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。

1) エントラント

エントラントとは、MFJの特別会員である二輪車メーカー及び公認サーキット並びに賛助会員で「競技参加の申請」を行った団体または個人をいう。

2) ライダー

ライダーとは、次の者をいう。

(1) MFJ競技ライセンスを受けていること（効力の停止中の者を除く）。

ただし、満20歳未満の者は、親権者の承諾書を提出したものであること。

(2) 競技中またはその他の転倒事故等により負傷したライダーは、主催の指定する医師の競技参加の承諾を得ていること。

3) ピットクルー

ピットクルーとは、MFJピットクルーライセンスを所有している者で次の者をいう。

(1) メカニック

(2) ピットサインマン

(3) ヘルパー

2. 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの指示を求める事により、ライダーおよびピットクルーの資格要件を確かめることができ、もし本規則に違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

⑩ 競技参加者の遵守事項

1. 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。

1) 競技会中は、MFJ国内規則に従って行動し、参加者は、すべての行動に対して責任を持たなければならぬ。

2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では交通法規を守らねばならない。

3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、野卑な言動は厳に慎まなければならぬ。

4) 競技に関する業務についているときは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。

5) 競技会中は、参加するためのライセンスを必ず携帯していなければならぬ。

6) 競技会に参加することが認められた者が出場できない場合（競技現場での不参加

を含む)は、正当な理由をもって、その旨主催者に通告しなければならない。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、主催者は速やかにMFJスポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることが出来る。

2. 特にライダーは、上記のほか次の事項を守らなければならない。

- 1) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
- 2) 故意に他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
- 3) 競技中(公式練習も含む)は、他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
- 4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
- 5) 他の者の援助を一切受けてはならない。
他の者による援助とは、そのレースに参加しているライダー、決められた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の競技役員以外の者が車両に触ることをいう。
なお、援助に関する細部については、別に定める競技種目別細則による。
- 6) 競技中の車両には、いかなる者も同乗させてはならない。
- 7) ライダーは競技中、アルコール類、または薬品等(興奮剤、麻薬等)によって精神状態をつくろってはならない。

(11) ライダーの装備

1. ライダーの装備は、次のとおりとする。

- 1) ヘルメット
 - (1) ライダーは、コース(グリーンベルトを含む)にある間は、MFJが公認したヘルメットを装着しなければならない。
 - (2) MFJ公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていなければならぬ。
 - (3) MFJが公認するヘルメットの規格については、各競技種目別細則により定める。
なお、国際競技会においてはFIMで認められた各FMN規格のマークが前項のマークとみなされる。
 - (4) 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査が行われ、MFJが公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ライダーの安全上からその使用を禁止する。
 - (5) MFJ公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。
この場合は、別に定める特別検査料を支払わなければならない。
- 2) 服装
 - (1) ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであってはならない。
 - (2) その他細部については、各競技種目別細則により定める。

※ 注意事項

ロードレースのレーシングスーツについては、'92年から、MFJ公認のものでなければならない。

12 競技出場の申し込み

1. 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
 - 1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない(エントリー時で当該ライセンスを取得していること)。
 - 2) 主催者は、エントラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。
 - 3) 申し込み期間、申し込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
2. 競技出走者数または出場申し込み者数の定員は、大会特別規則に示される。
なお、出場申し込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスの競技会を中止することがある。

13 出場料およびMFJ共済会掛金

1. エントラントまたはライダーは、出場申し込みのとき、大会特別規則に明示する出場料を支払わなければならない。
2. ライダーは、出場申し込みのときMFJ共済会掛金を主催者に支払わなければならぬ。MFJ共済会については、別に定める規則による。
3. いたん主催者に受理された出場料および共済会掛金は、²⁵ 競技会の延期および中止等に合致する以外は払い戻されない。

14 競技

1. 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝競技出場者を決定することがある。その詳細については、各競技種目別細則および大会特別規則の定めるところによる。
2. スタートの方法はそれぞれの種目の細則および大会特別規則の定めるところによる。
3. 競技中競技役員が合図旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
4. 合図旗とその意味については、各競技種目別細則の定めるところによる。
5. 停止
 - 1) 競技中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないよう十分注意しなければならない。
 - 2) 競技中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
 - 3) 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ(中途退場)する場合は、その地点からもっとも近い競技役員(コース審判)に報告し、用意してある用紙によってリタイヤ届けを提出しなければならない。
 - 4) ライダーは、リタイヤ届けを提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
 - 5) ライダーは、停止車両をその競技が終了するまで、競技役員の管理下におかなければならぬ。ただし、その競技に支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員(コース審判)から指示された場合には、これに従わなければならない。
6. ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
7. 競技の終了
競技の終了は、チェックマーク旗によりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会

特別規則に示す時間を経過した時点である。

15 入賞

- 入賞者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。
また賞は主催者（大会事務局）から交付されるが、これの交付時間等詳細は大会特別規則により示される。

16 公式得点

- 公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点は、下記のとおりとし、この詳細は、別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」による。

(1) 全日本選手権および地方選手権競技会

順位	台数 25 以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1 位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2 位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3 位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
4 位	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13		
5 位	11	11	11	11	11	11	11	11	11			
6 位	10	10	10	10	10	10	10	10				
7 位	9	9	9	9	9	9						
8 位	8	8	8	8	8							
9 位	7	7	7	7								
10 位	6	6	6									
11 位	5	5										
12 位	4	4										
13 位	3											
14 位	2											
15 位	1											

順位	台数 12以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1 位	10	10	10	10	10	不成立
2 位	8	8	8	8	8	
3 位	6	6	6	6	6	
4 位	5	5	5	5		
5 位	4	4	4			
6 位	3					

17 出場車両

- 競技に出場する車両のクラス区分等は、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 車両は細則に示す「車両改造限度」と「総合仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
- 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。

18 MFJ公認車両および公認部品・用品

- MFJ公認車両および公認部品・用品については、「MFJ車両・部品公認ならびに承認に関する規則」の定めるところによる。
なお、公認された車両および部品・用品については、MFJの発行するライティング誌、その他により公示される。

2. 公認の発効は、車両、タイヤ、部品についてはMFJ技術委員会において審査し、公認された日の翌月の対応日（対応日がない場合は前日）または、発売日の翌月（ロードレースの一般市販車は2ヵ月後）の対応日としヘルメット、レーシングスーツは、公認された日からとする。
3. 車両は、当該競技会出場申し込みの時点で公認が発効されている車両でなければ出場申し込みをすることができない。ただし、大会当日に公認が発効される車両にあっては、大会事務局長に車両変更申請を行って競技に使用することができる。

19 燃料およびオイル

1. 競技に使用する燃料は、一般市販ガソリン（民間航空機用の市販ガソリンでも可）でなければならない。供給ガソリンの製造メーカーおよびその他の詳細は公式通知に示される。なお、ロードレースに使用するガソリンについては、ロードレース競技規則の定めるところによる。
2. オイルの製造メーカーは指定しない。
3. その他燃料については、次のとおりとする。
 - 1) ガソリンおよびオイルには、オクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。
 - 2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。また主催者より作業場所の指定がある場合は、必ずその指示に従わなければならない。
 - 3) ガソリンおよびオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法により定められているところによる。

20 車両検査

1. 競技車両は、本規則および各競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
2. 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない（スタート前チェック）。チェックの時刻およびチェックの場所は、公式通知により示される。
3. ライダーが車両仕様申告を行う場合は、車両検査時に大会事務局より配布された車両仕様書をもって申請することができる。

21 ライダーおよび車両の変更

1. エントリーされたライダーの変更是認められない。
2. 登録された車両の変更是、原則として認められない。変更する必要が生じた場合は、所定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。
車両変更手数料は5,000円とする。
 - 1) 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびクランクケースなどを交換する必要が生じた場合は、競技監督に申告し、元の部品を提示して、許可を受けなければならない。
 - 2) 紛争に際して製造メーカーについての立証の責任は、参加者側にあるものとする。

22 優勝者等の決定

1. 優勝者、入賞者および完走者の定義については、それぞれの種目の細則の定めると

ころによる。

23 入賞者の車両検査

- 競技終了後、原則として1位から6位までの車両は、レース終了後、ただちに車両保管区域に確保され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 保管車両は、必要に応じて検査される。
- その他、種目別細則ならびに大会特別規則による。

24 競技結果および記録の公表

- 競技終了後、暫定結果の公表を行う。
- 競技の正式結果は、暫定結果発表後3時間以内に公表される。
- 参加者は、公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

25 競技会の延期および中止等

- 競技は、天候・異変その他安全確保に支障をきたすおそれ等、特別の理由がある場合にかぎり、競技の一部を打ち切りまたは中止することができる。
- 前項の判断決定は、大会審査委員会が行う。
- すべての関係者は、大会審査委員会の決定した競技の一部打ち切りまたは中止に従わなければならない。
- 特にやむを得ない理由によって、トップ走者が、その競技に決められた周回数（または時間）の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効とする。
※ 全日本ロードレース選手権は、細則1の【⑯レース停止と再スタート】(60頁)の定めるところによる。
- トップ走者が決められた周回数（または時間）の3分の2以上を完走して競技を打ち切った場合は、大会審査委員会は、その競技の判定結果にその理由を付して発表するものとする。
※ 全日本ロードレース選手権は、細則1の【⑯レース停止と再スタート】の定めるところによる。
- 競技の中止と出場料等の返却は、下記表のとおりとする。参加者は、その他いっさいの損害賠償を主催者に請求することはできない。

区分 競技会の不成立	出 場 料 MFJ共済会掛金	返却・不返却	備 考
完全 不成立	出 場 料	○	出走不可能
	掛 金	○	
条件付 成 立	出 場 料	×	決勝において、所定の2/3以上経過して中止
	掛 金	×	
決 勝 不 成立	出 場 料	決勝進出者のみ○	決勝時に出走不可能
	掛 金	×	

注1. ○は返却する。×は返却しない。

2. 競技の成立・不成立の、クラス単位に判断する。

- 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、何人も抗議することはできない。

26 抗議

- 抗議は、暫定結果発表後30分以内にライダー及びエントラントだけが行うことができる。抗議しようとするときの手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。
 - 大会事務局に備えつけられた抗議申し立て書に記載し、1項ごとに抗議保証金を

添えて大会事務局に提出すること。

- 2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
- 3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定を下すものとする。
- 4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
- 5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。
抗議保証金は、1項目につき10,000円とする。

27 損害に対する責任

1. 競技中、車両およびその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。

車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額として、その所有者に補償する。

2. 競技会開催期間中、またはその前後に起こされた傷害は、参加者自ら責任を負うものとする。
3. 競技役員は、その職務に最善をつくすが、仮りに競技役員の行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいっさいの責任を負わない。

28 大会審査委員会の権限

1. 大会審査委員会は、本規則ならびにその細則に基づき、当該競技会において最終的な権限を行使することができる。

29 違反行為に対する罰則

1. 大会中（競技中も含む）における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で下記の罰則を科すことができる。

- 1) 注意処分（口頭による注意または文書による注意）
- 2) 敬重戒告（戒告通知を受けたものは始末書提出）
- 3) 罰金（10,000円以上50,000円以下）
- 4) 競技結果に対する1分以内の加算
- 5) 競技結果に対する1分以上の加算、または1周以上の減算
- 6) 退場
- 7) 失格

違反の事実認定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑ならびに適用は、大会審査委員会の決定によるものとする。

2. ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、MFJスポーツ委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止までおよびかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

附 則

1. 本規則は、1992年1月1日から施行する。

アライは、安全に特別仕様はないと考えています。

スーパーμのスーパーCLc帽体は、中綿、マンセルのヘルメットとまったく同じ素材と成型方法で生み出されています。

写真の左は、F-1パイロット中綿がかかるべつてヘルメットの帽体内部。右は新しいスーパーμに使用されている帽体のものです。ちょっと見にくいけれど、表示スペックに

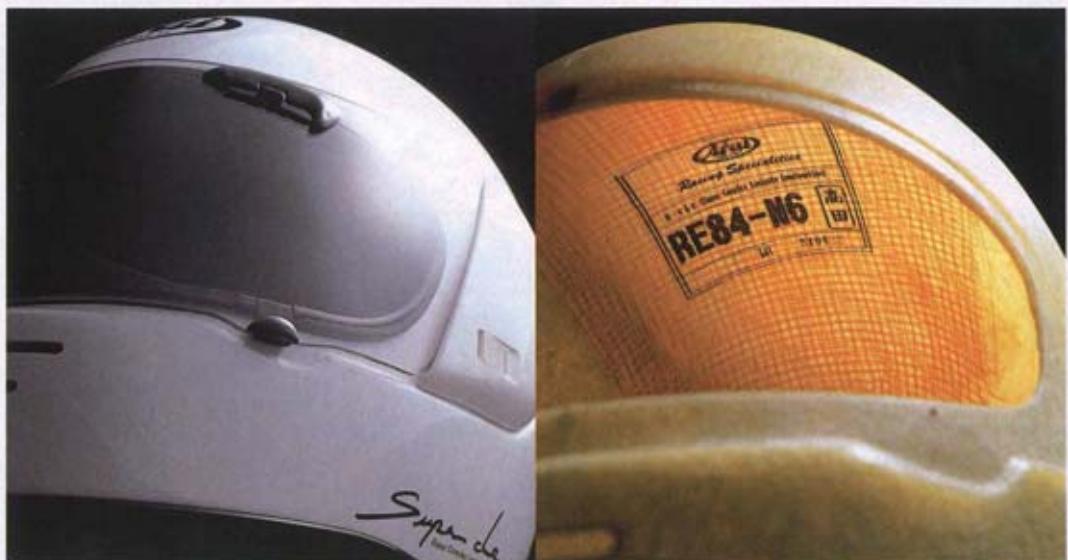


注目して欲しい。左はセンター枠内に、P82-S8R、その上に小さくS-CLc(Super Complex Laminate Construction)と表示されています。



S-CLcという表示は、スーパーCLc構造で、片念に成型されたことを表しています。

同じように右は、RE84-N6、同じくS-CLcと表示されています。これは、F-1用とまったく同じスーパーCLc構造で成型された帽体であることを証明しています。次に、写真の下側にあたる5ケタの数字の書き入れは、成型部門のスタッフにより厚みを検証したというマーク。左側のOKは、検査部門で厚みを再度チェックされ、それにも合格したことです。このようにアライでは、F-1用も市販用もまったく区別することなく、同じ工程により製造されています。人を守るためにヘルメットには、特別仕様などないとアライは考えているからです。



最後に注目して欲しいのは、赤い数字。F-1用は730、スーパーμは700と書き込まれています。これは帽体の総重量を表しています。スーパーμは、F-1で実証されたテクノロジーがそのまま活かされた、世界で最も強く、しかも軽いヘルメットなのです。



Super-μ

RAPIDE[mju:]

●機種名: Super μ(スーパー・エー) ●帽体: Super CLc(スーパー・コンプレックス・ラミネート・コンストラクション)

●価格: 25,000円 ●内装: システム・バイオ標準装備 ●色: 白、メタリック、黒 ●シールド: アジスクリップ

標準装備 ●サイズ: (S)-54, (M)-56, (L)-58, (XL)-60, (XXL)-62 ●価格: ¥38,000(消費税は含まれていません)

アライ製品についたては、品質管理課までお問い合わせください。

直通TEL (048)645-3661 業務会社 アライヘルメット 幸三郎

埼玉県大宮市東町2-12 TEL (048)641-3835~7



レースにつきる。



RACING SLICK 600

●TUBELESS (FRONT)

SIZE	コンパウンド	外径	絶幅	推奨	推	奥	希望小売
U S M H				リム	空気圧	価格(円)	
80/595-18	● ● ●	593	80	1.85	1.6	10,800	
85/575-17	● ● ●	575	85	2.12	1.7	11,100	
120/600-17	● ● ●	602	121	3.88	2.0	14,000	
120/595R17	● ● ●	595	120	3.99	2.1	20,600	

●TUBELESS (REAR)

SIZE	コンパウンド	外径	絶幅	推奨	推	奥	希望小売
U S M H				リム	空気圧	価格(円)	
90/600-18	● ● ●	600	89	2.15	1.7	11,200	
100/575R17	● ● ●	575	105	3.00	1.9	15,400	
110/600-17	● ● ●	602	121	3.88	2.0	14,300	
120/625R17	● ● ●	625	160	5.99	2.3	23,800	
130/630R18	● ● ●	631	150	4.50	2.3	23,000	

●はラジアルです。 *Uはウルトラソフト、Sはソフト、Mはミディアム、Hはハードです。

RACING RAIN 610

●TUBELESS (FRONT)

SIZE	コンパウンド	外径	絶幅	推奨	推	奥	希望小売
U S M H				リム	空気圧	価格(円)	
85/570-17	●	568	85	2.12	1.6	10,800	
80/595-18	●	593	80	1.85	1.6	10,800	
110/600-17	●	603	110	3.00	1.9	14,300	
120/605-17	●	605	121	3.88	2.0	14,500	

●TUBELESS (REAR)

SIZE	コンパウンド	外径	絶幅	推奨	推	奥	希望小売
U S M H				リム	空気圧	価格(円)	
100/580-17	●	581	100	3.68	1.7	13,000	
90/600-18	●	600	89	2.15	1.7	11,200	
150/600-17	●	602	150	4.50	2.2	16,400	
160/625R17	●	628	160	5.99	2.3	23,800	
150/630R18	●	631	150	4.50	2.3	23,000	

*Uはウルトラソフト、Sはソフト、Mはミディアム、Hはハードです。

HIGH PERFORMANCE MC "RADIALS" FROM MOTOSPORT

GETTIR

DUCATI

ニューカラー登場
メタリックブラック
黒の存在感



快感進化。優越の900SS。

鋭敏な感性を身に付け、常に自らを高めてゆく。スーパースポーツの頂点に立ち止まるのではなく、さらなる上を目指し続けることがこのモーターサイクルに課せられた使命である。ライバルたちにとって指標となり、規準となる総合性能の高さは当然のこととして、美しいライディングの創造に向けての改良も決して停止することはない。空油冷デスモドロミックOHC L型ツインエンジンと高効率オイルクーラーを誇るに見せるハーフカウル仕様。空気を切り裂く挑戦的フォルムのフルカウル仕様。ニューカラー「メタリックブラック」を投入、そしてタンデム走行にもスマートに対応する2ウェイシートカウルを新採用し、いま快感シフトアップ。



New 900 Super Sport

●OHC空油冷L型2気筒デスモドロミックバルブシステム
●最大出力73ps/7,000rpm(床盤) ●前立フロントディスク+ダンピングアジャスター&オジシャルブリーラード
●リアディスクブレーキ+プロテクションアサスペーンジ ●クロムモリブデン鋼ラティスピレーム ●5速ミッション ●フロートイシングタイプフロントダブルディスク ●タイヤ120/70 ZR17
(F)-170/60ZR17(F) ●ホディカラーはブラックまたはレッド

ハーフカウルバージョン ¥1,670,000

フルカウルバージョン ¥1,710,000



杜尚モータースがお届けするドゥカティには
デール神に七宝藝術による
メタリックワックス仕上げが付いています。



DUCATI レザースタジアムジャンパー DUCATI ブラックレザーブルゾン DUCATI スタジアムジャンパー
¥75,000 ● M,L,XL ● 赤/白 ¥63,000 ● M,L ● 黒 ¥69,800 ● M,L ● 赤/白



杜尚日本総代理店

杜尚モータース

本社：東京都葛飾区鎌塚2丁目6番3号 TEL:03-3378-0181 代

八王子営業所：八王子市宇津木町728-1 TEL:0426-91-6511 代

横浜営業所：横浜市港南区日野8-1-2 TEL:045-841-0181 代

○定休日：毎週金曜日・第2,第4土曜・祝祭日

○記載の車両価格は東京店頭渡し標準現金価格です。この価格には保険料・税金・消費税などに伴う諸費用は含まれていません。また為替変動等により、予告なく変更される場合があります。

SECRETARE'

S
100%
ORIGINAL RACING SUIT



RF-888PFE
¥220,000



MFR-901 ¥118,000
肩エアインテーク・
ソデ下シャーリング
標準装備

MFJ公認 (MFR-912は申請中)

MFR-912 ¥168,000 肩エアインテーク
・ソデ下シャーリング標準装備

配色自由自在

スーツはすべてのパターンがカラーフリーです。21色の中からお好きな色をどうぞ。(RF-888PFEはホワイト・ブルーベースのみ。)



RF-888 ¥79,000



SGF-91
¥18,000
M, L
ホワイト
吸汗/ハット入り



SG-2R ¥9,900
S, M, L
ホワイト×蛍光レッド×ブルック、ホワイト×ガンメタ×シルバー、ホワイト×スカイブルー×ブルー



SB-2R ¥19,800
センサー付 ¥21,800
24.5~27.5cm ホワイト、レッド、ブルー、ブラック
★シャーリング部カラーチェンジ ¥3,000UP

色見本

*はオプションカラーです。

- *電光レッド
- *電光イエロー
- *電光ピンク
- *電光グリーン
- *電光オレンジ
- *ハーモントホワイト
- *シルバー
- *ガンメタ
- *ゴールド
- ホワイト
- パープル
- レッド
- ブラック
- ピンク
- グレー
- イエロー
- ペパーミントグリーン
- ネイビー
- ブルー
- スカイブルー
- グリーン

最強実戦仕様を標準装備!

●標準装備内容●

■パッド/肩、ヒザ、腰、セキツイ、スネ、ヒザ
ブラカップ裏(セキツイのみ)10mm厚、他は5mm厚
のプリマストン特殊衝撃吸収パッド使用) ■シ
ャーリング/腰、ヒザ ■パンチメッシュ/ワキ
ニット/ヒジ内側、クラハギ ■ベンチレー
ター/背面両サイド ■パンクセンサー

●オプション装備●

肩エアインテーク(5,000円)・ソデ下シャーリング
(10,000円)・前面パンチメッシュ加工(10,000円)
・ネーム文字(1文字500~800円)

*当社のスーツ、グラブ、ブーツの縫製に使用し
ているすべての糸には、製品の安全性・耐久性を
一層向上させるため、一般の糸に比べて耐摩耗性、
引っ張り強度が格段に強く、紫外線にさらされた
り濡れたりしても強度が落ちないボンド加工を施
しています。

★価格はすべて消費税込みです。

通信販売・クレジットについて

- お気軽にお電話下さい。在庫、サイズ、
カラー、オーダー、オプションの有無を
確認させていただきます。
- クレジットご希望の方は、用紙をお送
り致します。まずはお問い合わせ。

セクレテール

Tel 03-3714-0533

Fax 03-3712-7645

〒152 東京都目黒区本町6-21-15
OPEN/AW10:00~PM6:30 日曜定休



電車利用の場合はJR山手線、目黒駅より「大岡山
小学校行き」バスで「第七中学校前」下車、歩5分。

レーシングスーツ サイズ表

	S	AS	YM	M	AM	YL	L
身長	158~163	158~163	164~169	164~169	164~168	169~173	169~173
体重	45~50	51~55	45~50	51~55	56~60	51~55	56~60
B	85~90	88~93	85~90	88~93	91~96	88~93	91~96
W	67~71	69~74	67~71	69~74	73~77	69~74	73~77
H	85~90	88~93	85~90	88~93	91~96	88~93	91~96
AL	169~173	174~178	174~178	174~178	179~183	175~183	175~183
YL	169~173	174~178	174~178	174~178	179~183	175~183	175~183
LL	169~173	174~178	174~178	174~178	179~183	175~183	175~183
ALL	169~173	174~178	174~178	174~178	179~183	175~183	175~183
YXL	169~173	174~178	174~178	174~178	179~183	175~183	175~183
XL	169~173	174~178	174~178	174~178	179~183	175~183	175~183

*ALL・YXL・XLは¥5,000UP/サイズオーダーは¥30,000UP

ジュニアサイズ スーツあります。

RIDER'Sビッグ保障プラン

1 無配当新定期保険(災害入院特約・疾病入院・手術特約付) 万一の死亡はもとより、入院・手術まで保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日数×(入院日数-4)) (1入院 120分程度)	災害で入院を開始し5日以上の継続入院のとき	日額 5,000円
	病気で5日以上の継続入院のとき	
手術給付金 (手術に際して入院日数の50・30・15倍)	病気や災害で所定の手術を受けた場合	25・15・7.5万円
死亡保険金	災害で死亡された場合	500万円
	病気で死亡された場合	

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	2,495円	2,180円
30才	2,650円	2,440円
40才	3,540円	3,005円

- 契約年齢は5歳~60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳さまで異なります。

RIDERSビッグ保障プランは、ほとんどすべての不慮の事故・病気を安い保険料で幅広く保障いたします。

RIDER'Sビック・保障プラン Q&A

Q.1 趣味としてモーターサイクル・スポーツを楽しんでいます。 万一の場合の保障は?

この保険はロードレース・モトクロス・トライアル・スノーモビルなど、趣味で楽しむモーターサイクル・スポーツ中(練習中や予選・決勝も対象)はもと論、一般的な交通事故・傷害/災害事故・仕事中の労災事故、また病気やガンまでオールマイティーに保障いたします。

保障内容は、死亡の場合は【死亡保険金】、入院された場合は【入院給付金】、手術された場合は【手術給付金】をお支払いします。さらに医療保険には【看護給付金】もお支払いします。詳しくは資料・パンフレットをご参照ください。

*参考まで、一般的な傷害保険(損害保険会社が取扱う交通事故傷害保険・普通傷害保険など)は「危険なスポーツでの傷害事故は免費(適用除外)」と約款(契約上の取り決め)で定められていて全く保障されません。ご注意ください。

Q.2 通院や自宅療養のときは保障してくれますか?

残念ながら、通院や自宅療養は保障の対象ではありません。

人間ドック等、検査を目的とする入院も保障の対象外です。

このプランは、オールマイティ(広範囲な保障)と加入しやすい《割安な保険料》というニーズを優先し、最低限必要なものだけにスポットをあて、保険を設定いたしましたので、あしからず。まさにMFJメンバーの為の保険です。

Q.3 現在、ケガで通院しています。加入出来ますか?

残念ですが、契約できません。契約する時点が「健康な方」という条件がありますので、しっかりとケガを治したあとにお申込みください。

なお、医師(はり・整骨医等)の指導や指示を受け服薬中の方、リハビリ中の方、障害などで定期検査を指示されている方、また妊娠中の女性の方も同様に契約出来ません。また、ご職業・既往症などによっても契約が出来ない場合もありますので、お問合せください。

「備えあれば、憂いなし」ということわざがありますが、ぜひ保険もバーツの1つと考え、健康なときに加入する事をおすすめします。

お問い合わせ・資料請求について

お問い合わせ・資料請求は下記のテレフォンセンターまたはおハガキでどうぞ。

詳しい案内書・申込書をお送りいたします。
受付時間 AM9:00~PM5:00(月~金)

☎ 03(3865)8426 保険事務局直通

☎ 03(3407)6211 日本団体生命保険株式会社

*日本モーターサイクルスポーツ協会担当へお問い合わせ下さい。

2 医療保険(無配当・ガン倍額支払特約付)

入院・看護・手術まで医療費点の幅広い保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日数×(入院日数-4)) (1入院 120分程度)	災害で入院を開始し5日以上の継続入院のとき	日額 5,000円
	病気で5日以上の継続入院のとき	
手術給付金 (手術に際して入院日数の50・30・15倍)	病気や災害で所定の手術を受けた場合	25・15・7.5万円
	看護給付金 (入院日数×看護日数) (1看護 120分程度)	
死亡保険金	災害で死亡された場合	500万円
	病気で死亡された場合	

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	1,765円	1,735円
30才	1,980円	1,950円
40才	2,435円	2,375円

- 契約年齢は5歳~60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳さまで異なります。

Q.4 入院した場合の保障期間と給付金は?

1事故ないし1入院のケガ・病気に対する給付金のお支払い・対象期間120日間。通算してそれぞれ700日間。つまりケガ・病気を合計して1400日間(10年の保険期間)も保障します。なお、保険種類によって算出方法が異なります。

無配当新定期保険

お支払い給付金=5,000円×(入院日数-4日)

医療保険

お支払い給付金=5,000円×入院日数

(ただし、ケガは5日、病気8日以上の継続入院です。)

Q.5 申込締切日と保障開始日? 保険料とその払込方法は?

締切日は毎月1日。保障の開始日は翌々月の1日。

保険料は契約時の年齢別保険料が10年間(保険期間)にわたり適用となります。保険料のお支払いは第1回目から安心確実な銀行自動振替です。

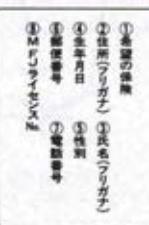
つまり、正式申込みから契約・保険料が振替・保障開始となるまで約3ヶ月の手続期間を必要としますので計画的にお申込みください。

なお、年齢が若ければ保険料が割安です。早めに資料を請求ください。

Q.6 ライセンスを継続しないその後の事。また保険の請求方法は?

このプランは、日本モーターサイクル協会に登録された皆様に、一般に契約するよりも割安な集団割引保険料、そして幅広い保障の保険をおとどける任意保険制度です。ライセンス未継続のOBの方もメンバーズ・サービスとして、そのまま自動継続(10年単位で自動更新)いたしますのでご安心ください。保険料も同額で口座自動振替と変わりありません。

なお、保険金・給付金の請求のほか、住所・銀行口座の変更・解約などの手続きは、MFJ保険事務局または最寄りの日本団体生命保険の本店・各営業所までご連絡ください。所定の手続きの方法をご案内します。



- 無配当新定期保険・医療保険のいずれか一方をお選びください。
- ご契約の際には「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
- ご職業・既往症などによっては契約が出来ない場合があります。
- このプランは満期金や配当金がない掛け捨て型の生命保険です。

引受保険会社 日本団体生命保険



WGPからNBまで絶大なる信頼を誇る、
サーキットの定番。

Castrol
A747

TZ・RS・TLM指定オイル
2サイクル混合用レース専用オイル
SAE:50
化学合成油・植物油の混合油

神話となった
レーシングオイルの決定版。



Castrol

R30
2サイクル混合用・
4サイクルレース専用オイル
SAE:30
植物油

BMWとの
共同開発で生まれたオイル。



Castrol

B353
4サイクルレース専用オイル
SAE:40
化学合成油・植物油の混合油



エキスパートの極限の走りに応えるオイル。

Castrol

New Formula TTS

トライアル車に特におすすめ。ロードレース、
モトクロスにも最適です。公道でも使用できます。
2サイクル分離・混合両用
SAE:30
化学合成油

モータースポーツ用高性能オイル。 スポーツエンジンに最強最善の
RS15W-50SG、新登場。



Castrol

SYNTRON EXTRA
ロードレース2サイクルミッション
オイルにも最適。公道でも使用
できます。
4サイクルレース用オイル
API:SG-CD
SAE:5W-50
化学合成油

苛酷なブレーキングを支える
高沸点レース専用ブレーキフルード。



Castrol

Racing Brake Fluid
レース専用ブレーキフルード
ドライ沸点290°C
ウェット沸点150°C



Castrol

Neues Formular RS
モータースポーツ用高性能オイ
ル。ロードレース2サイクルミッショ
ンオイルにも最適。公道でも使用
できます。
4サイクル・エンジンオイル
API:SG SAE:15W-50
化学合成油

レースにおける極限の
ブレーキングに応える、モータースポーツ用。



Castrol

for MOTOR SPORTS uses DOT5
公道でも使用できます。
レース用ブレーキフルード
ドライ沸点270°C
ウェット沸点185°C

2つを混ぜ合わせて粘度を自由設定。



Castrol

SUPER FORK OIL Light
SUPER FORK OIL Medium
耐摩耗・耐腐食・泡立ち防止にすぐれています。
2輪車フロントフォークまたはダンパー用
オイル
Light(ライト) SAE:5W
Medium(ミディアム) SAE:15W-30

■フォークオイル一般的な粘度目安	
市販ロードバイク	5W~10W
市販MX・オフロードバイク	10W~15W
市販MX・オフロードバイク(最高±24度の場合)	5W
ロードレーサー	10W~20

粘度目安	混合比
SAE5Wの場合	ライト:10W
SAE10Wの場合	3:1
SAE15Wの場合	1:1
SAE20の場合	1:3
SAE30の場合	0:1

栄光の結晶、カストロール。



Castrol

- 使用車の取扱い説明書及び缶の裏側の説明に従ってお使いください。
- お求めは全国の2輪販売店及びカーショップでどうぞ。
- 本社様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
- カストロール株式会社〒102 東京都千代田区麹町3-1 泉屋ビル TEL03-3285-8101㈹

ロードレース

ROAD RACE

▼細則1 ロードレース競技細則

1. 適用の範囲	52
2. ロードレース	52
3. レース出場車両	52
4. 合図旗および合図	52
5. 参加資格	53
6. 出場申し込み	53
7. 参加受理	53
8. ゼッケンナンバー	54
9. ライダーの装備	54
10. 出場受付け	55
11. 出場車両の変更	55
12. 車両および装備の検査	55
13. 公式予選（オフィシャルプラクティス）	55
14. 決勝レース出場台数	56
15. スタートの方法	56
16. スタートにおける反則	58
17. レース	59
18. 停車指示	60
19. レースの停止と再スタート	60
20. リタイヤ（棄権）と停止	61
21. レース終了	61
22. 優勝者、入賞者順位、完走者および得点	61
23. レース終了後の車両の保管と再検査	62
24. レースおよび大会の延期・中止等	62
25. 抗議	62
26. 違反に対する罰則	62
27. 本規則の解釈	62
28. 本規則の施行	62

▼細則2 '92全日本選手権大会特別規則

1. 公示	63
2. 開催種目と競技会の日程	63
3. 追加のクラス	63
4. コース	63

5. 大会審査委員会	63
6. 参加定員	63
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	63
8. ピット要員	64
9. スポーツ走行	64
10. レース当日の練習走行	64
11. ゼッケンナンバー	64
12. 車両の変更	64
13. 公式予選	64
14. タイムキーピングシステム	64
15. スターティンググリッド	64
16. レース距離	65
17. 賞および得点	65
18. 主催者の権限	65
19. 本規則の施行	65
'92全日本ロードレース選手権の開催日程	66
世界選手権競技会	

▼細則3 '92スーパーカップ選手権大会特別規則

1. 公示	67
2. 開催種目と競技会の日程	67
3. 追加のクラス	67
4. 選手権	67
5. コース	67
6. 大会審査委員会	67
7. 参加定員	68
8. 出場料およびMFJ共済会掛金	68
9. ピット要員	68
10. ゼッケンナンバー	68
11. 車両の変更	68
12. 公式予選	68
13. タイムキーピングシステム	68
14. スターティンググリッド	68
15. 賞および得点	68
16. 主催者の権限	69
17. 本規則の施行	69

ロードレース 競技細則

① 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則にもとづき、すべての国内のロードレース競技会に適用される（世界選手権を除く）。

② ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットで行われるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。

耐久レースは特別規則による。

③ レース出場車両

1. 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
2. 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。
3. Tカーは全日本選手権およびスーパーカップ選手権のみ認められる。

④ 合図旗および合図

1. 公式練習、予選および決勝レース中は、右記の合図旗が使用される。
 - 1) 寸法
 - シグナル用旗 60×80cm (最小限)
 - 赤旗 60×100cm
 - 2) コントロールラインで使用される旗
 - シグナルまたは国旗……………レース・スタート
 - 白黒チェック旗……………レース終了
 - 赤旗……………レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意をもってそれぞれのピットに復帰。赤旗はサーキットを閉鎖する場合にも用いられる。
 - 黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……………示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーは次のラップでピット停止。
 - 3) 各コーナーポストで使用される旗
 - 黄旗……………危険！
 - 静止……………追い越し禁止。
 - 振る……………減速、停止準備、追い越し禁止。
 - 赤色ストライプ付きの黄旗……………コース表面滑りやすい。
 - 赤旗……………レース停止。コントロールライン上で赤旗が出されたらすぐ

にかかる。

・緑旗…………コースクリア。

・白旗…………コース上に徐行している介入車両あり。

静止：1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり。

振る：直前に徐行中の介入車両あり。

・青旗…………追い越しシグナル。1台またはそれ以上の高速マシンが貴方を追い越そうとしている。

静止…………間もなく追い越される。

振る…………追い越される寸前。

・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用…………示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーはピット停止。

4) ライトによるシグナル

スタートの際、国旗の代わりに、赤、黄、緑のライト・シグナルを用いることができる。旗によるサインの代わりに、ライトによるシグナルを使うことができる。

・黄色燈の点滅1、2個 黄旗と同意味。

・緑色燈 緑旗と同意味。

・赤色燈 赤旗と同意味、競技監督が使用。

ライトによるシグナルは、特に夜に行われるレースに使用しなければならない。

5 参加資格

1. エントラントおよびライダー

エントラントおよびライダーは、1992年度版MFJ国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(36頁)に合致していなければならない。

6 出場申し込み

1) 出場申し込み場所は、大会特別規則の定めるところとする。

2) 出場申し込み手続き

(1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。

(2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に申し込み書を提出しなければならない。

(3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り日当日の消印のあるものまでが有効となる。

(4) 電話による申し込みおよび締切り日以後の申し込みはいっさい受けない。

7 参加受理

1) 必要事項を記入した出場申し込み書、金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。

2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。

3) 大会が取りやめになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される（申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない。）

8 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色分けで記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくくと判断された場合には修正が要求される。

9 ライダーの装備

1. ヘルメット
 - 1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならぬ。
 - 2) MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付される。
 - 3) 競技会の車両検査受け時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
 - 4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料（1,000円）を支払い、特別に検査を受けなければならぬ。

2. ライダーの服装

- 1) レーシングスーツ
 - ① 革もしくは革と同等の素材（MFJの許可を得たもの）であり、MFJの公認したものでなければならない。
 - ② MFJが公認したレーシングスーツには、公認マークが貼付される。
 - ③ 競技会の車両検査受け時にレーシングスーツの検査が行われ、合格しなかつた場合はライダー本人の安全上使用を禁止する。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならぬ。

2) ブーツ・グローブ

革もしくは革と同等の素材（MFJの許可を得たもの）であり、フックなどが外部に突出していないものでなければならない。

3) 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

10 出場受付け

- 1) 出場受付けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

11 出場車両の変更

- 1) 車両の変更是国内競技規則・第3章〔②ライダーおよび車両の変更〕(40頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

12 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済まさなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車両検査時持込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られ、全日本選手権とスーパーカップ選手権は2台までとする(Tカーは同一メーカー車に限る)。
- 5) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 6) 予選を通過した車両全車に対し、音量測定を行う。
- 7) 主催者は、大会期間中、必要に応じて隨時車両検査を行うことがある。

13 公式予選(オフィシャルプラクティス)

1. 公式予選

- 1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
- 2) 公式予選の日程および時間は、特別規則に示される。
- 3) 公式予選は、タイムトライアル方式とレース方式がある。

2. 公式予選の内容

- 1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
- 2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全上のチェックがなされた後にスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、または再スタートができる。
- 3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、ベストラップタイムがはなはだしく劣るものは、たとえ定員内であってもレース出場資格を与えられない場合がある。
- 4) 公式予選において測定される各ライダーのベストラップタイムにより、大会特別規則に示されるレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。ベストラップタイムが同じ場合は、その次のラップタイムの順位による。

ロードレース競技細則

- 5) 各クラスの公式予選義務周回数は、特別規則に示される。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- 6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
- 7) (1) 予選が複数の組にわかれて行われる場合、総合タイム順によって決定する場合と組ごとの順位により決定する場合がある。総合タイム順であっても天候の変化等により、競技監督が組ごとに路面状態に大幅な差異が生じたと判断した場合は、総合タイム順ではなく、各組ごとのタイム順により決定する。各組ごとのタイム順で決定した場合のグリットは予選組を交互に振りわける。(単純にA組・B組交互に……)。
(2) 天候等によって競技監督がイコールコンディションではないと判断した場合において予選組の数によって端数が出てしまう場合の優先順位の付け方(ウェイティングの優先順位も同様)
例:グリッド数30台予選4組
① 各予選組上位7台で28台を選抜する。
② 残りの2台を4組のなかから選抜するには………
 - ・各予選組のトップのタイムと8位のタイムの比較をする。
 - ・各組の8位同士の比較でその差の少ないものから順に2名を決定する。
- 8) (1) 最終的な予選選出方法とスタートティンググリッドは大会審査委員会の決定による。
(2) グリットは各組交互に振りわける(組ごとのタイム比較はしない)。
3. 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届け出なければならない。
4. レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがあった場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
5. ウエイティング(繰り上げ出場)の方法
 - 1) 予選結果発表後1時間以内にウエイティングの願い書を提出する。
 - 2) 願い書提出者のうち上位3名のものは、全装備にてスタート前チェックを済ませコースインゲートにて待機する。
 - 3) スタート前チェック終了時点でリタイヤがない場合は出走は不可となる。

14 決勝レース出場台数

1. 決勝レース出場台数は、各サーキットごとに定められ、特別規則に示される。

15 スタート方法

1. レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく、公式予選の結果によって決定される。
2. スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類がある。
 - (1) 押しがけスタート
 - (2) クラッチスタート
 - (3) ルマン式スタート(耐久)
3. スタート位置は、すべてのライダーが正規のスタートラインからなされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。

1) スタート約30分前

(1) ライダーは、マシンとともにコース外のウェイティングエリアに待機する。

2) スタート15分前(サイティングラップ)

(1) ライダーはコースに出て1周のサイティングラップを行う。サイティングラップを開始してから5分間でピットロードの出口を閉鎖する。この5分間はピットロード出口にて1分ごとのカウントダウンとホーンにて示す。

(2) サイディングラップを走らなかったライダーはサイディングラップを終了したライダーがグリッドについてからオフィシャルの指示にしたがって定められたグリッドにつくことが出来る(サイディングラップ完了後からウォーミングアップスタート5分前ボードが提示されるまで)。いずれの場合もウォーミングアップラップを回って正規のグリッドに着けることができる。

(3) 注意事項

① コースに入った後の車両交換、追加給油は厳禁される。

② 車両の修理は、ピットレーンのみで許可される。

③ タイヤの交換はピットレーン、スタートインググリッドの双方で許可される。

3) ウォーミングアップラップスタート5分前

① 5分前ボード：カウントダウン開始

② 3分前ボード：ライダー、ライダー1名につき2名のメカニックと1名の傘持ち以外の全員がグリッドを離れる。

③ 1分前ボードとイエローフラッグ：各ライダーごとに1名のメカニック以外の全員がグリッドを離れる。

④ 30秒前ボードとエンジン始動ボード：メカニックによって補助されたライダーはマシンを押してエンジンを始動する。エンジンが始動したらマシンを所定の位置に移動しメカニックはグリッドから退去する。この時ライダーがエンジンをかけられない場合はマシンをコースサイドに移動し、このライダーはエンジンを始動し最後尾からウォーミングアップラップを走る。

さらにかからなかった場合マシンをピットレーンまで押してピットからディレイド・スタートする。

⑤ ウォーミングアップラップの時は、ライダーは自分のスタートイングポジションをキープしなくてはならない。

4) スタート

1) グリッドに戻ったライダーは、エンジンを掛けたままの状態で、自分のグリッドポジションで静止する。

2) もし、マシン等に問題があった場合は、このライダーはすみやかにピットに戻らなくてはならない。

3) スタートを遅らせることを意図して、ライダーが、グリッドにつくことは禁止される。もし、ライダーが遅れてグリッドに戻ってきて、既にレッドライトが表示されている事に気がついたら、このライダーはゆっくりとしたスピードでピットに向かわなければならない。そしてこのライダーは、ピットからディレイド・スタート(遅れてスタートすること)する。

4) スタートライン上、コースの中央地点では、赤旗を持った競技役員が、ライダー全員がグリッドに着くのを待つ。さらにこの競技役員は、マーシャルカーが姿を見せるまでそこに残っている。スタートの指示が出たら、この競技役員はコースを離れる。

5) 緑旗と赤旗を持った二人目の競技役員がグリッドの最後尾に待機する。

ロードレース競技細則

- (1) 緑旗を掲示することによって、この競技役員はグリッドの用意ができたことを示し、コースの中央にいる（スタート・ラインのところ）競技役員がスターターの指示に従ってコースから離れる。
- (2) 赤旗を掲示することによって、この競技役員は、レース・マネージメント・カーニーの後ろからやってきたライダーを停止させ、このライダーが緑色燈点灯後にグリッドの最後尾より静止状態からスタートするか、あるいはピットに戻るかをチェックする。
- 6) 列の番号表示ボードを持つスタートマーシャルは、グリッド各列の向かい側に立ち、自分の列のマシンが静止したらただちにボードを下げる。すべてのボードが下げられたら、スターターはグリッドが静止していることを確認して「赤色燈」を点灯する。赤色燈が点灯されてから1秒以上5秒以内に赤色燈に代わって緑色燈が点灯され、レースがスタートする。
- 7) スターティンググリッドに戻ってきた時点で、エンジンが止まつたり、スタート出来ないライダーがいた場合は……。
 - (1) ライダーは手を挙げ、さらにこの列を担当するスタートマーシャルが「ボードを掲げて（あるいは掲げつづけて）、ボードの反対側の黄色面をスターターに向けることによって、この状況を伝える。
 - (2) スターティンググリッドに戻ってきたマシンに問題があった場合、スターターは、スタートを取り止めるよう判断して下記の手順をとる。
 - ① 赤色燈がまだ点灯されていない場合には、スタートディレイド（スタート延期）のボードがスタートラインで掲示され、赤旗が掲げられる。
 - ② 赤色燈がすでに点灯されていたら、スターターは「点滅する黄色燈」を点灯し（赤色燈はそのまま）、さらにスタートディレイドのボードがスタートラインで掲げられる。
 - ①②両方の場合：
エンジンは停止されスタートの手順は5分前の所から再開される。この場合、レース距離は1周減算される。このような状況で、スタートの手順が1回以上繰り返された場合には、1回ごとに1周ずつ減らされていく。このことはラップカウンターに表示される。
- (3) スタートの合図が出された後に、スタート出来なかった場合のみ競技役員がただちに介入し、エンジンを掛けるためにマシンをコースに沿って押す。もし、数回の試みによってもエンジンが掛らない場合には、競技役員がピットへ運ぶ。
- 8) スタートした集団がピットの出口を通過した後に、ピットレーンで待っているライダーがスタートする（競技役員により合図が出される）。

16 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについた車両およびライダーは、スタート用意からスタート合図が出されスタートが終了するまで、出発合図の統制下にある。
- 2) スタート合図が行われる前に自分のスタートティングポジションから前進した場合は、大会審査委員会の決定により、下記のペナルティが科せられる。
 - (1) 競技結果への1分間の加算。
 - (2) 一旦ピットストップを命じる。その場合は、メカニカルトラブルによる黒旗かフライングによるものかを区別するために黒旗と共に提示するブラックボードに「P」の文字を記入する。
- 3) ピットクルーがスタートの規則に従わなかった場合も反則とみなされ、当該ライ

ダーに1分間もしくは失格のペナルティが科せられる。

- 4) ペナルティは、当該ライダーのピット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は受けられない。

17 レース

- 1) 走行中の遵守事項は、国内競技規則・第3章〔⑩競技参加者の遵守事項〕(36頁)のほか次による。
 - 2) いかなる場合でも、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は罰則が科せられる。
 - 3) レース中(予選中を含む)直線部分では前車を追い越すためあるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは禁止される。
2. ピット

ピットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業を行うことを目的に、ライダーに与えられた区域である。
3. ピットイン
 - 1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入口手前よりピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確認してピットロードを徐行しなければならない。

ピットエリア(停車区域)を走行してピットインしたりピットアウトすることは禁止される。
 - 2) ピットインする車両のライダーは、自己のピットに出来るだけ近いピットロードからピットエリアに入り、出来るだけ自己のピットに近づけて車両を停止させなければならない。
 - 3) ピットインしてピットエリアに入った車両及び当該車両のライダーはピットクルーは、ピットロード及びピットエリアにおいて他の車両の通過を妨げてはならない。
 - 4) ピットインの際、自己のピット前を通り越して停車した車両のライダーは、競技役員の承認を得て、当該車両のライダーおよびピットクルーによって押し戻し、自己のピットにつけることが出来る。
4. ピットアウト
 - 1) ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。
 - 2) ピットロードに出てコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースピット側に沿って走行しなければならず、その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
5. ピット作業
 - 1) レース中、車両の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によって行わなければならない。給油中は、必ずエンジンを停止しなければならない。
 - 2) ピット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちに清掃しなければならない。
6. ピット作業人員
 - 1) 大会の格式によって登録できるピットクルーの人数が大会特別規則に示される。
 - 2) レース中にピットインし、エンジンを停止した車両に対しての作業は、登録した2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。(全日本選手権は第3章全日本選手権特別規則参照)(64頁)
 - 3) ライダーに対するピットクルー(メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー)

ロードレース競技細則

の合図は、大会競技役員の使用する合図旗にまぎらわしいものであってはならない。また主催者により定められたピット区域またはピットサインエリアのみで合図を送ることができる。

- 4) ピット作業を行う者は、すべてピットクルーライセンス所持者で、大会への参加申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加はいっさい認められない。ただし参加申請がなされている者の変更は認められる（変更料1,000円）。
- 5) ピットクルーは競技期間中を通じて、すべて大会競技役員の指示に従わなければならぬ。
- 6) ピットクルーが諸規則に違反した場合の責任は、そのピットクルー担当のライダーに帰属し、罰則が科せられる。

18 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じるか、レースから除外することができる。この決定に対する抗議は受け付けられない。
- 2) 天災、大事故等の不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。

19 レース停止と再スタート

事故または、天候その他の事情で継続が危険になって、レース停止が必要になった場合、競技監督はスタート／ゴールラインに赤旗をかけ、同時にすべてのコースポストで赤旗をかけ、レースが停止されたことを告げるものとする。

天候上の理由に関してレースは1度のみ停止される。

レース停止の決定は競技監督、あるいは競技監督が不可避の理由において欠席している場合には競技監督代理によってのみ出されるものとする。

これらの合図が出されたら、ライダーは直ちにレースを停止、徐行して各自のピットに戻るが、その際、そのレースの順位は前ラップの順位によって決まる。

1. レースが再スタートされる条件は次の通りである。

- 1) 走行が2周以下の場合
(2周とは完了周回数をいう)
 - (1) 前回のスタートは無効とされ、前回のスタートに参加したすべてのライダーは前回の車両、もしくは同一型の車両を使用して再スタートすることができるが、車両変更の場合は、それがTカーとして登録され車検に合格し、レースに適することを車検長が認めた場合に限られる。
再スタートのレースは、全距離にわたって行われ、もとのグリッド・ポジションが適用される。再スタートに出場できない車両のグリッドはそのまま空席とされる。
 - (2) レースの再スタートが不可能である場合、選手権ポイントは与えられない。
 - (3) 再スタートが行われる場合は常に、もとのレース停止から原則として30分後に行わなければならない。
- 2) 3周もしくはそれ以上走行したが、その走行距離が総走行距離の75%未満である場合。
(3周とは完了周回数をいう)
 - (1) そのレースはふたつの部分に分かれるとみなされる。レース前段の順位は、停止に先づラップ終了時の順位とする。

- (2) 再スタートされたレースの距離（周回数）は、当初のレースの全距離（全周回数）に達するまでの距離（周回数）とする。
- (3) 再スタートのスタートインググリッドにおける車両のポジションは、前回のレースの順位に基づいて計時長が決定する。
- (4) レース前段においてトップライダーの75%以上走行しているライダーだけが再スタートを認められる。
車両の修理、あるいは交換（Tカーとして登録された車両）が認められる。国内競技規則・第3章〔②①ライダーおよび車両の変更〕を参照。
- (5) レース再スタートが不可能である場合は、正規の選手権ポイントの2分の1が与えられる。
- (6) レースがふたつの部分から成る場合、各部分のラップ数が集計され、最大数のラップを走行したライダーが優勝者になる。
ラップ数で同位になった場合は、それらに要したタイムが優勝者決定のきめ手となる。
- 3) 全距離の75%以上が走行された場合
- (1) レース成立が宣言される。レース停止中に先立つラップ終了時の順位がレースの順位になる。
 - (2) 正規の選手権ポイントが与えられる。

20 リタイヤ（棄権）と停止

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章〔⑭競技〕(38頁)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届けを提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイヤする場合、ライダーは車両をレース（または予選）終了まで競技役員の管理下におかなければならぬ。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。
- 4) 車両を押してピットに帰る場合は、必ずコース両サイドのいずれか片側のグリーンを歩くこと。
その際は必ずヘルメットを着用すること。
- 5) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。

21 レース終了

1. レースの終了
各レースの終了は、チェック旗によりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時である。
注：原則的にコースの1周の距離を1kmにつき1分とする。

22 優勝者、入賞者順位、完走者および得点

1. スプリントレースの場合
 - 1) 優勝者
優勝者は、規定の周回数を最短時間で完走したライダーである。
 - 2) 入賞者および順位の優先順序
入賞者および入賞順位は、チェックを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。なお、周回数が同じ場合は、ゴールライン通過の順位による。

ロードレース競技細則

3) その他の優先順位

周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。

2. 耐久レースの場合

耐久レースの場合は、各特別規則に示す。

3. 完走者

1) 優勝者の周回数の75%（小数点以下は切り捨てる）以上を走行したライダーを完走者とする。

2) ピットロードでのゴールは、周回数には積算されるが「チェックを受けた」とは認められない。

4. 得点

得点は、国内競技規則・第3章【⑯公式得点】（39頁）によって与えられる。

23 レース終了後の車両の保管と再検査

1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなければならない。

2) 上位入賞車両は、音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査を行うことがある。

3) 上位入賞車両は、暫定結果発表後30分以上保管される。

4) 出場者は、車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。
主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

24 レースおよび大会の延期・中止等

1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。

2) レースまたは大会が参加申し込み後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

25 抗議

1) 抗議は、国内競技規則・第3章【⑭抗議】（41頁）による。

2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

26 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章【⑮違反行為に対する罰則】（42頁）による。

27 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

28 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申し込み受付け日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

'92全日本選手権大会 特別規則

① 公示

全日本ロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と各大会の特別規則に基づきFIM・MFJ公認の国際格式競技会として開催される。

② 開催種目と競技会の日程

1. 開催種目は下記とする。

国際A級 GP125
GP250
GP500
TTF-1

2. クラス数

大会には上記4クラスが必ず含まれていなければならない。

3. 競技会の日程は巻末に示す。

③ 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが2クラス追加されてもよい。ただし下記の条件が満たされなければならない。

パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選時間・決勝のレース距離を設定できること。

④ コース

コースはMFJが国際公認もしくは準国際公認したコースとする。

⑤ 大会審査委員会

1. 大会審査委員長はMFJロードレース委員会の委員でMFJが任命する。
2. 任命された審査委員長が定時までに会場に到着しない場合は次席のものがこれにある。

⑥ 参加定員

参加定員は定めない。

⑦ 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：1クラス 14,000円

'92全日本選手権大会特別規則

MFJ共済会掛け金 1人1口 4,000円

合 計: 18,000円

8 ピット要員

- 1ライダーに対して6名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要である。エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- ピットエリアではライダー1人について3人のピットクルーが作業出来る。

9 スポーツ走行

- スポーツ走行は各クラス(予選組)ごとに最低下記時間が設定され、MFJライセンスにて走行出来る。
無料のスポーツ走行: 30分間
有料のスポーツ走行: 60分間
- 天候等やむをえない理由にて短縮される場合がある。

10 レース当日の練習走行

- レース当日の朝各クラスごとに最低10分間の練習走行が行なわれる。
- 天候等やむをえない理由にて取り止める場合がある。

11 ゼッケンナンバー

- 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

12 車両の変更

- 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを変更する事が出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。
- 交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

13 公式予選

- 公式予選は各クラス(予選組)ごとに最低20分間を2回行う。
- 天候等やむおえない理由にて短縮される場合がある。

14 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

15 スターティンググリッド

スターティンググリッドの数、配置は各大会の特別規則に示される。

16 レース距離

- 各クラスの決勝レースの最低距離を下記のように定める。

GP125 50km

GP250 60km

GP500 70km

TTF-1 70km

- 天候等やむをえない理由によって上記の距離から短縮される場合がある。

17 賞および得点

- 賞の詳細については公式通知に示される。
- 得点は国内競技規則第3章「公式得点」によって与えられる。
- MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えられるが、全日本選手権の得点が与えられない。(但し下位の繰上げは行わない)
- MFJグランプリ大会については上記の得点に3点が追加される。
- 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定方法(159P)に示される。



ロードレース

18 主催者の権限

- 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピット要員を選択あるいは参加を拒否することが出来る。
- 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することが出来る。
- 競技番号の指定、あるいはピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することが出来る。
- やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの指名登録または変更について許可することが出来る。
- すべての参加者、ライダー、ピット要員およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

19 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

1992年1月1日
全日本ロードレース選手権
大会事務局長

'92全日本ロードレース選手権開催日程

*併催地方大会がある場合は特別規則に示す。

開催月日	大会名／会場	出場申し込み先	出場申込み期間
3月14日(土) 15日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 MINEインターナショナルロードレース大会 会場：MINEサーキット	MINEサーキット 〒759-21 山口県美祢市西厚保町 ☎08375(8)0321	2月4日(火) 2月13日(木)
4月11日(土) 12日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 筑波インターナショナルロードレース大会 会場：筑波サーキット	財日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル ☎03(3591)6056	3月3日(火) 3月12日(木)
4月25日(土) 26日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 SUGOインターナショナルロードレース大会 会場：スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127	3月17日(火) 3月26日(木)
5月16日(土) 17日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 鈴鹿インターナショナルロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稻生町7992 ☎0593(78)1111	4月7日(火) 4月16日(木)
5月23日(土) 24日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 筑波インターナショナルロードレース大会 会場：筑波サーキット	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 ☎03(3472)6241	4月14日(火) 4月23日(木)
6月20日(土) 21日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 鈴鹿200kmインターナショナルロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稻生町7992 ☎0593(78)1111	5月12日(火) 5月21日(木)
7月4日(土) 5日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 SUGOインターナショナルロードレース大会 会場：スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127	5月26日(火) 6月4日(木)
8月8日(土) 9日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 FISCOインターナショナルロードレース大会 会場：富士スピードウェイ	富士スピードウェイ㈱内 全日本RR事務局 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 ☎03(3216)5611	6月30日(火) 7月9日(木)
9月12日(土) 13日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 鈴鹿インターナショナルロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稻生町7992 ☎0593(78)1111	8月4日(火) 8月13日(木)
9月26日(土) 27日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦 仙台インターナショナルロードレース大会 会場：仙台ハイランドレースウェイ	仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒989-34 仙台市青葉区新川早坂山12 ☎022(395)2120/2123	8月18日(火) 8月27日(木)
10月10日(土) 11日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第11戦 SUGOインターナショナルTBCビッグロードレース大会 会場：スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127	9月1日(火) 9月10日(木)
10月31日(土) 11月1日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第12戦 WOWOW CUP MFJグランプリインターナショナルロードレース大会 会場：筑波サーキット	財日本モーターcyclusports協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03-3865-8441	9月22日(火) 10月1日(木)

*全戦国際格式

世界選手権競技会の開催日程

開催月日	大会名／会場	開催クラス	出場申し込み先
3月27日(金) 29日(日)	世界選手権第1戦 KIBUN 日本グラントリロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット	GP500 GP250 GP125	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稻生町7992 ☎0593(78)1111
6月6日(土) 7日(日)	パンパシフィックロードレース選手権第3戦 日本大会 会場：MINEサーキット	スーパーバイク	MINEサーキット 〒759-21 山口県美祢市西厚保町 ☎08375(8)0321
7月25日(土) 26日(日)	世界耐久選手権第3戦 コカ・コーラ鈴鹿8時間耐久ロードレース大会 会場：鈴鹿サーキット	TTF-I スーパーバイク	株鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稻生町7992 ☎0593(78)1111
8月29日(土) 30日(日)	スーパーバイク世界選手権第11戦 SUGO大会 会場：スポーツランドSUGO	スーパーバイク	スポーツランドSUGO 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎022(483)3111/3127

'92スーパーカップ選手権大会特別規則

1 公示

スーパーカップ選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式競技会として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 開催種目は下記とする。

国内A級以上	GP125
	GP250
	SS250
	SS400
	SS750

- 競技会の日程は巻末に示す。

ロードレース

3 追加のクラス

スーパーカップロードレース選手権には併催クラスが追加されてもよい。

4 選手権

- スーパーカップロードレース選手権は西地区・東地区でそれぞれ5戦を越える場合はシリーズをイースタン・ウエスタンに分けて開催する。
- この基準に達しない場合は1つのシリーズとして開催し、有効ポイント制とする。
- シリーズ全体または種目ごとにおいても最低3戦でシリーズが成立することとする。
- シリーズが東西に別れた場合、選手はどちらのシリーズにも参加出来るがその得点は合算されない。

5 コース

コースはMFJ国内公認以上のコースとする。

6 大会審査委員会

- 大会審査委員長は主催者が任命する。
- 任命された審査委員長が定時までに会場に到着しない場合は次席のものがこれにある。

7 参加定員

参加定員は定めない。

8 出場料およびMFJ共済会掛け金

出場料：1 クラス 14,000円

MFJ共済会掛け金 1人1口 4,000円

合 計：18,000円

9 ピット要員

- 1ライダーに対して4名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要である。エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- ピットエリアではライダー1人について2人のピットクルーが作業出来る。

10 ゼッケンナンバー

'92年度は大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

11 車両の変更

- 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを変更することが出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。
交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

12 公式予選

- 公式予選は各クラス（予選組）ごとに最低20分間を1回行う。
- 天候などやむを得ない理由にて短縮される場合がある。

13 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

14 スターティンググリッド

スターティンググリッドの数および配置は各大会の特別規則に示される。

15 賞および得点

- 賞の詳細については公式通知に示される。
- 得点は国内競技規則第3章「公式得点」によって与えられる。
- スーパーカップ選手権のランキングはイースタンシリーズ、ウエスタンシリーズ別々に上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキンギ決定方法(159P)に示される。
- スーパーカップグランドチャンピオン大会については上記の得点に3点が追加される。



5. スーパーカップグランドチャンピオン大会の得点はイースタン・ウエスタンどちらかのランキングに積算出来る。

16 主催者の権限

1. 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピット要員を選択あるいは参加を拒否することが出来る。
2. 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することが出来る。
3. 競技番号の指定、あるいはピット割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することが出来る。
4. やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの指名登録または変更について許可することが出来る。
5. すべての参加者、ライダー、ピット要員およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

17 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

1992年1月1日
スーパーカップロードレース選手権
大会事務局長

1992年度スーパーカップロードレース選手権シリーズの開催日程 スーパーカップイースタンシリーズ

開催月日	大会名	開催クラス						出場申込み先	出場申し込み期間
		G P 125	G P 250	S S 250	S S 400	S S 750			
5月17日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第1戦エビスロードレース大会	○	○	○	○		エビスサーキット 〒964 福島県二本松市沢松倉1 ☎0243-24-2972	4月7日 4月16日	
6月7日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第2戦SUGO大会	○	○	○	○	○	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	4月28日 5月7日	
6月14日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第3戦筑波大会	○	○			○	財日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	5月5日 5月14日	
6月28日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第4戦FISCO大会	○	○			○	富士スピードウェイ内 スーパーカップ事務局 〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 ☎03-3216-5611	5月19日 5月28日	
8月30日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第5戦SUGO大会				○	○	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111	7月21日 7月30日	
9月6日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第6戦筑波大会				○	○	財日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 ☎03-3591-6056	7月28日 8月6日	
10月18日	スーパーカップロードレース選手権イースタンシリーズ 第7戦仙台ハイランドレースウェイ大会	○	○	○	○	○	仙台ハイランドレースウェイクラブ 〒983-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂山12 ☎022-395-2120	9月8日 9月17日	

スーパーカップウエスタンシリーズ

開催月日	大会名	開催クラス						出場申込み先	出場申し込み期間
		G P 125	G P 250	S S 250	S S 400	S S 750			
4月5日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第1戦鈴鹿サンデーロードレース(西コース)	○	○			○	鈴鹿サーキットSMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稻生町7992 ☎0593-78-1111	2月25日 3月5日	
4月19日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第2戦TI大会	○	○	○	○		TIサーキット英田 〒701-26 岐阜県美濃市英田町滝宮地内 ☎08687-4-3311	3月10日 3月19日	
5月10日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第3戦HSR九州大会	○	○	○	○		HSR九州 〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川1500 ☎096-293-1370	3月31日 4月10日	
6月7日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第4戦MINE大会	○		○		○	MINEサーキット 〒759-21 山口県美祢市西厚保町 ☎08375-8-0321	4月28日 5月7日	
6月28日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第5戦SSRFスパ直入大会			○	○		SSRFスパ直入 〒878-04 大分県直入郡直入町 ☎0974-75-3191	5月19日 5月28日	
7月19日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第6戦鈴鹿6時間耐久ロードレース				○		鈴鹿サーキットSMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稻生町7992 ☎0593-78-1111	6月9日 6月18日	
8月9日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第7戦オートポリス大会	○	○			○	オートポリス 〒877-03 大分県日田郡上津江村 ☎0973-55-1111	6月30日 7月9日	
8月23日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第8戦MINE大会	○	○	○	○		MINEサーキット 〒759-21 山口県美祢市西厚保町 ☎08375-8-0321	7月14日 7月23日	
9月6日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第9戦HSR九州大会	○	○	○	○		HSR九州 〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川1500 ☎096-293-1370	7月28日 8月6日	
10月4日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第10戦サンデーロードレース(南コース)	○	○	○	○		テクニカルスポーツ 〒513 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎0593-78-1455	8月25日 9月3日	
11月8日	スーパーカップロードレース選手権ウエスタンシリーズ 第11戦オートポリス大会	○	○			○	オートポリス 〒877-03 大分県日田郡上津江村 ☎0973-55-1111	9月29日 10月8日	

グランドチャンピオン大会(東西対抗)

9月19日 20日	スーパーカップロードレース選手権東西対抗 スーパーカップグランドチャンピオン大会 筑波サーキット	○	○	○	○	○	財日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03-3865-8441	8月11日 8月20日
--------------	--	---	---	---	---	---	---	----------------

*GC大会はイースタン・ウエスタン両方の選手が参加出来ます。ボーナスポイントが3点加算されます。

'92全日本選手権シリーズおよび地方選手権 主要イベント開催サーキット

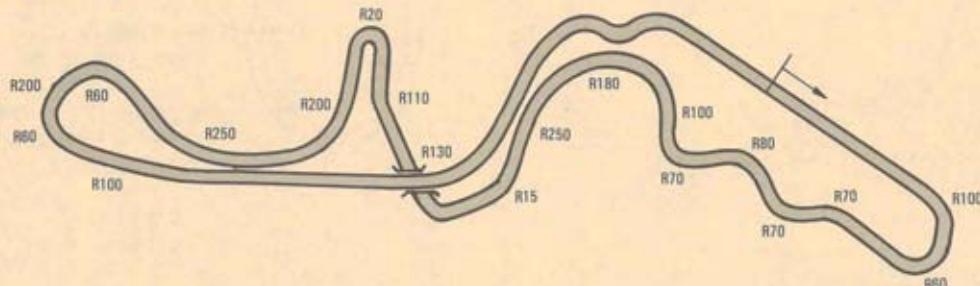
サーキット名	住 所	電話番号
鈴鹿サーキット	〒510-02 三重県鈴鹿市稻生町7992	0593(78)1111
スポーツランドSUGO	〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生	0224(83)3111
筑波サーキット	〒300-34 茨城県結城市千代川村大字村岡	0296(44)3146
富士スピードウェイ(FISCO)	〒410-13 静岡県駿東郡小山町大御神	0550(78)1234
MINEサーキット	〒759-21 山口県美祢市西厚保町新川早坂12	08375(8)0321
仙台ハイランドレースウェイ	〒989-34 宮城県仙台市青葉区	022(395)2120
HSP(北海道スピードパーク)	〒044 北海道虻田郡俱知安町字峠下155	0136(23)3880
サホロスポーツランド	〒081 北海道上川郡新得町字新内西2線	01566(4)5100
エビスサーキット	〒964 福島県二本松市沢松倉1	0243(24)2972
須エクスプローラーサーキット	〒325 栃木県黒磯市寺子字坂の上677	0287(63)7300
日本海間瀬サーキット	〒963-01 新潟県西蒲原郡岩室村間瀬610	0256(85)2201
中山サーキット	〒709-04 岡山県和気郡和気町大中山751	0869(93)2333
TIサーキット英田	〒701-26 岡山県英田郡英田町浦宮地内	08687(4)3311
阿諏サーキット	〒771-25 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319	0883(79)3705
AUTOPORIS	〒877-03 大分県日田郡上津江村	0973(55)1111
ホンダ・セーフティ&ライディングプラザ九州	〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川11500	096(293)1370
スポーツ&セーフティライディングフィールド・スパ直入	〒878-04 大分県直入郡直入町	0974(75)3191

ロードレース

▶鈴鹿サーキット

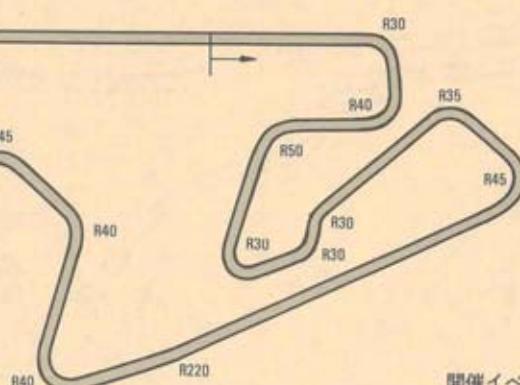
全長距離/5864.03m
最大直線長/900m
ピット数/48個
走行路幅員/9.2~12m
交通/東名阪自動車道・
鈴鹿I.Cより13km

開催イベント
全日本RR Rd.4,6,9
世界選手権日本GP
鈴鹿B1G 2&4
耐久世界選手権鈴鹿8時間耐久



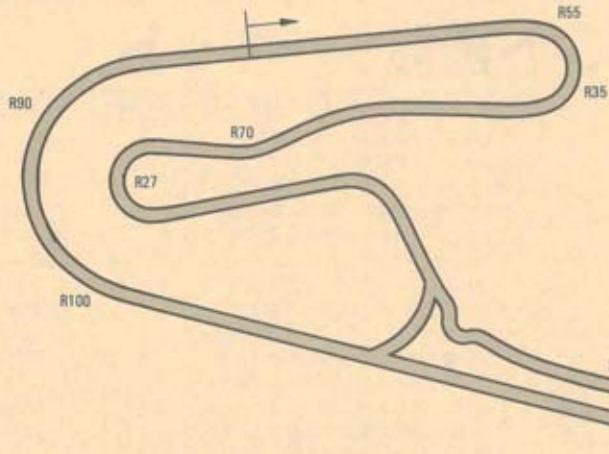
▶スポーツランドSUGO

全長距離/3,737.5m
最大直線長/704.5m
ピット数/30個
走行路幅員/10~12.5m
交通/東北自動車道・村田I.Cより約10km



開催イベント
全日本RR Rd.3,7,11
スーパーバイク世界選手権

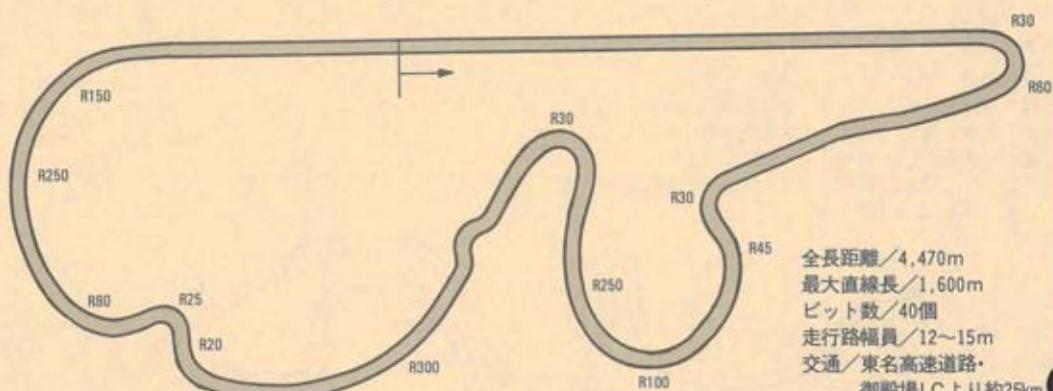
▶筑波サーキット



全長距離／2,070m
最大直線長／437.75m
ピット数／20個
走行路幅員／10～15m
交通／常磐自動車道・
谷和原I.Cより約25km

開催イベント
全日本RR Rd.2,5,12
スーパーカップGC
R25
R105

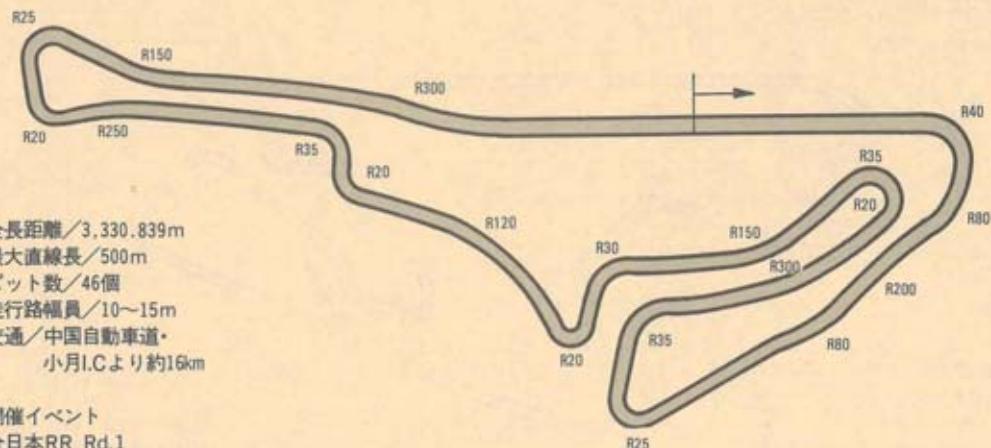
▶富士スピードウェイ



全長距離／4,470m
最大直線長／1,600m
ピット数／40個
走行路幅員／12～15m
交通／東名高速道路・
御殿場I.Cより約25km

開催イベント
全日本RR Rd.8

▶MINEサーキット



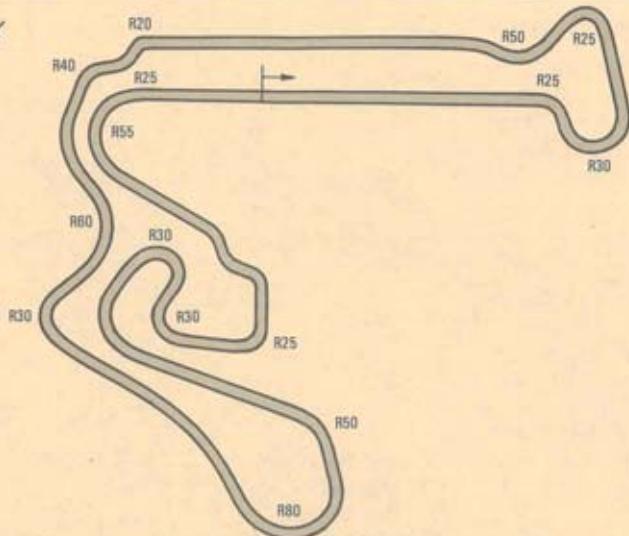
全長距離／3,330.839m
最大直線長／500m
ピット数／46個
走行路幅員／10～15m
交通／中国自動車道・
小月I.Cより約16km

開催イベント
全日本RR Rd.1
パンパシフィック選手権

▶仙台ハイランドスピードウェイ

全長距離／3,757.44m
最大直線長／548.34m
ピット数／32個
走行路幅員／12~15m
交通／東北自動車道・
仙台宮城I.Cより約20km

開催イベント
全日本RR Rd.10



*改修予定、レイアウトが変わります。

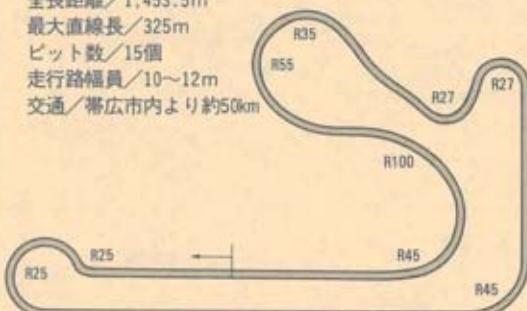
▶HSP(北海道スピードパーク)

全長距離／1,389.44m
最大直線長／365m
ピット数／15個
走行路幅員／9~12m
交通／札幌市内より95km



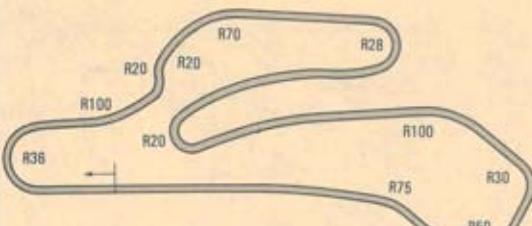
▶サホロスポーツランド

全長距離／1,453.5m
最大直線長／325m
ピット数／15個
走行路幅員／10~12m
交通／帯広市内より約50km

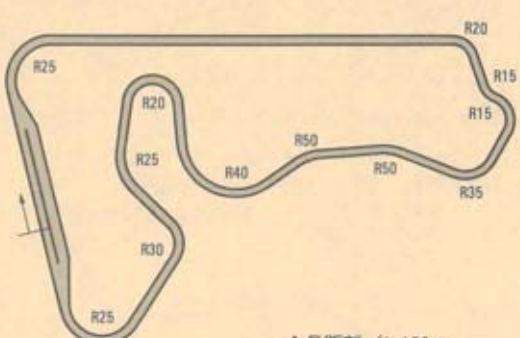


▶エビスサーキット

全長距離／2,061m
最大直線長／420m
ピット数／20個
走行路幅員／10~12m
交通／東北自動車道・
二本松I.Cより約20km



▶那須エクスプローラーサーキット



全長距離／1,156m
最大直線長／360m
ピット数／12個
走行路幅員／7.5m~10m
交通／東北自動車道・
那須I.Cより約10km



ライセンス手続きが、より簡単になった

便利でお得なMFJカード

(GC・JCBカード提携)



MFJでは競技ライセンス取得者のために、GC・JCBカードと提携してMFJカードを発行することになりました。数々の特典を持つMFJカードは、ライダーにとっての新しいステータス。幅広くご活用ください。

MFJカードの特典の数々

MFJカードの会員になると、次のようなMFJカード・サービスが受けられます。

- ライセンス料の自動引き落とし
ライセンスの更新時('93年度)に面倒な現金書留送金の手間が掛かりません。料金はあなたが指定した金融機関から後日自動的に引き落とされます。
- エントリーフリーの自動引き落とし
レースのエントリー料もカード1枚でOK。これも後日引き落としとなります。
- MFJ単独主催レースの入場料の10%Off
- スタジアムトライアルシリーズ全戦の入場料の10%Off
- サーキット走行優先予約
那須エクスプローラー、SUGO、西仙台等を予定しています。
- 日本GP、鈴鹿8耐、スーパーバイク世界選手権等の観戦券を抽選でプレゼント
- GC・JCBカード会員としての盛り沢山の特典
(詳細はGC・JCBカード案内をご覧ください)

-
- GCスーパーライセンスクラブの特典が受けられます。
ダイビング、ヨット、モーターボート、バラグライダー、フォーミュラ・カーなど、多くのスポーツが体験できます。ビギナー向けから本格派向きまで、各種スクールレッスンをGC特別料金で受けることができます。

- 国内、海外でのショッピング・キャッシングに利用できます。
国内のGC加盟店のほか、国内162万店、海外111カ国58万店のJCB加盟店でショッピングにご利用いただけます。また、休日深夜や海外でのキャッシング・サービスも利用できるほか、レジャー・トラベルサービスなど充実したサービス内容です。

問い合わせ先

■MFJ本部事務局
〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7
第2オカノビル7F
TEL03-3865-8441

■ジーシー株式会社

〒163 東京都新宿区西新宿2-4-1
新宿NSビル8F
TEL03-3348-2678(東京)
TEL022-224-9595(仙台)

※ MFJカードは、MFJ競技のライセンス取得者のためのカードです。MFJカードだけのご入会はできません。(MFJカード申込書及びMFJ競技ライセンス取得の詳細は本誌中頁にございます。)

※ 満18歳未満の方は、MFJカードにご入会になれません。

※ MFJカードのご入会には簡単な審査があります。

※ 支払システム、取り扱い金融機関についてはGCカード案内をご覧ください。

※ ショッピングの場合1回払いは無利息。リボルビング払いは、2回目より実質年率15.6%(遅延損害金23.7%)、キャッシングの場合、リボルビング払いのみで実質年率28.8%(遅延損害金36.5%)。ご返済期間は自動継続。お支払日は毎月27日(同月5日締め切り)毎月のお支払いを2回連続して遅延した場合は期限の利息を損失します。



M.F.J.競技ライセンス申込書



様式 16

M.F.J.競技ライセンス申込書

(個人用)

太枠内はすべて記入して下さい。

*クラブに入る方は必ずコードNo.を記入する

クラブコード

MFJ-L/競技ライセンスNo.				フリガナ (必ず記入)				
				氏名				
				1.男		2.女		
初めて 離脱(以前 持つ ていた) ライセンス 追加 追加 再発行 紛失)	大正・昭和 年 月 日生							
	自宅 TEL No. ()							
	勤務先及び連絡先 TEL No. ()							
	※最長間隔のとれる場所を記入して下さい。				(アパート・マンション名・部屋番号も必ず記入の事)			
				住所コード				

○で囲む(初めての方は国内C級、国内B級からです。)

いづれの種目にも運転免許が必要です。受けていない人は、講習会修了証を添付して下さい。				種目/ ライセンス区分	①ロードレース	国内C級	サーキット名 ()	走行証明
②国内C級	③国内B級	④国内A級	サーキットライセンスNo. ()					
⑤国際A級	⑥国際A級	国内B級	公認サーキットで右欄に3時間以上走行の証明印を押してもらって下さい。又は国内B級ライセンス講習会修了証を添付して下さい。					
⑦原付	⑧自二	⑨普通	⑩競習会修了証	※走行券、カード不可。				
運転免許証 No.								

○で囲む(初めての方はジュニア(9歳~15歳)、国内B級からです。)

種目/ ライセンス区分	②モトクロス	③トライアル	⑤スノーモビル	⑥ピットクルー	Lライセンス	写真
	①ジュニア	①ジュニア	①ジュニア	①ピットクルーライセンス (16歳以上であれば取得できます) 運転免許を受けている 人は、種類とNo.を記入 して下さい。 承認競技会にライダー として参加できます。	①Lライセンス (9歳以上) ※運転免許又 は講習会修 了証必要。 (写真不要)	②写真の枚数 + 種類数 M F J 印控貼る 不可
③国内B級	③国内B級	③B級				
④国内A級	④国内A級	④A級				
⑤国際B級	⑤国際B級	前年度全日本 選手権でボイ ントを得た者				
⑥国際A級	⑥国際A級					

*申し込み方法は申込書・料金・写真をMFJに現金書留で送って下さい。又はお近くの県支部あるいはスポーツ協力店へ申し込んで下さい。

またMFJでは、郵便振替でも受付けております。(口座No.東京0-250597 申込書・払込受領証・写真是郵送して下さい。)

*クラブ登録の申込書が必要な時はMFJまで連絡して下さればお送り致します。

*ライセンスの有効期間は交付された日から、当該ライセンスに表示された年の12月31日まで。

取扱店 ・県支部	(領収した協力店・県支部のゴム印を押して下さい)	MFJスポーツ協力店 月 日受付	県支 部 月 日受付	M. F. J. 月 日
		受領した金額 円	受領した金額 円	円

財團法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(M.F.J.)

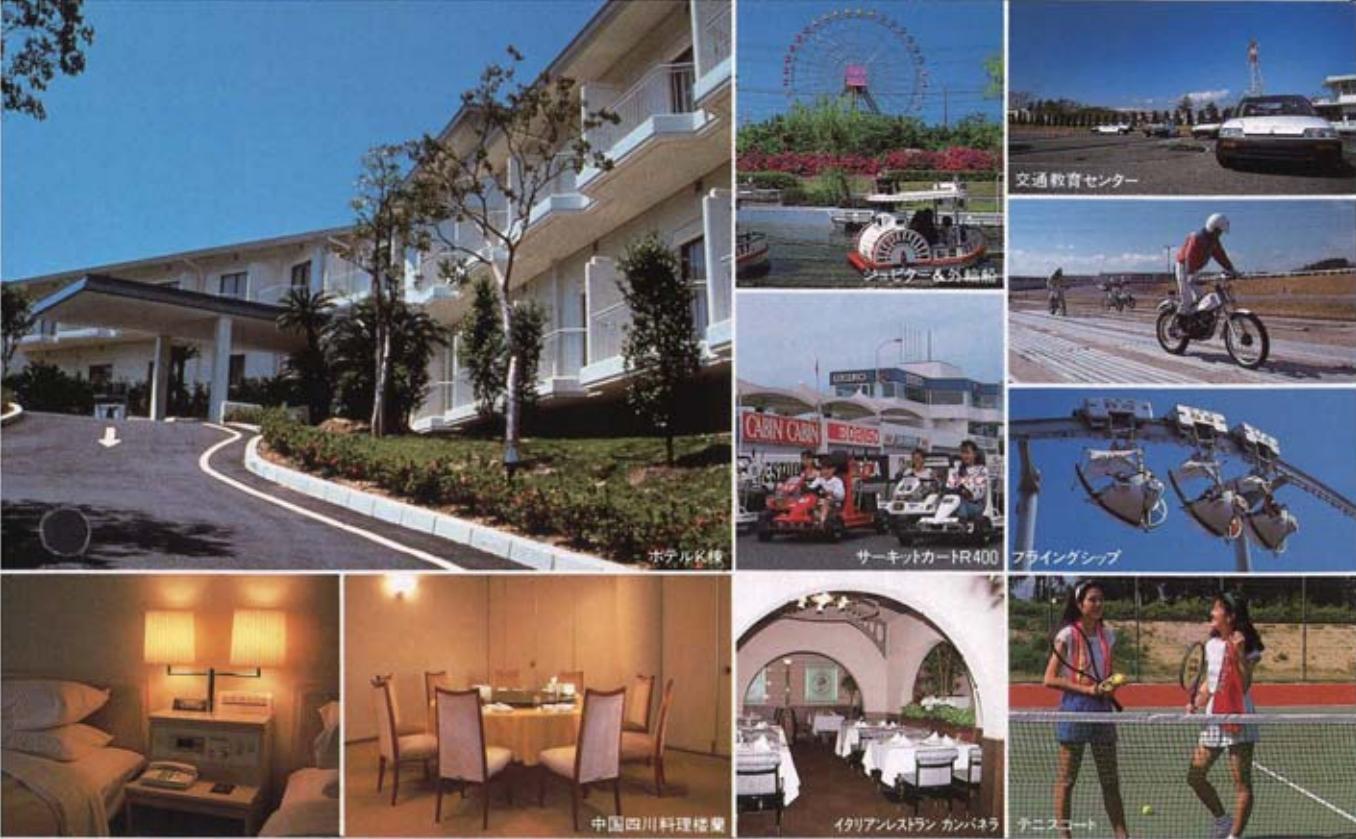
〒103 東京都中央区東日本橋 2-16-7

第2オカノビル7F

☎ 03-3865-8441

M. F. J.
記 入 欄

發
行



ENJOY SUZUKA CIRCUIT

ときめきギッシリ、鈴鹿サーキット。
モータースポーツのほかにも、いろんな魅力がいっぱいです。

RESORT リゾート

鈴鹿サーキットには、緑に囲まれた本格的リゾートホテルをはじめ、ゴルフ練習場やテニスコート、ボウリング場、キャンプ村などのスポーツ・レジャー施設が充実しています。またお食事は、寿司、天ぷら、イタリア料理、四川料理など、本場から招いた調理師の料理が、お好みに合わせて心ゆくまで楽しめます。



MOTOPIA モートピア

広大なスペースに"のりもの"が23種・約630台も揃ったモートピア。小さなお子様がひとりで乗れるものから、カップルで楽しめるものまで、オリジナリティにあふれています。また、冬はアイススケート、夏はプールと季節ごとに楽しさいろいろ。いつでも、誰もが、心からエンジョイできます。



SOCIAL ソーシャル

鈴鹿サーキットでは、安全運転教育のための専門施設、交通教育センターをはじめ、鈴鹿モーターサイクルスクールなど、専門のインストラクターが質の高い指導を実施。また、研修・宿泊スペースが一体化した研修ホテルG棟、先進的な研修施設の鈴鹿国際フォーラム、各種ホールなど、教育・研修・文化と多彩な施設が充実しています。



全身 RACING 仕様



MFJ公認レザースーツ

スパジオ14ツナギ

men's:S・M・L・LL ¥95,000 02-100

men's:3L ¥110,000 02-101

color:白・赤・白・青

● フロント、手首、足首ファスナー:リリー製

● 裏地:メディカルマーパス

即購入日より1年間 通常の使用状況における。
フロントファスナーの破損については無料で修理いたします。

■ 選ばれた国内材料を使用し、国内縫製された製品です。

**NEW
COLOR**

黒/ガンメタ



改良の為、予告なく商品の仕様及び価格等を変更することがあります。

spazzio
S:14

NATA PER CORRERE TUTTE LE STRADE.
"SPAZZIO", LA MARCA LEADER NEL MONDO DEL' ABBIGLIAMENTO PER MOTO.
ALTA CLASSE PER LA MODA MOTO.

MIGLIOR SCELTA PER I MOTOCICLISTI. FONDATA IN 1970.



KOMINE

株式会社コミニオートセンター

本社:〒111 東京都台東区小島2-20-11

Tel.03(3862)9811(代) Fax.03(3866)5134(代)

CIRCUIT OF DREAMS

RIDER'S SPIRIT FROM MOTORCYCLE SCENES

ある時は、警戒厳重なピットにレンズを向け
またある時は、ライダーのないしょ話に聞き耳を立て
スタートの瞬間には心臓をドキドキさせて
クールダウンラップには惜しみない拍手をおくり
ひいきのライダーのリザルトに、一喜一憂し
8耐の花火の時にはもみくちゃになり
でも、キャンギャルのチェックだけは怠りなく
雨が降ればコースサイドでパンツまでビショ濡れ
おまけにカメラが浸水して動かなくなるし
照れば照ったで、日焼けで顔を真っ赤にしながら
漂うホコリで髪の毛がバリバリになんて
それでも、やっぱりサーキットが
レースに真剣な人たちが、大好きです

R/D/ING SPORT

SINCE 1982

二輪レース専門誌
ライディングスポーツは毎月24日発売です
定価520円(本体505円)



株式会社 武集書房

〒150 東京都渋谷区恵比寿西1-16-3 TEL.広告03-3463-2141 販売03-3498-8380



MINEサークット サークットライセンス講習会

■申込方法

電話にて予約申込みをしてください。

☎08375-8-0321 (MINEサークット)

定員:60名

■受付時間

AM10:00～AM10:30(時間厳守)

■当日持参するもの

運転免許証・印鑑・写真2枚(30mm×25mm)・筆記用具・
バイク(125cc以上の、よく整備された車両)・ヘルメット・
皮革製のツナギ・グローブ・ブーツ・ガムテープ・工具・
健康保険証・MFJ競技ライセンス(所持者のみ)・未成年
者は親権者の承諾書(所定の用紙)及び親権者の印鑑
証明書(承諾書は親権者の自筆のこと)

■費用

35,000円(日・祝祭日は入場料500円要)(消費税含む)
※MFJロードレース国内C級ライセンスを同時に申請す
る場合は39,500円と写真4枚)

■学科講習

午後1時より開始。講習終了後、筆記試験を行なう。(当
日の状況により時間変更あり)

■実技講習

筆記試験合格者に対して実技指導及び実技試験を行
なう。(MFJ国内A級ライセンス提示者は実技試験免除)

■その他

- ①実技用バイクはタイヤサイズ14インチ以上で、オンロー
ドバイクは125cc以上。レーサーは80cc以上とする。
- ②S80クラスでタイヤサイズ14インチ未満の車両は、レー
ス前の指定走行時間帯のみ走行可能。

■サークットライセンス講習会のお問い合わせ先

MINEサークット

〒759-21 山口県美祢市西厚保町長尾

☎08375-8-0321



Tecnomagnesio.



NEW WHEEL

for '92 RS250R front MT3.50-17

for '92 RS125R front MT2.25-17

'92 Model Tecnomagnesio Racing Wheel

['92 MODEL PRICE]

	DESCRIPTION	SIZE	COLOR	PRICE	
HONDA RS125R (91-92)	FRONT	MT2.15-17	W	¥ 88,000.	
		MT2.25-17	W	¥ 92,000.	
		MT2.50-17	W	¥ 92,000.	
	REAR	MT3.00-17	W	¥ 108,000.	
		MT3.25-17	W	¥ 116,000.	
		MT3.50-17	W	¥ 116,000.	
HONDA RS250R (91-92)	FRONT	MT3.50-17	B	¥ 128,000.	
		MT3.75-17	B	¥ 133,000.	
		MT3.00-17	W	¥ 96,000.	
		MT3.25-17	W	¥ 96,000.	
	REAR	MT3.50-17	W	¥ 96,000.	
		MT5.25-17	B	¥ 158,000.	
		MT5.50-17	B	¥ 163,000.	
		MT4.00-18	W	¥ 122,000.	
HONDA RC30 (91-92)	FRONT	MT4.75-18	W	¥ 126,000.	
		REAR	MT4.00-18	W	¥ 126,000.
		MT4.75-18	W	¥ 126,000.	
		MT5.25-17	B	¥ 163,000.	
		MT5.50-17	B	¥ 163,000.	
	REAR	MT4.00-18	W	¥ 122,000.	
		MT4.75-18	W	¥ 126,000.	
		MT5.25-17	B	¥ 163,000.	
		MT5.50-17	B	¥ 163,000.	
		MT4.00-18	W	¥ 122,000.	
HONDA CBR600F (91-92)	FRONT	MT4.75-18	W	¥ 126,000.	
		MT5.25-17	B	¥ 163,000.	
		MT5.50-17	B	¥ 163,000.	
		MT4.00-18	W	¥ 122,000.	
		MT4.75-18	W	¥ 126,000.	
	REAR	MT4.00-18	W	¥ 122,000.	
		MT4.75-18	W	¥ 126,000.	
		MT5.25-17	B	¥ 163,000.	
		MT5.50-17	B	¥ 163,000.	
		MT4.00-18	W	¥ 122,000.	

* REAR MT4.00-18 MT4.75-18 のハブは90RS250R仕様
でスプロケットハブ等の付属バーベルトHRC純正バーベルト
が必要となります。

	DESCRIPTION	SIZE	COLOR	PRICE
YAMAHA TZ250 (91-92)	FRONT	MT3.75-17	B	¥ 133,000.
		MT3.00-17	W	¥ 96,000.
		MT3.50-17	W	¥ 96,000.
YAMAHA YZF-R1 (91-92)	REAR	MT5.25-17	B	¥ 158,000.
		MT5.50-17	B	¥ 163,000.
		MT4.00-18	W	¥ 122,000.
	FRONT	MT4.75-18	W	¥ 126,000.
		REAR MT 4.00-18 MT4.75-18 は付属バーベルトYAMAHA 純正バーベルトが必要となる場合があります。		
		MT4.00-18	W	¥ 126,000.

◆上記以外のSIZEに付きましてはお問い合わせ下さい。

[備考]

- 印 : NEW WHEEL (その他は Low-Pressure Casting)
- アルミエアバルブは全品に付属されています。
- COLOR : W - WHITE / B - Racing BLACK
- 価格は税抜き価格 5. 価格・仕様等は予告なく変更する場合があります。
- 現在の在庫状況及び今後の入荷予定に付きましては、お問い合わせ下さい。

[SS-TT-F1 クラス発売予定]

(SSクラス) (TT-F1クラス) の各車種の発売を予定しています。価格・適応車種・SIZE・デリバリー
時期等につきましては、Technical Shop 又は当社までお問い合わせ下さい。

Tecnomagnesio Technical Shop

宮城県角田市 焼クルーズ ☎ 0224-82-0671
宮城県仙台市 ホンダスポーツツーリー ☎ 022-246-2619
宮城県仙台市 TOWNS ☎ 022-256-5635
宮城県名取市 コム・プロダクト㈱ ☎ 022-386-2278
橋本県小山市 i-FACTORY ☎ 0265-25-0508
茨城県結城市 南ワールド筑波 ☎ 0296-49-3138
埼玉県川越市 南エンジニアリング ☎ 0492-22-7770
千葉県四街道市 レーシングサプライ ☎ 0434-23-1180
東京都台東区 HONDA SPORT MOTOBURG ☎ 03-3831-4266
東京都大和市 ハルクプロ ☎ 0425-66-3851
神奈川県伊勢原市 Allレーシングプランニング ☎ 0463-92-3783

神奈川県横浜市 南モトプロス横浜 ☎ 045-402-7227
神奈川県横浜市 オールマン ☎ 045-421-8391
神奈川県横浜市 南ライダーズサローネ横浜 ☎ 045-783-3638
静岡県駿東郡 南ワールドカワグチ ☎ 0559-87-2480
岐阜県岐阜市 南ノースウイングJCC ☎ 0562-94-4421
愛知県海部郡 ラモト-KOHSAKA ☎ 0567-95-9991
愛知県刈谷市 南プロト ☎ 0568-36-0456
愛知県名古屋市 Jレーシングプロジェクト ☎ 052-802-0117
愛知県名古屋市 バイクショップカラガワ ☎ 052-804-2378
三重県鈴鹿市 ホンダワールド株 ☎ 0593-78-1455
三重県鈴鹿市 蘭夢 ☎ 0593-78-9101

三重県上野市 南カマモト・エンジニアリング ☎ 0595-24-6285
大阪府東大阪市 株スパーモンキー ☎ 0729-64-3177
大阪府富田林市 ベビーフェイス ☎ 0721-24-8821
大阪府平野区 南ベガスポーツ ☎ 06-791-2627
大阪府大東市 株RSタイチ ☎ 0720-74-5315
岡山県赤磐郡 NOVA ☎ 0869-5-2519
福岡県北九州市 ホンダショップライフ ☎ 093-922-8906
福岡県福岡市 ホンダショップ高武 ☎ 092-871-8198
熊本県菊池郡 株アール・エス・シー ☎ 096-293-3505

◎Tecnomagnesio Technical Shop では、Tecnomagnesio Racing Wheel の販売及びテクニカルアドバイスアフターサービスを TOTAL でフォローいたします。

◎業者販売につきましては、上記 Shop 又は当社までお問い合わせ下さい。

◎個人(ライダー)の方のご購入につきましては、行き付けの Shop より Technical Shop 又は当社へお問い合わせくださいか、直接 Technical Shop にお問い合わせ下さい。

Tecnomagnesio日本総発売元
株式会社 日本テクノマグネシオ二輪事業部



光がデザインした。
風がフォルムを造った。

PROGRESSIVE MODEL
DFX

940

光&風プロダクト、グランプリユースDFX。

'91シーズン以来、WGPライダー、カルロス・カルダスはDFXをチョイスした。シーズンを通して彼の活躍を支え、その性能をGPシーンで実証し、今、僕たちの前に登場する。光と風に祝福を受けたグランプリヘルメットDFX。

■組体はガラス繊維、ケブラー、ドナカーボ(炭素繊維=自社開発)の積層複合構造をディックライト(自社開発)の樹脂で成型。※デュポン社の登録商標です。
■DIC独自で開発したライナー素材「ディックスチレン」を採用。より優れた緩衝性能を実現している。
■シールドの交換が素早く行える、新ラチェットメカ採用。
■シールドの下にV型のくぼみをつけることにより鼻りを素早くとるアンダーアスピレーター採用。

■規格/スネル90、JIS C種、MFJ公認
●カラー/DFX940(ホワイト/レッド/ブルー、ホワイト/ブルー/ブルー) ソリッドモデル(ホワイト、ブラック、ガンメタリック) ●サイズ/S(55~56cm)、M(57~58cm)、L(59~60cm)、XL(61~62cm) ●価格/DFX940 ¥37,000、ソリッドモデル ¥33,000、(各色とも)





モトクロス

MOTO CROSS

■細則4 モトクロス競技細則

1. 適用の範囲	84
2. モトクロス	84
3. コースの仕様	84
4. 出場車両	84
5. MFJ公認車両・公認部品	84
6. ライダーの装備	84
7. 公式予選	85
8. レース	85
9. 優勝者、入賞順位、完走および得点	86

■細則5 '92全日本選手権大会特別規則

1. 競技開催日程等	87
2. 運営・実行組織	87
3. 公式通知・タイムスケジュール	87
4. 開催部門・クラス	87
5. 競技内容	87
6. 参加定員	88
7. 参加資格	88
8. 出場申し込み	88
9. 出場料およびMFJ共済会掛金	88
10. 参加受理	88
11. 賞および得点	88

12. 出場車両	89
13. ゼッケンナンバー	89
14. ライダーの装備	90
15. ガソリンおよびオイル	90
16. ピットエリア	90
17. 出場受付け	90
18. 車両検査	90
19. ライダーの変更	90
20. 車両の変更	91
21. 部品の変更	91
22. 自由練習および公式練習	91
23. 公式予選	91
24. スタート	91
25. レース	92
26. レース中の公式シグナル	92
27. レースの終了	92
28. 優勝者・入賞者および得点	92
29. 入賞車両の検査	92
30. 総合順位の決定方法	92
31. レースおよび大会の延期・中止等	93
32. 抗議	93
33. レース中の違反行為に対する罰則	93
34. 本規則の解釈	94
35. 本規則の施行	94

モトクロス 競技細則

① 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内モトクロス競技会に適用される。

② モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変化するような地形のところで行われるクロスカントリー・レースである。国内競技規則およびこの細則により管理される。

③ コース仕様

コースの長さは1周1km以上、2km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。

またコース等は、モトクロス会場に関する規則に準拠し、適切なレーシングコンディションと安全性とが確保されていなければならない。

④ 出場車両

車両は、国内競技規則・第3章〔⑦出場車両〕(39頁)の限度を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車両は出場することはできない。

⑤ MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両および公認部品は国内競技規則・第3章〔⑧MFJ公認車両および公認部品・用品〕(39頁)を参照。

⑥ ライダーの装備

1. ヘルメット

- 1) ヘルメットは、日本工業規格JIS T8133-1982-C種およびJIS-T-8133-2種(JIS-T-8133の1982年8月までの規格)、USA S.I.STANDARD-Z90-1-1970、米国スネル規格1985によって示された検査に合格したか、またはそれ以上の性能を有するジェット型または、フルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
- 2) MFJの公認したヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- 3) 競技会の車両検査受け時にヘルメットの検査が行われ、検査に合格しなかった

ヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでも当該ライダーの安全上その使用を禁止される。

- 4) MFJ公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料金(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。

ヘルメットには、ゴールド地の公認マークが貼付されていなければならぬ。



2. ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用はいっさい禁止される。枠は柔軟な素材を使用したもので転倒等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなければならない。

3. ライダーの服装

- 1) 服装は、レース中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものではない。
- 2) 耐火性で溶けない丈夫な生地で、自由な動作を妨げない長袖のジャージを着用しなくてはならない。
- 3) 突出部分のない革、または革と同等以上の性能をもつ手袋およびブーツを着用しなければならない。
- 4) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

7 公式予選

各クラスの出場申し込み台数が、規定の同時出走最多台数(30台)を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選が行われる。

1. 公式予選の内容

- 1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
- 2) 公式予選の日程は、特別規則に示される。
- 3) 公式予選の日程
- 2) 公式予選は、原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。
- 3) 決勝進出台数は特別規則に示される。

8 レース

1. スタートまでの行動

レースにおけるスタート位置の決定方法は、特別規則に示される。

- 1) ライダーは、特別規則に定められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
- 2) ライダーは、スタート前のチェックの後、車両とともに指定区域内に待機しなければならない。
- 3) エンジンのウォーミングアップは、特別規則に決められた時間・場所内でのみ行うことができる。

2. スタート

- 1) スタートの方法については、原則として各部門ともスタートティングマシンを使用したエンジンランニングスタートとする。
ただし、スタートティングマシンを使用しない場合は必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- 2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさ

モトクロス競技細則

い考慮されない。

3) スターティングマシンが使用される場合は、車両の位置はスターティングマシンの後方の区域内とする。

4) スタートの合図は、スタート係の合図（国旗等）によって行われる。ただし、スタートティングマシンを使用する場合はこの限りではない。

5) スタート合図以前にフライングが認められた場合は、スタート・ライン前方において赤旗が振られ、スタートをやりなおす。ただし、同一ライダーが再びフライングをした場合は、そのライダーを失格とする。

4. コースアウト

ライダーは、走行中やむを得ず定められたコースを外れ、再びコースにもどる場合には、外れ出た地点よりコースに侵入し、走行し直さなければならぬ。

5. レース終了

レースの終了は、優勝者の完走後、チェック旗が振られ、マーシャルが定位位置を離れる、またはマーシャルがコースを一巡することによって示される。

⑨ 優勝者、入賞者および順位、完走および得点

1. 優勝者

優勝者は、定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーである。

2. 入賞者および順位の優先順序

入賞者および入賞順位は、チェックを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。

3. その他の順位の優先順序

周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。

4. 完走者

1) 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダーが完走者とする。

2) レース途中でリタイヤしたライダーも完走周回数を完了している場合は完走者とみなされる。

5. 得点

1) 得点は国内競技規則・第3章【⑩入賞】(39頁)によって得点が与えられる。

2) オープンクラスに関しては自動昇格得点対象外とする。



'92全日本選手権大会 特別規則

① 競技会開催日程等 (94頁参照)

② 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

③ 公式通知・タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切り後に発送される。

④ 開催部門・クラス

1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

部 門	国際B級	国際A級
クラス	125cc 250cc	125cc 250cc

2) 全日本選手権は原則として国際B級及び国際A級の2部門にて開催されるが、事前に選抜された者による2クラスまでのレースを併催することが出来る。但し、そのレースは土曜日に開催しなければならない。エキジビションは日曜日に全日本選手権開催クラスに影響のない範囲にて開催することが認められる。

3) 国際A級部門は、125ccクラスと250ccクラスを開催し、各クラスの選手指定は下記のとおり行う。

(1) 250cc

① 前年の全日本選手権250ccクラスにおける有得点者。

② 125ccクラスからのクラス移籍者。(前年の125ccクラスシリーズランキング15位以内の者)

③ その他、スポーツ委員会が特に認めた者。

(2) 125ccクラス

① 250ccクラスにおいての無得点者。

② 前年の125ccクラスにおいて、ランキング16位以下の者。

③ 国際B級からの昇格者。

⑤ 競技内容

1. 予選

1) 原則として定員(30台)を超えた場合、公式予選が行なわれ、その公式予選競技内容は公式通知に示される。

2. 決勝レース

'92全日本選手権大会特別規則

国際B級：25分+2周または左記時間に相当する周回数

国際A級：30分+2周または左記時間に相当する周回数

6 参加定員

定員は定めない。

7 参加資格

1. 参加者およびライダー

参加者およびライダーは、国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(36頁)に合致していなければならない。

2. MFJグランプリ大会の参加資格

国際A級、国際B級の各クラスともフリーエントリーとする。

3. 世界選手権モトクロス日本グランプリ大会の参加資格

1) 1992年7月5日に開催される全日本選手権第8戦北海道大会までの125cc、250ccの各クラスランキング上位10位迄の選手に出場資格を与える。

2) 出場資格獲得選手の中で、出場意志の無い者のあった場合、ランキング11位以下の選手よりランキング順に繰り上げ、資格を与える。

但し、その場合の繰り上げ範囲は20位までとする。

8 出場申し込み

1) 申し込み場所は、各主催者(申し込み先)住所とする。(94頁参照)

2. 出場申し込み

(1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて提出しなければならない。

(2) 2クラス以上に出場を申し込む場合でも、申し込み書は、1枚でよい。ただし2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入もれのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。

(3) 郵送の場合は現金書留とし、締切り日当日の消印のあるものまで有効となる。

(4) 締切り日以降の申し込み及び電話・FAX等の申し込みは一切受けられない。

9 出場料およびMFJ共済会掛金

全日本選手権	出場料(MFJ共済会掛金1,000円含む)	10,000円
	(2クラス目より)	8,000円

10 参加受理

- 必要事項を記入した出場申し込み書、所定の金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。
- 大会が中止された場合、また参加が拒否された場合(申し込み者が必要な手続きを怠った場合はこれにあてはまらない)にのみ出場料、共済会掛金が返還される。
- いったん受理された出場料、共済会掛金は上記2)および細則5の〔③〕レースおよび大会の延期、中止等(93頁)の場合を除き、いかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。

11 賞および得点

- 賞の詳細は、公式通知に示される。

- 2) 全日本選手権ランキングの得点。
- (1) 得点は、国内競技規則・第3章〔⑩公式得点〕(39頁)によって得られる。
 - (2) MFJグランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計点によって決定される。
その詳細は、全日本選手権ランキング順位決定基準(159頁)に示される。
- 3) 賞および得点の制限
賞および得点の制限は、国内競技規則・第3章〔⑩公式得点〕(39頁)による。

⑫ 出場車両

車両は、細則4の〔④出場車両〕(84頁)を遵守しなければならない。

⑬ ゼッケンナンバー

- 1) 国際A級および国際B級の一部(30番まで)のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割り当てられる。
 - (1) 国際A級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は次のとおりとする。
 - ① 250ccクラス指定ゼッケン優先順位
 - a. 全日本選手権250ccシリーズランキング順。
 - b. 125ccクラスからの移籍者を125ccでのランキング順に追加する。
 - c. その他、250ccクラスに特に指定された者を追加する。
 - ② 125ccクラス指定ゼッケン優先順位
 - a. 250ccクラスへの移籍者(ランキング上位15位)を除いた125ccクラスランキン順。(前年度の16位以降)
 - b. 250ccクラスからの移籍者を前年の250ccでの指定ゼッケン順とする。
 - c. 国際B級からの昇格者を総合ランキング順に指定する。
 - (2) 国際B級(30番まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は次のとおりとする。
 - ① 各クラスのランキング順位により各ライダーの代表クラスを決定する。
 - ② 各クラスのランキング順位を比較し、ランキング上位の者を優先する。
 - ③ ランキング順位が同位の場合、そのライダーの代表クラスの上位入賞回数が多いものを優先する。
 - ④ ③で決定できない場合は、代表クラスの排気量の大きい方を優先する。
 - ⑤ ④で決定できない場合はスポーツ委員会にて最終決定する。

2) 他のライダーには、大会毎に主催者によってゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。

3) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体および色で記入しなければならない。(26頁および133頁参照)。

4) 年間指定ゼッケンナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にゼッケンナンバーを記入しなければならない。

5) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

6) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケンおよびヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、また、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周囲は記録されない。

7) 雨天の時、すべてのライダーはヘルメットの両側面にゼッケンナンバーを記さなければならない。

14 ライダーの装備

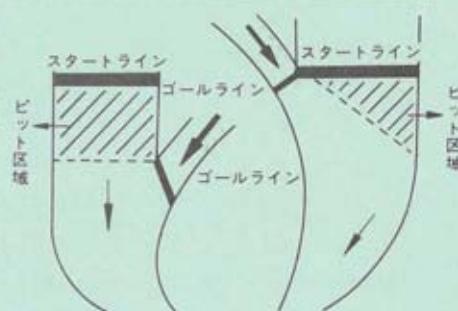
- 1) ライダーの装備等は、細則4の〔⑥ライダーの装備〕(84頁)による。
- 2) MFJ公認マークが貼付されていないヘルメットを使用しているものについては、特別検査料金(1,000円)を支払い、検査を受けなければならない。

15 ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは、国内競技規則・第3章〔⑨燃料およびオイル〕(40頁)による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が主催者によって指定された場合は、当該指定ガソリンを使用しなければならない。
- 3) ガソリンの運搬については、消防法第16条の規定に従った方法で行わなければならない。

16 ピットおよびサインエリア

ピットおよびサインエリアは、主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアは、スタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしつかえのないコースサイドまたはコース上である。



17 出場受付け

- 1) 出場受付けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

18 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人または当該ライダーのメカニックが特参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) 車両検査持込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定、国際A級部門のライダーは制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は出来ない。
- 4) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

19 ライダーの変更

ライダーの変更是認められない。

20 車両の変更

破損などやむを得ず出場登録済の車両を変更する必要が生じた場合は、規定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
- 2) その他については、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、手数料5,000円を添付しなければならない。
- 4) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

21 部品の変更

- 1) エンジン・アッセンブリーの変更は認められない。

22 自由練習および公式練習

- 1) 競技前日の練習走行は禁止される。
- 2) ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加し、走行しなければならない。

23 公式予選

- 1) 公式予選の内容は細則4の〔⑦公式予選〕(85頁)による。
- 2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は、公式通知またはプログラム等に示される。
- 3) 公式予選の組分けは、公式練習終了以前に発表される。

24 スタート

1. スタートの方法

- 1) 原則として各部門ともスタートティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。
- 2) スタートティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。

2. スタートの手順

FIM規程

- グリーンフラッグ……ライダーが全員スタートティンググリッドに着くまで掲示。
30秒(ボード)……30秒間掲げられる。
5秒(ボード)……掲示されてから5~10秒以内にスタートする。

3. スタート台数

原則として30台とする。ただし、MFJグランプリはこの限りではない。

4. 予選レースのスタート位置の決定方法

スタート位置は、抽選結果の順位により、スタート位置が自由選択できる。

5. 決勝レースのスタート位置の決定方法(国際A級を除く)

スタート位置の決定は、予選順位に基づき主催者が定める。

6. ウォーミングアップ

エンジンのウォーミングアップは主催者の指示する時間・場所に限られる。

'92全日本選手権大会特別規則

7. エンジンの始動の合図がなされた後

ウォーミングアップ以後、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

8. スタート位置の変更について

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いた者は、そのスタート位置を変更できない。

25 レース

- 1) レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章【⑩競技参加者の遵守事項】(36頁)による。
- 2) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックは、2名以内に限定される。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗およびゼッケンを記したボードが示され、ピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て再出走が認められる。

26 レース中の公式シグナル（合図旗）

- 1) 公式シグナルは、約750×600mmの寸法の旗を使って次のように与えるものとする。

シグナル	意 味
<ul style="list-style-type: none">・赤旗・黒旗とライダーのナンバーを示したボード・黄旗（停止）・黄旗（振る）・青旗（振る）・緑旗・白黒チェック旗	<ul style="list-style-type: none">・全員停止・当該ライダー停止・危険予告・コース上に重大な危険あり、徐行、安全確認、追い越し禁止・警告、ラップされようとしている・コース上障害物なし・レース終了

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴール地点に現われた時点から、残りの周回数を示す合図が出される。

27 レースの終了

レースの終了は細則4の【⑧レース】(85頁)による。

28 優勝者・入賞者および得点

各レースにおける優勝者、入賞者、完走者および順位は、細則4の【⑨優勝者、入賞者および順位、完走者および得点】(86頁)による。

29 入賞車両の検査

- 1) レース終了後、入賞車両は、直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、車両重量および音量が測定され、規定を充たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

30 総合順位の決定方法

レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の決定は、以下のとおりとする。

- 1) 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。
- 2) 1ヒート、2ヒートの合計得点が同点の場合は、上位入賞者を優先する。
- 3) 上記1)、2)にて決定できない場合は、2ヒート目の成績上位の者を優先する。

31 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 本大会は、本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースを中止しなければならないと判断したとき限り、レースを中止することができる。
- 3) すべての関係者は、大会審査委員会の決定に従わなければならぬ。
- 4) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースに決められた回数（または時間）の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効となる。
- 5) トップ走者が決められた周回数（または時間）の3分の2以上を完走した時点でレースを打ち切ったときは、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。
- 6) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返還されるが、他のいっさいの損害賠償を主催者に請求することはできない。公式予選終了後の中止については、決勝進出者のみ出場料が返却される。
- 7) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。

32 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔抗議〕(41頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。
- 3) 車両の分解検査に立合う者は、車検長および抗議を受けた当時者のみとする。

33 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督ならびに大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課すことができる。

1. 失格
 - 1) 故意に走路を防害した場合。
 - 2) レース中に他の援助を受けた場合。
 - 3) コース上で逆走した場合。
 - 4) コース審判により示された信号旗に従わなかった場合。
 - 5) 一度コース外に出て他の所より再びコースに復帰した場合、1周減算または失格とする。
 - 6) フライングを2度繰り返した場合。
2. 1周減算
 - 1) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。



34 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局にて質疑申し立てができる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

35 本規則の施行

本規則は出場申し込み受け日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則による。

1992年1月1日
全日本選手権大会事務局長

'92全日本選手権(主要イベント含む)開催日程

開催日	大 会 名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間
4月4日(土) ～ 4月5日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第1戦関東大会	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03(3472)6241	静岡県 富士スピードウェイ モトクロスコース	2月25日㈬ ～ 3月5日㈭
4月18日(土) ～ 4月19日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第2戦九州大会	MFJ九州 〒861-41 熊本県熊本市近見町2273-1 ㈱ホンダ熊本二輪内 ☎096(355)5075	熊本県 HSR九州	3月10日㈭ ～ 3月19日㈬
4月25日(土) ～ 4月26日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第3戦近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会内 ☎06(541)5254	奈良県 名阪スポーツランド	3月17日㈭ ～ 3月26日㈬
5月9日(土) ～ 5月10日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第4戦中国大会	MFJ広島 〒730 広島県広島市中区光南1-4-17 広島県二輪自動車共同組合 ☎082(241)6999	広島県 グリーンパーク弘楽園	3月31日㈭ ～ 4月9日㈬
5月16日(土) ～ 5月17日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第5戦鉄鹿大会	㈱鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキット 〒510-02 三重県鈴鹿市桜生町7992 ☎0593(78)1111	三重県 鈴鹿サーキット	4月7日㈭ ～ 7月16日㈬
5月30日(土) ～ 5月31日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第6戦四国大会	MFJ四国 〒761 香川県高松市西東町536 ㈱ホンダ二輪香川内 ☎0878(82)1182	香川県 瀬戸大橋博跡地	4月21日㈭ ～ 4月30日㈬
6月13日(土) ～ 6月14日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第7戦SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	宮城県 スポートランドSUGO モトクロスコース	5月5日㈭ ～ 5月14日㈬
7月4日(土) ～ 7月5日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第8戦北海道大会	MFJ北海道 〒065 北海道札幌市東区東雁来3条1-4-3 札幌市地区軽自動車協会内 ☎011(782)1492	北海道 三笠山サーキット	5月26日㈭ ～ 6月4日㈬
7月18日(土) ～ 7月19日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第9戦東北大会	MFJ東北 〒983 宮城県仙台市宮城野区崩町3-4-9 宮城県二輪車安全普及協会内 ☎022(284)9484	岩手県 藤沢スポーツランド	6月9日㈭ ～ 6月18日㈬
8月1日(土) ～ 8月2日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第10戦関東大会	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03(3472)6241	長野県 コングラント	6月23日㈭ ～ 7月2日㈬
9月19日(土) ～ 9月20日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第11戦中部大会	MFJ中部 〒466 愛知県名古屋市昭和区天白町大字八事字富士 見ヶ丘110-6 愛知県軽自動車協会内 ☎052(833)9676	岐阜県 多治見コミュニティラ ンド	8月11日㈭ ～ 8月20日㈬
10月3日(土) ～ 10月4日(日)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第12戦第30回MFJグランプリ大会	MFJ 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	宮城県 スポートランドSUGO モトクロスコース	8月25日㈭ ～ 9月3日(木)
8月22日(土) ～ 8月23日(日)	世界選手権モトクロス日本GP	㈱鈴鹿サーキットランド鈴鹿サーキット 〒510-02 三重県鈴鹿市桜生町7992 ☎0593(78)1111	三重県 鈴鹿サーキット	
10月17日(土) ～ 10月18日(日)	パンパシフィックスーパークロス 選手権シリーズ日本大会	MFJ 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	福岡県 よかとびあ跡地	

自然と 友達



「遊びに、おいで」



- テニス(27面) ● 冒険ジャルダン(フィールドアスレチック)
- ゴーカート ● レーシングカート ● ランドカー ● プール
- アーチェリー ● おかしな自転車 ● ミニミニカー ● つり堀
- ガーデンゴルフ ● ローラースケート ● カフェテリア
- バーベキューガーデン ● シャッフルボード 他



お泊りは
SUGOの中の
リゾートホテル

- ホテル「くぬぎ山荘」
会議室・ダイニング・ラウンジ
深山亭・バー 他
- キャンプ場
5人用・8人用テント・營火場 他
- オートキャンプ

仙台市郊外・村田町



宮城県柴田郡村田町喜生6-1 ☎ (024) 83-3111㈹
東京営業所 ☎ 03) 3575-4771 仙台営業所 ☎ (024) 83-4711

Racing Kitparts '92

TZR250R
FZR250R
FZR450RR
FZR750R
DT200WR

FZR250R '92 SP KIT PARTS

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	3LN-250SP-02	SP KIT SET	1	120,000
2	サイレンサー/ディフュゼーセット	1	39,000	
3	キャブレターセッティングバーフィット	1	9,360	
4	スアーファンキル	1	16,500	
5	ドライブスプロケット13T(520)	1	1,800	
6	ドライブスプロケット40T(520)	1	6,900	
7	ドライブスプロケット41T(520)	1	6,900	
8	ドライブスプロケット43T(520)	1	6,900	
9	アロングリッケンプレート	1	4,200	
10	イグナイター	1	36,000	
11	ワイヤーハーネスセット(50W-15m)	1	10,500	
12	ストップス/Wスチー	1	3,600	
13	セーブモーター	1	18,300	

キャブレターセッティングバーフィット

1	メインジェット(MJ)	#150 #152.5 #155 #157.5	14	(#520) 7,280
2	バイロットジェット(PJ)	#15	4	(#520) 2,080

オプショナルバーフィット

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1		アリクションプレート	1枚	1,400
2		オイルキャッチタンクセット	1	8,000
3		レーシングタコメーター	1	15,000
4		A/Eレーンボルトセット	1	1,800
5		エアダインギングバー(ツイーリー)	1	5,000
6		ドライブスプロケット39T-41T(520)	各	6,900
7		スペアーサイレンサー	1	29,000
8		水温計	1	8,000
9		T型水温計ジョイントセット	1	8,000
10		アロントレーベクホースセット	1	11,000
11		ドライブスプロケット34T(520)	各	6,900
12		A/Eハンドルセット #38	1	13,000

TZR250R '92 SP・SS KIT PARTS

SP-SS KIT SET

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1		SP KIT SET	1	228,000
2	3XV-14600-70	レーシングキャブレターセット(14600-70)	1	108,500
3		ウォーターコールドエアインテーク	1	3,600
4		キャブレターカバーセット	1	4,500
5		各部修理用具セット	1	3,100
6	9383E-15082	ドライブスプロケット15T	1	3,100
7	9383E-16106	ドライブスプロケット16T	1	3,100
8	3XV-25425-70	ドライビングプロロット35T	1	8,100
9	3XV-25426-70	ドライビングプロロット36T	1	8,100
10	3XV-25428-70	ドライビングプロロット38T	1	8,100
11		フロントブレーキホースセット	1	12,000
12	3XV-26002-70	スロットルワイヤーAaxy	1	4,000
13	3XV-28365-70	ゼッケンプレート	1	4,700
14	3XV-85540-80	CDI ユニット	1	38,500
15		CDI 取付用スチーピング	1	3,800
16	3XV-82580-70	ワイヤードルームAaxy	1	9,000
17		キャブレターセッティングバーフィット	1	27,500
18	3XV-83590-70	水温計セット	1	8,000
19	94701-00332	スレーブワイヤー(85184-10.5)	2	ヤマハ純正部品
20	3XV-15461-00	片手ハンドルスケート	1	ヤマハ純正部品
21	90215-20231	ロッカッシュライディングアクスル	1	ヤマハ純正部品
22	3XV-16321-40	フリクションブレーキセット	4	ヤマハ純正部品
23		キットマニュアル	1	1,500

SPキャブレターセッティングバーフィット

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	メインジェット(MJ)	#230 #240 #250 #260 #270 #280 #290 #300 #310 #320	10	1個 620
2	ニードルジェットセッター	ブリードル 無	2	1個 2,550
3	ニードルバルブ(NV)	孔径 #3.5	2	1個 1,800
4	ジェットニードル(JN)	6FB80-63	2	1個 1,000
5	カッタウェイ(CA)	2.5	2	1個 3,900
6	ニードルジェット	R-0, R-2	4	1個 1,000
7	バイロットジェット(PJ)	#35 #37.5	4	1個 650
8		#55	2	1個 570

オプショナルバーフィット

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1		スチーピングバー(Aaxy) #3U	1	35,500
2		バッテリースチップ	1	43,000
3		ホイルカバー(マーティン)取付用	1	2,600
4		5.5mmリニアホイルカバーセット	1	18,000
5		スペアーサイレンサー	1	13,800
6		スクリーン	1	11,000

FZR400RR '92 SP・SS KIT PARTS

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	3TT-14000-80	SP KIT SET	1	247,000
2	3TT-14000-80	レーシングバー(Aaxy)	1	154,000
3	3TT-14000-81	キャブレターセッティングバーフィット	1	24,000
4	3TT-14453-70	セルフリターミナルルーム	4	
5	3TT-00001-70	油圧式カッティングブレード	5	
6	3TT-00001-70	オイルストック(油箱)セット	1	
7	3TT-14001-70	マフラー(マフラー本体)(SST-1401-70)	1	16,200
8	3TT-14001-70	マフラー(マフラー本体)(SST-1401-70)	1	3,600
9	3TT-14003-71	オイルマニホールド	1	36,000
10		2		2,000

キャブレターセッティングバーフィット

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	メインジェット(MJ)	#122.5 #125.5 #127.5 #130 #132.5	30	00430 10,400
2	ドームルート(NZ)	ゲー	4	6,200
3	ジェットニードル(JN)	SCT 1	4	3,600
4	ダイラムラムスプリング	4	4	3,400
5	メインエアージェット(MAJ)	#120	4	00430 1,720

SP-SS共通オプショナルバーフィット

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	3T-14321-70	ツリッシュブレード	1枚	1,400
2		オイルマニホールドカッティング	3	8,000
3		セッティングバー	1	3,900
4		フロントブレーキホースセット	1	11,000
5		HSTDセラウドワイヤードルセット	1	16,000
6		バッテリースチップ	3	52,000
7		ドライビングプロロット14T-16T	各	3,900
8		ドライビングプロロット20T-47T	各	6,900
9		レーシングオーバーホー	1	15,000
10		エアクリーン	1	15,000
11		アーモニカスラッシュ(マスサ-ゼ)	1	24,000
12		アーモニカスラッシュ(マスサ-ゼ)	1	28,000
13		レーシングウインカーバー	2	22,000
14		アーモニカスラッシュ(マスサ-ゼ)	1	18,000
15		アーモニカスラッシュ(マスサ-ゼ)	1	16,900
16		アーモニカスラッシュ(マスサ-ゼ)	1	18,500
17		ホイールカバーフィット	1	20,000
18		レーシングスリーブワイヤーホルダー	1	214,500
19		アーモニカスラッシュ(マスサ-ゼ)	1	1,800
20		アーモニカスラッシュ(マスサ-ゼ)	3	3,000
21		エアクリーンダクトバー(マスサ-ゼ)	1	6,000
22		油圧式カッティングブレード	1	9,800
23		大型スリーブカバーホルダー	1	98,500
24		インテグラシヨンバー(マスサ-ゼ)	1	79,500
25		ACMセット	1	52,000
26		六角スリーブカッティング	1	27,500
27		六角スリーブカバーフィット	4	16,500
28		FCRモーターブラケットモルヒー	4	50,000
29		FCRモーターブラケットモルヒー	2	5,800
30		ホイールカバーフィット	1	8,000
31		スリーブセミモルヒー	1	34,800
32		下型スリーブカバーフィット	1	8,000
33		スリーブカバーライナー(マスサ-ゼ)	1	13,200
34		リヤカーボルタブルマントルセット	1	75,900
35		スリーブスリーブリニア(マスサ-ゼ)	1	4,800

FZR750R '92 SS750 KIT PARTS

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	3FV-750SS-9-2	エアファンキル	4	22,000
2	90460-65169	クラップ	3	ヤマハ純正品
3	3GM-13597-0-0	ジョイントキャブ①	3	ヤマハ純正品
4	3GM-13598-0-0	ジョイントキャブ②	3	ヤマハ純正品
5	3FV-Y1410-7-1	キープセッティングバーフィット	1	43,280
6	3FV-14710-7-2	レーシングサイレンサーAssy	1	45,000
7	90507-20030	スプリング	4	ヤマハ純正品
8	90501-230E4	スプリングダラッタ	4	1,200
9	1FN-17461-7-0	ドライバスプロケット 1ST	1	3,900
10	1FN-17461-8-0	ドライバスプロケット 1ST	1	3,900
11	90215-21022	ワイヤーラッタ	6	ヤマハ純正品
12	3FV-25444-8-0	ドリブンスプロケット 46T	1	8,900
13	3FV-25447-8-0	ドリブンスプロケット 47T	1	8,900
14	3FV-25448-8-0	ドリブンスプロケット 48T	1	9,300
15	3FV-25449-8-0	ドリブンスプロケット 49T	1	9,300
16	8-82303-8-0	タイヤイーター	1	39,500
17	8259-7-0	タイヤホルダースリーリーS/W・スチーセット	1	17,800
18	8-15178-7-0	ブラグ	1	15,000
19	3EY-18164-2-50	オリダ	2	ヤマハ純正品
20	90206-08016	ゴルトフランジ	2	ヤマハ純正品
21	90338-30096	ブレード	1	ヤマハ純正品
22	90336-06031	ブレード	1	ヤマハ純正品
23	3FV-28365-7-0	ゼッケンプレート	1	4,000
24	90150-05820	スクレュー	2	ヤマハ純正品
25	95704-05500	ナットフランジ	2	ヤマハ純正品
26	3FV-82170-8-0	オイルチャッキンセット	1	14,000
27	3FV-13431-7-0	バイブ	3	
28	T1RR/W	インシュロッタ	4	
29	T1RL/W	インシュロッタ	4	
30		マニピュル	1	2,000

キャブレターセッティングバーパーツ内容

1	メインジェット(MJ)	#135 #137.5 #140 #142.5 #145 #147.5	44	# 320 22,880
2	ショットジェット(JN)	#150 #152.5 #155 #157.5 #160(各4)	4	6,200
3	ニードルジェット(NJ)	Y-2 Y-4 Y-6(各4)	12	# 300 10,800
4	ダイアフラムスプリング	2.00-2.75g	4	3,400
5	シム		4	セット同様
6	Eリング		4	セット同様

DT200WR '92 ENDURO KIT PARTS

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	3XP-200ED-9-2	エンデューロキットセット	1	89,000
1	-Y4600-8-0	レーシングチャンバーAssy	1	59,000
2	-14610-8-0	レーシングチャンバー	1	44,000
3	-14753-8-0	アルミサイレンサー	1	15,000
4	4BF-14451-0-0	エアーユニメント	1	2,250
5		キャブレターセッティングバーフィット	1	ヤマハ純正品
6	90501-20361	強化ラッチャスプリング	5	ヤマハ純正品
7	3XP-25450-7-0	ドライブチェーン(カラー:134L)	1	8,000
8	3XP-250DS-7-0	ドライブチェーン(カラー:134L)	1	8,000
9	4BF-26311-0-0	スロットルワイヤー	1	1,400
10	161-15426-0-0	オイルポンプカバー	1	ヤマハ純正品
11	3MT-13116-0-0	ガスケット、ポンプテース	1	ヤマハ純正品
12	4BF-15416-0-0	カバー1	1	770
13	98501-06012	スクレュー	3	ヤマハ純正品
14	4BF-15357-0-0	プロメット	1	280
15	4BF-15189-0-0	ブラグ	1	980
16	3XP-25872-8-0	ステンレスマッシュブレーキホース	1	7,700
17	90201-10118	ワッシャプレート	4	ヤマハ純正品
18	90206-06012	ボルトフランジ	2	ヤマハ純正品
19	90430-06166	ガスケット	2	ヤマハ純正品
20	90387-15600	フロントホイールカバー	1	ヤマハ純正品
21	93102-20281	オイルシール	1	ヤマハ純正品
22	322-25118-0-0	カバーハブゲスト	1	ヤマハ純正品
23		マニピュル	1	2,000

キャブレターセッティングバーパーツ内容

1	メインジェット(MJ)	#180 #190 #200 #210 #230	5	ヤマハ純正品
2	パドルロッドジェット(PJ)	#30 #32.5 #35	3	ヤマハ純正品
3	パドルジェット(PWJ)	#80 #85	2	ヤマハ純正品

オプショナルパーツ

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	3XP-Y7410-7-0	1速クロスギヤセット	1	7,900
2	3XP-24730-7-0	WR200用カート(36mmUP)ホ	1	14,000
3	4BF-23141-0-0	フロントフォークスプリング	2	4,200
4	4BF-Y2410-7-0	樹脂ダンパー	1	27,000
5	4BF-Y8470-7-0	タイラーリットユニット	1	3,200
6	3XP-82590-7-0	ワイヤーホース	1	6,500
7	3XP-Y6320-7-0	ラッカセット	1	12,000
8		WR200用ロゴスティッカー	1	620

FZR750R '92 SB・SS オプショナルパーツ

SB専用

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	3FV-11631-8-1	ピストン	4	43,000
2	3FV-11630-8-0	ピストンリングセット	4	18,000
3	3FV-12171-7-0	カムシャフト 1N	1	57,200
4	3FV-12181-7-0	カムシャフト EX	1	57,200
5	3FV-12174-7-0	カムスプロケット 1N	1	4,500
6	3FV-12177-7-0	カムスプロケット EX	1	4,500
7	3FV-Y4900-7-2	TDMキャブキット 40/17719-01	1	1,340,000

SB・SS共通オプショナルパーツ

No.	PARTS NO.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	3FV-14710-8-0	カーボンF1サインサーAssy	1	76,800
2	3FV-1471A-7-0	サイレンサープラグ	1	5,400
3	3FV-Y7400-9-0	プロミッションセット(C-タイプ)	1	299,000
4	3FV-Y1634-7-0	ブッシュレバーキットセット	1	38,500
5	3FV-W8259-8-1	エヌザラスワイヤーネームセット	1	26,800
6	1AE-81600-7-0	軽量ACO	1	142,800
7	3FP-00057-0-0	レーシングディスクステップベースR/L	1	37,000
8	3FV-82540-7-2	レーシングダミーモーター	1	15,000
9	3FV-Y4410-7-2	インテグラショングッタセット	1	295,000
10	3FV-Y2440A-7-0	インテグラショングッタセット	1	437,500
11	40A/H ハンドルセッティングSTD(ヨー用)	1	18,500	
12		ホース	1	8,000
13		スナップダンバーステー(ヨー用)	1	6,000
14		レーシングダミーモーター	1	16,000
15		フロントダブルペースR-Lセット	1	17,000
16		フロントホイールナットR-Lセット	1	8,000
17		リアホイールカーラーナットセット	1	130,000
18		専用スプロケット42T-47T	1	9,300
19		専用スプロケット48T-49T	1	10,000
20		専用スプロケット49T-50T	1	2,500
21		専用スプロケットレンチ	1	23,500
22		専用フロントホイール	各種	
		専用リアホイール	各種	回合せ下さい

TZ250 '92 オプショナルパーツ

No.	PARTS NAME	QTY	小売価格
1	トランスマッシャン	1 FP(アスクルメイン)	21,800
1	トランスマッシャン	1 FW	14,000
2	BSP	1	9,200
2	BW	1	13,200
3	B C CP	1	16,700
3	BW	1	24,200
3	C C DP	1	11,000
3	D D DP	1	11,000
4	DW	1	17,600
5	DP	1	14,000
5	DW	1	15,000
6	DDP	1	11,000
6	DW	1	11,000
6	EEP	1	11,000
6	EW	1	11,000
2	スロットルバルブ	4.0 4.5	1 SET 15,000
3	ニードルジェット	R-5 R-7 R-8 (標準R-6 同様R-3, R-4)	1 SET 2,400
4	ドライブスプロケット	1.3 T	5,000
5	ドライブスプロケット	4.2 T 4.3 T	各 8,000
6	フロントフォーススプリング	K=0.65 K=0.75	1 SET 9,600
7	リアサススプリング	K=7.0	4,500

掲載のパーツは全国のRSS店で取り扱っております。

*このレーシングパーツは、レース専用のものです。

一般公道車両には使用できません。

*本仕様は予告無く変更される場合があります。

取扱店 RSS各店



〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
TEL 0224-83-3125 • FAX 0224-83-3130

待ち焦がれていた頂点。



量化、耐久性、安定性、そして、い
ままでのストリートも走れるコンペ
ティションタイヤに、サイズ・バリエ
ーションがひろがった。高いトータ
ル・バランスを誇るミシュランの集
大成、待ち焦がれていた「頂点」が、
ストリートを席巻する時がきたる

世界GPで走るミシュランのテ
クノロジーが、ダイレクトに反映さ
れているストリートラジアルの両
端TX、59Xシリーズ。そこには、
まさに「コンペティションを意識させ
る強大なグリップ力、卓越したダ
ンピング特性がある。比類なき軽



HI-SPORT radial TX11

120/80ZR16 TL	¥25,300
130/60ZR17 TL	¥27,900
120/70ZR17 TL	¥26,200
100/80ZR17 TL	¥19,600
110/80ZR17 TL	¥25,400
120/60R17 55H TL	¥19,800
120/60ZR17 TL	¥20,800
110/70ZR17 TL	¥21,300
110/80ZR18 TL	¥26,000

HI-SPORT radial TX23

160/80ZR16 TL	¥34,200
180/55ZR17 TL	¥35,500
150/60ZR17 TL	¥29,600
160/60R17 69H TL	¥31,000
160/60ZR17 TL	¥32,600
130/70ZR17 TL	¥26,200
150/70ZR17 TL	¥32,000
140/60ZR18 TL	¥27,800
160/60ZR18 TL	¥34,300
150/60ZR18 TL	¥31,200
150/70ZR18 TL	¥32,300

radial A59X

130/60ZR16 TL	¥25,500
120/80ZR16 TL	¥24,000
120/60ZR17 TL	¥19,700
130/60R17 59H TL	¥25,300
130/60ZR17 TL	¥26,600
110/70ZR17 TL	¥20,300
120/70R17 58H TL	¥24,000
120/70ZR17 TL	¥25,200
110/80ZR17 TL	¥24,200
120/60ZR18 TL	¥26,000
110/80ZR18 TL	¥24,900

radial M59X

160/60ZR16 TL	¥31,000
160/80ZR16 TL	¥32,500
180/55ZR17 TL	¥34,700
160/60R17 69H TL	¥30,500
160/60ZR17 TL	¥32,000
170/60R17 72H TL	¥31,900
170/60ZR17 TL	¥33,000
140/80ZR17 TL	¥29,000
140/60ZR18 TL	¥26,400
160/60ZR18 TL	¥33,000
150/70ZR18 TL	¥31,300



THE TIRE
MICHELIN

MARVIC

RACING WHEEL '92 MODEL



'90~'92 RS125

F)2.15-17···¥118,000 R)3.00-17···¥132,000

F)2.25-17···¥118,000 R)3.25-17···¥134,000

F)2.50-17···¥120,000 R)3.50-17···¥136,000

'90~'92 RS250

F)3.50-17···¥138,000 F)3.50-17···¥138,000

F)3.75-17···¥138,000 F)3.75-17···¥138,000

R)5.25-17···¥159,000 R)5.25-17···¥159,000

R)5.50-17···¥164,000 R)5.50-17···¥164,000

'90~'92 TZ250

F)3.50-17···¥138,000 F)3.50-17···¥138,000

F)3.75-17···¥138,000 F)3.75-17···¥138,000

R)5.25-17···¥159,000 R)5.25-17···¥159,000

R)5.50-17···¥164,000 R)5.50-17···¥164,000



■大量入荷、即納可

RACING WHEEL 総販売元 株アクティブ
総輸入元 GARUDA INC.

MARVIC COMPETITIVE TECHNICAL SHOP

- | | | | |
|-----------------------|--------------|-------------------------|---------------|
| ●モトクローズ/角田市 | 0224-82-0671 | ●株エーゼー/伊勢原市 | 0463-92-3793 |
| ●ホンダオートバイセンター/仙台市 | 022-245-2619 | ●新リーディングプロジェクト/名古屋市 | 052-802-0117 |
| ●TOWNS/仙台市 | 022-256-5635 | ●ラモト-KOHSAKA/海部郡 | 052-79-5-9991 |
| ●FACTORY/Y/山形 | 0265-25-0508 | ●㈱TOKO BEE/前橋市 | 053-79-4010 |
| ●東大都RACING/バージ事務部/結城市 | 0296-44-9980 | ●エンターワールド/鹿児島市 | 099-79-1455 |
| ●モトールシングル/結城市 | 0296-48-3138 | ●㈱オーファーレーシングプロジェクト/鹿児島市 | 099-79-0037 |
| ●レーシングサプライ/西条市 | 0904-29-1180 | ●東八ガススポーツ/大森市 | 04-791-3627 |
| ●サンダースポーツモード/徳島市 | 03-3821-4265 | ●萬スーパーモンキー/東大阪市 | 0729-84-3177 |
| ●DX RACING/東京都 | 03-3672-4288 | ●バージカンパニー/東大阪市 | 0729-82-0007 |
| ●ホーリマン/相模原市 | 0421-45-2118 | ●シンドショップライフ/北九州市 | 093-932-8906 |
| ●モハトル/東大和市 | 0425-66-3851 | | |

販売・通販は上記の販売店、又は当社にお問い合わせ下さい。※取扱店募集中//



ACTIVE

株式会社 アクティブ

TBS NAKATUBOCHO, TINPAKU-KU, NAGOYASHI, 460
名古屋市天白区中切町180番地 〒468
TEL (052)891-2511㈹ FAX (052)891-0551
OPEN 9:00am~6:00pm 定休日:日曜日、祭日

CYCLE sounds

サイクルサウンズ

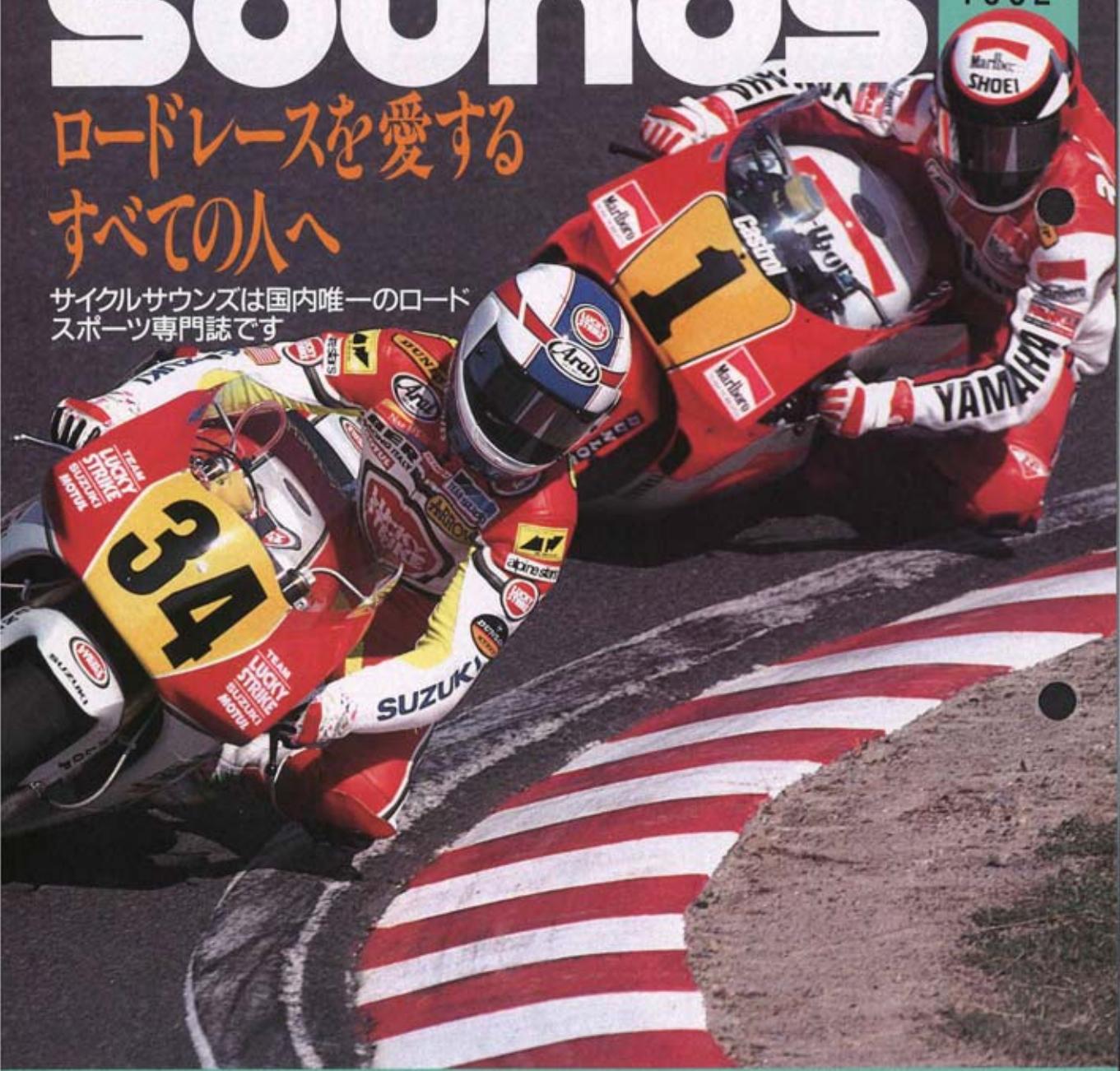
ロードスポーツマガジン

1992

SINCE
1982

ロードレースを愛する
すべての人へ

サイクルサウンズは国内唯一のロード
スポーツ専門誌です



世界グランプリから地方選手権まで全レースをレポートしています

毎月1日発売 定価 580円

●全国書店・コンビニエンスストアでお求め下さい

発行／株山海堂

巻113 東京都文京区本郷5-5-18 TEL 03(3816)1617

FZR400RRをトップに導く凄いやつ!!

SP TADAOオリジナルケイヒンフラットCRキャブレター

'92モデル新発売!!

¥136,000

(セッティングデータ付)



'91オリジナルケイヒンフラットCRキャブ+
SP TADAO FZR400RRレース結果

'91全日本ロードレース選手権シリーズ

国際A級 TT-F・IIクラス

4月7日 筑波大会

加藤義昌 優勝

7月9日 香川大会

茨木 繁 2位

9月22日 西山台ハイランド大会

加藤義昌 優勝

10月27日 筑波大会

茨木 繁 2位

茨木 繁 優勝

SP TADAO '92 TZR250Rモデファイ!!

SP TADAOオリジナルレーシングチャンバーCOMBAT

'92モデル1月15日新発売

¥128,000

(セッティングデータ付)



91レーシングチャンバー
COMBAT+SP TADAO
TZR250Rレース結果

'91全日本ロードレース選手権シリーズ

山内日出 SP250クラス

第2位 亀作和哉 2位

金山浩特 3位

第3位 金山浩特 3位

第4位 金山浩特 優勝

第5位 金山浩特 優勝

第6位 金山浩特 優勝

'91関東ロードレース選手権

国内B級SP250クラス

第6戦 筑波大会 亀作和哉 5位

金山浩特 8位

第8戦 筑波大会 亀作和哉 優勝

金山浩特 2位

第10戦 富士大会 亀作和哉 2位

金山浩特 8位

'92 '91TZR250Rレーシングバックステップ ¥38,800

TZR250カーボンサインサー 1本¥12,500・TZR250オリジナルステップバー1本¥6,000

'90TZ250 SP TADAOモデファイマシン ¥550,000

'91TZ250 SP TADAOモデファイマシン ¥1,200,000

'91TZR250RSP仕様 SP TADAOモデファイマシン¥800,000

'92TZR250RSP仕様 SP TADAOモデファイマシン予約受付中

'91SP TADAOレーシングチームレース結果

加藤義昌 IAGP250 ランキング9位 SP TADAO TZR250

IATTF-II ランキング3位 SP TADAO FZR400RR

茨木 繁 IATTF-II ランキング2位 SP TADAO FZR400RR

松戸直樹 NAGP250 ランキング2位 SP TADAO TZ250

NATTF-II ランキング1位 SP TADAO TZR250R

金山浩特 哥生ロードレース選手権シリーズ

NBGP250 ランキング1位 SP TADAO TZ250

NBSP250 ランキング1位 SP TADAO TZR250R

亀作和哉 関東ロードレース選手権シリーズ

NBGS250 ランキング3位 SP TADAO TZ250

NBSP250 ランキング3位 SP TADAO TZR250R

*製品の価格には、消費税は含まれておりません。ご注文の際には販売価格の3%をのせてご注文ください。

SP

TADAO
RACING
PARTS

お問い合わせ

担当: 清水まで

水曜定休

03-3741-1771



筑波サーキットのシンボル 青春の像

未来を切り拓く青年の情熱と
元気なエネルギーに生きる
清らかな魂を表現している。
若人の想いの場に建てられたこの青春の像は
筑波に集まる若いモーターファンたちに
青春をレースにかける意図をしめす
無言で語りかけているようだ。

筑波500kmロードレース大会

関東を代表する筑波サーキットとして、将来に通じる代表的イベントの確立を目指し、賞金総額800万円の500kmロードレース大会を開催いたします。

夏には鶴鹿8耐があり、そして秋には筑波500kmとして特色のある内容で、ファンに愛される大会にしたいと考えています。

競技規則の基本的部分は、FIM及びMFJ耐久レース規則を踏襲いたしますが、見る、参加する、技術向上の観点から国内A級以上のライダー3人までの自由組合せとします。

■大会名：スーパーカップ イースタンシリーズ第6戦筑波大会
■開催日：'92年9月5日(土)公式車検/公式予選/100kmレース(敗者復活戦)

9月6日日500km決勝レース

■開催場所：茨城県・筑波サーキット(2,070m)
■賞金総額：800万円(決勝進出チームにタイヤ2セッット提供)
■主 催：(財)日本オートスポーツセンター

■開催クラスとライセンス区分

クラス	ライセンス区分
SS250	国内A・国際A
SS400	国内A・国際A

■チーム編成：ライダー2名以上～3名以下、メカニック2名、ヘルパー2名、監督1名、サインマン2名 計9～10名

■開催クラス：SS250、SS400の混走レース

■受付期間：'92年7月10日(金)～7月30日(木)消印有効

■参加料：30,000円(補欠ライダー登録料5,000円、MFJ選手共済費人頭×4,000円)

■公認：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会

■入場料：大人・予選当日券1,500円/決勝当日券3,000円
小人・予選当日券1,500円/決勝当日券1,500円

JASC会員を広く募集中

筑波サーキットでは、JASC会員を広く募っています。

これは筑波サーキットのファン組織であり、大会開催時以外のときのサーキットへの無料入場、同時にMFJ(財)日本モーターサイクルスポーツ協会の国内C級ライセンスの取得と、スポーツ走行会員になれる特典があります。

そのほかにも、JASCニュースの配布や、筑波サーキットで行なわれるレース大会はすべて割引きされる優待券、カレンダー引換券の配布など…と、さまざまな特典があります。

JASC会員の新規登録は、講習会の受講料、共済保険料、ライセンス発給料、MFJ国内C級ライセンス発給料、年会費などを含めて13,000円となっています。そして、次年度へ更新する場合は5,000円だけです。

また、全日本選手権や関東選手権の財日本オートスポーツセンター主催のレース日は入場料を50%割引きいたします。さらに、関東選手権開催日に限り、女性観客は無料入場できるサービスも行なっています。

もし、あなたの友だちで未加入の方がいましたら、ぜひ会員として登録されるようお願いいたします。そしてひとりでも多くのファンが「パーク・サーキット・ツクバ」の眞面目にふれ、楽しいひと時をお過ごしください。

更新の手続きを忘れている人は、早く手続きを完了し、われわれの息の長い仲間としてサーキットの運営にご協力して頂けるよう希望いたします。

PARK CIRCUIT TSUKUBA

本 部 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目5番8号 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03-3591-6056
筑波サーキット 〒300-04 茨城県結城郡千代川村村岡字西原 ☎0296-44-3146～7

トライアル

TRIAL

▼細則6 トライアル競技細則

1. 適用の範囲	104
2. トライアル	104
3. 出場車両	104
4. ライダーの装備	104
5. コース	104
6. セクション	105
7. タイムキーピング	105
8. 競技の進行	105
9. 燃料補給	106
10. ペナルティ	106
11. ペナルティの定義	106
12. 競技結果	108
13. 同点者の判定	108
14. 抗議	108
15. ライダーの遵守事項	108
16. 審判員権限	108

▼細則7 '92全日本トライアル選手権大会特別規則

1. トライアル	111
2. 運営実行組織	111
3. 出場車両	111
4. 参加資格	111
5. 出場申し込み	111
6. 出場料およびMFJ共済金掛金	112
7. ゼッケンナンバー	112
8. ライダーの装備	112
9. ガソリンおよびオイル	112
10. 出場受付け	113
11. ヘルパーライダー	113
12. ライダーおよび車両変更	113
13. 車両検査	113
14. 練習	114
15. スタート	114
16. 競技中の車両の整備	114

17. ゴール	114
18. 競技の終了	114
19. 最終検査	114
20. 競技結果	114
21. 賞および得点	114
22. 競技会の延期、中止および打ち切り	115
23. 抗議	115
24. ライダーの遵守事項	116
25. 本規則の違反・裁定	116
26. 本規則の解釈	116
27. 本規則の施行	117
'92全日本選手権(主要競技を含む)開催日程	117

▼細則8 '92全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ特別規則

1. 適用の範囲	118
2. スタジアムトライアル	118
3. 運営実行組織	118
4. 出場車両	118
5. ライダーの装備	118
6. 大会参加資格者	118
7. 出場申込み	119
8. ゼッケンナンバー	119
9. 出場受付	119
10. 車両検査	119
11. ライダーの変更	119
12. 車両の変更	119
13. 練習	120
14. 競技方法	120
15. 車両の整備	120
16. 競技結果	120
17. 抗議	121
18. 賞	121
19. 損害に対する責任	121
20. 本規則の施行	121
'92全日本スタジアムトライアル選手権開催日程	122

トライアル 競技細則

① 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内トライアル競技会に適用される。

② トライアル

トライアルとは、自然の地形を利用してさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、定められた時間内に走破することで操縦技術の信頼性を試す競技である。大会は1日または2日以上にわたって行われ、採点区間の成績とタイムキーピングによりその結果が表わされる。

③ 出場車両

出場車両（以下車両という）は、トライアル技術規則をみたし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

④ ライダーの装備

1. ヘルメット

- 1) ヘルメットは、日本工業規格JIS T8133-1982のA種、および同JIS T8133の1種（JIS T8133の1982年8月までの規格）以上のもので、MFJが公認したものでなければならぬ。
- 2) MFJ公認ヘルメットには、公認マークが貼付されていなければならぬ。
- 3) MFJ公認ヘルメットで、MFJの公認マークの貼付されていないものについては、特別検査料（1,000円）を支払い、特別検査を受けなければならぬ。
- 4) ヘルメットの検査は、競技会の車両検査受付け時に行われ、検査に合格しなかつたヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上、使用を禁止される。

2. ライダーの服装

- 1) 服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- 2) 手袋および足首以上を保護する突出部品のないブーツなど皮靴、またはゴム長靴を着用しなければならぬ。

⑤ コース

コースは、コーステープまたはコースマークにより明確に表示される。コースから外れた場合、ライダーは速やかにコースに戻らなければならない。

6 セクション

1. セクションの表示

セクションは、次のセクションカードおよびテープで表示される。

- 1) 入口 右側 赤地にセクションナンバー
左側 青地に“IN”などの表示
- 2) 途中 右側 赤いカードまたはテープ
左側 青いカードまたはテープ
- 3) 出口 右側 赤地にセクションナンバー
左側 青地に“OUT”などの表示
- 4) テープを使用する場合は、入口および出口に赤と青のカードを置く。

2. セクションの幅

- 1) セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、カードおよびテープによって制限する場合は1.2m以上とする。
- 2) 同じ側のカードとカードの間を迂回することはできない。
- 3) 採点区間

セクションにおける採点は、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション入口のカードを過ぎた時点から開始され、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション出口のカードを過ぎた時点で終了する。

7 タイムキーピング

- 1) ライダーは、原則としてあらかじめ決められた順序により、1分間隔でスタートする。ただし同時スタートの場合はこの限りではない。
- 2) 決められたスタート時刻に遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格となる。
- 3) コース走行時の平均速度は原則として20km/h以下とする。
- 4) ライダーには全コースを走破するための「持ち時間」が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーは失格となる。
- 5) 全コースを走り終えたライダーは、定められた場所でタイムチェックを受けなければならない。

8 競技の進行

- 1) ライダーは、スタートの合図を受けて初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、審判員によって指示された場合、これに従わなければならない。
- 3) セクション間の移動はコースマークまたはテープに従い行わなければならない。
- 4) ライダーは、セクションに入る準備ができ次第、手を上げて審判員に合図しなければならない。
- 5) ライダーは審判員の指示により速やかにセクションに入らなければならない。
- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速やかにセクション外へ車両を移動させなければならない。
- 7) ライダーは、コース上およびセクション内で一切の援助を受けてはならない。ただし、工具、スペアパーツの受け渡し、およびセクション内でフルペナルティを受けたライダーはこの限りではない。
- 8) (1) 車両の部品交換は、マーキングされていないもののみ認められる。

トライアル競技細則

- (2) ライダーは、主催者の定める区域内であれば他の援助を受けることができる。
- (3) ライダーは、コース上のどこにおいても工具、及びスペアパーツを受け取ることができる。ただし、許可された区域以外では整備の援助を受けることはできない。
- (4) 競技中、事故を起こした場合や車両の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速やかに競技役員に申し出なければならない。
- 9) 不適切な行為について審判員の指示があった場合、ライダーは審判員の指示に従わなくてはならない。

9 燃料補給

- 1) 選手は競技役員の許可を受ければ、コース上の安全な場所で燃料補給をすることができる。

10 ペナルティ

- 1) セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。
 - (1) クリーン……………0点
 - (2) 足つき……………1点～3点減点
 - (3) 失敗……………5点減点
 - (4) 放棄……………10点減点
- 2) タイムキーピングによるペナルティは、次のとおり課せられる。
 - (1) 予定されたスタート時間に遅れた場合…1分につき1点減点、20分以上の遅れは失格
 - (2) ゴールタイムチェックの遅れ……………失格
- 3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは、次のとおり課せられる。
 - (1) 競技役員および審判員に対する不適切な行為……………失格退場
 - (2) セクションにおいて審判員の指示に従わなかった場合……………10点減点
 - (3) 定められたコースを不適当にカットした場合……………50点減点
 - (4) 車検で施されたマーキングが失なわれた場合……………失格
 - (5) 許可された場所以外で、外部から整備の援助（部品の交換を含む）を受けた場合……………失格

注：上記(3)に関しては、さらにセクション放棄の減点が加算される

11 ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は、次のとおりとする。

1. 足つきの定義

車両が前進しながらライダーの身体のどこかの部分、またはマシンのどこかの部分（フットレスト、エンジンガード、タイヤホイールを除く）が地面に触れた場合、これを足つきという。

また車両の進行を停止することなくライダーの身体のどこかの部分が障害物（立木、壁など）にもたれた場合、足つきが生じたものとみなされる。

また身体の部分で手、足の場合、そのつけ根から先を同一とみなす。従って足つきと同時に膝を接地しても、1回の足つきとみなす。

なお、足つきによるマーカー移動、破損は足つきのみの減点となる。

1) 1点減点

(1) 足つき1回。

トライアルの減点は0-1-2-3-5-10

減点ゼロ
おみごと／
クリーンです

減点1
残念、
足つき1回

減点2
難走なり
足つき2回

減点3
足バタバタ
3回以上

減点5
ミスりました
失格です



トライアルを放棄すれば減点10

- (2) 足つき状態でつま先とかかとが交互についている場合。
- (3) 片足を軸にして車両を回転させた場合。
- (4) 手を立木・壁等についた場合。
- (5) 体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修整した場合。
- (6) コーステープの内側または外側への足つき1回。

2) 2点減点

- (1) 足つき2回。
- (2) 前記1)の1点減点となる行為が2回行われた場合。
- (3) 両足同時の足つき。

3) 3点減点。

- (1) 足つき3回以上。
- (2) 前記1)の1点減点となる行為が3回以上行われた場合。

2. 失敗(減点5点)

- 1) ライダーが足つきをし、マシンが完全に進行方法に進むのをやめてしまった場合。
- 2) バック中の足つき。
- 3) 登り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤが浮いてタイヤがバックした時。
- 4) マーカーの迂回(下図Aのようなふくらみ、またはターン)。

※ただし、セクションテープ併用の場合はこの限りではない(図E参照)

図A

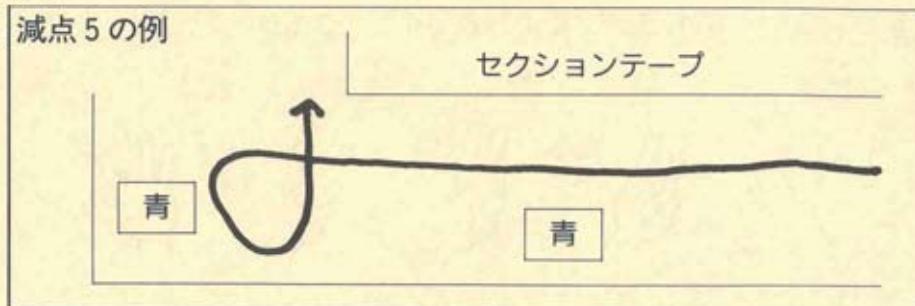


トライアル

- 5) 車両・ライダーによるテープ切断およびたるませ、またはテープを止めているクイなどを移動・破損させた場合。
- 6) 車体の右側または左側に両足が同時に足つきをした場合。
- 7) 両足つきの状態で車両がフロントホイールを上に90°以上かたむいた場合。
- 8) フロントタイヤまたはリヤタイヤがテープの上からテープ外に出て立木、壁、石等に接触した場合。
- 9) セクション内でライダー自身の車両がつけたわだちに再び触れたり、踏みつけたり、または飛び越えた場合。ただしリバースおよびホップアップの場合は減点の対象にならない(次頁図B参照)。
- 10) 車両によるマーカー移動、マーカー破損。

トライアル競技細則

図B 減点5の例



11) 申告エスケープについては、特に審判員の判断により失敗申告とみなされたもののみとする。

3. 減点の対象とならない行為

1) 接触

接触とは、ライダーの身体の各部分または車両の各部分が立木、壁、石等その他の障害物に触れることをいい、これによって明らかにバランスの修正が行われない限り減点の対象とはならない。

なお、マーカー、テープには車両、身体どちらで接触しても、接触のみであればペナルティーは課せらない。

2) 図Cの場合は減点5点の対象とはならない。

(1) テープの上からフローティングターン等によるフロントタイヤ、またはリヤタイヤがテープ外に出た場合、テープの立木、壁、石、地面等に触れずにテープ内に戻った場合

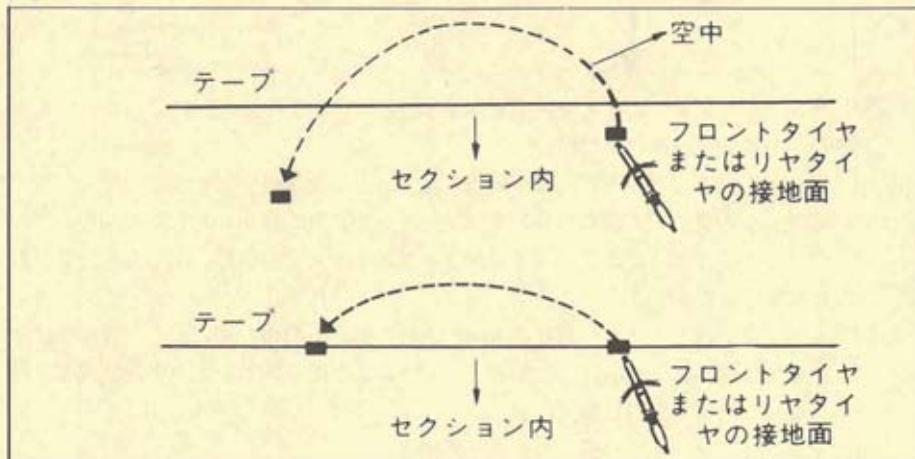
(2) マーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回については、フロントタイヤの接地面と接地面がマーカーの内側を通れば減点5の対象とはならない。(次頁図D参照)。

(3) セクションテープがある場合、カードとカードを結ぶ直線をはみだしてもテープより出ない限り減点とはならない。(次頁図E参照)。

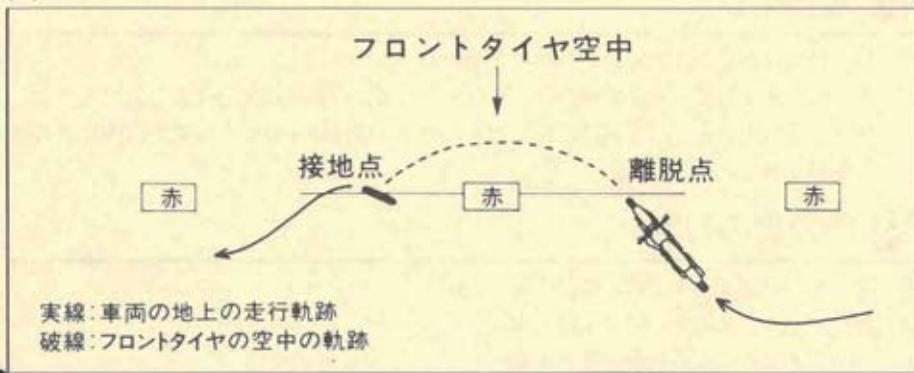
(4) V字型の地形等でステップがかみ込んで停止をした場合、ステップに足が乗つていれば減点5の対象とはならない。そのステップ上のつま先、足裏部分が接地しても、意識的なバランス修正がない場合、減点の対象とはならない。

(5) アンダーガードが引っかかりシーソー状態になり、エンジンが停止しても減点

図C



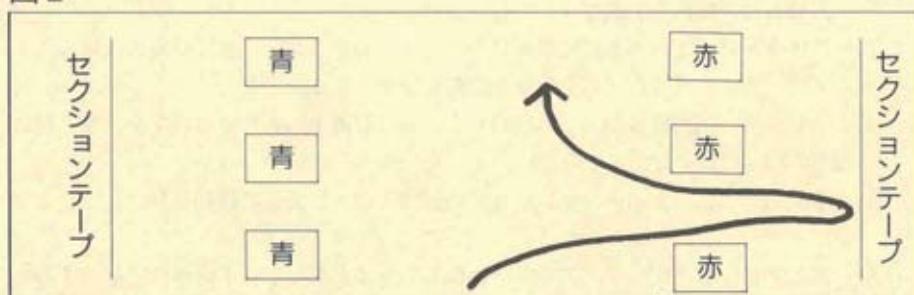
図D



5の対象とはならない。なお、この状態から足をつかないでエンジンを始動させて競技の続行もできる。

- (6) エンジンが停止して足つきを行った場合でも、車両が前進していれば減点5の対象とはならず、ただの足つきの減点となる。
- (7) 足つきの状態で前輪を真横に移動することは前進とみなし、減点5の対象とはならない。
- 3) 減点の対象とならない車両の部分
車両が停止状態で立木、壁、石等、または地面で重心を支えて減点の対象とはならない車両の部分は、次のとおりである。
 - (1) タイヤ
 - (2) ステップ
 - (3) アンダーガード底部
- 4. 放棄
放棄とはセクションを走行しなかった場合をいう。

図E



12 競技結果

- 1) 総減点数の少ないものから順位を定める。
- 2) 競技が1日で行われる場合は、原則として当日の競技結果の発表を公式とする。
- 3) 2日以上にわたって競技が行われる場合は、競技終了日より一週間以内に公式結果が発表される。

13 同点者の判定

同点者の判定は、次の判定順位に従って行う。

- 1) クリーン数の多い者を上位とする。
- 2) 1点減点の多い者を上位とする。
- 3) 2点減点の多い者を上位とする。
- 4) 3点減点の多い者を上位とする。
- 5) 以上によって決定できない場合は審査委員会の判断により決定する。

14 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則による。
- 2) 抗議により車両の分解検査が行われた場合、分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、抗議が成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。
- 3) 審判員の下したジャッジに対して抗議することは一切できない。

15 ライダーの遵守事項

ライダーは、次の事項を守らなければならない。

- 1) 競技会は、国内競技規則にのっとって行われる。ライダーは、すべての行動に対して責任をとらなければならない。
- 2) リタイヤするライダーは、必ずリタイヤ届を提出しなければならない。なお、本人がやむを得ず提出できない場合は、代理人による提出も認められる。これに違反した場合は、総則に記載される罰則が課せられる。
- 3) ライダーは、すべて本競技規則にのっとり行動すること。違反行為には場合によっては、失格、さらには退場に至る罰則が課せられる。
- 4) 参加者は、国内競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定を守り、競技役員の指示に従わなければならない。
- 5) 参加者は、常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- 6) 参加者は、競技期間中、アルコール類あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- 7) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、MFJライセンスを必ず携帯しなければならない。

16 審判員権限

審判員は、競技規則等にのっとり担当するセクション内における競技の進行、指揮の権限をもつほか、セクション内における選手の行為を減点の対象とするか否かを審判する最終的権限をもつものである。

'92全日本トライアル選手権大会特別規則

① トライアル

- 1) 全日本選手権の開催部門は、国際A級部門および国際B級部門とする。
- 2) 競技方法は、国際A級・国際B級ともに個人に与えられた持ち時間とコース上に設定されたセクションの採点によるものとする。なお、各大会のセクション数および持ち時間は、各主催者からの公式通知により発表される。

② 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

③ 出場車両

車両は、細則6の〔③出場車両〕(104頁)を厳守しなければならない。

④ 参加資格

- 1) 1992年版MFJ国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(36頁)の条件を満たしていること。
- 2) 国際A級部門のエントリーは、フリーエントリーとする。

'92年度以降の全日本選手権の参加台数は一大会国際A級、国際B級あわせて原則として100台に制限する。国際A級部門のエントリーはフリーエントリーとし、国際B級のエントリーもフリーエントリーとするが、申し込み台数が多数の場合、以下の優先順位で制限する。

- 1) '91年全日本選手権国際B級部門ポイント獲得者。
- 2) '92年に国際B級に昇格した者で、'91トライアルGC大会で国内A級部門1位～15位までの者。
- 3) '91年各地方選手権国際B級部門のポイントランキングで、項目1)に該当するものを除く上位5名の者。
- 4) その他の国際B級で、項目3)の条件に準ずる上位5名以下の者。

⑤ 出場申し込み

1. 全日本選手権シリーズ大会出場申し込み

出場申し込み書(日本グランプリ含む)に必要事項を記入の上、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて提出しなければならない。なお、ヘルパーライダーを申請する場合は、ヘルパーライダー申請料を添付しなければならない。

6 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：国際A級部門	10,000円
国際B級部門	10,000円
ヘルパーライダー	5,000円
MFJトライアル国内A級ライセンス以上の取得者 (MFJ共済会掛金200円含む)	

参加受理

- 必要事項を記入した出場申込み書、金額を大会事務局が受理した後、参加受理書、公式通知、タイムスケジュール等が発送される。
- いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金は大会が中止された場合を除きいかなる理由があっても返還されない。

7 ゼッケンナンバー

- 国際A級・B級の年間指定ゼッケンナンバーは、下記ゼッケンナンバー決定基準によって割り当てられる。
- 主催者から特に指示がない場合は、車両検査までに規定の書体および色分けでナンバーを記入しなければならない。
- ナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくくと判断された場合には修正が要求される。
- 競技中、ナンバープレートを装着しなかったり主催者が配布したゼッケンを装着せずに走行した場合は罰則が課せられる。

全日本選手権指定ゼッケンナンバー決定基準

1. 国際A級

- 前年度全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- 国際B級部門より昇格したものを、前年度全日本選手権ランキング順により追加する。
- 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

2. 国際B級

- 国際A級への昇格者を除く前年度の全日本選手権シリーズランキング順により決定する。
- 上記以外の選手については、大会毎に与えられる。

8 ライダーの装備

ライダーの服装、ヘルメットは、細則6の〔④ライダーの装備〕(104頁)による。

9 ガソリンおよびオイル

- ガソリンおよびオイルは国内競技規則・第3章〔⑪燃料およびオイル〕(40頁)による。
- ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定された場合は、当該ガソリンを使用しなければならない。
- ガソリンおよびオイルを入れる容器と、その取り扱いは消防法により定められているものとする。

10 出場受付け

- 出場受付けの時間および場所は公式通知に示される。
- 出場受付けは、定められた時間内に、必ずライダー本人が、MFJライセンス、参加受理書を提示して、当日の出場資格を確認しなければならない。
- MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

11 ヘルパー・ライダー

ライダー1名に対し1名のヘルパー・ライダーが認められる。ヘルパー・ライダーの資格および遵守事項は、次のとおりとする。

- ヘルパー・ライダーは、トライアル国内A級以上のライセンス所持者でライダーのエントリー時に5,000円の申請料を添付し申し込まなければならない。
なお、エントリー締切後の追加、変更は一切認められない。
また、大会によりヘルパー・ライダーの受付を認めない場合がある。
- 車両は、MFJ公認車両とし、大会当日車検およびゴール後のマシンチェックを受けなければならない。
- 車両のフロントゼッケンに“ヘルパー”の表示をしなければならない。
- 移動コースは、ライダーと同一とし、逆走は一切認められない。
- セクショントライは一切認められない。
- 指定区域外での車両整備の援助は一切行ってはならない。
- ヘルパー・ライダーの不正は、当該ライダーに罰則が課せられる。
- ヘルパー・ライダーによる、危険回避のための援助は、難度の高いセクションにおいて、当該セクション審判員の指示によってのみ行うことができる。

12 ライダーおよび車両変更

ライダーの変更是認められない。車両の変更是国内競技規則・第3章〔21ライダーおよび車両の変更〕(40頁)に該当する場合で、出場受付け時に手数料5,000円を添えて申請し、競技監督の許可を受けた場合のみ、認められる。

13 車両検査

- 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、競技開始前にパドック内の車両検査区域において行われる。
- ライダーは、タイムスケジュールに示された時間内に、必ず本人が車両を持参し車両検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた以外は行われない。
- 車両検査への持ち込み車両は1台に制限される。
- 車両検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車両は、一切の走行を拒否される。
- 車両検査において、フレームボディ・クランクケース、サイレンサーについてマークリングを行う。以上の部品は、当日の競技に使用され、競技が終了するまで交換することはできない。これらの部品を車両検査後、あるいは競技会競技中、無断で交換した場合、またはマークリングを失った場合には失格とされる。
- 車両検査時には、国内競技規則・第3章〔20車両検査〕()頁の方式にのっとり、車両の音量検査が行われる。

'92全日本選手権大会特別規則

7) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことがある。

14 練習

大会当日は、コースおよびセクションのいかなる場所においても練習が禁止される。これに違反したライダーは失格とする。ただし主催者が特別に認めた区域内でのウォーミングアップは認められる。

15 スタート

- 1) 第1戦のスタート順序は、ゼッケンの下位者からとする。
- 2) 第2戦以降は、前戦までのランキングの下位者からとし、ポイント取得者以外のゼッケン下位から順にスタートする。
- 3) 国際A級、国際B級ともに前年度全日本選手権ポイント獲得者以外のゼッケンは大会毎に主催者によって決定される。

16 競技中の車両の整備

- 1) 車両のパーツは、マーキングされていないものののみ交換することができる。
- 2) ライダーは、コース上のいかなる場所においても工具、及びスペアパーツを受取ることができる。ただし許可された区域以外では、整備の援助を受けることはできない。

17 ゴール

ゴール時間に遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格とする。

18 競技の終了

バックマークターがセクションを閉鎖する場合がある。

19 最終検査

最終ラップ終了後、車両は主催者が定める区域において、車両検査時に付けたマークの有無の確認が行われる。

20 競技結果

- 1) 総減点数の少ないものから順位を定める。
- 2) 同点者の判定は次の判定基準に従って行う。
 - (1) クリーン数の多い者を上位とする。
 - (2) 1点減点の多い者を上位とする。
 - (3) 2点減点の多い者を上位とする。
 - (4) 3点減点の多い者を上位とする。
 - (5) 以上によって決定できない場合は当該大会審査委員会により決定される。

21 賞および得点

1. 賞

- 1) 入賞は1位~6位とする。

また、国際A級、国際B級ともにベストクリーン賞が与えられる。(クリーン数が同数の場合は、成績が上位の者とする)。

- 2) 国際A級、および国際B級部門全日本ランキングの得点
 - (1) 得点はMFJ国内競技規則によって与えられる。
 - (2) 日本グランプリトライアル大会については、規定の得点にさらに3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
 - (4) その詳細は全日本選手権ランキング決定方法(159頁)に示される。



トライアル

22 競技会の延期、中止および打ち切り

- 1) 大会は、本規則書に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) 大会は、大会審査委員会が天変地異等の特別な理由によって競技を中止しなければならないと判断したときに限り競技が中止される。
- 3) 大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を請求することはできない。

23 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章[26抗議](41頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立了場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算出するものとする。
- 3) 審判員の下したジャッジに対して抗議することは一切できない。



24 ライダーの遵守事項

ライダーは、次の事項を守らなければならない。

- 1) 競技会は、国内競技規則にのっとって行われる。ライダーはすべての行動に対し責任をとらなければならない。
- 2) リタイヤするライダーは、必ずリタイヤ届を提出しなければならない。なお本人がやむを得ず提出できない場合は代理人による提出も認められる。これに違反した場合は、総則に記載される罰則が課せられる。
- 3) ライダーは、すべて本競技会特別規則にのっとり行動すること。場合によっては失格、さらに退場に至る罰則が課せられる。
- 4) 参加者は、国内競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定を守り、競技役員の指示に従わなければならぬ。また公道上では交通法規を守らなければならぬ。
- 5) 参加者は、常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- 6) 参加者は競技期間中、アルコール類あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- 7) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、MFJ競技ライセンスを必ず携帯しなければならない。

25 本規則の違反・裁定

本規則に対する違反の裁定は、大会審査委員会によって判断され、違反者には罰則が適用される。裁定後はいかなる理由といえども、これに従わなければならぬ。

26 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑申し立てができる。なお、質疑

申し立てに対する回答は、大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

27 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。

なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則による。

1992年1月1日
全日本選手権大会事務局長

'92全日本選手権(主要競技含む)開催日程

開催日	大 会 名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期限
4月26日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第1戦 日本グランプリ大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3855)8441	広島県 ヒババレースキー場	3月17日(火) ~ 3月26日(木)
5月24日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第2戦 九州大会	MFJ九州 〒861-41 熊本県熊本市近見町2273-1 ㈱ホンダ熊本二輪内 ☎096(355)5075	佐賀県 城山モータースポーツ場	4月14日(火) ~ 4月23日(木)
6月28日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第3戦 関東大会	MFJ関東 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03-3472-6241	栃木県 栗山村鬼怒川(上流)特設会場	5月19日(火) ~ 5月28日(木)
7月26日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第4戦 東北大会	MFJ東北 〒020-01 岩手県盛岡市内野15-16-27 岩手黒モーターサイクルスポーツ協会 ☎0196(43)8895	岩手県 室根山スキー場	6月16日(火) ~ 6月25日(木)
8月23日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第5戦 北海道大会	MFJ札幌 〒065 北海道札幌市東区東雁来3条1-4-3 札幌市地区軽自動車協会内 ☎011(782)1492	北海道 夕張マウントレースイスキーリゾート	7月14日(火) ~ 7月23日(木)
9月20日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第6戦 近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(541)5254	大阪府 スポーツランド猪名川	8月11日(火) ~ 8月20日(木)
10月18日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ第7戦 中部大会	MFJ中部 〒466 愛知県名古屋市昭和区天白町大字八事字富士見ヶ丘110-6 ☎052(833)9676	静岡県 FUJIリゾート	9月8日(火) ~ 9月17日(木)
11月8日(日)	トライアルグランドチャンピオン大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3855)8441	岐阜県 遊らんど坂内	9月29日(火) ~ 10月8日(木)

トライアル



'92全日本 スタジアムトライアル 選手権シリーズ

① 適用の範囲

以下に示す規則は、国内競技規則とともに、国際格式の大会を除くすべての国内スタジアムトライアル競技会に適用される。

② スタジアムトライアル

スタジアムトライアルとは、主にインドアの会場にさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、これを走破することでライダーの操縦技術の信頼性を試す競技である。

③ 運営実行組織

運営実行組織は公式プログラムまたは、公式通知によって示される。

④ 出場車両

ライダーの装備車両は、'92MFJ国内競技規則・トライアル競技細則による。

⑤ ライダーの装備

ライダーの装備、ヘルメットは、細則 6 の〔④ライダーの装備〕による。

⑥ 大会参加資格者

競技参加資格者は、当該年度有効なMFJトライアル競技ライセンス所持者で国際A級はフリーエントリー、国際B級は主催者推薦とする。

参加台数が予定数を超えた場合は、下記の優先順位にて参加台数を制限する場合がある。

- 1)前年度スタジアムトライアルポイント獲得者
- 2)前年度全日本選手権トライアルポイント獲得者
- 3)国際B級からの昇格者
- 4)上記に該当しないもの

なお、満20才未満の者は親権者の承諾を必要とする。

7 出場申込み

1. 申込み方法

- 1) 参加者は、所定の申込み書に記載事項のすべてを記入の上、出場料、MFJ共済会掛金を添え申込み期間内に現金書留で送付すること。(締切日消印有効)
- 2) 出場料及び共済会掛金の同封されていない申込みや、電話による申込みは一切認められない。
- 3) 参加者は、競技規則を厳守することを誓約しなければならない。
- 4) 一旦受理された出場料、共済会掛金は、大会中止の場合を除き、いかなる理由があっても返還されない。

2. 申込み先

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F

(財) 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)内

スタジアムトライアル 事務局

☎ 03 (3865) 8441

3. 出場料

15,000円(MFJ共済会200円含む)

8 ゼッケンナンバー

- 1) ゼッケンナンバーは、前年度スタジアムトライアルシリーズランキングにより指定される。
- 2) 主催者から特に指示のない場合は、車両検査までに規定の書体及び色分けでナンバーを記入しなくてはならない。
- 3) 競技中、ナンバープレートを装着しなかったり、主催者が配布したゼッケン等を装着せずに走行した場合は罰則が課せられる。

9 出場受付

1. 出場受付の時間及び場所は、公式通知に示される。
2. 出場受付は、指定された時間内に必ずライダー本人がMFJライセンス、参加受理書を提示し出場資格の確認を受けなければならない。
3. MFJライセンスを提示できないものは、出場が認められない。

10 車両検査

1. 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従い競技開始前に指定区域で行われる。
2. 車両検査の持ち込み車両は1台に制限される。
3. 主催者は、大会期間中必要に応じ随時車両検査を行う場合がある。

11 ライダーの変更

ライダーの変更は、一切認められない。

12 車両の変更

車両の変更は、出場受付終了前に変更手数料5,000円を添え申請し、競技監督の許可を受けた場合にのみ認められる。

トライアル

13 練習

主催者が定める時間、場所以外での練習は認められない。これに違反したライダーには、罰則が課せられる。

14 競技方法

競技方法は、セクションラップ方式とし、各自持ち時間が設定される。持ち時間は、公式通知に示される。

1. スタート

- 1) 第1戦のスタート順序は、前年度シリーズランキング上位の者から遅くスタートし、ランキングポイントを獲得していない者のスタート順は抽選にて決定する。
- 2) 第2戦以降は、前戦までのランキングの上位の者から遅くスタートし、ランキングポイントを獲得していない者のスタート順は抽選にて決定する。

2. 予選

- 1) 参加ライダー全員が、指定されたセクションを1ラップする。
- 2) 使用セクション、組分け等の詳細は、公式通知またはライダーズミーティングにて発表される。

3. 準決勝

- 1) 予選上位9位までの者が指定されたセクションを1ラップする。
- 2) 組分けは予選結果にもとづき行われ、使用するセクションは公式通知またはライダーズミーティングにて発表される。
- 3) セクショントライ順は、予選結果下位の者からとする。なお同点者がいた場合ゼッケンの下位の者からとする。

4. 決勝

- 1) 予選、準決勝の総合結果上位3名により、指定されたセクションを1ラップする。
- 2) 使用するセクションは、公式通知またはライダーズミーティングにて発表され
- 3) セクショントライ順は、予選、準決勝の総合結果下位の者からとする。

15 車両の整備

車両の整備、補修は主催者が指定した場所でのみ許可される。

16 競技結果

各大会ごとの順位は下記のとおり決定する。なお、順位は国際A級と国際B級の総合成績とする。

1. 優勝者および2位、3位

決勝出場者の中から決勝、準決勝、予選結果の総減点数の少ない順に優勝者、2位、3位と決定する。

2. 4位から9位

準決勝出場者の中から準決勝、予選結果の総減点数の少ない順に順位が決定する。

3. 10位以下

予選における減点数の少ない順に順位を決定する。

4. 同点者の判定は、次の順序に従って行う。

- 1) クリーン数の多い者を上位とする。

- 2) 1点減点の多い者を上位とする。
- 3) 2点減点の多い者を上位とする。
- 4) 3点減点の多い者を上位とする。
- 5) 1位から3位までの順位の決定において、同点者の判定1)~4)で決定できない場合は、決勝結果、準決勝結果、予選結果の順序により決定する。
- 6) 以上によって決定できない場合は、大会審査委員会の判断により決定する。

17 抗議

1. 予選、準決勝、決勝を通じ競技結果に対する抗議時間は、暫定結果発表後10分以内とする。
2. 審判員の下した判定に対する抗議は、一切できない。

18 賞

各大会ごとに下記の賞典を、贈呈する。

1. スターティングマネー
準決勝進出者に対し、スターティングマネーを贈呈する。
2. 賞金
最終順位に従い賞金を贈呈する。
3. オールクリーン賞
決勝進出者、予選から決勝までオールクリーン賞を贈呈する。

19 損害に対する責任

競技会開催期間中、またはその前後に起こされた傷害は、参加者自ら負うものとする。

20 本規則の施行

本規則は、各大会の参加申込み開始日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、MFJ国内競技規則書による。

付則 1

全日本スタジアムトライアル選手権ランキング規定

- 1) 対象者
本選手権に出場する国際A級の全てのライダーを対象とし、国際B級は、対象外とする。
- 2) 得点
国際A級の各ライダーに、大会の順位にしたがって下記の得点が与えられる。
 - ① 得点は、予選総出走台数により制限される。(MFJ国内競技規則第3章・公式得点による)
 - ② 国際B級ライダーが、得点獲得順位を得た場合、その得点は無効とし、国際A級の得点繰り上げは行わない。
- 3) ランキングの決定方法
選手権のランキング決定方法は、全5戦の得点合計により決定され、最高得点者をチャンピオンとする。
なお、複数のライダーが同一の得点を得た場合、次の順序によりランキングを決

'92全日本選手権大会特別規則

定する。

- ① 上位入賞回数の多い者を上位とする。
- ② 最終戦の成績の上位の者を上位とする。
- ③ ゼッケンの上位の者を上位とする。

大会名、主催者、開催日程および申込期間

'92全日本選手権開催日程

開催日	大 会 名	出場申し込み先	開催場所	申し込み期間
5月2日 〔日〕	全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ 第1戦東京大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	東京都 代々木第1体育館	3月23日 ～ 4月2日
6月14日 〔日〕	全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ 第2戦熊本大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	熊本県市立体育館	5月5日 ～ 5月15日
7月5日 〔日〕	全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ 第3戦尼崎大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	兵庫県尼崎市 記念公園総合体育館	5月26日 ～ 6月5日
9月15日 〔日〕	全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ 第4戦名古屋大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	愛知県立体育館	8月6日 ～ 8月16日
10月3日出 ～ 10月4日〔日〕	全日本スタジアムトライアル選手権シリーズ 第5戦インターナショナル スーパースタジアムトライアル	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 ☎03(3865)8441	東京都 代々木第1体育館	8月24日 ～ 9月3日



技術規則

TECHNICAL RULES

MFJ技術規則	126
■基本仕様〈ロードレース〉	128
■基本仕様〈モトクロス〉	132
■基本仕様〈トライアル〉	134
■SPクラスの車両規則	136
■SSクラスの車両規則	139
■耐久レースの追加仕様	142
■国内GPクラス	143
■国内モトクロス	146
■国内トライアル	148

'92MFJ技術規則

はじめに………

MFJ国内競技規則は編集が大幅に変わりました。ロードレース、モトクロス、トライアルの技術部分の規則を「MFJ技術規則」として改めました。

読み方としては、まず下記の1「章」の表で当該種目の記載部分が示されています。第1章から第6章までは各種目共通に適用される部分です。第7章以下から第9章までが各種目の基本仕様(総合仕様)、そして第25章から27章は再び各種目共通の項目になっていきます。

第10章から第19章までは各部門の改造規則となっており、その項目は分類ナンバーで統一されています。

分類ごとの具体的部分については小分類ナンバーが共通で設定されており、それぞれの部門ごとに項目が順序だててまとめられています。

1 「章」

規則は大部分の「章」と分類の「条」で整理されます。

章	大分類項目	種 目		
		ロードレース	モトクロス	トライアル
第1章	目的	○	○	○
第2章	クラス	○	○	○
第3章	排気量	○	○	○
第4章	重量	○	○	○
第5章	公認	○	○	○
第6章	ガソリン、オイル、クーラント	○	○	○
第7章	ロードレースの基本仕様	○		
第8章	モトクロスの基本仕様		○	
第9章	トライアルの基本仕様			○
第10章	ロードレースS Pクラスの仕様	○		
第11章	ロードレースS Sクラスの仕様	○		
第12章	シングル・ツインレースの仕様		別途定める	
第13章	ロードレース耐久レースの追加仕様	○		
第14章	ロードレースG Pクラスの仕様	○		
第15章	モトクロスの仕様		○	
第16章	トライアルの仕様			○
第17章	スノーモビルの仕様		別途定める	
第18章	エンデューロの仕様		別途定める	
第19章	ドラッグレースの仕様		別途定める	
第25章	音量	○	○	○
第26章	ライダーの装備	○	○	○
第27章	ヘルメット	○	○	○

2 「条」

各「章」で分けられた種目別の規則（第10章～第19章）のなかの各事項のナンバーは統一されています。

条	項目
01条	クラス区分
02条	出場車両
03条	制限事項（ベース事項に対して）
04条	改造制限
05条	重量
06条	絶対に適合すべき事項
07条	禁止事項
08条	公認手続き・条件
09条	音量規制
10条	互換性
11条	追加仕様（耐久等）

3 小分類ナンバー

各「条」に出てくる対象部分には共通の小分類ナンバーが与えられ、制限されていない場合はその項目は削除されています。

小分類ナンバー	項目	小分類ナンバー	項目
1	エンジンの型式	31	発電機、スパークプラグ、バッテリー
2	シリンダーの数	32	ワイヤーハーネス
3	ピストンストローク	33	—予備—
4	ケース、シリンダー、シリンダーヘッド、ギヤボックスの材質と形状	34	コントロールワイヤー関係
5	クラッチの構造	35	灯火器
6	エンジン、ミッション内部の動く部品の材質	36	メーター関係
7	4サイクルの圧縮比、バルブの径とリフト量	37	—予備—
8	2サイクルのポートタイミング、ポートサイズ、圧縮比	38	保安部品関係
9	ケースに対するシリンダー・シリンダーヘッドの位置	39	—予備—
10	吸排気のバルブ、ポート、キャブの数	40	ドライブチェーン
11	クランクケースカバー取りの材質、形状	41	ファイナルスプロケット
12	シリンダー、シリンダーヘッド関係	42	リヤホイール
13	クランクシャフト、ピストン、リング関係	43	リヤブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
14	カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブ	44	フロントホイール
15	—予備—	45	フロントブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
16	キャブレター	46	ブレーキペダル
17	フューエルタンク、フューエルコック、フューエルライン	47	—予備—
18	エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー	48	タイヤ
19	ラジエーター、水ポンプ、キャッチタンク（冷却系）	49	—予備—
20	—予備—	50	フレームボディ、ステップ関係含む、カウルステー類
21	—予備—	51	フロントフォーク
22	クラッチ関係（プライマリーを含む）	52	リヤクッション、リヤフォーク、リヤサスペンションケージ
23	ミッションギヤ関係（ドライブスプロケット含む）	53	ハンドル、トップ・ボトムリッジ、ステアリングダンパー
24	シフト関係、チェンジペダル	54	カウリング
25	スタート装置	55	シートカウル、フェンダー
26	分離給油オイルポンプ関係	56	ワイヤーロック（安全）
27	ブリーザーシステム	57	オイル、クーラント
28	—予備—	58	ガソリン
29	材質	59	調整、仕上げ
30	イグニッションオイル、点火ユニット	60	軽量化

MFJ技術規則

モーターサイクルとは、ホイールが4つまでで、エンジンによって推進され、ひとり、あるいはそれ以上の人間（そのうちのひとりは車内のドライバーとなる）の輸送のためにデザインされたすべての車両を意味している。ホイールは、瞬間的またはある種の例外的な場合を除いて、通常路面に接地していなければならぬ。

① 目的

1. 安全の確保。
2. 平等性を最大限に維持する。
3. 車両のコスト上昇を極力抑える。

② クラス

1. 1) ロードレース

GPフォーミュラ	スポーツプロダクション
50cc ~50以下	2st 4st
80cc を越え 80以下	50cc ○ ○
125cc を越え125以下	80cc ○ ○
250cc を越え250以下	125cc ○ ○
500cc 250を越え500以下	250cc ○ ○
	400cc - ○
	750cc - ○

2) 変速段数は6段に制限される。

2. モトクロス

80cc
125cc
250cc

3. トライアル 排気量区分は定めない

4. エンデューロ 別に定める

5. スノーモビル 別に定める

6. ドラッグレース 別に定める

③ 排気量

総排気量はシリンダー容積を測定するのに用いられる幾何学公式によって計算される。すなわち直徑はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

$$\text{公式} \quad \text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数}$$

D=ボア C=ストローク 単位=cm 小数点以下4ヶタで切り捨て。測定の際にはボアに1/10mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても排気量が当該クラスのリミットを越える場合、エンジンが合えた状態で再測定が1/100mmのリミットまで行われる。

シリンダーのボアが円形でない場合断面積を測定し、計算することとする。

④ 重量

参加車両は以下に定める最小限重量値を半乾燥重量で満たしていること。バラストによる調整は認められない。

1. 1) ロードレース

GPフォーミュラ	スポーツプロダクション
50cc	50cc
80cc	80cc 特に定めない
125cc 70kg	125cc
250cc 95kg	250cc 115kg
500cc 4気筒 130kg	250F 130kg
3気筒 115kg	400cc 150kg
2気筒以下 95kg	750cc 165kg



- 2) モトクロス
80cc 61kg
125cc 88kg
250cc 98kg
- 3) トライアル 特に定めない
- 4) エンデューロ 特に定めない
- 5) スノーモビル 特に定めない
- 6) ドラッグレース 特に定めない

5 公認

1. 種目、カテゴリーによって参加車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でかつMFJの定める公認申請条件を満たし公認を受けた車両に限定される。

2. カテゴリー別公認条件

モトクロス	市販レーサー	国産	25台
		輸入	定めない
トライアル	市販レーサー	国産250cc以下	500台
		250ccを越える	250台
スノーモビル	市販レーサー	輸入	25台
		国産	100台
スノーモビル	市販レーサー	輸入	5台
		国産	5台
トライアル	市販レーサー	輸入	5台
		国産	5台

3. 公認部品は下表のようにカテゴリーごとに設定される。公認申請は使用カテゴリーごとに行われる。

4. 公認部品は該当するクラスの改造範囲内であることを条件とする。

5. 公認条件

最低出荷台数 公認部品の範囲

ロードレース	GP	50セット	ロードレース				
			SP	SS	GP	MX	TR
モトクロス	SS	25セット					
トライアル		50セット					
		50セット					
エンジン関係	シリンドー		○	○	○	○	
	シリンドー-ヘッド		○	○	○	○	
車体関係	カムシャフト		○				
	ミッショングヤ		○	○	○	○	
	クラッチ		○	○	○	○	
	キャブレター		○	○	○	○	
	フロントフォーク		○	○	○	○	
	リヤークッション		○	○	○	○	
	リヤーフォーク		○	○	○	○	
	タイヤ		○				○

○=スタンダードの部品をベースに改造範囲内で加工したものに限る。
○=オリジナルのバージョンでOK(改造範囲外)

6. ガソリン・オイル・クーラ

1) 競技用ガソリンとは一般公道用の市販車に供するため通常のガソリンスタンドにて購入できるもの。または各公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できる。レース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンとする。

競技用ガソリンには販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。ただし一般に販売されているスタンダードの潤滑剤および1.5%以下のアルコール(燃料精製中に混入されるものに限る)については認められる。

2) 水冷エンジン冷却剤は水あるいは水とエチルアルコールの混合物に限られる。

ロードレース 基本仕様

(FIM技術規則・総合仕様と同じ)

01 チタン合金

すべての車両についてフレームボディ、フロントフォーク、スイングアーム、スイングアームスピンドル、ハンドル、ホイールスピンドル構造にチタン合金材の使用を禁止する。
ホイールスピンドルに関しては軽合金材の使用も禁止される。

03 エキゾーストパイプ

- エキゾーストパイプとサイレンサーはノイズコントロールに関する必要条件をすべて満たしていること。
- サイレンサーの後端は最低30mmにわたって水平かつ平行であること。許容誤差は±10°とする。
- 排気ガスは後方に排出しなければならず、ほこりを立てたりタイヤやブレーキを汚したり、他のライダーに迷惑をかけないよう漏れたオイルの飛散を防ぐための処置をとっていなければならない。
- エキゾーストパイプの後端はリヤタイヤの垂直接線の後方に重ってはならない。

04 ハンドルバー

- 最低幅は80cc以下は400mm以上、80ccを越えるものは450mm以上。
- 幅の測定はグリップバーの最外側間で行う。……図参照
- 露出したバーの先端は固体物質で栓をするかゴムでカバーすること。
- 中心線または中央位置から両側に対する最低回転角度は15°以上であること。……図参照
- ハンドルバーがどの位置にあっても前輪はストリームライニングに接触してはならない。
- ハンドルの回転角度を左右いっぱいに切ったとき、ライダーの指を挟まないようにハンドルバーとフェューエルタンクの間に最低30mm以上の間隔を確保するように確実なストッパーを取りつけること。
車ステアリングダンパーをストッパーとしてはならない。
- ハンドルバーがどの位置にあってもグリップ部とレバーはストリームライニングとの間隔は最低20mm以上確保すること。

05 コントロールレバー

- ハンドルバーに取りつけられるすべてのレバーの先端は直径19mm以上の球状で容易に脱落するものであってはならない。
この球状を平たくすることは認められるが平たくした部分の厚さは14mmとし、いかなる場合においても、その先端部に丸みを持たせること。
- レバーの長さはピボット点から先端ボールまで含めて200mm以下であること。
- すべてのコントロールレバーは独立したピボットを有していること。
(ハンドルバー、フットレバー共に)
- ブレーキペダルのピボットをフートレストと同軸とした場合、フートレストにトラブルが発生してもブレーキペダルは正常に作動すること。

06 スロットルコントロール

- スロットルコントロールは手を離した時は必ず閉じる方式であること。

07 フューエルポンプ

- 電気式のフューエルポンプを装着した場合は転倒時に自動的に電気回路の切れる装置を備えていること。

08 フートレスト

- フートレストは前後車軸の中心を通過する線の100mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線の前側になるように取りつけられ、どのコントロールペダルも容易に操作できる位置にあること。
- 折りたたみ式のフートレストを取りつけても良いが常に正常位置に自動的に戻る装置を取りつけること、フートレストの先端は安全上半径8mm以上の球状に丸められていること。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- マッドガードはタイヤの両側に張り出していること。
- フロントマッドガードはホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていること。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を水平に通る線の作る角度は45°～60°の範囲であること。
- リヤマッドガードはホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていること。
マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を水平に通る線の作る角度は20°以下であること。
- ストリームライニングを装着している場合はフロントマッドガードは100°以下でも良く、また取りつけなくてよい。
- リヤマッドガードはシートカウルの後端がリヤタイヤ直角にまで達している（許容誤差±5mm）場合は取りつけなくてよい。

11 ストリームライニング

- タイヤを除く前輪はフロントマッドガードに隠れた部分を除き両側から明瞭に見えること。
- ストリームライニングのいかなる部分もフロントホイールアクスルから50mm前方を通る垂直線の前にあってはならない。
- ストリームライニングのいかなる部分もリヤホイールアクスルを通る垂直線の円周180°に渡って明瞭に見えること。
モーターサイクルのいかなる部分もリヤタイヤの最後端を通る垂直線後方にあってはならない。
- 空力パーツまたはスポイラーはそれがフェアリングまたはシートと一緒に構成になっている場合に限りモーターサイクルに取りつける事が出来る。これはフェアリングの幅を超えてはならず、ハンドルバーの高さをオーバーしてはならない。エッジには半径8mm以上の丸みをつけること。
- 後方を向いているストリームライニングのいかなる部分もその先端は半径3.5mm以上の丸みをつけること。
- 通常のライディングポジションにおいてライダーは腕の前部を除き、後方両側及び上方から全体が視認されること。ライダーの顔面またはヘルメットとストリームライニング（ウインドスクリーン含む）との間の最低スペースは100mmとする。この規則を避けるために透明な物質を使用することは出来ない。
- ドライバーシートの後部の高さは最高150mmとする。この高さはシートの固いベースの最下点からライダー後方のフェアリングの最上部までを測った値である。
- ハンドルバーの位置がどこにあってもストリームライニングをハンドルバー先端あるいはステアリングシステムおよびそれに装置されている装備類との間隔は最低20mmなくてはならない。
- ナンバープレートが固定されている前部の傾斜角度は垂直面から後部へ30°以上あってはならない。
- 荷重のかかった状態でモーターサイクルの最低地上高は100mm以上なくてはならない。
- シートまたはその後方にあらかじめ部分の幅も450mm以内のこと。

12 ナンバープレート

- ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていて最低寸法は285mm×235mmとする。
- 水平面から50mm以上カーブしていないプレートはカバーされたり曲げたりしてはならない。
- 1枚のプレートはマシンの前面に垂直面から30°以内の角度に固定されなければならぬ。他の2枚はモーターサイクルの両側に外に向かって垂直に固定されなくてはならない。各プレートは明瞭に視認でき、モーターサイクルのいかなる部分またはライダーが自分のシートに座った時に身体でかくれてしまわないこと。
- 別個のナンバープレートを装着する代わりにボディまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントしてもよい。
- 数字ははっきり読めるようにまた光の反射を避けるために地の色同様につや消して書くこと、数字の最低寸法は

数字の高さ	140mm	ナンバープレートの色分け
数字の幅	80mm	GP125 黒地に白文字 SP 黒地に黄文字
ストローク幅	25mm	GP250 緑地に白文字 SS 黒地に黄文字
数字間のスペース	15mm	GP500 黄地に黒文字

- 数字は英國式を使用する「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレートまたはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外すこと。
- すべてのナンバープレートの周囲は最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されない。適合しないプレートを装着しているモーターサイクルは車検査によりレース参加の許可を得ることが出来ない。
- ナンバープレートの地色及び数字の色はモーターサイクルのクラスと競技のタイプによって異なる。

13 フューエルタンク及びオイルタンク

- フューエルタンクの最大容量は以下の通りとする。
 - ロードレース 32ℓ
 - スーパーバイク・TT-F1 24ℓ
 - その他スポーツプロダクションは各カテゴリーごとに設定。

燃料はマシンに確実に固定された1つのタンク内に入れるものとする。シートタンクや補助タンクは禁止される。すべての競技において給油のために容易に脱着出来る取り換えるタンクの使用は禁止される。

タンクの容量を調整するための一時的充填物の使用も禁止される。

2. オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手が届く場所に設けられたキャッチタンクに行う。このタンクは競技会の前に空にしなくてはならない。

キャッチタンクの最低サイズはギヤボックスブリーザーの場合250cc以上、エンジンブリーザーの場合500cc以上とすることが望ましい。

3. すべてのオイルドレーンプラグは確実に固定され、ドリルで穴を開けワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。

エンジン外部のオイルフィルター及びオイル圧力ラインのスクリューやボルトはセフティワイヤーで固定されなければならない。

4. フューエルタンクブリーザーパイプにはノンリターンバルブを取りつけること。このパイプは適切な材質で出来た最低容量250cc以上のキャッチタンクに放出されること。

5. フューエルフィラーキャップ及びオイルフィラーキャップは閉じた状態では漏れがなく、かつこれらは如何なる場合でも誤って開くことのないように完全にロックされていること。

6. プラスチック製のフューエルタンクの使用は厳禁される。

15 音量規制

1. 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後方500mmでかつ中心線から45°で排気管と同じ高さとする。

但し高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。

2. マシンはギヤをニュートラルとしスタンドをセットした状態で行う。

3. 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマーキングされる。車検終了後サイレンサーを交換することは禁止される。但しスペアとして車検合格しマーキングされた単品は例外とする。

4. ライダーはギヤをニュートラルとしエンジンを回転させ所定の回転域に達するまでエンジン回転を上げる。

5. 規定期間をエンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数 (RPM)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$

●音量規則：エンジン回転数rpm(小数点以下は四捨五入)

ピストンストローク(mm)	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
2サイクル	13,000	12,580	12,187	11,818	11,470	11,142	10,833	10,540	10,263	10,000	9,750	9,512
4サイクル	11,000	10,645	10,313	10,000	9,706	9,429	9,167	8,919	8,684	8,462	8,250	8,049
ピストンストローク(mm)	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
2サイクル	9,285	9,069	8,863	8,666	8,478	8,297	8,125	7,959	7,800	7,647	7,500	7,358
4サイクル	7,857	7,674	7,500	7,333	7,174	7,021	6,875	6,735	6,600	6,741	6,346	6,226
ピストンストローク(mm)	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
2サイクル	7,222	7,090	6,964	6,842	6,724	6,610	6,500	6,393	6,290	6,190	6,093	6,000
4サイクル	6,111	6,000	5,893	5,789	5,690	5,593	5,500	5,410	5,323	5,238	5,156	5,077
ピストンストローク(mm)	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77
2サイクル	5,909	5,820	5,735	5,652	5,571	5,492	5,416	5,342	5,270	5,200	5,132	5,065
4サイクル	5,000	4,925	4,853	4,783	4,714	4,648	4,583	4,521	4,459	4,400	4,342	4,286
ピストンストローク(mm)	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
2サイクル	5,000	4,937	4,875	4,815	4,756	4,699	4,643	4,588	4,535	4,483	4,432	4,382
4サイクル	4,231	4,177	4,125	4,074	4,024	3,976	3,929	3,882	3,837	3,793	3,750	3,708
ピストンストローク(mm)	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	
2サイクル	4,333	4,286	4,239	4,194	4,149	4,105	4,063	4,021	3,980	3,939	3,900	
4サイクル	3,667	3,626	3,587	3,548	3,510	3,474	3,438	3,402	3,367	3,333	3,300	

6. 単気筒以上のエンジンの計測にはそれぞれの排気管出口で行う。

7. 規制値をオーバーしているマシンには再度計測の機会が与えられる。

8. 検査を受けるマシンはエンジンのピストンストローク値をクランクケースの良く見える位置にスタンプしておかねばならない。

9. ロータリー、バンケルエンジンの場合の測定回転数は6,000rpm。

17 4サイクルエンジンのブリーザーシステム

1. エンジンブリーザーは500cc以上のキャッチタンクに放出され、キャッチタンクからの放出はエンジンに再吸入されること。

キャッチタンクに溜ったオイルはエンジンにもどるリターンパイプを付けることが望ましい……図参照

2. オイルキャッチタンクはアクシデント発生時でも容易に破損したり脱落せず、かつ高温に耐えられる材質であること。

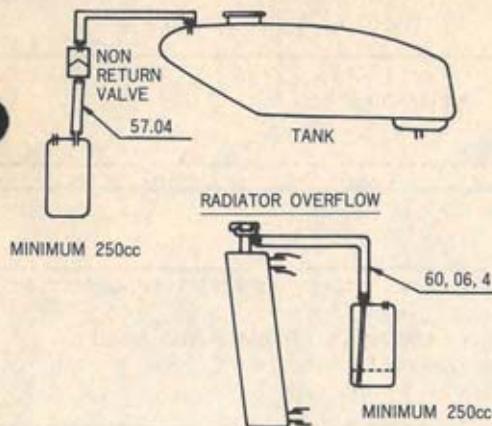
3. 4サイクル車のキャッチタンクからのプローバイガスの大気中への放出は禁止される。

18 冷却系のオーバーフロー

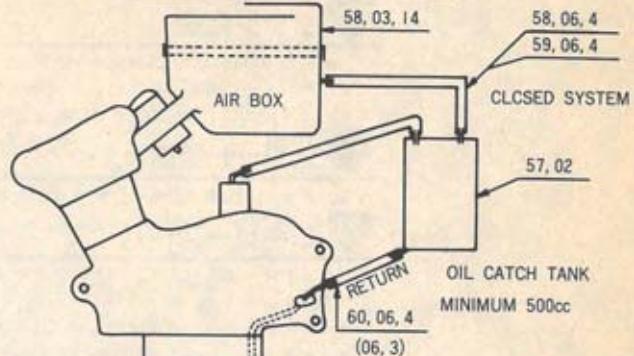
1. 水冷式のすべての車両は冷却液オーバーフローパイプを取りつけた場合、最低容量100cc以上のキャッチタンクを取りつけること。

FIM TECHNICAL RULES (SUPER BIKE SUPER SPORT)

PETROL BREATHER



OIL RETURN BREATHER CLOSE SYSTEM



18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

モトクロス 基本仕様

01 チタン合金

すべての車両についてフレームボディ、フロントフォーク、スイングアーム、スイングアームスピンドル、ハンドル、ホイールスピンドル構造にチタン合金材の使用を禁止する。

ホイールスピンドルに関しては軽合金材の使用も禁止される。

02 スタート装置

- スタート装置は正常に作動するものを備えていること。

03 エキゾーストパイプ

- エキゾーストパイプとサイレンサーはノイズコントロールに関する必要条件をすべて満たしていること。
- サイレンサーの後端は最低30mmにわたって水平かつ平行であること。許容誤差は±10°とする。
- エキゾーストパイプの後端はリヤタイヤの垂直接線の後方に至ってはならない。

04 ハンドルバー

- 最低幅は600mm以上850mm以内であること。
- 幅の測定はグリップラバーの最外側間で行う……。図参照
- ハンドルバーグリップは150mm以内とし、ハンドルバー端にセットされること。
- 露出したバーの先端は固体物質で栓をするかゴムでカバーすること。
- 中心線または中央位置から両側に対する最低回転角度は20°以上であること。……図参照

05 コントロールレバー

- ハンドルバーに取りつけられるすべてのレバーの先端は直径19mm以上の球状で容易に脱落するものであってはならない。
この球状を平たくすることは認められるが平たくした部分の厚さは14mmとし、いかなる場合においても、その先端部に丸みを持たせること。
- レバーの長さはビボット点から先端ポールまで含めて200mm以下であること。
- すべてのコントロールレバーは独立したビボットを有していること。
(ハンドルバー、フットレバー共に)
- ブレーキペダルのビボットをフットレストと同軸とした場合、フットレストにトラブルが発生してもブレーキペダルは正常に作動すること。

06 スロットルコントロール

- スロットルコントロールは手を離した時は必ず自動的に閉じる方式であること。

08 フットレスト

- フットレストは前後車軸の中心を通過する線の50mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線の前側になるよう取りつけられ、どのコントロールペダルも容易に操作できる位置にあること。
- 折りたたみ式のフットレストを取りつけても良いが常に正常位置に自動的に戻る装置を取りつけること。フットレストの先端は安全上半径8mm以上に丸みを持たせること。
- 固定式のフットレストを取りつけた場合、またはゴムのカバーが取り付けられていない場合フットレストの先端は安全上半径8mm以上の丸みを持たせること。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- マッドガードはタイヤの両側に張り出していること。
- フロントマッドガードはホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていること。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を水平に通る線の作る角度は45°~60°の範囲であること。
- リヤマッドガードはホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていること。
マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を水平に通る線の作る角度は20°以下であること。

13 ナンバープレート

- ナンバープレートは長方形の頑丈な材質の出来ていて最低寸法は285mm×235mmとする。
- 水平面から50mm以上カーブしていないプレートはカバーされたり曲げたりしてはならない。
- 1枚のプレートはマシンの前面に垂直面から30°以内の角度に固定されなければならない。他の2枚はモーターサイクルの両側に外に向かって垂直に固定されなくてはならない。各プレートは明瞭に視認でき、モーターサイクルのいかなる部分またはライダーが自分のシートに座った時に身体でかくれてしまわないこと。
- 別個のナンバープレートを装着する代わりにボディまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントしてもよい。
- 数字ははっきり読めるようにまた光の反射を避けるために地の色同様につや消して書くこと、数字の最低寸法は――

数字の高さ 140mm

数字の幅 80mm

ストローク幅 25mm

数字間のスペース 15mm

- 数字は英数字を使用する「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
 - 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレートまたはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外すこと。
 - すべてのナンバープレートの周囲は最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されない。
 - 適合しないプレートを装着しているモーターサイクルは車検長によりレース参加の許可を得ることが出来ない。
 - サイドのナンバープレートはホイールスピンドルを通る水平線より上方でプレート前端はドライバーのフットレストを通る垂直線より200mm以上後方であること。
 - ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。
- | | |
|--------------------|--------------------|
| ジュニア……白地赤文字 | 国内B級……白地黒文字 |
| 国内A級……黄地黒文字 | 国際B級……緑地白文字 |
| 国際A級(125cc)……黒地白文字 | 国際A級(250cc)……緑地白文字 |

15 音量規制

- 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後方500mmでかつ中心線から45°で排気管と同じ高さとする。但し高さが200mm以下である場合は45°上方で行う。
- マシンはギヤをニュートラルとしスタンドをセットした状態で行う。
- 規制に適合しているサイレンサーは車検にてマーキングされる。車検終了後サイレンサーを交換することは禁止される。但しスペアとして車検合格しマーキングされた単品は例外とする。
- ライダーはギヤをニュートラルとしエンジンを回転させ所定の回転域に達するまでエンジン回転を上げる。
- 規定回転数はエンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数 (RPM)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$

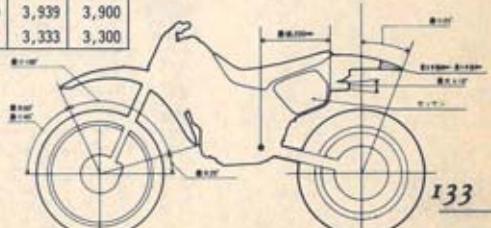
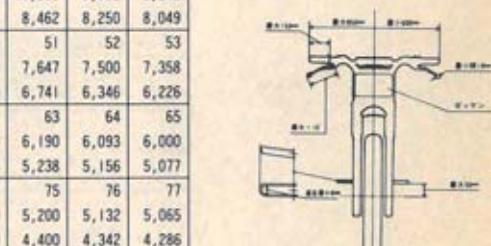
●音量規則：エンジン回転数rpm(小数点以下は四捨五入)

ピストンストローク(mm)	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
2サイクル	13,000	12,580	12,187	11,818	11,470	11,142	10,833	10,540	10,263	10,000	9,750	9,512
4サイクル	11,000	10,645	10,313	10,000	9,706	9,429	9,167	8,919	8,684	8,462	8,250	8,049
ピストンストローク(mm)	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
2サイクル	9,285	9,069	8,863	8,666	8,478	8,297	8,125	7,959	7,800	7,647	7,500	7,358
4サイクル	7,857	7,674	7,500	7,333	7,174	7,021	6,875	6,735	6,600	6,741	6,346	6,226
ピストンストローク(mm)	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
2サイクル	7,222	7,090	6,964	6,842	6,724	6,610	6,500	6,393	6,290	6,190	6,093	6,000
4サイクル	6,111	6,000	5,893	5,789	5,690	5,593	5,500	5,410	5,323	5,238	5,156	5,077
ピストンストローク(mm)	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77
2サイクル	5,909	5,820	5,735	5,652	5,571	5,492	5,416	5,342	5,270	5,200	5,132	5,065
4サイクル	5,000	4,925	4,853	4,783	4,714	4,648	4,583	4,521	4,459	4,400	4,342	4,286
ピストンストローク(mm)	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
2サイクル	5,000	4,937	4,875	4,815	4,756	4,699	4,643	4,588	4,535	4,483	4,432	4,382
4サイクル	4,231	4,177	4,125	4,074	4,024	3,976	3,929	3,882	3,837	3,793	3,750	3,708
ピストンストローク(mm)	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	
2サイクル	4,333	4,286	4,239	4,194	4,149	4,105	4,063	4,021	3,980	3,939	3,900	
4サイクル	3,667	3,626	3,587	3,548	3,510	3,474	3,438	3,402	3,367	3,333	3,300	

- 規制値をオーバーしているマシンには再度計測の機会

が与えられる。

- 検査を受けるマシンはエンジンのピストンストローク値をクラシックケースの良く見える位置にスタンプしておかねばならない。



トライアル 基本仕様

01 チタン合金

すべての車両についてフレームボディ、フロントフォーク、スイングアーム、スイングアームスピンドル、ハンドル、ホイールスピンドル構造にチタン合金材の使用を禁止する。
ホイールスピンドルに関しては軽合金材の使用も禁止される。

02 スタート装置

- スタート装置は正常に作動するものを備えていること。

03 エキゾーストパイプ

- エキゾーストパイプとサイレンサーはノイズコントロールに関する必要条件をすべて満たしていること。
- サイレンサーの後端は最低30mmにわたって水平かつ平行であること。許容誤差は±10°とする。
- エキゾーストパイプの後端はリヤタイヤの垂直接線の後方に至ってはならない。

04 ハンドルバー

- 最低幅は600mm以上850mm以内であること。
- 幅の測定はグリップラバーの最外側間で行う。……図参照
- ハンドルバーグリップは150mm以内とし、ハンドルバー端にセットされること。
- 露出したバーの先端は固形物質で栓をするかゴムでカバーすること。
- 中心線または中央位置から両側に対する最低回転角度は20°以上であること。……図参照
- ハンドルを左右にいっぽいに切ったときライダーの指を挟まないようにハンドルとタンクの間に30mm以上の隙間を確保するようにストッパーを取りつけること。

05 コントロールレバー

- ハンドルバーに取りつけられるすべてのレバーの先端は直径19mm以上の球状で容易に脱落するものであってはならない。
この球状を平たくすることは認められるが平たくした部分の厚さは最低14mmとし、いかなる場合においても、その先端部に丸みを持たせること。
- レバーの長さはピボット点から先端ポールまで含めて200mm以下であること。
- すべてのコントロールレバーは独立したピボットを有していること。
(ハンドルバー、フットレバー共に)
- ブレーキペダルのピボットをフートレストと同軸とした場合、フートレストにトラブルが発生してもブレーキペダルは正常に作動すること。

06 スロットルコントロール

- スロットルコントロールは手を離した時は必ず閉じる方式であること。

08 フートレスト

- フートレストは前後車軸の中心を通過する線の50mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線の前側になるように取りつけられ、どのコントロールペダルも容易に操作できる位置にあること。
- 折りたたみ式のフートレストを取りつけても良いが、常に正常位置に自動的に戻る装置を取りつること。
フートレストの先端は安全上半径8mm以上に丸められていること。
- 固定式のフートレストを取りつけた場合はゴムのカバーが取り付けられていない場合フートレストの先端は安全上、半径8mm以上の球状にまるめられていること。

09 ブレーキ

- 車両は前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていること。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 車両には有効なマッドガードが装着されていること。
- マッドガードはタイヤの両側に張り出していること。
- フロントマッドガードはホイールの周囲を最低100mmに渡ってカバーしていること。マッドガードの

前端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を水平に通る線の作る角度は45°～60°の範囲であること。

4. リヤマッドガードはホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていること。

マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を水平に通る線の作る角度は20°以下であること。

11 ストリームライニング

1. ストリームライニングの装着は禁止されている。

12 ホイール、タイヤ

1. タイヤの最大幅はホイールに正常にセットした状態で115mm以下であること。
2. トレッドの深さは表面から直角に測って13mm以下であること。
3. 同一円周上のすべてのトレッドの深さは同一であること。
4. ブロック間のトレッドの幅はタイヤ幅方向で9.5mm以下とし、円周方向では13mm以下であること。
5. トレッドはタイヤウォールに直角に測ってタイヤの全幅におよんでいてはならない。スタッドによって中断されているトレッドはこの限りではない。
6. タイヤに一切の改造を加えてはならない。
7. タイヤにはチェーンやスパイク等を装備してはならない。

13 ナンバープレート

1. ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていて最低寸法は175mm×150mmとする。
2. ナンバープレートは1枚を車両の前面に見やすいよう前向きに取りつけること。
3. 字体はブロック体とし枠内に明確に記入すること。
4. 数字および地色に螢光色は一切認められない。
5. 判読しづらい文字等は車検長によりレース参加の許可を得ることが出来ない。
6. 国際A級および国際B級部門についてはプレート下部にライダーの名前を記入するものとする。

14 音量規制

1. 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後方500mmでかつ中心線から45°で排気管と同じ高さとする。但し高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
2. マシンはギヤをニュートラルとしスタンダードをセットした状態で行う。
3. 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマーキングされる。車検終了後サイレンサーを交換することは禁止される。但しスペアとして車検合格しマーキングされた単品は例外とする。
4. ライダーはギヤをニュートラルとしエンジンを回転させ所定の回転域に達するまでエンジン回転を上げる。
5. 規定回転数はエンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数 (RPM)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$

●音量規則：エンジン回転数rpm(小数点以下は四捨五入)

ピストンストローク(mm)	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
2サイクル	13,000	12,580	12,187	11,818	11,470	11,142	10,833	10,540	10,263	10,000	9,750	9,512
4サイクル	11,000	10,645	10,313	10,000	9,706	9,429	9,167	8,919	8,684	8,462	8,250	8,049
ピストンストローク(mm)	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
2サイクル	9,285	9,069	8,863	8,666	8,478	8,297	8,125	7,959	7,800	7,647	7,500	7,358
4サイクル	7,857	7,674	7,500	7,333	7,174	7,021	6,875	6,735	6,600	6,474	6,346	6,226
ピストンストローク(mm)	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
2サイクル	7,222	7,090	6,964	6,842	6,724	6,610	6,500	6,393	6,290	6,190	6,093	6,000
4サイクル	6,111	6,000	5,893	5,789	5,690	5,593	5,500	5,410	5,323	5,238	5,156	5,077
ピストンストローク(mm)	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77
2サイクル	5,909	5,820	5,735	5,652	5,571	5,492	5,416	5,342	5,270	5,200	5,132	5,065
4サイクル	5,000	4,925	4,853	4,783	4,714	4,648	4,583	4,521	4,459	4,400	4,342	4,286
ピストンストローク(mm)	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
2サイクル	5,000	4,937	4,875	4,815	4,756	4,699	4,643	4,588	4,535	4,483	4,432	4,382
4サイクル	4,231	4,177	4,125	4,074	4,024	3,976	3,929	3,882	3,837	3,793	3,750	3,708
ピストンストローク(mm)	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	
2サイクル	4,333	4,286	4,239	4,194	4,149	4,105	4,063	4,021	3,980	3,939	3,900	
4サイクル	3,667	3,626	3,587	3,548	3,510	3,474	3,438	3,402	3,367	3,333	3,300	

6. 単気筒以上のエンジンの計測にはそれぞれの排気管出口で行う。

7. 規制値をオーバーしているマシンには再度計測の機会が与えられる。

8. 検査を受けるマシンはエンジンのピストンストローク値をクランクケースの良く見える位置にスタンプしておかねばならない。

SPクラスの車両規則

吸気系の制限に対する暫定処置

SP・SSクラスとともにキャブレターの口径規制が実施されるが1992年度に限りすでに公認されている型式の車両でこの規制値を越えているものについては猶予期間が与えられ、そのまま使用することができる。但し1993年からは規則に合致するように処置をすることが義務付けられる。

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数
400	250を越え400以下	×	○	4
250	125を越え250以下	○	×	2
250F	125を越え250以下	×	○	4
125	80を越え125以下	○	○	1
80	50を越え80以下	○	○	1
50	50以下	○	○	1

02 出場車両

- 車両は市販レーサーを除く一般生産型車両でMFJが公認したもの、またはSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 車両のリム幅（最大限リム幅）は前輪3.5インチ、後輪4.5インチ以下とする。

03 公認車両に対しては下記事項は仕様の変更が出来ない。

（仕様の変更とはその部品の改造、変更または取りはずしをいう）

- エンジンの型式
- シリンダーの数
- ピストンストローク
- シリンダー（スリーブ含む）、シリンダーへッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・铸造及び形状
- クラッチの構造（但しディスクの材質とスプリングは除く）-04.22参照
- エンジン内部の部品の材質
- 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比
- 2サイクル車のシリンダー、ピストンによるポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比
- シリンダー、シリンダーへッドのクランクケースに対する向き
- 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- クランクケースカバー類の材質・铸造および、形状
- シリンダー（2サイクル）シリンダーへッド（4サイクル）のポートの形状、寸法
- クランクシャフトアッセンブリー、ピストンの材質、寸法、形状
- カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリーの改造・変更
- 1) キャブレターの改造（但し公認キャブレターの使用は可。04・16・5及び08・2-1参照）
2) マニホールドタイプのフューエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限り認められる。
- フューエルタンク（給油口及びフューエルコックを除く）
- ブライマリーギヤレシオ
- ミッションの改造・変更（04.23参照）
- ブリーザーシステム
- リヤホイール
- リヤブレーキ関係（但しパッド材質とブレーキホースを除く）
- フロントホイール
- フロントブレーキ関係（但しパッド材質とブレーキホースを除く）
- フレームボディ（構造、材質、補強）
- フロントフォーク
- 1) リヤフォーク
2) リヤサスペンション、サスペンションのシステム
- ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ
- ストリームライニングの外観形状

04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るか、ロードレース基本仕様 (第7章) には適合していることを条件とする。

これは明確化の目的だけである。この項目に載っていない他の部分も変更あるいは交換されてもよい。仕様の変更とはその部品の改造、変更または取りはずしをいう。

16. 1) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
- 2) エアーファンネルの取り付け、または寸法の変更 (キャブ本体は除く)
- 3) リストリクターの取り付け
リストリクターは5mmの区間にわたって最小断面積を確保するように処置されていなければならぬ。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
- 4) 公認キャブの使用 (マグネシウム等高価素材のものは公認されない)
17. 1) フューエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
- 2) フューエルパイプ、フューエルコックの変更
18. エキゾーストパイプ、マフラーの変更 (但し音量規定に適合していること)
19. ラジエーター、クーリングファン、サーモスタット
22. クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
23. ミッションギヤのレシオ (但し公認部品に限られる)
25. スタート装置の取り外しが出来る
26. 分離給油のためのオイルポンプを含む関連部品の取り外し。
30. 1) リミッターの解除のためのコントロールユニットの変更
2) イグニッションコイルの取り付け位置の変更
31. 1) スパークプラグ、プラグキャップの変更
2) 点火時期の調整
3) パッテリーの変更または取り外し
32. ワイヤーハーネスの改造・変更
34. コントロールワイヤー類の改造・変更
35. エアクリーナーBoxの改造または取り外し
37. スピードメーター (メーターギヤBox、ケーブル含む) その他メーター類の取り外し
40. ドライブチェーンケース、カバーの取り外し、ドライブチェーンのサイズの変更
41. ファイナルギヤレシオの変更
42. リヤタイヤの廻り止めとバランスウェイトの取り付け
43. リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
44. フロントタイヤの廻り止めとバランスウェイトの取り付け
45. フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
48. タイヤは変更出来るがMFJ公認SP用タイヤに限られる。ウェット時はレーシングレインの使用が認められる
50. フートレストを含むブレケット、ペダルの改造・変更
51. 1) フロントサスペンションのスプリングの変更
2) フロントフォークの剛性アップのためのスタビライザーの取り付け
3) ダストシールの取り外し
52. リヤサスペンションのスプリングの変更
53. 1) ハンドルバーの変更、クラッチ、フロントブレーキレバーの変更
2) ステアリングダンパーの取り付け
54. カウリングの材質 (但しカーボン、ケブラー等の高価素材を除く)
55. 1) シートカウルの形状・材質 (但しカーボン、ケブラー等の高価素材を除く)
2) マッドガードの取り外し、サイドカバーの取り外し
57. エンジンオイル、ブレーキオイル、サスペンションオイルは自由
59. すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々の、または合計の公差内で意図的に選定すること (メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)
仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう (ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンバインションチャンバー等)
60. 1) 不要なステー類 (シートレールの一部を含む) のカットが出来る。
2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加が出来る。

05 重量

SPクラスの最低重量は下記とする (半乾燥重量)

クラス	最低重量
400	150kg
250	115kg
250F	130kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06

公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる。

16. 1) キャブレターのサイズ

クラス	最大限サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下

(注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストリクターによって口径を調整しなければならない。

17. 1) フューエルタンクの給油口を改造した場合ワンウェイバルブ付きのオーバーフローパイプとキャチタンク(250cc以上)の取り付け。

2) 電動式フューエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフューエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。

19. ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取付け(250cc以上)

27. 1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取付け(4サイクルは500cc以上、2サイクルは250cc以上)

2) 4サイクル車キャッチタンクからのプローバイガスはエンジンに再吸入させること(図参照)

32. エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置に)

36. 灯火器のレンズの処理または取り外し

38. 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類)の取り外し

56. すべてのドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

07

いかなる場合も禁止される事項

29. 改造・変更に当たって特殊な材料の使用(チタン合金、カーボン強化繊維等の高価な材料)
(カーボン素材のエキゾーストパイプについては'92年度は暫定的に使用することができます)

42. リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。

44. フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。

48. タイヤへの追加工

53. ステアリングダンパーを取りつけた場合ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。

58. ガソリンは通常のスタンドで購入出来るか、各サーキットのスタンドで購入出来るレースガスまたはアブガスに限る。

08

MFJへの公認手続き・条件

1. 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

国産車: 250まで500台以上、250を越えるもの250台以上。輸入車: 25台以上

2. 技術委員会は毎月第1火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は全議日から2ヶ月後の同日付で公認発効。発売日から全議日以降の場合は発売日の2ヶ月後の同日付で公認発効する。

3. 車両の仕様はロードレースの基本仕様に適合していること

1) キャブレターのサイズ

クラス	最大限サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下

(注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

2) ホイールリム最大幅

前輪 3.5インチ以下 後輪 4.5インチ以下

3) 01条のクラス区分に適合していること(排気量内にあること)

4. 専用コンプリートマシンはそのベースマシンが公認台数を満たしていることを条件とする。

09

音量規定

FIM方式で測定し102dB/A以下であること。レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

予告事項: 93年1月1日より規制値は99dB/Aとなる。

互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあっては、一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

(注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種の打刻型式に基づき判断される)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

(93年1月1日以降の公認車両同志に限られる)

SSクラスの車両規則

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数
750	400を越え750以下	×	○	4
400	250を越え400以下	×	○	4
250	125を越え250以下	○	×	2

02 出場車両

- 車両は市販レーサーを除く一般生産型車両でMFJが公認したものまたはSP/SS用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 車両のリム幅(最大限リム幅)は下記とする。
400以下 前輪3.5インチ 後輪5.25インチ以下
750以下 前輪3.5インチ 後輪6.25インチ以下

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない。

- エンジンの型式
- シリンダーの数
- ピストンストローク
- シリンダー(スリーブ含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・铸造及び形状
- クラッチ構造(但しディスクの材質とスプリングは除く)-04.22参照
- エンジン内部の部品の材質
- 4サイクル車のバルブの径
- 2サイクル車の一次圧縮比
- シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレーター数
クランクケースカバー類の材質・铸造及び形状
- クランクシャフトアッセンブリー、ピストンの材質、寸法、形状
- バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリーの改造・変更
- 1) キャブレーターの改造(但し公認キャブレーターの使用は可。08.2.1参照)
- 2) SS750のキャブレーターは車両公認時のものに限る。
- 3) マニホールドタイプのフューエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限り認められる。
- フューエルタンク(給油口及びフューエルコックを除く)
- プライマリーギヤレシオ
- ミッション段数は6段に制限される。
- ブリーザーシステム
- フレームボディ(構造、材質)
- 1) リヤフォーク
- 2) リヤサスペンションのシステム
- ストリームライニングの外観形状

04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第7章)には適合していることを条件とする。

- これは明確化の目的のためだけであり、この項目に記載されていない部分も変更あるいは交換されてもよい。仕様の変更とはその部品の改造、変更または取りはずしをいう
- 4サイクルのシリンダーヘッドの面削による圧縮比の変更(但し燃焼室形状は変更出来ない)
 - 1) 2サイクルのシリンダーへの追加工(切削に限る)によるポートタイミングとポートエリアの変更は認められる。
2) 2サイクルのシリンダーヘッドの面削による圧縮比の変更(但し燃焼室形状は変更出来ない)
 - 4サイクルのシリンダーヘッドのポートは追加工(切削に限る)による拡大は認められる。
 - 4サイクルのシリンダーヘッドのガスケット面の面削は可
 - カムシャフトは追加工(切削に限る)によるバルブリフト量、タイミングの変更は認められる。

16. 1) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
 2) エアーファンネルの取り付け、または寸法の変更(キャブ本体は除く)
 3) リストリクターの取り付け
 リストリクターは5mmの区間にわたって最小断面積を確保するように処置されていなければなら
 ない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
 4) 公認キャブの使用
17. 1) フューエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
 2) フューエルパイプ、フューエルコックの変更
18. エキゾーストパイプ、マフラーの変更(但し音量規定に適合していること)
19. ラジエーター、クーリングファン、サーモスタットの改造・変更
22. クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
23. ミッションギヤのレシオ(但し公認部品に限られる) 03・23参照
26. 分離給油のためのオイルポンプを含む関連部品は取り外しても良い。
30. 1) リミッターの解除のためのコントロールユニットの変更
 2) イグニッションコイルの取り付け位置の変更
31. 1) スパークプラグ、プラグキャップの変更
 2) 点火時期の調整
 3) パッテリーの変更、または取り外し
 4) 始動機構と発電機およびそれらの関係部品の取り外しができる。
32. ワイヤーハーネスの改造・変更
34. コントロールワイヤー類の改造・変更
35. エアークリーナーBoxの改造、または取り外し
37. スピードメーター(メーターギヤBox、ケーブル含む)その他メーター類の取り外し
40. ドライブチェーンケース、カバーの取り外し、ドライブチェーンのサイズの変更
41. ファイナルギヤレシオの変更
42. 1) リヤタイヤの廻り止めとバランスウェイトの取り付け
 2) リヤホイールは交換出来るが最大限リム幅は下記とする
 400以下 5.25インチ以下
 750 6.25インチ以下
43. リヤブレーキ関係は改造・変更出来る。
44. 1) フロントタイヤの廻り止めとバランスウェイトの取り付け
 2) フロントホイールは交換出来るが最大限リム幅は3.5インチ以下とする
45. フロントブレーキ関係は改造変更が出来る。
48. タイヤは自由とする。
50. 1) フレームボディの補強は認められる。
 2) フットレストを含むブラケット、ペダルの改造・変更。
51. 1) フロントサスペンションユニットは交換出来る(但し公認部品に限る)。
 2) フロントフォークの剛性アップのためのスタビライザーの取り付け。
 3) ダストシールの取り外し。
52. 1) リヤフォークの補強は可。
 2) リヤサスペンションユニットは交換出来る(但し公認部品に限る)。
 3) リヤサスペンションのスプリングの変更
53. 1) ハンドルバーの変更、クラッチ、フロントブレーキレバーの変更。
 2) ステアリングダンパーの取り付け。
54. カウリングの材質(但しカーボン、ケブラー等の高価素材を除く)。
55. 1) シートカウルの形状・材質(但しカーボン、ケブラー等の高価素材を除く)。
 2) マッドガードの取り外し、サイドカバーの取り外し
56. エンジンオイル、ブレーキオイル、サスペンションオイルは自由
59. すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。
 調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に行なうこと(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)。
 仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう(ポートみがき、コンロッドミガキ、ピストンみがき、コンバシンショナチャンバー等)。
60. 1) 不要なステー類(シートレールの一部を含む)のカットが出来る。
 2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加が出来る。

05 重量

SSクラスの最低重量は下記とする(半乾燥重量)

クラス	最低重量
750	165kg
400	150kg
250	115kg

(注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06

公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる。

16. 1) キャブレターのサイズ
 クラス 最大限サイズ
 400 直径32mm相当以下
 250 直径32mm相当以下
 注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。
- 2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストリクターによって口径を調整しなければならない。
17. 1) フューエルタンクの給油口を改造成した場合ワンウェイバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク(250cc以上)を取り付けなければならない。
- 2) 電動式フューエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフューエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
19. ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け(250cc以上)
27. 1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け(4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上)
 2) 4サイクル車のキャッチタンクからのプローバイガスはエンジンに再吸入させること(図参照)
32. エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能の位置に)
36. 灯火器のレンズの処置または取り外し
38. 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類)の取り外し
56. すべてのドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

07

いかなる場合も禁止される事項

29. 改造・変更に当たって特殊な材料の使用(チタン合金、カーボン強化繊維等の高価な材料)
 (カーボン素材のエキゾーストパイプについては'92年度は暫定的に使用することができます)
42. リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
44. フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
53. ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
58. ガソリンは通常のスタンドで購入出来るか、各サーキットのスタンドで購入出来るレースガス、またはアブガスに限る。

08

MFJへの公認手続き・条件

1. 一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。
 国産車: 250まで500台以上、250を越えるもの250台以上 輸入車: 25台以上
2. 技術委員会は毎月第1火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている場合は会議日から2ヵ月後、発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後に公認発効される。
3. 車両の仕様はロードレースの基本仕様に適合していること。
 - 1) キャブレターのサイズ
 クラス 最大限サイズ
 400 直径32mm相当以下
 250 直径32mm相当以下
 注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。
 - 2) 01条のクラス区分に適合していること(排気量内にあること)。
4. 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認台数を満たしていることを条件とする。

09

音量規定

FIM方式で測定し102dB/A以下であること。レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

予告事項: 93年1月1日より規制値は99dB/Aとなる。

10

互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあっては一切の追加工なしで、単品またはアセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種の打刻型式に基づき判断される)

(予告) 93年1月1日以降

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

(93年1月1日以降の公認車両同士に限られる)

耐久レースの追加仕様

① クラス区分

一般生産型車両をベースとした下記カテゴリーで行われる。SBとTT-F1はFIM規則とする。
SP SS SB TT-F1

② 出場車両

- 一般生産型車両でMFJが公認し、参加しようとする各クラスの仕様に適合していること。
- ロードレースの基本仕様に合致していること。
- 耐久用の仕様を満たしていること。

③ 重量

それぞれの定められた最低重量に3kg加えることとする。

④ 耐久仕様

- 車両は公認された状態の確実に作動するスタート装置を備えていること
- 1) フューエルタンクは給油口を改造することは認められるが位置は変えられない。
- 2) 給油口は最大62.5mmとし2カ所取り付けが許可される。
- 3) タンク容量は以下の通りとする。

TT-F1・SB・SS750	24ℓ以下
SS400・SP400	18ℓ以下
SS250・SP250	18ℓ以下
SP250F	15ℓ以下

 最大限容量を増すための改造は認められるが、サイドからの外観形状は変えられない。
- 1) レースが夜間にかかる場合は公認された発電・充電装置を備えていること。これらはレース期間中常に正常に作動するものであること。
- 2) 灯火器はヘッドライトとテールライト、ストップランプは正常に作動すること、またエキストラのライトを追加することは認められる。
- ホイール交換を容易にするための改造は各々のクラスの改造範囲内でなければならない。
- ブレーキ回りのメンテナンス性向上のための改造は各々のクラスの改造範囲内でなければならない。
- ジャッキアップのための装置は一部をマシンに取り付けてもよいがストリームライニングから外側にあってはならず、レース期間中確実に固定されていること。これらはマシンの重量に含まれるものとする。



第14章

ロードレースGP クラスの技術規則

(国内B級以下)

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
G P50	~50以下	1	6
80	50をこえ80以下	1	6
125	80をこえ125以下	1	6
250	175をこえ250以下	2	6

02 出場車両

- 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第7章)に示されているすべての条項に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない。

- エンジンの型式
- シリンダーの数
- ピストンストローク
- 1) クランクケース
2) 市販レーサーのシリンダー、シリンダー・ヘッド(10条参照)
- バルブ、ポート、キャブの数
- クランクシャフトのストローク変更
- キャブレター(10条参照)
- 市販レーサーのミッションギヤ(10条参照)
- 特殊な高価な材質の使用……チタン合金等
- 1) 市販レーサーのフレームボディ
2) 一般市販車のフレームボディ(但し不要なステー類のカットと補強を除く)
- 市販レーサーのフロントフォーク(10条参照)
- 市販レーザーのリヤフォーク及びサスペンションユニットとリンク(10条参照)

04 公認車両に対して下記事項の変更は出来るが、基本仕様に適合していることを条件とする。

これは明確化の目的のためだけである。この項目に載っていない他の部分も変更あるいは交換されてもよい。

- 仕様の変更とはその部品の変更または取りはずしをいう。
- クラッチの構造
 - クランクケースカバーの改造または変更
 - 1) シリンダーの切削によるポートタイミングとポートエリアの変更
2) シリンダー・ヘッドの切削による圧縮比、燃焼室の形状変更
 - クランクシャフト、ピストン関係部品の改造(但しストロークは変えられない。)
 - 排気系の改造・変更
 - 冷却系の改造・変更
 - 点火系・関連部品の改造変更
 - リヤホイール
 - リヤブレーキ
 - フロントホイール
 - フロントブレーキ
 - タイヤ
 - フレームボディの補強(一般生産型車両に限る)
 - リヤフォークの補強
 - すべての部品について調整・仕上げは自由である。
 - フレームボディとリヤフォークを除き軽量化のための改造は出来るが最低重量以上であること。

05 重量

1 G P クラスの最低重量は下記とする (半乾燥重量)

クラス	最低重量
G P 50	—
80	—
125	70kg
250	95kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

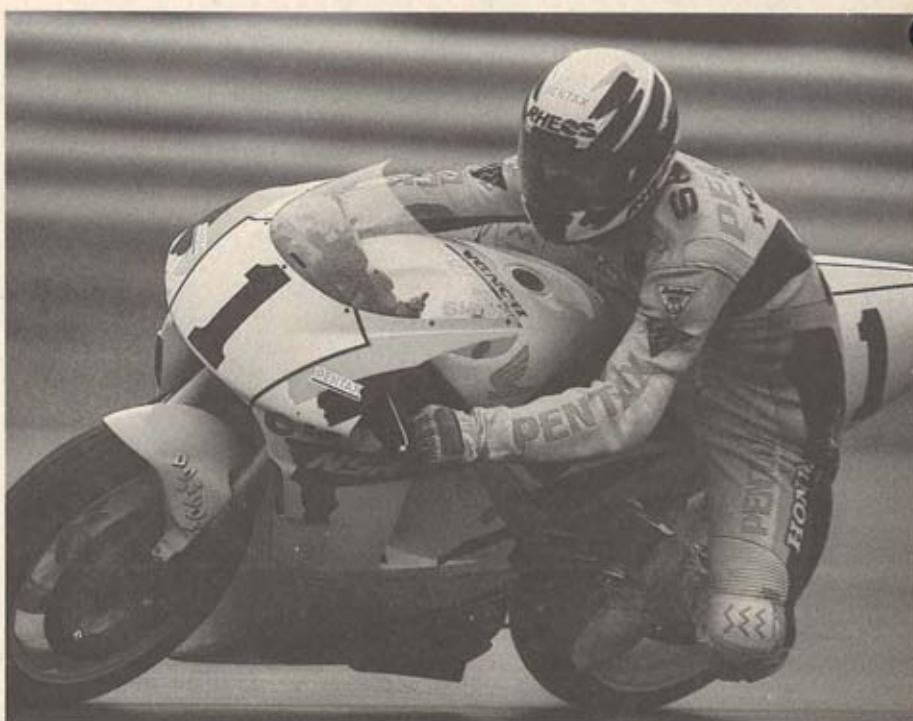
注) 1992年度に限りダミーウエイトの使用が5kg以内で認められるか完全な固定を前提とする。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務づけられる。

17. 1) フューエルタンクの給油口を改造した場合ワンウェイバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク(250cc以上)の取り付け。
- 2) 電動式フューエルポンプを装備している場合は転倒の際にただちにフューエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
19. ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け(250cc以上)
27. 1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け(4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザーは250cc以上)
 - 2) 4サイクル車のキャッチタンクからのプローバイガスは大気中の放出は禁止される。
32. エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置に)
36. 灯火器のレンズの処置または取り外し
38. 保安部品の取りはずし
56. すべてのドレンボルト及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

07 いかなる場合も禁止される事項

29. 改造変更にあたって特殊な材料の使用(チタン合金)
42. リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用する
44. フロントホイールスピンドル
53. ステアリングダンパーをハンドルストッパーとして使用
58. ガソリンは通常のスタンドで購入出来るか、各サーキットのスタンドで購入出来るレースガスまたはアープガスに限る。
61. 過給は一切禁止される。





08 MFJへの公認手続き、条件

- 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

	国産車	輸入車	備考
一般型生産車	250以下500台 250を超えるもの250台	25台	
SP、SS用コンプリート車	制限なし	制限なし	ベース機種が公認されていること
市販レーサー	25台		

- 技術委員会は毎月第1火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付で公認発効する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付で公認発効とする。但し市販レーサーは1ヵ月後とする。

09 音量規定

- FIM方式で測定し105dB(A)以下のこと
- 2サイクルは13m/s、4サイクルは11m/sのピストンスピードとする。
レース終了後は3dB(A)の誤差値が認められる。

10 互換性

- フレームの打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあっては一切の追加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互の交換が認められる。
注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるか「互換性」が認められる。
(コンプリートマシンのベース機種の打刻型式に基づき判断される)
 - 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば互換用することが出来る。
 - ミッションアッセンブリーまたは単品
 - フロントフォークアッセンブリーまたは単品
 - リヤサスペンションユニットおよびリンク関係
 - リヤフォーク
 - キャブレター
 - シリnder
 - シリnderヘッド
 - 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。
 - ミッションギヤ
 - フロントフォークアッセンブリーまたは部品
 - リヤサスペンションユニット、アッセンブリーまたは部品
 - リヤフォーク
 - キャブレター
 - シリnder
 - シリnderヘッド
- 注) 部品公認申請条件を満たしていること。

国内モトクロス

01 クラス区分

クラス	排気量	最大気筒数	最多ミッション段数
80	~ 80cc以下	1	6
125	100cc~125cc以下	1	6
250	175cc~250cc以下	1	6

*ジュニアクラスは、80ccに限定される。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが認定したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びモトクロス基本仕様(第8章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

- 1) エンジンの型式の変更
- 2) シリンダーの数の変更
- 3) ピストンストロークの変更
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーへッドの材質、鋳造及び形状
- 10) 吸排気系のバルブ、ポート及びキャブの数
- 12) シリンダー、シリンダーへッドの改造、変更
- 16) キャブレターの改造、変更
- 19) 冷却方式の変更
- 23) ミッションギヤの改造、変更
- 50) フレームボディーの改造、変更
- 51) フロントフォークの改造、変更
- 52) リヤフォーク、リヤサスペンションユニット及びガスリンクージの改造、変更

04 公認車両に対し、下記事項の変更は出来るか、総合仕様に適合していることを条件とする。

- 5) クラッチの構造
- 11) クランクケースカバーの材質、形状
- 13) クランクシャフトの形状(但しストローク変更は不可)、ピストン、リングは自由とする。
- 17) フューエルタンクの形状、材質。フューエルコック、フューエルラインは自由。
- 18) エキゾースト系は自由(但し音量規定に適合していること)
- 19) 冷却系は自由(但し方式の変更は不可)
- 26) 分離給油関係の取りはずしまたは変更(但し、方式の変更は不可)
- 41) ファイナルレシオを自由
- 42) リヤホイールの変更
- 43) リヤブレーキ関係の変更
- 44) フロントホイールの変更
- 45) フロントブレーキの変更
- 48) タイヤの変更
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

05 重量

- 1) 各クラスの最低車両重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80cc	61kg
125cc	88kg
250cc	98kg

注 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。
ダミーウェイトによる調整は認められない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け
('93年よりハンドルを握って操作可能な位置に取り付けなければならない)
- 36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし。
- 38) 保安部品の取りはずし。
ドレンボルト及びオイル圧力ライン部分へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造範囲にあたって特殊な材料の使用 (チタン合金)。
- 42) ホイールスピンドル構造に軽合金素材部品の使用。
- 58) 燃料は、一般市販ガソリン (民間航空機用の市販ガソリンも可) でなければならない。
燃料やオイルにはオクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤を加えてはならない。
- 61) 過給は一切禁止される。

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確となっていること。
または、市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し、発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型	500台以上	25台以上
市販レーサー	100台以上	

- 2) 技術委員会は毎月第1火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている車両の場合は、会議日から2ヵ月後の同日付で公認発効。発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヵ月後の同日付で公認発効とする。ただし市販レーサーに限り、各々1ヵ月後とする。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し99dB/A以下のこと。2サイクルは13m/s、4サイクルは11m/sのピストンスピードとする。レース終了後は、2dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式が同一モデル内にあっては、一切の追加工なしで単品、または、アッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。
 - 2) 下記の部品は同一メーカー同志でかつ公認車両であれば互換することが認められる。
 - ① ミッション・アッセンブリーまたは単品
 - ② フロントフォーク・アッセンブリーまたは単品
 - ③ リヤサスペンションユニットまたはリンク関係
 - ④ リヤフォークアッセンブリーまたは単品
 - ⑤ キャブレター
 - ⑥ シリンダーコンプレート
 - ⑦ シリンダーヘッドコンプレート
 - 3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。
 - ① ミッションギヤセットまたは単品
 - ② フロントアッセンブリーまたは部品
 - ③ リヤサスペンションユニットアッセンブリーまたは部品
 - ④ リヤフォークコンプレート
 - ⑤ キャブレター
 - ⑥ シリンダーコンプレート
 - ⑦ シリンダーヘッドコンプレート
- 注 部品公認申請条件を満たしていること。

国内モトクロス (ジュニア部門)

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びモトクロス基本仕様(第8章)に示されている全ての条件に適合していること。

03 公認車両に対し、下記04条以外の改造・変更は認められない

04 公認車両に対し、下記事項の変更は出来るが、総合仕様に適合していることを条件とする。

- 4) ハンドル及びその付属品
- 8) フットレスト
- 10) マッドガード
シート、消音器の内部、エアークリーナー、点火プラグ、メインスイッチ、ペダル類、スプロケット、チェーンケース、コントロールケーブル、ワイヤー類、タイヤ、全ての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

国内トライアル

01 クラス区分

排気量によるクラスは特に設定しない。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びトライアル基本仕様(第9章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

- 1) エンジンの型式の変更
- 2) シリンダーの数の変更
- 3) ピストンストロークの変更 予告事項('93年から適用される)
- 4) クランクケースの材質、鋳造及び形状
- 10) 吸排気系のバルブ、ポート及びキャブの数
- 50) フレームボディーの変更
- 48) タイヤ
 - (1) タイヤに改造を加えてはならない。
 - (2) タイヤには、チェーン、スパイク等を装備、加工してはならない。

05 重量

1) 最低車両重量に関しては特に設定しない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務付けられる。

- 23) カウンターシャフトプロケットには指をはさまないようなカバーを取りつけること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け。
- 36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし。
- 38) 保安部品の取りはずし。
- 39) 前後輪には規格に合致したマッドガードを備えていること。
- 56) すべてのドレンボルト及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。予告事項('93年から適用される)

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造範囲にあたって特殊な材料の使用(チタン合金)。
- 42) ホイールスピンドル構造に軽合金材の使用。
- 58) 燃料は、一般市販ガソリン(民間航空機用の市販ガソリンも可)でなければならない。燃料やオイルにはオクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤を加えてはならない。
- 61) 過給は一切禁止される。

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確になっていること。
または、市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し、発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型	500台以上	25台以上
市販レーサー	5台以上	—

- 2) 技術委員会は毎月第1火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている車両の場合は、会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効とする。
ただし市販レーサーに限り、各々1ヶ月後とする。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し87dB/A以下のこと。6.5m/sのピストンスピードとする。レース終了後は1dB/Aの誤差値が認められる。

FIM技術仕様

以下のクラスはFIM技術仕様にて開催される。

国際A級／国内A級：GPフォーミュラクラス

国際A級：TTF-1クラス

国際A級：スーパー・マイククラス

以下の種目別技術仕様とMFJ技術規則第7章ロードレースの基本仕様に合致していることとする。種目別仕様と基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は種目別仕様を優先する。

FIM規則01章 GPフォーミュラの技術仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
GP125	80を越え125以下	1	6
GP250	175を越え250以下	2	6
GP500	350を越え500以下	4	6

注) 国内競技会においては当分の間、500ccクラスの排気量区分を「250を越え500以下」とする。

2. エンジンのシリンダー数は、燃焼室の数で決定される。

3. もし燃焼室が分けられている場合、それらは総吸気ポートエリアの最低50%にあたる通路によって連結されていなければならない。

02 出場車両

1. 車両の選択に制限はない。

2. 車両はMFJ技術規則第7章ロードレース基本仕様に示されるすべての条件に適合していかなければならぬ。

05 重量

最低重量は下記とする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
GP125	70kg
GP250	95kg
GP500	130kg (4気筒) 115kg (3気筒) 95kg (1~2気筒)

半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

12 ホイールリム幅

各クラスのリヤホイール幅の制限は下記とする。

GP125	検討中
GP250	検討中
GP500	最大6.25インチ

13 ナンバープレート

各クラスに下記の色が指定される。

GP125	黒地に白文字
GP250	緑地に白文字
GP500	黄地に黒文字

FIM規則01章 60条TTフォーミュラの技術仕様

01 クラス区分

	2サイクル	4サイクル	4サイクル過給型	最大吸気筒数
TT-F1	250を越え 500以下	400を越え 750以下	200を越え 375	4
		500を越え 1000以下		2

02 出場車両

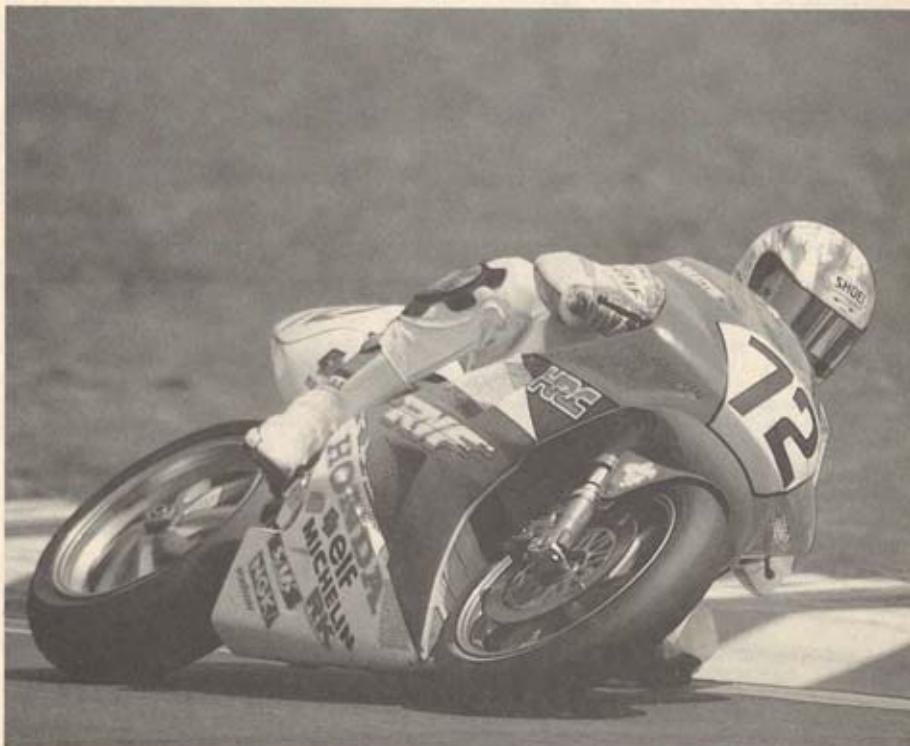
- ベース車両はFIMにTT-F1もしくはスーパーバイクとして公認された車両から選択できる。('92年度についてはMFJ公認車両からも選択できる)
- 車両はMFJ技術仕様第7章ロードレースの基本仕様に示されるすべての条件に合致していなければならない。この種目別仕様と基本仕様の間に解釈の違いが生じた場合はこの種目別仕様が優先する。

03 下記の点に関しては認可されたモデルに変更を加えることはできない

- エンジンの型式
- シリnderの数、吸排気バルブの数
- ピストンストローク
- シリnder(ライナまたはスリーブ含む)、シリnderヘッド、クランクケースおよびギヤボックスシェルの材質とキャスティング(材質)
- クランクケースと関連したシリnderおよびシリnderヘッドの位置
- バルブ数および2サイクルエンジンにおけるポート数(すなわちキャブレターの数)を含む吸排気システム。エキゾーストパイプとマフラーの変更は認められる。
- 燃焼室に直接燃料が噴射されるタイプのフューエルインジェクションは許可されない。マニュホールドタイプのフューエルインジェクションは許可される。

04 下記の点に関しては認証されたモデルと変更されてもよい (ただし基本仕様に合致していること)

- シリnderのパターンを変更することなく、ボアを拡大することができる。ただし、この拡大によって、当該マシンが本来登録されているクラスのリミットを越えてはならない。
 - 最大限ギヤ段数は6段とするが変更する場合、ギヤボックスシェルになんら変更を加えないことを条件とする。
 - エキゾーストパイプおよびサイレンサーは変更されてもよい(音量規定を満たすこと)
- 注 上記に規定されていないモーターサイクルの部分に関しては自由とする。



06 もし認証されたモーターサイクルが下記に適合しない場合、 下記の通り変更されなければならない

- モーターサイクルには始動しているエンジンを停止させることのできる機能的なイグニッションキルスイッチ、またはボタンかハンドルバーの右あるいは左に設けられなくてはならない。(グリップを握って届く位置に)
- セーフティバー、センターおよびサイドスタンドは取りはずされなければならない。
(固定されたブラケットはそのままでもよい)
- すべてのドレーンプラグはワイヤーロックされてはならない。外部のオイルフィルタースクリューおよびボルトでキャビティに進入するものは、すべて安全にワイヤーロックされなければならない。
- ラジエーターオーバーフローパイプを含むエンジンまたはトランスマッショングから出てくるすべてのラインは耐熱性のキャッチパンおよび、あるいはパイプは透明または半透明の材質で出来ていて、ライダーがライディングポジションから見ることの出来る位置になくてはならない。すべてのブリーザーシステムは過剰のオイルをエンジンにもどすようになっていなければならない。
- オイルクーラーはリヤのマッドガード(エンダー)の上、またはそれよりも上に設けられてはならない。

FIM技術規則01章 59条スーパーバイクの技術仕様

スポーツプロダクション用モーターサイクルは、現在量産されているモーターサイクルで、高性能マシンの入手を希望する一般の人々が購入出来るものとする。

スポーツプロダクションレース用に認証されるモーターサイクルは、スタンダードのカタログモデルで過去5年間以内に製造され、通常の使用のために販売されたもので、ライト類を完全に装備していなければならない。

モーターサイクルの生産国が協定の署名国でない場合でも、モーターサイクルはすべての点において1968年のウイーン協定に適合していなければならない。

エンジンは一般的なガソリンスタンドで入手出来る通常のガソリンで作動するものでなければならぬ。これらの規則は下記の目的のために設定された。

- 外観上出来るかぎり量産マシンに近づける。
- チューナーに自由を与えると同時にコスト的に制限する要素を設ける。
- 通常の市販ルートを通じて、充分な量の装備が入手出来るレーシングクラスを設ける。
- アフターマーケットサプライヤー(供給者)に興味を抱かせる。
- スピードと馬力を安全なレベルに保てるようにする。

01 クラス区分

スーパーバイク		
400を越え 750以下	3 または 4 気筒	
550を越え 1000以下	2 気筒	

02 一般的仕様

すべてのモーターサイクルはすべての点でMFJ技術規則の第7章ロードレースの基本仕様に明記されている必要事項に適合していなければならぬ。論議が生じた場合にはこの種目別仕様が優先する。

03 下記の点に関して認可されたモデルに変更を加えることはできない

- エンジンの型式
- シリンダーの数
- ピストンストローク
- シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケースおよびギヤボックスシェルの材質とキャスティング
- クランクケースと関連したシリンダーおよびヘッドの位置
- バルブ数、および、またはポート(インテークおよびエキゾースト)およびキャブレターまたは他のエアーアンブレットコントロールシステムを含む吸排気システム。
- 燃料が直接燃料室にインジェクションされるフェューエルインジェクションは許可されない。マニホールドタイプのフェューエルインジェクションは、それが認可されたモデルに採用されている量産ユニットであるということを条件に許可される。
- キャブレターまたは他の吸気装置(すなわちインジェクター)はシリンダーヘッドフランジからキャブレター(インジェクター)の反対側までのサイズ、タイプ、取りはずし可能なジェットの数、およびエンジンマニュファクチャーパーツナンバーが寸法を記入したインダクショントラックの図と共に認可書類にリストアップされていなければならない。
- フレーム(ステアリングヘッドからリヤのシートサポートまで)とその構造、材質、補強版またはチューブを追加することは出来るが、本来存在する補強板またはチューブを取りはずしてはならない。
- オリジナルのスイングアームシステム(ダブルかシングルか)及びサスペンションリンクケージシステムは保持されなければならない。
- ストリームライニング、フェアリング、およびシートに隣接するリヤバーツは認可されたデザインに

適合しなくてはならない。

04 下記の部分は認可されたモーターサイクルから変更されても良い

- (これは明確化の目的のためだけである。このリストに載っていない他のパーツも変更あるいは交換されてもよい)
1. ボアはシリンダーのパターンを変更しなければ増大されてもよいが、ただしこの増大によってそのクラスのリミットを越えてはならない。
 2. シリンダー、シリンダーヘッド、クラシクケースおよびギヤボックスシェルにおいては材質は溶接または機械作業によってのみ追加されたり削除されたりすることが出来る。
 3. エンジン内部の動くパーツ及びギヤボックスとクラッチパーツは改造・変更ができる。
 4. ギヤレシオ、ギヤの仕様、ギヤは6速までに制限される。
 5. エキゾーストパイプおよびサイレンサー
 6. フットレストの位置を変えてもよいが、これはリヤホイールの手前に設けられなくてはならない。
 7. モーターサイクルにはどのようなタイプのハンドルバーを装着しても良い。
 8. フロントフォークは全体的あるいは部分的に交換可能だが、認可されたモデルのそれと同じタイプ(リーディングリンク、テレスコピック等)で同じサイズまたはそれ以上のサイズのものでなければならぬ。
 9. スイングアームは修正、あるいは交換可能だが、リヤショックアブソーバーは変更または取り付け位置を変えても良い。ただし、それと同等のシステムが採用されなくてはならない。すなわち、デュアルショックかモノショックかということ。
 10. 燃料タンクは外から見えるならば外観上は認可されたモデルと同じでなければならない。
オリジナルのタンクを変更して、最大容量を達成することは許可される。
燃料タンクのベンチレーションパイプには、燃料の流出を防ぐ装置が設けられていないければならない。タンクの両側にあるクロスオーバーラインは許可される。(最大内径10mm) ブラクティス中に使われたのと同じサイズの燃料タンクが大会中ずっと使われなければならない。
 11. オリジナルのオイルクーラーはマシンの外観を変更しない範囲において変更および追加が認められる。
 12. 16インチに満たないホイールリムの使用は認められない。
 13. マッドガード(フェンダー)は外観上オリジナルと同じでなければならないがホイールとタイヤサイズの変更に合わせて位置は変更されても良い。
 14. ストリームライニング、燃料タンク、フェアリングおよびリヤ・シートに隣接したリヤパーツの材質は変更されても良い。
 15. フェアリングのついたマシンに関してはヘッドライトを取りはずしても良い。リヤライト、ブレーキライトのレンズは安全のためにテーピングされていなければならない。
 16. シートはオリジナルのシートベースを用いて改良することが出来る。テールセクションを追加することは出来ない。
注意:これによってオリジナルのシートベースのリミット内であればパンプパッドを設けることが出来る。
 17. キックレバー、ペダル、スターター、クラシクギヤ、およびスターターシャフトを含む電動あるいはマニュアルのスタートシステムは取り外し可能。ただし耐久の場合は例外とする。
 18. エアークリーナー、ツールボックス、ライセンスプレート(登録標識)用ブラケットは取り外し可能。
 19. 碰動圧を含むオイルラインはもし変更されるならばスチール製の構造で型鉄で曲げた、またはネジ山式のコネクターを持っていなければならない。
 20. ステアリングダンパーは追加されても良いが正当な取り付け方法にしたがったものとする。既存のステアリングストップが適切でない場合、金属製のステアリングストップをフレームに取り付けることが出来る。ダンパーはステアリングロックリミット装置との併用は認められない。最低切れ角は15度とする。
 26. キャブレタージェット、スロットルバルブ、ニードルのサイズ(バタフライは含まない)。

05 車重

液体モーターサイクルの場合、乾燥重量(燃料なしの状態)。車重測定の前に水がラジエーターに追加されても良い。

ラジエーターに水を追加する以外モーターサイクルはレースを終えた状態で、レース後、指定の車重リミットに適合していなければならない。すべての車重は燃料なしの状態とする。

06 もし認可されたモーターサイクルが下記に適合しない場合、 下記の通り変更されなくてはならない。

- モーターサイクルには始動しているエンジンを停止させることのできる機能的なイグニッションキルスイッチ、またはボタンかハンドルバーの右あるいは左に設けられなくてはならない。(グリップを握って届く位置に)
- セーフティバー、センターおよびサイドスタンドは取りはずさなければならぬ。(固定されたプラケットはそのままでよい)
- すべてのドレーンプラグはワイヤーロックされてはならない。外部のオイルフィルタースクリューおよびボルトでキャビティに進入するものは、すべて安全にワイヤーロックされなければならない。
- オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手が届く場所に設けられ、競技開始前に空にすることが義務付けられたオイルキャッチタンクに行わなければならぬ。
オイルキャッチタンクの最低サイズはギヤボックスブリーザーパイプの場合には250ccとし、エンジンブリーザーパイプの場合には500ccとすることが望ましい。
- オリジナルのクローズドシステムは保持されていなければならぬ。大気への直接排出は厳禁される。
- オイルクーラーはリヤのマッドガード(フェンダー)の上またはそれよりも上に設けられてはならない。

08 認証の手順

認証の手順についてはFIM規則参照

モトクロス

国際A級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ技術規則第8章モトクロス基本仕様に適合していることとする。FIM規則とMFJ規則が相違する場合は、MFJ技術規則を優先する。

FIM規則01章モトクロス技術仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限速段数
125cc	100cc~125cc以下	1	6
250cc	175cc~250cc以下	1	6

02 出場車両

- 車両の選択に制限は無い。
- 車両はMFJ規則技術規則第8章モトクロス基本仕様に示されるすべての条件に適合していなければならぬ。

05 重量

車両の最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量	※半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合はオイルは燃料とみなす。
125cc	88kg	
250cc	98kg	

06 公認車両で下記に適合していない場合、 下記のとおり適合させなければならない。

もしブライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としチェーンガードを装着しなければならない。チェーンガードは、いかなる場合においてもライダーがトランスマッショナーパーツに誤って触れることがないようにガードを取り付けてはいけなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードを取り付けてはいけなければならない。

07 禁止事項

1. ストリームライニング（カウル）の装着は禁止される。
2. 使用するタイヤのタイプに制限は無いが、タイヤの表面に滑り止めスパイク、特殊チェーン等を取りつけることは禁止される。

トライアル

国際A級・国際B部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ技術規則第9章トライアルの基本仕様に適合していることとする。FIM規則とMFJ規則が相違する場合は、MFJ技術規則を優先する。

FIM規則01章トライアル技術仕様

01 クラス区分

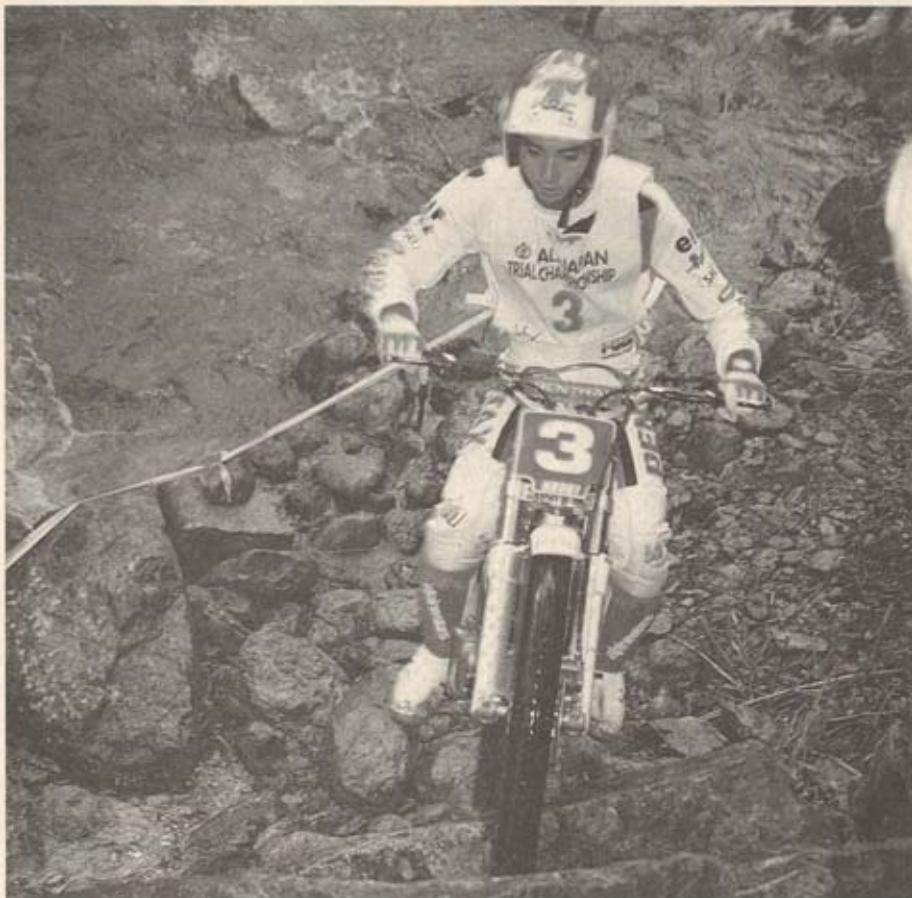
国際A級

国際B級

※ 車両の排気量によるクラス区分は設定されない

06 公認車両で下記に適合していない場合、
下記のとおり適合させなければならない。

カウンターシャフト・スプロケットには安全ガードを取りつけられていなければならぬ。



付 錄

SUPPLEMENT

▼MFJライセンス昇格・降格に関する規則

1. 目的	156
2. 自動昇格	156
3. '92年度の自動昇格対象期間	156
4. 自動昇格に必要な得点	156
5. ロードレースライセンスの昇格	156
6. モトクロスライセンスの昇格	157
7. トライアルライセンスの昇格	157
8. 自動降格の基準	158
9. 特別昇格およびその手続き	158
10. 特別降格およびその手続き	159
11. 再昇格基準	159
■MFJ共済会制度	160
■MFJ公認ヘルメット、レーシングスーツ、タイヤ	161
■歴代チャンピオン	167

MFJライセンス 昇格・降格に関する 規則

① 目的

本規則は、(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(以下MFJという)が発給管理する競技ライセンスの昇格・降格に関して規定し、モーターサイクル競技の公正を図ることを目的とする。

② 自動昇格

1. 自動昇格とは

- 1) 下記に述べる期間内に規定の得点または順位を得た場合、ライセンスは上級区分に昇格する。自動昇格者にはMFJより昇格が通知される。
- 2) 昇格後のライセンス区分が有効になるのは翌年の1月1日からとする。(‘92年の成績で昇格した場合、‘93年1月1日からの有効とする。)

③ '92年度の自動昇格対象期間

'92年度の自動昇格対象期間は1991年11月1日から1992年10月31日までとする。

予告事項

1993年度の自動昇格対象期間は1993年1月1日から1993年10月31日までとし、11月、12月の公認競技会にて取得したポイントは特別昇格の際に考慮する。

④ 自動昇格に必要な得点

1. 自動昇格に必要な得点は公認競技会の格式別にその成績に応じて下記のように与えられる。

2. ジュニア部門の公認競技会における得点は競技会の格式にかかわらず下記②その他の公認競技会の得点とする。

① 全日本選手権および地方選手権競技会

順位	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
5位	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	
6位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
7位	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
8位	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
9位	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
10位	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
11位	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
12位	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
13位	3										
14位	2										
15位	1										

② その他の公認競技会(トライアルは除く)

順位	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	不成立
2位	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
3位	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
4位	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
5位	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
6位	3										

注: 出走台数は、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選のスタートラインに並んだ台数とする。

⑤ ロードレースライセンスの昇格

1. 国内B級から国内A級

1) 対象クラス

GP125、GP250、SP250、SP400

2) 昇格基準

地方選手権において下記得点を得たもの。

北海道 (HSP選手権、サホロ選手権の合計)	50
SUGO選手権	10
仙台選手権	10
エビス選手権	30
関東選手権 (筑波、富士、那須)	10
間瀬選手権	30
鈴鹿選手権	10
中山選手権	30
MINE選手権	10
T.I.選手権	30
四国選手権 (阿讃)	50
九州選手権 (スパ直入、オートポリス、HSR九州)	30

2. 国内A級から国際A級

1) 対象クラス

- GP125, GP250, SS250, SS400, SS750
- スーパーカップ選手権にて30ポイント以上の成績を上げた者で'92年12月31日までにMFJに申請した者。
(昇格を希望しない者は申請を出さなければ国内A級にとどまることができる)
- 地方選手権以上の得点合計で50ポイント以上獲得 (スーパーカップの得点も含まれていることが条件) し'92年12月31日までにMFJに申請したもの。

⑥ モトクロス・ライセンスの昇格

1. ジュニア部門から国内B級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

- 公認競技会において各地方で下記に示す得点以上を得た者 (複数のブロックにまたがる得点の合計はしない)。注: 得点は格式にかかわらず細則9の4自動昇格に必要な得点 (156頁) に順ずる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	20	20	20	20	20	20	20	20

- 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2. 国内B級部門から国内A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

- 公認競技会において各地方で下記の得点を得た者 (複数のブロックにまたがる得点の合計はしない)。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	40	40	30	30	30	40	40	30

- 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3. 国内A級部門から国際B級への昇格の対象者は、次のとおりとする。

- 公認競技会において各地方で、下記の得点以上を得た者。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	80	85	50	50	50	60	100	50

- 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4. 国際B級部門から国際A級への昇格の対象者は、次のとおりとする。

- 全日本選手権ランキングで、各クラス1位から15位にランクされた者。
- MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

⑦ トライアル・ライセンスの昇格

1. ジュニア部門から国内A級部門への昇格の対象者は次のとおりとする。

- 1) ジュニア部門は国内B級部門との混走が認められ、国内B級とジュニア部門の参加者が合計10名以上の公認競技会において下記成績を得た者。
 - (1) 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が29名以下の公認競技会で総合優勝した者(国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ)。
 - (2) 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が30名以上の公認競技会で総合優勝者および2位の者(国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ)。
- 2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
- 3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
2. 国内B級部門から国内A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
 - 1) 国内B級部門参加者10名以上の公認競技会において下記の成績をおさめた者。
 - (1) 国内B級部門で参加者29名以下の公認競技会において国内B級部門での優勝者(次の大会より国内A級部門で出場すること)。
 - (2) 国内B級部門で参加者30名以上の公認競技会において、国内B級部門での優勝者および2位の者(次の大会より国内A級部門で出場すること)。

*(1)(2)においてジュニア部門と混走の場合、成績は総合成績とし、人数の繰り上げは認められない。
 - 2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロック承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
 - 3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
3. 国内A級部門から国際B級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
 - 1) 各ブロックごとの地方選手権(10月31日まで)において、下記の人数で得点上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
人数	5	7	20	13 (内北陸3)	10	7	5	8
 - 2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
 - 3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4. 国内B級部門から国際A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
 - 1) 全日本選手権ランクで、1位から5位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。
 - 2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

8 自動降格の基準

1. ライセンスの更新がなされなかった場合は、その期間によって下表によりライセンス等級が自動降格される。

●自動降格基準表

種目 部門 未更新期間	モトクロス・トライアル				ロードレース		
	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際A級
1年	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際A級
2年	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
3年	〃	国内B級	国内A級	〃	〃	国内B級	〃
4年	〃	〃	国内B級	国際B級	〃	〃	国内A級
5年	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
6年以上	〃	〃	〃	国内A級	〃	〃	〃

*ロードレースについては5年以上の未更新期間のある場合は、MFJ公認サーキットの走行証明が必要。

9 特別昇格およびその手続き

1. 昇格基準と同等とみなされる成績を得た者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。
2. 前項の申請は、特別昇格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到達されることを要し、それ以外の申請は受理されない。
3. 申請は所定の申請書に必要事項を記入し、所属する県支部およびブロックの承認を得て、MFJ事務

局に申請するものとする。

なお、所定の申請書は、県支部またはMFJ事務局に用意されており、請求に応じて送配布される。

4. 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えて県支部に提出すること。

5. 特別昇格についての最終決定はMFJスポーツ委員会の審査結果による。

⑩ 特別降格およびその手続き

1. MFJ競技ライセンス資格の降格を希望する者は次の手続きによって申請し、MFJスポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格ができる。

2. 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到達されることを要する。申請者の用紙は、県支部又はMFJ事務局に準備され、それに必要事項を記入し申請料3,000円を添えて県支部およびブロックの承認・経由して、MFJ事務局に申請する。

3. 降格承認後は降格が認められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。

4. 特別降格についての最終的な決定は、MFJスポーツ委員会の審査結果による。

※特別降格申請は、原則的にそのライセンス区分にて1年間経過し、得点の得られなかった者のみとする。

⑪ 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則としてMFJスポーツ委員会において次の競技会から再昇格することを決定する。再昇格された者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ事務局に返納しなければならない。

1. ロードレース

- 1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
- 2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

2. モトクロス

- 1) 国際B級部門から国内A級部門に降格した場合は、スポーツ常任委員会にて審議し、承認された者。
- 2) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において、1回優勝した者。
- 3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

3. トライアル

- 1) 国際B級部門に降格した場合、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
- 2) 国内A級部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。
- 3) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において6位以内に入賞した者。
- 4) その他MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

附 則

本規則は、1992年1月1日から施行する。

全日本選手権ランキング決定基準

1. 全日本選手権ランキング順位づけ決定方法

全日本選手権ランキングの順位づけは次の方法により決定される。

- 1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の大なるものから順位を決定する。ただし、40点未満のものはチャンピオンとはせず、ランキング2位とする。
- 2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多い者が上位となる。
- 3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
- 4) 上記3)で決定できない場合、MFJスポーツ委員会において最終決定する。

■MFJ共済会制度

種 目	MFJ共済会掛金 (1名1大会)	共済会見舞金支払額		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払額	
ロードレース				
スポーツプロダクション				
ロードレース 50・80ccのロードレース (ノーマル車レース含む)	4,000円	MFJ共済会見舞金 1,000万円 (MFJが契約した傷害保険含む)	MFJ共済会見舞金 A 通院実日数(ギブス等の固定期間および通勤、通学、就業が不可能として診断された日数含む)×1,000円 B 入院実日数×1,500円 C 診断書作成補助金 5,000円	○MFJ共済会見舞金請求書 (様式9) ○完治したときの医師の診断書 (様式10) 死亡、後遺症の場合は、上記、様式9のほかに傷害保険請求用紙(三井海上)等の各種書類が必要となります。
公認サークットにおけるシングル・ツイン・クラッシュレース	2,000円			
モトクロス (市販車、レーサー125cc以上)	1,000円			
ミニモトクロス (80cc以下)	500円			
トライアル	200円			
ミニバイクレース	500円			
エンデューロ	500円			
ジムカーナ	500円			
スノーモビル	500円			
ツーリング・ラリー	500円			
ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	1,000円			
モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	500円			
トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含む)	200円			
スノーモビルライセンス講習会	500円			
ミニバイク講習会	500円			
ロードレース競技員講習会	200円			
モトクロス競技員講習会	200円			
トライアル競技員講習会	200円			
ピットクルー	年間 500円 (ライセンス料に含まれる)			

☆競技員、講師の共済見舞金は別に定めるMFJ共済会制度による。

☆見舞金の支払われる期間は、受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数分となります。

☆見舞金の請求期限は、受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。

☆見舞金の支払われる適用範囲は、公認または承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行われた競技中、または公式練習中に発生した事故とする(※サークットが行う特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)。

☆同一大会で二種目以上出場する場合は、掛金の高い種目が適用されます。

☆上記共済会は治療費が支払われませんので各自の健康保険証で治療を受けて下さい。

☆死亡、後遺症見舞金を受ける場合は、入通院見舞金および診断書作成補助金は受けられません。

☆死亡見舞金の請求者は、法定相続人に限られます。

■共済会見舞金請求の手続きは…

1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

2. 大会主催者からMFJ共済会 見舞金請求書(様式9)と 診断書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者またはMFJに、MFJ共

済会見舞金請求書(様式9)と診断書式(様式10)を請求してください。

3. 請求先は主催事務局

請求書中の必要な事項を自分で記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼してください。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が主催者事務局長宛に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヵ月以内に指定口座に振り込まれます。



MFJ公認ヘルメット

取得規格／T用=ツーリング用, M用=モトクロス用, TR用=トライアル用。
R用=ロードレース用, R特選=ロードレース特選
形状／J=ジェットタイプ, F=フルフェイスタイプ

●昭栄化工(株)

東京都港区新橋2-9-2 錦田ビル ☎03(3502)0301

名 称	取 得 規 格	形 状	公認年月
GX-1	SNELL JIS-C・特選	F	'86.3.26
PS-148	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-J20	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-151	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-152	JIS-C・T用	J	'86.4.28
PS-R20	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.4.28
RF-a	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.4.28
TR-2	JIS-B・TR用	J	'86.7.2
VJ-1	JIS-C・M用	J	'86.8.5
RF-REAL	SENLL JIS-C・R特選	J	'86.10.13
R-76	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
R-77	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
R-78	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
R-79	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
RF-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'86.11.23
1F-SARRON	SNELL JIS-C・R特選	F	'87.3.4
VJ-201	JIS-C・T用	F	'87.3.31
TJ-72	JIS-C・T用	J	'87.6.31
GX-2	SNELL JIS-C・R特選	J	'87.6.5
GX-2(FAVOR)	SNELL JIS-C・R特選	F	'87.6.5
RFV-TASK5	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
GRV	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VOGUE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RF-TRITONE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-DEGREE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VOGUE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-DEGREE	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-TASK5	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-VESTA	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
V-ROBERTS	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
V	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-LAWSON	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-GARDNER	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
JET-X	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
RSV	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
VZ	JIS-C・M用	F	'89.6.13
VZ-II	JIS-C・M用	F	'89.6.13
GFV-R	JIS-C・R用	F	'89.9.5
VX-4R	JIS-C・M用	F	'89.11.7
FX-1	JIS-C・R用	J	'90.5.8
RHV	JIS-C・R用	F	'90.9.4
FX-TOURING		J	'91.4.10

●(株)アライヘルメット

埼玉県大宮市東町2-12 ☎0486(41)3825

名 称	取 得 規 格	形 状	公認年月
F-V	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
GIGA	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
ASTRO-R	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
MX-2	JIS-C・M用	J	'89.6.13
RAPIDE-VIIRR	JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
RAPIDE-μ	JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
MX-Enduro	JIS-C・M用, SNELL M85	J	'90.5.8
AT-S	JIS-B・TR用	F	'90.5.8

●東京シート(株)

埼玉県朝霞市栄町3-7-27 ☎0484(62)1121

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
AMI(L05)	JIS-B・TR, T用	J	'86.7.2
R91	JIS-C・R用	F	'86.7.2

AMI(L-06)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
AMI(L-07)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
AMI(L-08)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
RHEOS(R-21)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-92)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-93)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-94)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-95)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-96)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-97)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
SEED(J-23)	JIS-B・TR, T用	J	'87.10.7
Ami		J	'88.1.18
SEED-R22		F	'88.1.18
'88.1.18	SEED-R23	F	'88.1.18
RHEOS R98		F	'88.1.18
RHEOS R99		F	'88.1.18
RHEOS		F	'88.7.5
RHEOS RR101	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR102	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR103	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR104	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR301	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR302	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RA101	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS RA102	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS RA103	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS(RC)		F	'91.2.5

●(株)コニネオートセンター

東京都台東区小島2-20-11 ☎03(3862)9774

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
KF-RV	JIS-C・R用	F	'86.3.26
KF-RC	JIS-C・R用	F	'86.9.9
ANSWER	SNELL JIS-C・M用	F	'86.9.9
NARVA NC-2	JIS-C・R特選	F	'88.10.5
NARVA CROSS	JIS-C・M用	J	'90.1.9
Spazzio	JIS-C・R用	F	'90.4.3
JT	JIS-C・M用	J	'90.4.3

●(株)極東

東京都世田谷区柏谷1-8-23 ☎03(3484)3121

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.6
NOLAN N35 AIR	JIS-C・R用	F	'88.5.13
AXO SPORT X-49	JIS-C・M用	F	'89.6.13
X-1		J	'91.8.20

●大日本インキ化学工業(株)

東京都中央区日本橋3-7-20 ☎03(3272)4511

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
DIC(TY-1)	JIS-C・R用	F	'86.4.30
DIC(DF-1)	JIS-C・R用	F	'86.1.9
DIC(DF-2)	JIS-C・R用	F	'87.3.31
DIC(GP'87)	JIS-C・R用	F	'87.7.7
DIC(K)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(AR)	JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(ZIO)	JIS-C・R用	F	'87.11.4
SUZUKI(O-ONE)S50C		F	'81.1.18
DIC-VR	JIS-C・R用	F	'89.12.12
SYDEEN	SNELL JIS-C・R用	F	'89.3.7
DIC-Inc State	JIS-C・M用	J	'89.5.9
DIC-zio-SX	JIS-C・R用	F	'89.7.20
DIC	JIS-C・R用	F	'89.11.7

●興和精機(株)

東京都港区芝1-13-17 ☎03(3453)6011

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
GRIFFIN(G100TD)	JIS-B・TR, T用	J	'86.10.23
GRIFFIN(GS-520)	JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GX-707)	JIS-B・T用	F	'86.10.23

付録

GRIFFIN(GS530)	JIS-B・T用	F	'86.11.23
GRIFFIN(GX707)	JIS-C・M用	F	'87.3.4
GRIFFIN(GS530)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

●(株)光輪モータース
東京都台東区東上野4-26-4 ☎03(3841)4112

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
AGV(KR2000)	JIS-C・R用	F	'86.1.30

●ワールド通商(株)
東京都文京区本郷1-24-1 本郷MFビル3F ☎03(3818)5451

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
ボルショ・デザイン(CP-4)	JIS-C・R用	F	'86.2.25
KIWI(K-16)	JIS-C・R用	F	'86.7.2
KIWI(K-20)	JIS-C・R用	F	'88.1.6
ANSWER		F	'88.8.3

●(株)谷尾商会
大阪府松ヶ枝町5-4 ☎06(358)0651

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
NAVA 3A/C	JIS-C・R用	F	'86.4.28
NAVA-8	JIS-C・R用	F	'87.7.7

●(株)ヤナセ
東京都港区芝浦1-6-38

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
FJ(FJ-01)	JIS-C・R用	F	'86.5.28
FJ(FJ-02)	JIS-C・R用	F	'86.4.28
F-J(FJ-II・インテグラ)	JIS-C・R用	F	'87.7.7

●クノーエ工業(株)
東京都品川区西五反田7-22-17 TOC内 ☎03(3494)3371

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
EF-2	JIS-C・M用	J	'86.8.5
DELTA	JIS-C・M用	J	'86.8.5
AIGLE	JIS-C・M用	J	'86.8.5
LYNX	JIS-C・M用	J	'86.8.5
SETA(045)	JIS-C・R用	F	'87.3.4

●ユニコ(株)
東京都港区六本木7-3-17 ☎03(3478)2707

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
VS-2	JIS-C・R用	F	'86.3.26
NEF(VS-2)	JIS-C・R用	F	'86.12.15
NEF-RO2		F	'88.6.10

●ヤマハ大船渡製造(株)
岩手県大船渡市大船渡町字下の下向1-1 ☎0192(24)4104

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
GEORAMA-TS	JIS-C・R用	F	'86.1.30
GEORAMA-RS	JIS-C・R用	F	'86.2.24
FE-X	JIS-C・R用	F	'86.2.24
OE	JIS-C・M用	F	'86.2.24
GEORAMA-GFV		F	'86.3.15
GEORAMA-GFV-R	JIS-C・R用	F	'89.9.5
CFS	JIS-C・R用	F	'89.10.11
YFR	JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV	JIS-C・R用	F	'90.5.8
INPURE		F	'91.5.8
YFV		F	'91.7.3

●(株)ジャパンプロダクト
東京都江戸川区上一色416-1 ☎03(3655)9055

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
R120N R2-1	JIS-C・R用	F	'86.7.2

●(株)RSタイチ
大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720(74)3268

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
JT(ALS-1)	JIS-C・M用	J	'87.9.4
JT(ALS-2)	JIS-C・M用	F	'87.9.4

●(株)旺文社インターナショナル
東京都新宿区横寺町55 ☎03(3266)6035

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
NAVA	JIS-C・T用	セミJ	'86.7.26

●(株)大都
東京都台東区北上野1-7-1 ☎03(3844)8270

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
BELL(MAG-4)	SNELL JIS-C・M用	J	'86.9.30

●(株)丸万茂又

大阪府大阪市北区西天満6-1-5 ☎06(364)4678

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
MAC	JIS-C・R用	F	'87.8.5

●(株)ドルフィン・インターナショナル

東京都八王子市散田町5-24-11 ☎0426(65)7843

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
BELL MOTO5	SNELL JIS-C・R特選	F	'89.5.9

●日栄プラスチック(株)

埼玉県北足立郡伊奈町大字小室字志久4429 ☎048(723)0611

名 称	取 得 規 格	形 状	公認月日
DIC(DFX)		F	'91.2.5

●オージーケー販売(株)

大阪府東大阪市御所ノ町60 ☎06(783)5906

名 称	型 式	公認月日
ON THE RACE G2	RR,PX,MM,RD,PT	'90.10.23
NEW CONCEPTER	MDシリーズ(MD1.2は未)	'90.10.23
KADOYA	OR-SR	'90.10.23
ON THE RACE G2	RR-FS 0020	'91.4.10

●(株)プロショップ高井

愛知県名古屋市西区江向町4-28 ☎052(531)5551

名 称	型 式	公認月日
Takai R	TR-TRL	'90.10.23
PRO SHOP TAKAI	オーダーメイド	
Takai R	TR TRL	'91.5.8

●(株)クシタニ

静岡県浜松市三島町231 ☎0543(56)8611

名 称	型 式	公認月日
KUSHITANI	KR-KRN	'90.10.23
KUSHITANI	KI	'90.10.23
KUSHITANI	K	'91.1.18
KUSHITANI	KV	'91.1.18
KUSHITANI	オーダーメイド	'91.2.6
KUSHITANI	K1-101,102,103	'91.4.10
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5

●(株)ルック

東京都葛飾区亀有4-3-7 ☎03(3604)7800

名 称	型 式	公認月日
SR	SR-01-03	'90.10.23
RS	RS-I-V	'90.10.23
SS	SS-I-III	'90.10.23
Look	(オーダー)	'90.10.23
ラファール3	オーダーメイド	'91.4.10

●(株)RSタイチ

大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720(74)3268

名 称	型 式	公認月日
Nixeレーシングレザースーツ	NXL	'90.9.29
NIXEレーシングレザースーツ	NXL005,006,007,008,009	'91.9.8
NIXEレーシングレザースーツ	NXL,NXL(オーダー)	'91.1.18

●(株)アズ・スポーツ

東京都世田谷区玉川谷1-1-3 ☎03(3709)3750

名 称	型 式	公認月日
Justys!	J-001R-J-023R	'90.10.23
Justys! J-PRO-R	JPR-001R-JPR004R	'90.10.23
A's Racing	AS001SO-AS-007SO	'90.10.23

台東区北上野1-7-1 ☎03(3844)8270

名 称	型 式	公認月日
THE BIKE	RCシリーズ	'90.10.23
D'S	DRS-3007,3008	'91.5.8
THE BIKE	オーダーメイド	'91.5.8
THE BIKE	FR-10,11,12,13	'91.6.5
THE BIKE	FR-3,5,6,7,8,9	'91.2.6
THE BIKE	GP-3,GP-5	'91.2.6

●(株)光輪モータース

東京都台東区東上野4-26-4 ☎03(3841)4112

名 称	型 式	公認月日
PLICANA	グループC(PT-MS)	'90.10.23
PLICANA	グループA(PT-RXIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループB(PT-NIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループH(PT-ATILS)	'91.2.6
PLICANA	PT-ZEAI	'91.11.5

●(有)セクレテール

東京都目黒区目黒本町6-21-15 ☎03(3714)0533

名 称	型 式	公認月日
セクレテール	RF,RC,RS,TR,MFR	'90.10.23
セクレテール	(オーダー)	'90.10.23

●レーシングパドックテグナー

京都府京都市山科区川田前畠町1-8 ☎075(501)7137

名 称	型 式	公認月日
テグナー	R-1	'90.10.23
デグナー	R-2	'90.10.23
デグナー	R-6	'90.10.23

●(株)ナカタケ

広島県福山市港町2-16-22 ☎0849(23)2423

名 称	型 式	公認月日
ナカタケ	NS・ゴーズアップシリーズ	'90.10.23
ナカタケ	NS-R	'91.11.5

●(株)邑輝総研

東京都渋谷区神宮前6-31-21 ☎03(3409)9305

名 称	型 式	公認月日
Boldor	レーシングワンピース	'90.10.23

●ツナギのコウタ

茨城研結城八千代町佐野16 ☎0296(49)0626

名 称	型 式	公認月日
コウタ	(オーダー)	'90.9.29

●(有)ライブラ

愛知県一宮市大和町刈安賀字角出62 ☎0586(44)6451

名 称	型 式	公認月日
ライブラレーシングスーツ	LRS-01	'90.10.23

●東京ベルト(株)

東京都三鷹市下連雀1-13-7 ☎0422(45)2970

名 称	型 式	公認月日
TO BEL	TBシリーズ	'90.10.23

●(有)フォーヘッドインターナショナル

千葉県松戸市松台50-17 ☎0473(64)6555

名 称	型 式	公認月日
フォーヘッド(FOR HEAD)	(オーダーメイド)	'90.11.17
フォーヘッド(FOR HEAD)	FH-001,002,009	'90.11.17

●(株)レインボー

東京都台東区北上野1-5-5 ☎03(3843)5606

名 称	型 式	公認月日
レインボー	(オーダーメイトレーシング)	'90.11.17

●(有)アールシーエム

兵庫県尼崎市武庫の里1-11-1-104 ☎06(431)8066

名 称	型 式	公認月日
Toril	オーダーメイド	'91.5.8
フルコン	オーダーメイド	'91.5.8
HAL	オーダーメイド	'91.5.8
FALCON	FS	'91.3.12
Toril	TX,TXR	'91.3.12
HAL	01A,02A,03A,05A,06A	'91.5.8
プラスト	オーダーメイド	'91.11.5

●(株)アイアンドエイ

兵庫県尼崎市大物町1-1-15 ☎06(401)1011

名 称	型 式	公認月日
B-LINE	オーダーメイド	'91.5.8

●(株)アダチ

愛知県名古屋市北区丸新町453 ☎052(902)4343

名 称	型 式	公認月日
JRP	オーダーメイド	'91.2.6
MOTO FLASH	オーダーメイド	'91.2.6
RSA	オーダーメイド	'91.2.6

●(有)アチーブ

埼玉県草加市谷塚仲町288-1 ☎0489(24)7164

名 称	型 式	公認月日
レーシングスーツYONEZO	オーダーメイド	'91.1.8

付録

●(株)コミネオートセンター

東京都台東区小島2-20-11 ☎03(3862)9811

名 称	型 式	公認月日
Spazzioレーシング	A-S-11	'91.2.6
KOMINE Spazzio	オーダーメイド	'91.2.6
Spazzio	S-14R	'91.5.8
Spazzio	S-B,S-8,S-10,S-14	'91.6.5

●ジーニアス

大阪府東大阪市客坊町4-14 ☎0729(87)0165

名 称	型 式	公認月日
ジーニアス	SIR-G	'91.2.6

●ステーシレザー

東京都江戸川区北小岩7-14-10 ☎03(3672)4968

名 称	型 式	公認月日
PRO STAGE	レーシングワンピース	'91.1.18

●ダイネーゼジャパンインク

大阪府大阪市淀川区西中島4-13-24 ☎花原第3ビル201号 ☎06(852)6582

名 称	型 式	公認月日
ダイネーゼ	T.MORZA,T.MISANO,T.SILVERSTONE	'91.8.7
ダイネーゼ	T.GRAPHICA,T.FRECCIA,T.CHELLI,TEAM	'91.8.7

●(株)谷尾商会

大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06(358)0651

名 称	型 式	公認月日
ラビーン	RVX-1-5	'91.1.18

●南海部品(株)

大阪府大阪市北区曾根崎新地2-6-28 ☎06(344)1581

名 称	型 式	公認月日
ナンカイ	SDシリーズ	'91.2.6
SRシリーズ	SRシリーズ	'91.2.8
ナンカイ	オーダーメイド	'91.6.5
ナンカイ	NR-011R平レブリカスープ	'91.6.5
ナンカイ	NR-50ブレーキングスープ	'91.6.5
ナンカイ	NRシリーズ	'91.1.8

●(有)ハイフ

東京都荒川区南千住6-59-16 ☎03(3803)6292

名 称	型 式	公認月日
ハイフ	オーダーメイド	'91.3.12

●バギー(株)

奈良県磯城郡川西町梅戸226 ☎07454(3)0177

名 称	型 式	公認月日
バギー、ベルベットBR	オーダーメイド	'91.4.10
バギー、ベルベッドBR	A.AP.AR	'91.1.18

●(有)ビッグスター

東京都台東区北上野1-5-5 ☎03(3487)1480

名 称	型 式	公認月日
ビッグスター	オーダーメイド	'91.4.10

●ファクトリースズキ

宮城県仙台市太白区郡山穴田東25-1 ☎022(248)5315

名 称	型 式	公認月日
PRIDE ONE	オーダーメイド	'91.9.4

●(有)フジタレザー

岐阜県岐阜市福光西2-10-15 ☎0582(33)5620

名 称	型 式	公認月日
フジタレザー	オーダーメイド	'91.6.5

●(株)ユニバース

東京都府中市寿町1-1-10 ☎0423(60)6311

名 称	型 式	公認月日
STUFF U	SU1003,5,6,7STAGE	'91.3.12
STUFF U	オーダーメイド	'91.3.12
PROSPEC	RC-1-001,RC-1-002	'91.

●ブレーンレザー

大阪府東大阪市中石切町2-4-22 ☎0729(88)2664

名 称	型 式	公認月日
ブレーンレザー	オーダーメイド	'91.3.12

●(株)モータースポーツミスターヒロ

大阪府松原市立部2-499-1 ☎0723(36)1580

名 称	型 式	公認月日
Mr.hiro	オーダーメイド	'91.9.4

●モト・サウンド

埼玉県草加市青柳町7-11-22 ☎0489(31)4319

名 称	型 式	公認月日
アレス	オーダーメイド	'91.2.6

●ヤマハ発動機(株)

静岡県磐田市新貝2500 ☎05383(2)1111

名 称	型 式	公認月日
YAMAHA YL-Aシリーズ	YL-340,336,337,338	'91.2.6

●ライティングコストチュームT&T

兵庫県神戸市西区池上4-13-8 ☎078(974)8682

名 称	型 式	公認月日
T&T	TS	'91.

●レーシングプロショップO.S.F.C

新潟県西蒲原郡西川町新栄町296 ☎0256(88)7441

名 称	型 式	公認月日
レーシングプロショップO.S.F.C	O.S.F.C	'91.2.6

●(有)ワンステップライダー

愛知県名古屋市西区赤城町1 ☎052(502)7517

名 称	型 式	公認月日
OSR	VR-07	'90.11.17

MFJ公認タイヤ

●井上ゴム(株)

愛知県名古屋市中川区八家町3-28 ☎052(361)8661

タイヤ名	サイズ	公認月日
TRIAL WINNER	4.00R18, TR-7	'86.3.26
TRIAL WINNER TR-9	4.00R18	'87.7.8
PRO-TECH NS-50F	2.75-174PR, 2.75-184PR, 80/100R16, 80/90R16	
NS-50R	2.75-184PR, 3.00-174PR, 90/90R18, 90/90R17	
TECH NS-10F	90/90R18, 100/80R17, 100/90R16, 110/70R17, 110/80R17, 110/80R18, 120/70R17, 120/80R16	
NS-10R	110/80R18, 120/80R17, 120/80R18, 130/70R18, 130/90R16, 140/60R18, 140/70R18, 160/60R18	

●日本ミニランタイヤ(株)

東京都文京区本郷7-2-1 ☎03(5684)3222

タイヤ名	サイズ	公認月日
MICHELIN TRIAL COMPETITION×11TL	4.00R18 TL	'87.7.8
ラジアルA59X	130/60R16, 120/80R16, 130/60R17(59H, 59Z), 110/70R17, 120/70R17(58, 58Z)	
ラジアルM59X	160/60R16, 160/80R16, 180/55R17, 160/60R17(69H, 69Z) 160/60R18, 150/70R17	
ハイスポーツラジアルTX11	120/80R16, 130/60R17, 120/70R17, 100/80R17, 110/80R17, 120/60R17(55H, 55Z) 110/70R17, 110/80R18	
ハイスポーツラジアルTX23	160/80R16, 180/55R17, 150/60R17, 160/60R17(69H, 69Z) 130/70R17, 150/70R17	
P3104	12/60R17	
P1201	15/61R17, 18/67R17	
P3103	15/61R17, 18/67R17	
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TT	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TL	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITION×11L	4.00R18TL	'91.11.1

●阿部商会(株)

東京都千代田区神田美土代町3 ☎03(3233)2212

タイヤ名	サイズ	公認月日
ピレリートライアルタイヤ・MT73ガラトライアル	2.75-21 MT73	'90.9.7
MP7スポーツレーシング	110/70ZR17, 120/60ZR17, 120/70ZR17, 150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/55ZR17, 140/60ZR18, 170/60ZR18	'91.7.4
MT75レーシング	100/80T16, 100/80T17, 130/70T17, 140/70T17, 130/70T18	'91.7.4

●(株)日本ダンロップ
兵庫県神戸市中央区筒井町1-1-1 ☎078(231)4141

タイヤ名	サイズ	公認月日
K320	2.75-21 4PR	'86.11.23
K320	4.00R18 4PR	'86.11.23
TT500F GP	80/90R16, 90/90R16, 100/90R16, 90/80R17, 100/18R17(52H, 57H, 54H)	
TT50GP	90/90R17, 120/80R17, 140/80R17, 130/70R17, 140/70R17, 100/90R18, 130/70R18	
RIDEEN GPR-30E	110/70R17, 120/70R17, 120/60R17, 100/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 170/60R17, 140/60R18, 150/60R18	
MR677	3.25/4.75R17, 4.00/6.00R18, 2.50/3.00R18, 2.75/3.75R18, 3.25/5.75R17, 3.25/5.75R18, 2.65/3.25R17, 2.85/4.00R17, 3.80/6.00R17, 3.60/6.70R18	
RIDEEN GPR-60F	110/70R175H, 120/60R175H	'91.5.9
RIDEEN GPR-60	150/60R176H, 160/60R176H, 140/60R186H, 150/60R186H	'91.5.9
TT700F GP	100/80-175H, 110/70-175H, 100/90-165H	'91.5.9
TT700GP	130/70-176H, 140/70-176H, 120/80-176H, 130/70-186H, 130/90-166H	'91.5.9

●(株)ブリヂストン
東京都中央区京橋1-10-1 ☎03(3567)0111

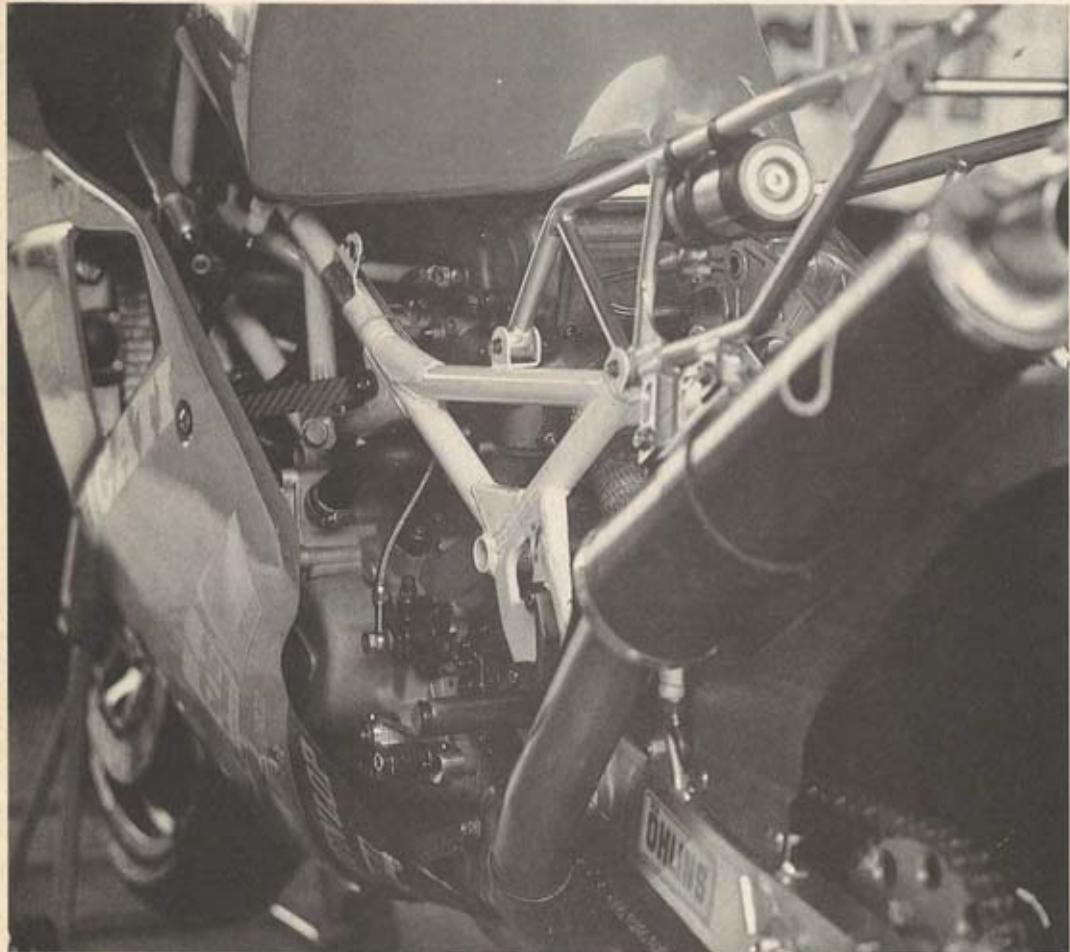
タイヤ名	サイズ	公認月日
BATTAX BT-72FS	110/60R17, 110/70R17, 120/60R17, 120/70R17	
BATTAX BT-72RS	140/70R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 120/80R18, 140/60R18, 150/60R18, 170/60R17	
BATTAX BT-09SS	90/90R16, 90/80R17, 110/70R17, 120/60R17, 120/70R17, 130/60R17	
BATTAX BT-70FS	140/60R17, 140/60R18 150/60R17, 150/60R18 150/60R17, 170/60R17	
MF72	80/55R18, 85/575R17, 110/590R17, 95/600R18, 140/630R18, 120/595R17, 150/600R17	
ME76	105/575R17, 150/635R18, 155/620R17	
BATTAX BT-50F	120/70Z17, 130/60Z17	'91.6.7
BATTAX BT-50R	170/60Z17, 180/55Z17, 160/60Z18	'91.6.7
ME77	90/55R17	'91.6.1
ME782	105/585R17	'91.6.1

付録

●横浜ゴム(株)
東京都港区新橋5-36-11 ☎03(3432)7111

タイヤ名	サイズ	公認月日
F-003A2	80/90R16, 90/90R16, 90/80R17, 90/90R17, 100/90R18	
F-610	80/595R18, 85/570R17, 90/600R18, 100/580R17, 110/600R17, 120/605R17, 135/640R18, 150/600R17, 150/630R18, 180/630R17, 180/655R18	
F-003	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	
F-006	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R18, 170/60R17	
GETTAR F007RR	110/70F1754H, 120/60F1755H	'91. 6. 10
GETTAR R007RR	140/60R1763H, 150/60R1867H	'91. 7. 1
GETTAR R007RR	150/60R1766H, 160/60R1769H	'91. 6. 10

公認車両・部品・新規公認について
はライティング誌に掲載します。



歴代チャンピオンリスト

'91年度全日本選手権シリーズチャンピオン^{国際A級}

ロードレース500ccクラス
チャンピオン

ビート!
ゴダード(初)



Rd.2	4/7	筑波	6位
Rd.3	4/21	鈴鹿	2位
Rd.5	5/12	SUGO	7位
Rd.6	5/26	筑波	4位
Rd.8	6/23	筑波	1位
Rd.9	7/7	SUGO	7位
Rd.11	8/4	FISCO	5位
Rd.12	8/11	MINE	4位
Rd.14	9/8	鈴鹿	4位
Rd.16	10/6	SUGO	2位
Rd.17	10/27	G P	1位
合計			155P

ロードレース250ccクラス
チャンピオン

岡田忠之(V3)



Rd.2	4/7	筑波	1位
Rd.5	5/12	SUGO	4位
Rd.6	5/26	筑波	2位
Rd.7	6/9	鈴鹿	2位
Rd.8	6/23	筑波	2位
Rd.11	8/4	FISCO	1位
Rd.13	8/25	SUGO	1位
Rd.14	9/8	鈴鹿	1位
Rd.15	9/22	仙台	3位
Rd.16	10/6	SUGO	1位
Rd.17	10/27	G P	—
合計			179P

ロードレース125ccクラス
チャンピオン

小野真央(初)



Rd.2	4/7	筑波	12位
Rd.4	4/28	MINE	—
Rd.6	5/26	筑波	5位
Rd.8	6/23	筑波	2位
Rd.9	7/7	SUGO	4位
Rd.12	8/11	MINE	2位
Rd.14	9/8	鈴鹿	10位
Rd.15	9/22	仙台	3位
Rd.16	10/6	SUGO	1位
Rd.17	10/27	G P	7位
合計			115P

ロードレースTT-F1クラス
チャンピオン

宮崎祥司(V2)



Rd.1	3/3	鈴鹿	2位
Rd.3	4/21	鈴鹿	2位
Rd.5	5/21	SUGO	1位
Rd.7	6/9	鈴鹿	4位
Rd.8	6/23	筑波	4位
Rd.9	7/7	SUGO	3位
Rd.12	8/11	MINE	5位
Rd.14	9/8	鈴鹿	3位
Rd.16	10/6	SUGO	2位
Rd.17	10/27	G P	11位
合計			146P

ロードレースTT-F 3クラス
チャンピオン

高橋勝義(初)



モトクロス250ccクラス
チャンピオン

宮内隆行(初)



モトクロス125ccクラス
チャンピオン

荻島忠雄(初)



トライアル
チャンピオン

スタジアムトライアル
チャンピオン

中川義博(初)



Rd.1	3/24	鈴鹿	1位
Rd.2	4/7	筑波	3位
Rd.9	7/7	SUGO	1位
Rd.15	9/22	仙台	4位
Rd.17	10/27	G P	2位
合計			88P

ROAD RACE

●ロードレース部門('88~'91年)

年	部 門	ク ラ ス	氏 名
'68	アマチュア	90cc	角谷 新二
		125cc	鈴木 弘豊
		250cc	大脇 仁
'69	ジュニア	251cc以上	中山 駿夫
		90cc	酒井 一夫
		125cc	森井 茂夫
'70	セニア	250cc	谷口 哲哉
		251cc以上	神谷 駿
		90cc	馬場 正義
'71	アマチュア	125cc	和田 伸哉
		250cc	松永 葉
		251cc以上	野田 正彦
'72	ジュニア	90cc	齊藤 康夫
		125cc	中尾 敏郎
		250cc	里村 徳祥二
'73	セニア	251cc以上	角谷 新二
		90cc	高崎 駿次郎
		125cc	尾井 俊彦
'74	ノービス	250cc	守田 秀夫
		251cc以上	守田 守男
		90cc	岩道 博
'75	ジュニア	125cc	柴谷 正昭
		250cc	小塙 法
		251cc以上	鍋田 正昭
'76	セニア	90cc	江崎 正
		125cc	青山 英二
		250cc	糟野 雅治
'77	ノービス	251cc以上	只野 光男
		90cc	近藤 美二
		125cc	小田 俊夫
'78	セニア	250cc	大庭 信裕
		251cc以上	河崎 之
		90cc	平井 裕
'79	ノービス	125cc	上田 公
		250cc	大橋 光
		251cc以上	山谷 元
'80	ジュニア	90cc	渡辺 富士夫
		125cc	青木 長巳
		250cc	内田 隆
'81	エキスパート	251cc以上	加藤 真平
		90cc	江崎 恒雄
		125cc	遠藤 康夫
'82	ジュニア	250cc	中尾 貞男
		251cc以上	浅見 真平
		90cc	金谷 秀夫
'83	セニア	125cc	杉本 泰夫
		250cc	大船 俊夫
		251cc以上	谷谷 秀夫
'84	ノービス	90cc	菅原 伸夫
		125cc	上野 公平
		250cc	富江 昭孝
'85	ジュニア	251cc以上	毛利 良一
		90cc	大本 十生
		125cc	大本 十生
'86	エキスパート	250cc	片山 敏清
		251cc以上	渡辺 富士夫
		125cc	阿部 孝夫
'87	セニア	250cc	内田 隆
		251cc以上	小田 豊豊
		125cc	小田 豊豊

Rd.1	4/21	九州	2位
Rd.2	5/19	G P	3位
Rd.3	6/2	東北	2位
Rd.4	8/4	北海道	5位
Rd.5	9/8	近畿	1位
Rd.6	10/6	中国	11位
Rd.7	10/20	中部	2位
合計			105P

Rd.1	5/5	東京	2位
Rd.2	7/11	尼崎	2位
Rd.3	8/11	熊本	6位
Rd.4	9/1	名古屋	2位
Rd.5	9/29	東京	5位
合計			72P

年	部 門	ク ラ ス	氏 名
'73	ノービス	90cc 125cc 250cc	杉野 順三 松山 守 橋本久仁啓
	ジュニア	90cc 125cc 250cc 350cc	新田 茂 坂 公平 山崎 達衛 佐藤 順造
	エキスパート	125cc 750cc	毛利 良一 片山 敏清
	セニア	125cc 750cc	角谷 新二 根本 健
	ノービス	90cc 125cc 250cc	岡崎 隆史 佐藤 健正 酒井 克
	ジュニア	90cc 125cc 250cc 350cc	合津 恒志 石井 康夫 橋本久仁啓 鈴木 燕
	エキスパート	125cc 750cc	岩道 博 阪本 純介
	セニア	125cc 750cc	青木 駿巳 高井幾次郎
'75	アマチュア	90cc 125cc 250cc	片桐 美治 東金 育男 桶谷 俊彦
	ジュニア	90cc 125cc 250cc	田口 勝雄 山梨 保克 酒井 克治
	エキスパート	125cc 750cc	相沢 清 石井 康男
	セニア	125cc 750cc	江崎 正 浅見 貞男
	ノービス	90cc 125cc 250cc	牧野 栄 川上 浩 木下 恵司
	ジュニア	125cc 250cc 350cc	東金 育男 水谷 勝 太田 一博
	エキスパート	125cc 250cc 350cc 750cc	飯田 浩之 毛利 良一 佐藤 順造 高井幾次郎
	ノービス	90cc 125cc 250cc	鈴木 利彦 伊藤 裕之 藤本 泰東
'77	ジュニア	125cc 250cc 350cc	川上 浩 山名 久 徳井 仁久
	エキスパート	90cc 125cc 350cc 750cc	平野 芳男 飯田 裕之 鈴木 修 毛利 良一
	ノービス	125cc 250cc	上田 幸也 長谷川嘉久
	ジュニア	125cc 250cc 350cc	伊藤 裕之 伊藤 巧 藤本 泰東
	エキスパート	125cc 250cc 350cc 750cc	上田 公次 上田 公次 石川 岩夫 上野 真一
	ノービス	125cc 250cc	富田 英志 青藤 光輝
	ジュニア	125cc 250cc 350cc	吉村 俊宏 阿部 幸彦
	国際 A 級	125cc 350cc 750cc	青藤 三夫 木下 恵司 水谷 勝
'79	ノービス	125cc 250cc	五百都徳雄 塙田 正二
	ジュニア	125cc 250cc 350cc	山本 阳一 垣内 清孝 田中 光男
	国際 A 級	125cc 350cc 750cc	青藤 光輝 木下 恵司 水谷 勝
	ノービス	125cc 250cc	五百都徳雄 塙田 正二
	ジュニア	125cc 250cc 350cc	山本 阳一 垣内 清孝 田中 光男
	国際 A 級	125cc 350cc 750cc	青藤 光輝 木下 恵司 水谷 勝

年	部 門	ク ラ ス	氏 名
'81	ノービス	125cc 250cc	荒木 利春 中山 博文
	国際 B 級	125cc 250cc 350cc	竹村 浩生 七尾 達夫 新井 亮一
	国際 A 級	125cc 350cc 500cc	青木 駿明 藤本 勝東 木下 恵司
	ノービス	125cc 250cc	藤田 雅樹 三浦 昇
	国際 B 級	125cc 250cc 500cc	荒木 利春 小林 大 水谷 勝
	ノービス	125cc 250cc	富城 光 吉田 健一 宮城 光
	国際 B 級	125cc 250cc	篠田 雅樹 坂口 彰
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	栗谷 二郎 斎藤 光輝 平 忠彦
'83	ノービス	125cc 250cc	斎藤 兼一 山田 浩史 塙森 優修
	国際 B 級	125cc 250cc	宮城 光 宮城 雅弘 清水 田村
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	八代 俊二 江崎 正 栗谷 二郎 小林 大 平 忠彦
	ノービス	125cc 250cc	鈴木 利明 太田 浩一 井上 賀博 塙森 優修
	国際 B 級	125cc 250cc	鈴木 利明 太田 浩一 井上 賀博 塙森 優修
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	辻本 聰 山本 駿 歓本 小林 平 忠彦
	ノービス	125cc 250cc	町井 邦生 藤沢 哲也 町井 邦生
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	山本 阳一 辻本 健一 片山 木下
'85	ノービス	125cc 250cc	新垣 敏之 佐藤 駿一郎 鳴村 健太
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	田口 益充 大島 行弥 鈴木 久 清水 仁 藤原 健彦
	ジュニア	125cc 250cc	町井 邦生 藤沢 哲也 町井 邦生
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	山本 阳一 辻本 健一 片山 木下
	ノービス	125cc 250cc	新垣 敏之 佐藤 駿一郎 鳴村 健太
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	田口 益充 大島 行弥 鈴木 久 清水 仁 藤原 健彦
	ジュニア	125cc 250cc	町井 邦生 藤沢 哲也 町井 邦生
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	山本 阳一 辻本 健一 片山 木下
'87	ノービス	125cc 250cc	新垣 敏之 佐藤 駿一郎 鳴村 健太
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	田口 益充 大島 行弥 鈴木 久 清水 仁 藤原 健彦
	ジュニア	125cc 250cc	白井 直樹 原田 哲也 永井 康友
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	塩森 健修 宮崎 廣瀬 本間 利彦 藤原 健彦
	ノービス	125cc 250cc	新垣 敏之 佐藤 駿一郎 鳴村 健太
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	田口 益充 大島 行弥 鈴木 久 清水 仁 藤原 健彦
	ジュニア	125cc 250cc	白井 直樹 原田 哲也 永井 康友
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	塩森 健修 宮崎 廣瀬 本間 利彦 藤原 健彦
'88	ノービス	125cc 250cc	新垣 敏之 佐藤 駿一郎 鳴村 健太
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	田口 益充 大島 行弥 鈴木 久 清水 仁 藤原 健彦
	ジュニア	125cc 250cc	白井 直樹 原田 哲也 永井 康友
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	塩森 健修 宮崎 廣瀬 本間 利彦 藤原 健彦
	ノービス	125cc 250cc	新垣 敏之 佐藤 駿一郎 鳴村 健太
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	田口 益充 大島 行弥 鈴木 久 清水 仁 藤原 健彦
	ジュニア	125cc 250cc	白井 直樹 原田 哲也 永井 康友
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	塩森 健修 宮崎 廣瀬 本間 利彦 藤原 健彦
'89	ノービス	125cc 250cc	新垣 敏之 佐藤 駿一郎 鳴村 健太
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	田口 益充 大島 行弥 鈴木 久 清水 仁 藤原 健彦
	ジュニア	125cc 250cc	白井 直樹 原田 哲也 永井 康友
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	塩森 健修 宮崎 廣瀬 本間 利彦 藤原 健彦
	ノービス	125cc 250cc	新垣 敏之 佐藤 駿一郎 鳴村 健太
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	田口 益充 大島 行弥 鈴木 久 清水 仁 藤原 健彦
	ジュニア	125cc 250cc	白井 直樹 原田 哲也 永井 康友
	国際 A 級	125cc 250cc 500cc	塩森 健修 宮崎 廣瀬 本間 利彦 藤原 健彦

年	部 門	ク ラ ス	氏 名
'90	国際 A 級	SP750 フォーミュラ3 フォーミュラ1 250cc	吉川 和多留 高橋 游 渡辺 伸内 森兼 茂木
	国際 A 級	74-125(2サイクル) 74-125(3サイクル) 74-125(4サイクル)	鶴田 雄二 森北 貴行 小林 敏也 岩橋 健一郎
	国際 A 級	74-125(2サイクル) 74-125(3サイクル) 74-125(4サイクル)	鶴田 雄二 森北 貴行 小林 敏也 岩橋 健一郎
	国際 A 級	74-125(2サイクル) 74-125(3サイクル) 74-125(4サイクル)	松戸 直樹 阿部 徹郎 福垣 幸則 宇川 遼
	国際 A 級	74-125(2サイクル) 74-125(3サイクル) 74-125(4サイクル)	堀内 遼 高橋 富哉 宮崎 祥洋 小野 真央
	国際 A 級	74-125(2サイクル) 74-125(3サイクル) 74-125(4サイクル)	堀内 遼 高橋 富哉 宮崎 祥洋 小野 真央
	国際 A 級	74-125(2サイクル) 74-125(3サイクル) 74-125(4サイクル)	堀内 遼 高橋 富哉 宮崎 祥洋 小野 真央
	国際 A 級	74-125(2サイクル) 74-125(3サイクル) 74-125(4サイクル)	堀内 遼 高橋 富哉 宮崎 祥洋 小野 真央

MOTOCROSS

●モトクロス部門('68~'91年)

年	部 門	ク ラ ス	氏 名
'68	アマチュア	50cc 90cc 125cc 250cc 251cc以上	堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇
	ジュニア	50cc 90cc 125cc 250cc 251cc以上	堀内 博昭 堀内 博昭 堀内 博昭 堀内 博昭 堀内 博昭
	セニア	90cc 125cc 250cc	星野 一義 星野 一義 星野 一義
	アマチュア	50cc 90cc 125cc 250cc	田中 敏大 田中 敏大 田中 敏大 田中 敏大
	ジュニア	50cc 90cc 125cc 250cc	堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇
	セニア	90cc 125cc 250cc	山本 隆 山本 隆 山本 隆
	ノービス	50cc 90cc 125cc 250cc	鈴木 秀明 鈴木 秀明 鈴木 秀明 鈴木 秀明
	国際 A 級	50cc 90cc 125cc 250cc	鈴木 金次郎 鈴木 金次郎 鈴木 金次郎 鈴木 金次郎
'69	ノービス	50cc 90cc 125cc 250cc	一色 小田 一色 小田 一色 小田 一色 小田
	ジュニア	50cc 90cc 125cc 250cc	堀内 利信 堀内 利信 堀内 利信 堀内 利信
	セニア	90cc 125cc 250cc	星野 一義 星野 一義 星野 一義
	アマチュア	50cc 90cc 125cc 250cc	田中 敏大 田中 敏大 田中 敏大 田中 敏大
	ジュニア	50cc 90cc 125cc 250cc	堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇
	セニア	90cc 125cc 250cc	山本 隆 山本 隆 山本 隆
	ノービス	50cc 90cc 125cc 250cc	鈴木 良夫 鈴木 良夫 鈴木 良夫 鈴木 良夫
	国際 A 級	50cc 90cc 125cc 250cc	堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇
'70	ノービス	90cc 125cc 250cc	堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇 堀内 勇
	ジュニア	90cc 125cc 250cc	吉村 太一 吉村 太一 吉村 太一 吉村 太一
	セニア	90cc 125cc 250cc	吉村 太一 吉村 太一 吉村 太一
	アマチュア	90cc 125cc 250cc	栗原 和年 栗原 和年 栗原 和年
	ジュニア	90cc 125cc 250cc	中村 忠 中村 忠 中村 忠
	セニア	90cc 125cc 250cc	杉浦 正治 杉浦 正治 杉浦 正治
	エキスパート	125cc 250cc	瀬尾 勝彦 瀬尾 勝彦
	国際 A 級	125cc 250cc	矢島 金次郎 矢島 金次郎
'71	ノービス	90cc 125cc 250cc	栗原 和年 栗原 和年 栗原 和年
	ジュニア	90cc 125cc 250cc	中村 忠 中村 忠 中村 忠
	セニア	90cc 125cc 250cc	杉浦 正治 杉浦 正治 杉浦 正治
	アマチュア	90cc 125cc 250cc	瀬尾 勝彦 瀬尾 勝彦
	ジュニア	90cc 125cc 250cc	矢島 金次郎 矢島 金次郎
	セニア	90cc 125cc 250cc	吉村 太一 吉村 太一 吉村 太一
	ノービス	90cc 125cc 250cc	栗原 和年 栗原 和年 栗原 和年
	国際 A 級	90cc 125cc 250cc	中村 忠 中村 忠 中村 忠

TRIAL

●トライアル部門('73~'91年)

年	部 門	ク ラ ス	氏 名
'72	ノービス	90cc 125cc 250cc	藤 舟信 藤 秀信 藤 秀信
	エキスパート	125cc	小田切信雄
	ジュニア	250cc	池田 勝
	ジュニア	90cc 125cc 250cc	唐沢栄三郎 唐沢栄三郎 唐沢栄三郎
'73	セニア	125cc 250cc	鈴木 秀明 鈴木都良夫
	ノービス	90cc 125cc 250cc	菅原 恵 村上 光則 菅原 恵
	ジュニア	90cc 125cc 250cc	古田 哲郎 古田 哲郎 古田 哲郎
	エキスパート	125cc 250cc	岸川 清秀
'74	ジュニア	125cc 250cc	鈴木 秀信 鈴木都良夫 鈴木 秀明
	エキスパート	125cc 250cc	谷川 徹二 光安 鉄美 大賀 広美
	ジュニア	125cc 250cc	渡辺 明 渡辺 明
	セニア	125cc 250cc	鈴木 秀明 鈴木 秀明
'75	ジュニア	90cc 125cc 250cc	北村 隆資 青山 金助 青山 金助
	エキスパート	125cc 250cc	東福寺保雄 東福寺保雄
	ジュニア	125cc 250cc	伊田井佐夫 東福寺保雄
	セニア	125cc 250cc	杉尾 良文 増田 耕次
'76	ジュニア	90cc 125cc 250cc	月岡 尚人 月岡 尚人 横山 隆夫
	エキスパート	125cc 250cc	光安 鉄美 青山 金助
	ジュニア	125cc 250cc	鈴木都良夫 竹沢 正治
	セニア	125cc 250cc	渡辺 義己 小沢 孝 福田 正敏
'77	ジュニア	90cc 125cc 250cc	佐藤 健二 大泉 浩一
	エキスパート	125cc 250cc	瀬尾 勝彦 瀬尾 勝彦
	ジュニア	125cc 250cc	原本 松市 庄司 覚
	セニア	125cc 250cc	佐々木 隆 佐々木 隆
'78	ジュニア	90cc 125cc 250cc	瀬尾 勝彦 光安 鉄美
	エキスパート	125cc 250cc	青藤 武男 大久保和親
	ジュニア	125cc 250cc	堀口 雅史
	セニア	125cc 250cc	秋元 春夫 原口 衛
'79	ジュニア	90cc 125cc 250cc	光安 鉄美 光安 鉄美
	エキスパート	125cc 250cc	小野沢良一 小野沢良一
	ジュニア	125cc 250cc	谷川龍太郎 庄司 覚
	セニア	125cc 250cc	東福寺保雄 東福寺保雄
'80	ジュニア	125cc 250cc	平山 勝一 茶谷 學
	国際 B 級	125cc 250cc	谷川龍太郎 庄司 覚
	国際 A 級	125cc 250cc	東福寺保雄 杉尾 良文
	国際 B 級	125cc 250cc	同部 萬史 同部 萬史
'81	国際 A 級	125cc 250cc	東福寺保雄 福本 敏夫

年	部 門	ク ラ ス	氏 名
'82	ジュニア	125cc 250cc	ロン・キンダー 馬場 喜人
	国際 B 級	125cc 250cc	小橋 勝年 小橋 勝年
	国際 A 級	125cc 250cc	大間 昌典 東福寺保雄
'83	ジュニア	125cc 250cc	天田 淳 天田 淳
	国際 B 級	125cc 250cc	茶谷 學 茶谷 學
	国際 A 級	125cc 250cc	庄司 覚 杉尾 文
'84	ジュニア	125cc 250cc	調所 伸幸 小栗 伸幸
	国際 B 級	125cc 250cc	菅原 義広 鶴田 忍
	国際 A 級	125cc 250cc	東福寺保雄 スティーブ・マーデン
'85	ジュニア	125cc 250cc	長沼 朝木 花田 茂樹
	国際 B 級	125cc 250cc	田淵 武 川崎 智之
	国際 A 級	125cc 250cc	岡部 萬史 スティーブ・マーデン
'86	ジュニア	125cc 250cc	藤本 正勝 吉田 泉
	国際 B 級	125cc 250cc	花田 茂樹 花田 茂樹
	国際 A 級	125cc 250cc	伊田井佐夫 東福寺保雄
'87	ジュニア	125cc 250cc	岸田 隆夫 橋本 健二
	国際 B 級	125cc 250cc	吉田 和泉 石橋 博也
	国際 A 級	125cc 250cc	岡部 萬史 東福寺保雄
'88	ジュニア	125cc 250cc	大塚 元和 大塚 元和
	国際 B 級	125cc 250cc	大塚 忠和 大塚 忠和
	国際 A 級	125cc 250cc	岡部 萬史 東福寺保雄
'89	ジュニア	125cc 250cc	黒古 尚利 黒古 尚利
	国際 B 級	125cc 250cc	芹沢太麻樹 樺本 正剛
	国際 A 級	125cc 250cc	光安 鉄美 岡部 萬史
'90	ジュニア	125cc 250cc	萩島 忠雄 萩島 忠雄
	国際 B 級	125cc 250cc	元木 幸村 村橋 健太
	国際 A 級	125cc 250cc	東福寺保雄 東福寺保雄
'91	国際 B 級	125cc 250cc	半堀 謙吾 城田 賢一
	国際 A 級	125cc 250cc	萩島 忠雄 宮内 隆行

年	部 門	ク ラ ス
'73	選 技	木村 治男
'74	ノービス ジュニア	伊近 吹藤 健博 次志
'75	ジュニア エキスパート	蜂巣 秀文 男博
'76	ジュニア エキスパート	町黒 田山 哲一 男郎
'77	ジュニア エキスパート	山近 本膳 昌博 也
'78	ジュニア エキスパート	山近 田山 民博 志
'79	ジュニア 国際 A 級	佐近 藤藤 雄一 志
'80	ジュニア 国際 A 級	広丸 木山 一風 美保
'81	ジュニア 国際 A 級	石黒 原山 鮎正 美郎
'82	国際 B 級 国際 A 級	高山 田山 雅昌 孝也
'83	国際 B 級 国際 A 級	和山 田本 弘昌 行也
'84	国際 B 級 国際 A 級	米山 沢本 満昌 夫也
'85	国際 B 級 国際 A 級	泉山 本 裕昌 明也
'86	国際 B 級 国際 A 級	小林 直樹 昌也
'87	国際 B 級 国際 A 級	小伊 谷藤 敏志
'88	国際 B 級 国際 A 級	成田 藤 敏志
'89	国際 B 級 国際 A 級	宮田 田昌 浩匠
'90	国際 B 級 国際 A 級	前野 藤 敏志
'91	国際 B 級 国際 A 級	本多 川元 義志

STADIUM TRIAL

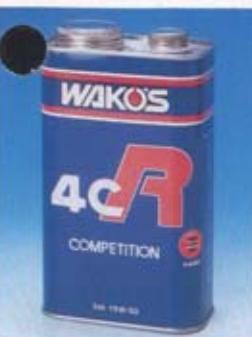
●スタジアムトライアル部門('91年)

'91	国際 A 級	中川 義博
-----	--------	-------

液体レーシング。

WAKOS

秒に踊り、秒を制す。ライダーは、サーキットという秒空間の中で、アグレッシブな走りを持続させる。1/100秒単位の壮絶なる戦いを、観客のために、チームのために、そして自分自身のためにパフォーマンスする。勝利か、敗北かの違いは、マシンとライダーの絶妙なる対話から生まれてくるのである。その両者の照準がピタッと適合してこそ、本当の喝采を自分のものにできるのだ。レーシングシーンのまん中にいるWAKO'S。個々のパーツたちが100%のボテンシャルを引き出すための液体を化学する。セッティングのノウハウを認知するチューナーは、オイルを選ぶ。マシンをいたわるライダーは、オイルにこだわる。液体バーツ、WAKO'S。



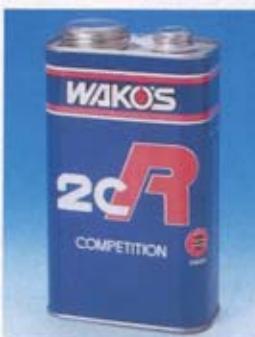
4CR

SAE7.5W-40, SAE15W-50 API SG/CD

●100%化学会成オイル

化学会成オイルならではの優れた耐熱性能、耐久性により、コンペティションモデルに最適です。

標準価格 ¥2,800/1L



2CR

●100%化学会成オイル(混合専用)

強靭な油膜により焼き付きを防止。ロードレース、モトクロス、ミニバイクレース、カートなど、あらゆるモータースポーツに最適です。

標準価格 ¥3,000/1L

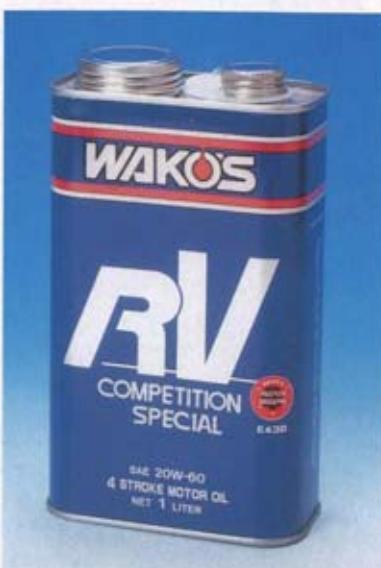


V2R

●100%化学会成オイル(分離・混合両用)

耐摩耗性、耐焼付き性に優れたスマート・スタイルオイル。ミニバイクからスーパースポーツモデルまで対応する高性能オイルです。

標準価格 ¥1,700/500ml



4CRV

SAE20W-60 API SG/CD

●100%化学会成オイル

耐スレースを目的に開発。耐摩耗性、高温安定性、清浄性、-45℃での流動点など高い性能を誇る最高級オイルです。

標準価格 ¥3,800/1L



RP-C(ラスベネ)

●業務用洗浄潤滑スプレー

ワイヤーの開き、固着したボルト・ナットなどに効果的な浸透、潤滑、防錆スプレー。缶を逆さにしても使用できます。

標準価格 ¥1,800/326g



BC-1(ブレーキ&バーツクリーナー)

●ブレーキ、バーツ脱脂スプレー

オイル・グリース等の汚れを素早く除去する多目的クリーナー。各種バーツの分解洗浄に最適。

標準価格 ¥1,600/510g



SG(シリコングリース)

●シリコングリーススプレー

ブレーキのゴムカップ、シリンダーのシール部等に最適。低温から高温まで長期に渡り性能を維持します。

標準価格 ¥3,000/220g



2CRV

●化学会成・植物油(混合専用)

雨による乳化を解消する全天候オイル。極限以下の使用を可能にするハイパフォーマンスレーシングオイル。

標準価格 ¥4,000/1L



CHG(チェーンガード)

●テフロン入り高機能チェーングリース

シールドチェーンにも使用できる。テフロン配合のチェーングリース。耐摩耗性に優れ、べたつき、無駄があまりません。

標準価格 ¥1,500/220ml



EC(エンジンコンディショナー)

●キャブ・燃焼室洗浄剤

強力な泡状の洗浄剤で、キャブレター内部、バルブ等のスラッジ、ワニス、ガム質を除去します。

標準価格 ¥1,800/300ml

あなたのクオリティを慕ります。

営業、モータースポーツ企画部署募集

年 齢/20~35歳迄

勤務地/関東・東海地区の希望する各営業所

詳しく述べは/本社・人事担当 大川すみえ迄

(株)和光ケミカル

神奈川県小田原市前川16-2 TEL.0465-48-2211㈹

走行ライセンスがとりやすくなりました

●ライセンス講習会は毎日開催します ●ライセンスは取得日より1年間有効



■申込方法■

必ず前日まで電話で予約して下さい。

☎022-395-2120・2123

(仙台ハイランドレースウェイ)

■受付時間■

AM 9:00まで

■当日持参するもの■

運転免許証、印鑑、健康保険証、写真2枚(3cm × 2.5cm、無背景、無縫)、筆記用具(万能筆はボールペン)、ヘルメット、皮手袋、皮つなぎ、ブーツ、2輪車(ナット付、レーサー共に可)

※20才未満の方については、所定の誓約書に親権者の署名と、なつ印(実印)を必要とします。

■費用■

新規ライセンス発給料22,000円・共済費5,000円
・合計27,000円

■開催日■

3月より12月までの間

'92ハイランドロードレーススケジュール

開催日	大会名称	申込期間	地方選手権										スーパーカップ					全日本選手権			
			S P				国内B級		国内A級			スペシャル	国内A級以上				国際A級				
			SP 125	SP 250F	SP 250	SP 400	125	250	GP 125	GP 250	SS 250	SS 400	80	GP 125	GP 250	SS 250	SS 400	SS 750	125	250	500
4月18日(土) 19日(日)	ハイランド選手権 ロードレース第1戦	3/9 ~3/19	● 8L	● 8L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 12L	● 12L											
5月23日(土) 24日(日)	ハイランド選手権 ロードレース第2戦	4/13 ~4/23	● 8L	● 8L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L					● 12L	● 12L	● 8L						
6月20日(土) 21日(日)	ハイランド選手権 ロードレース第3戦	5/11 ~5/21	● 8L	● 8L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 12L	● 12L											
7月25日(土) 26日(日)	ハイランド選手権 ロードレース第4戦	6/15 ~6/25	● 8L	● 8L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 12L	● 12L		● 12L	● 12L	● 8L						
8月29日(土) 30日(日)	第6回ハイランド300km 耐久ロードレース	7/20 ~7/30	○ 200km	○ 200km	○ 300km	○ 300km															
9月12日(土) 13日(日)	ハイランド選手権 ロードレース第5戦	8/3 ~8/13	● 8L	● 8L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L	● 12L	● 12L			● 8L								
9月26日(土) 27日(日)	全日本ロードレース選手権第10戦 仙台ハイランド大会	8/17 ~8/27															○ 15L	○ 20L	○ 20L	○ 20L	
10月17日(土) 18日(日)	スーパーカップ選手権イースタン シリーズ第7戦 仙台ハイランド大会	9/7 ~9/17											● 15L	● 15L	● 15L	● 15L	○ 15L				
10月31日(土) 11月1日(日)	ハイランド選手権 ロードレース第6戦	9/21 ~10/1	● 8L	● 8L	● 10L	● 10L	● 10L	● 10L					● 8L								

(●はハイランド選手権シリーズ表彰対象レース)

* ○200km…200km耐久レース SP125・SP250Fの混走で行う。RiderはMFJ国内C級か国内B級のライセンス所持者で2名とする。

* ○300km…300km耐久レース SP250・SP400の混走で行う。RiderはMFJ国内B級ライセンス所持者で2名とする。

* S80・SP125・SP250F・SP250・SP400・NB125・NB250・NA125・NA250・SS250・SS400の11クラスについては、ハイランド選手権シリーズのポイントが与えられ上位6位までの選手がシリーズ表彰される。(耐久レースは含まれない)又、NA125・NA250・SS250・SS400のシリーズ賞は地方選手権3戦とスーパーカップ1戦の合計4戦によって決定される。スーパーカップについては、通常の得点にさらに3点が加算される。尚、選手権シリーズの成立回数は、開催回数が最低3戦以上行なわなければならない。



Hi-land Raceway

熱きバトルの感動を
今年も



ライバルとの闘い、時間との闘い、そして自分との闘い——。

頂点を目指して疾走する姿と熾烈なレーシングシーンは、

いつ見てもダイナミックでスピーディだ。

私たちは幾度となく、繰り広げられる最高のバトルステージに身を置き、熱きレーサーの想いと走りを応援していきたい。

DeQner



しなやかな圧縮革。

すばらしい機能性と安全性を、お届けします。

MFJ公認
テクナーレーシングスーツ



無料出張採寸

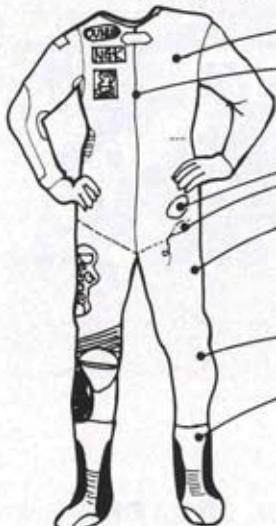
御好評いただいております オーダースーツの採寸・打ち合せ等の出張サービスについては、TELにてお気軽にお問い合わせ下さい。関東・中部・近畿・中国地方は無料にて出張させていただきます。

〈デグナーオータースーツ・納期30日〉ローン分割可

スーツメンテナンス価格表 MFJ協力 リペアショップ

(すべてのメーカーお引き受けします。修理期間は3日~1週間でOK!)

* デグナースーツは下記の価格より割安となります。



- ワッペン付(ビニール加工・ワッペン別)
1,500エン(1枚につき) +ぬいほどき代
- ファスナー交換
 - *ワンピース.....9,000エン
 - *上着.....5,000エン
 - *パンツ.....3,000エン
- やぶれ 2,500エン~
- ほつれ 2,000エン~
- ネーム入・各種マーク
 - シングル.....900エン +ぬいほどき代
 - ダブル.....1,100エン
- パンクセンサー付(セラミックラン センサー本体)
17,500エン
- ブーツ修理(修理期間7日~10日)
 - ファスナー交換(片足).....3,800エン
 - 穴あき・ほつれ.....2,000エン~
 - ふくらはぎ・つめ・のばし(両足).....6,500エン~

(そぞろ、脚まわり、ウエスト、ヒップ、足まわり)
サイズ直し
● ウエスト・サイズ修正 ¥20,000~
● 足・脚まわりサイズ修正(片足) ¥10,000~20,000

■ レーシングスーツクリーニングうけたまわっております。9000円



■ デグナー・パンクセンサー

- 20m/mの厚さ
- セラミック+優質ウレタン材を使用
- 3倍以上の耐久性(当社比)

¥7,500

◇ 選択価格: 送料、税込みで、¥8,000で
お求めになれます。

通販歓迎

遠方の方は通販にて修理受付いたします。住所、連絡先、TEL、メンテナンス内容、納期を明記して当社までスーツを送って下さい。即日見積りいたします。

[デグナースーツは8000円]

DeQner

レーシングバッパック

株式会社・ショップ/京都市山科区川田前畠町1-8
TEL: 075-501-7137 FAX: 075-501-7397

郵便口座: 京都中央信託金庫山科中支店(番)276225株式会社

デグナー NEW パンクセンサー サポートシステム

■ 1992.1.1~12.31まで ■ 売価格 ¥7,500

■ 詳細はTELにてお問い合わせ下さい。

START

■ デグナー製品・メンテナンス代理店

ジアルバランス

鈴鹿市住吉265-5 Tel(0593)70-1646

■ SBS KIDANI

京都府福知山市字親善寺八友田406-1

TEL(0773)27-7540



■ ツーリング仕様
¥13,000~

■ 防寒仕様
¥17,000~

(+デザイン料)

■ R-B仕様
¥18,000~

■ レーシンググローブRG-1
¥13,500 (S-L)

■ レーシングブーツRB-1
¥29,800 (27.5~27.5)

■ R-Bローダー (S-L サイズ)
¥36,800



カタログ請求は、左の請求券をハガキに貼付の上、本社までお申し込み下さい。(3月~2月 発行予定)

サークルを走るために、MFJライセンスを取得しよう。

モーターサイクルスポーツの魅力は、極限状態でマシンと自分自身をいかにコントロールするか、あります。見る人も感動させる数々のシーンは、ライダーのテクニックと集中力から生まれます。そして、その本当の面白さを体感できるのが、ライセンスを持っているライダーだけの特権と言えるのです。本物のテクニックと強い精神力を磨くために、あなたもMFJライセンスを取得してトップライダーの仲間入りを！

MFJライセンス取得方法

2 申込書に記入する。

- MFJカードご希望の方はカード申込書も同時に記入します。
- 顔写真を用意する。
 - 縦3cm×横2.4cmの顔写真が必要です。写真はMFJ控え用1枚プラス申込み種目数。控用は必ず申込書に貼ってください。ただしライセンスには顔写真は不要です。

1 取りたいライセンスの種類を決める。

- ライセンスは種目ごとの取得です。チャレンジする種目を選びましょう。

4 申込書、顔写真にライセンス料金を添えて郵送する。

- MFJ事務局まで現金書留か郵便為替(受領書同封)で郵送してください。



5 ライセンス(MFJカード)が送られてくる。

ライセンスの種類と取得条件・料金表(消費税込)

種目	クラス	取得条件	ライセンス料金	基本料金
ロードレース	国内B級 プロダクション、レーサー250ccまで、SP400cc以下、TTF-3まで特殊ロードレース	公認サークルでの3時間以上走行証明を受けた方(走行券不可)又は公認ロードレース国内B級ライセンス講習会を受講された方	3,000円	5,500円
	国内C級 プロダクションSP250F以下、特殊ロードレース	公認サークルライセンス講習会を受講された方又は公認ロードレース国内C級ライセンス講習会を受講された方	1,500円	5,500円
モトクロス	国内B級	運転免許証を受けている方(原付でも可)又は取得したいライセンス種目の公認ライセンス取得講習会を受講された方	3,000円	5,500円
	ジュニア 9歳～15歳まで(80ccまで)		1,500円	5,500円
トライアル	国内B級	運転免許証を受けている方(原付でも可)又は取得したいライセンス種目の公認ライセンス取得講習会を受講された方	3,000円	5,500円
	ジュニア 9歳～15歳まで(80ccまで)		1,500円	5,500円
スノーモビル	B級	免許証を取得しているか、ライセンス取得講習会を受講された方	1,000円	5,500円
	ジュニア 9歳～15歳まで		2,000円	
ピットクルー	—	16歳以上		
L	—	免許証を取得しているか、ライセンス取得講習会を受講された方		

*料金は、「92年度のライセンス料金です。

*ライセンス講習会を受講した方は、必ずライセンス申請用紙に講習会修了証を添付してください。なお講習会の日程等はMFJまでお問い合わせください。

●ライセンス取得者の特典

- 全国各地で開催される公認・承認大会への参加。
- 競技会中の事故に対するMFJ共済制度の適用。
- 最寄りMFJスポーツ協力店を通じての、各種イベント、レジャー情報の提供。
- 月刊「ライディング」誌及び「MFJ国際競技規則書」の贈呈(Lライセンスは有料)。
- MFJオリジナルステッカーの贈呈。
- MFJ(GC、JCB)カードの取得が容易。

●MFJカードで更に便利になりました。

今年からMFJライセンス取得者のために、GC・JCBカードと提携したMFJカードが用意されました。ライセンス料やレースエントリーフィーの払込みに大変便利でお得です。

●MFJとは、

MFJ=(財)日本モーターサイクルスポーツ協会は、1961年に日本国内のモーターサイクルスポーツを統括する機関として設立されました。ユネスコ傘下の国際機関であるFIM(国際モーターサイクリスト連盟)に連なる唯一の日本代表機関で、平成2年12月には、文部大臣から財団法人設立の許可がおりています。MFJではモーターサイクルスポーツを通して「スポーツを通じた国際親善」「スポーツ文化と交通マナーの向上」「心身の健全な発達」を活動目標にしています。

※お問い合わせは、お近くのMFJスポーツ協力店まで。

「MFJスポーツ協力店」では、MFJとライダーを結ぶコミュニケーション・ショップです。ライセンスや競技会など、ライダーの知りたい情報をアドバイスしてくれます。ステッカーのある近くのMFJスポーツ協力店にお立ち寄りください。



御注意

①ロードレース国内B級ライセンスを取得する場合 5,500円(基本料金)+3,000円(ライセンス料金)→8,500円

②ロードレース国内B級ライセンスとピットクルーライセンス両方を取得する場合

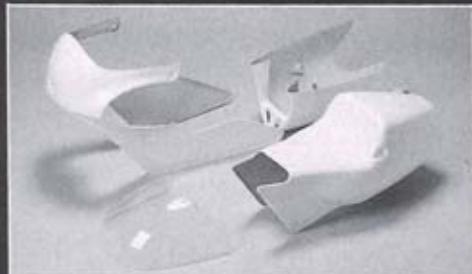
5,500円(基本料金)+3,000円(ロード国内B級ライセンス料金)+1,000円(ピットクルーライセンス料金)→9,500円



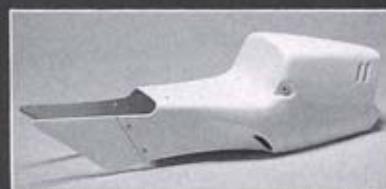
PLOT ORIGINAL FRP EQUIPMENT

カウル

勝つ為に白装束を身にまとう



RS125R set ¥56,000



RS125R 齊藤レプリカ ¥18,000



'91 NC30 ¥22,000



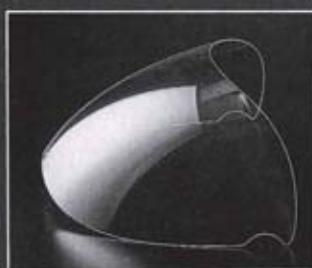
RS250R set ¥68,000



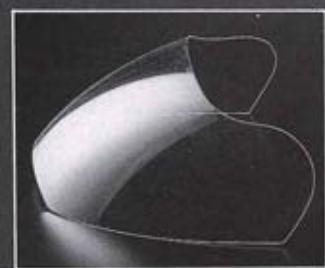
'91 NSR250R ¥22,000



'91 RS125Rクリア ¥11,000
[レモンイエロー、スカイブルー、
ライトスモーク] ¥12,500



'91 RS250Rクリア ¥11,000
[レモンイエロー、スカイブルー]
[ライトスモーク] ¥12,500



'91 TZ250Rクリア ¥11,000
[レモンイエロー、スカイブルー]
[ライトスモーク] ¥12,500

LINE UP

フルカウル

RS125R ('89-'91) ¥32,000

RS125SPL ('89-'91) ¥36,000

RS250R ('90-'91) ¥38,000

NSR250R ('87-'91) ¥38,000

CBR400RR ('88-'89) ¥38,000

NC30 ('89-'91) ¥38,000

ZXR250 ('89-'90) ¥38,000

ZXR400 ('89-'90) ¥38,000

フルカウルにはカウルファスナー、
S/SEATには、シートラバーが付属しています。

フルカウル S/SEAT '92 近日リリース!

速報! PLOTサポートライダー 齊藤明選手、激戦区IA125クラスにて大活躍!

PLOTサポートライダー各クラス、各サーキットにて活躍中!

S/SEAT

RS125R ('91ノーマル) ¥16,000

RS125SPL ('89-'91) ¥18,000

RS125SPL2 ('89-'91) ¥18,000

RS250R ('90-'91) ¥22,000

NSR250R ('87-'91) ¥22,000

CBR400RR ('88-'89) ¥22,000

NC30 ('89-'91) ¥22,000

ZXR400 ('89-'90) ¥22,000

ZXR250 ('89-'90) ¥22,000

セット販売開始!

(フルカウル+シートカウル+スクリーン)

RS125R ¥60,500 → ¥56,000

RS125SPL ¥66,500 → ¥62,000

RS250R ¥72,500 → ¥68,000

NSR250R ¥72,500 → ¥68,000

NC30 ¥72,500 → ¥68,000

ZXR250 ¥72,500 → ¥68,000

ZXR400 ¥72,500 → ¥68,000

スクリーンは各色ありますので指定して下さい。

FRP製品の修理、加工等承ります。
お気軽にしてご連絡下さい。

記載してある商品以外も遠慮なくお問い合わせ下さい。

通販・業販、申し込み先

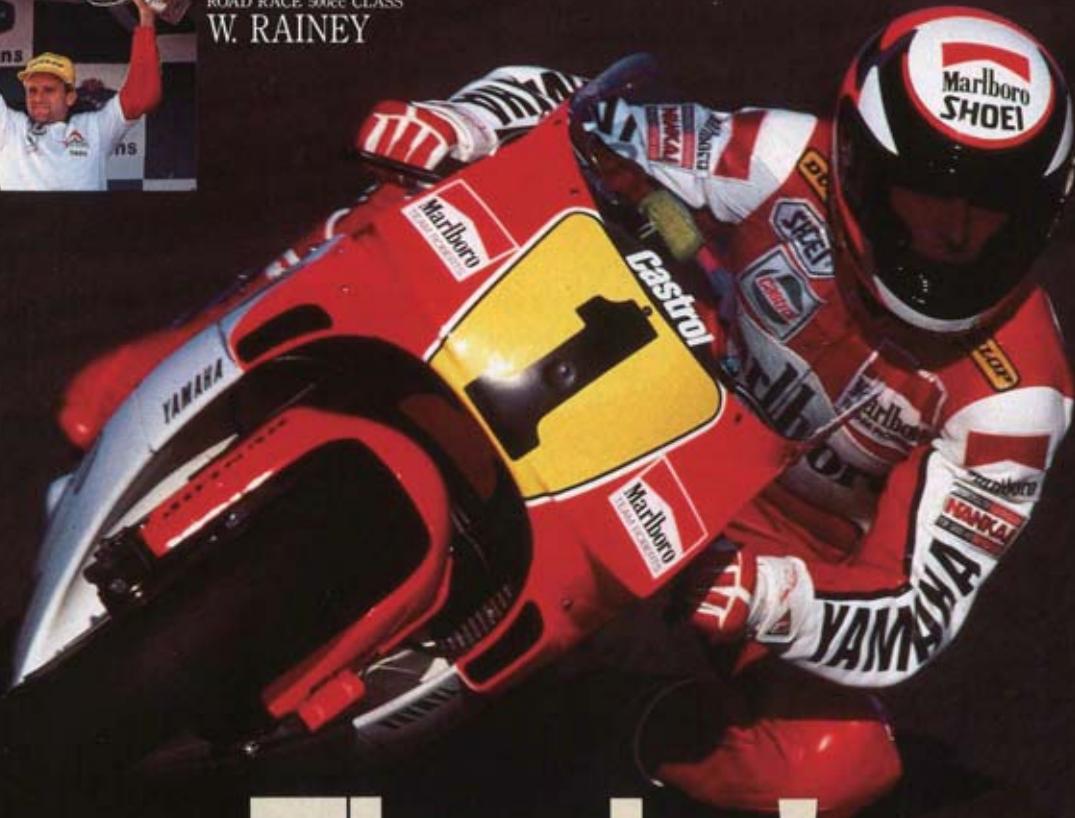
☎ 0566(36)0456

世界から選ばれたモノたちを 有限会社 プロト

Tel. 0566-36-0456 Fax 0566-36-0515



WORLD CHAMPIONSHIP
ROAD RACE 500cc CLASS
W. RAINY



Thanks!

WORLD CHAMPS AGAIN.

'91年ワールド・チャンピオンシップ。

熾烈な闘いの中で、世界最速の男たちを支え続けたのはダンロップ。

ロード、モトクロスで7クラス中5クラスを制覇する快挙を達成した。

極限のレースで鍛えあげられた先進のテクノロジーは、すべてのダンロップタイヤに熱く息づいている。



WORLD CHAMPIONSHIP
ROAD RACE 125cc CLASS
L. CAIROSSI



WORLD CHAMPIONSHIP
SUPERBIKE
D. POLEN



WORLD CHAMPIONSHIP
MOTOCROSS 250cc CLASS
T. PARKER



WORLD CHAMPIONSHIP
MOTOCROSS 125cc CLASS
S. EVERTS

 **DUNLOP**



ヒーローたちの コスチューム **武装**

●NRG-07
レーシンググローブ
(A)白/赤/黒
(B)白/ライトブルー/青
(C)黒/青
¥12,000
M,L,LL



●NRG-08
レーシンググローブ
(A)白/黒
(B)白/ライトブルー
(C)白/青
(D)白/赤/青
¥12,500
M,L,LL



●NRB-6
レーシングブーツ
"エキスパート"
(A)赤/白 (B)青/白
(C)黒/赤 (D)黒
エナメル/ガント
ジラム/グリーン/白/青
¥29,000
245~27cm



●NRB-7
レーシング
ブーツ
(A)赤 (B)青
(C)白 (D)黒
¥28,000
245~27cm



●NRB-8
レーシングブーツ
(A)青/白/黒
(B)白/ライトブルー
(C)黒/白/青
エナメル/ジラム
ジラム/グリーン/白/ブルー
ジラム/グリーン/白/黒
ジラム/グリーン/白/青
¥33,000
245~27cm



プロレーシング
バックプロテクター
(A)赤
(B)黒
(C)黒/白
(D)黒/黒
¥12,500



スピードの限界に挑むプロレーサーの為に開発されたレース用セキズイバッテ。人間工学に基づいて設計されたそのフォルムはまさに背骨の構造そのもの。強化タフナイロン使用のシェルは外部からのあらゆるショックを受け止め、シリボゼインとPVCが吸収、分散します。ベースには発泡ポリウレタンを、またナイロンバイルメッシュとバンディング加工により発汗によるムレやベタつきにも対応。エラスト部のベルトはベルクロテープで脱着を容易にするとともに部分的に伸縮素材を用いる事により激しいライディングにもつねにフィットします。



●NR-33
プロレーシングスーツ
エキスパート仕様のNR-32の
継承をそのまま受けついだ
シンプルなフレンチカラーの
プロレーシングスーツ
(A)白 (B)青 (C)黒
(D)白 (E)青 (F)黒
¥148,000

ヒザヒザシーシーリング、ヒザヒザシーリング、ヒザヒザシーリング

ヒザヒザシーリング、ヒザヒザシーリング、ヒザヒザシーリング
セミドーム型ヒザ・ヒジ・コニ・腰パッド、
ショルダーエアインテーク、腰・背中エアスキ
セミドーム型ヒザ・ヒジ・コニ・腰パッド、
ワイドタイプエアスリーブ、ヒザカップ
ヒザ上シャーリング、国内産高級牛革使用

●NR-50
レーシングスーツ
(A)白/黒 (B)ライトブルー/白/青
(C)青/白 (D)ライトグリーン/白/青
¥140,000

ショルダーエアインテーク、腰・背中エアスキ
セミドーム型ヒザ・ヒジ・コニ・腰パッド、
ワイドタイプエアスリーブ、ヒザカップ
ヒザ上シャーリング、国内産高級牛革使用

NANKAI NRシリーズのレーシングスーツは
MFJ公認 スーツです。

●レース用サイズ

	身長	バスト	ウエスト	ヒップ
S	160~164	90	74	88
M	163~168	92	76	92
L	167~172	96	82	96
LL	170~175	100	86	100
XL	173~178	104	90	104

※2番より、上記サイズ表示以外に
ワイドタイプの白体・スリムタイプのY字
が追加されます。

全国のN.S.C.(ナンカイスピードショップチェーン)
加盟店で一度御試着ください。



Vプラグ

VXプラグ

NGK **V** シリーズプラグ

Spark Of Victory

勇者達の、勝利への情熱。

瞬一瞬の反応が、ひらめきが、ドラマになり、勝負を決める。追う者、追われる者。

時間は冷徹だ。スパーク・オブ・

ピクトリー。たぎれ情熱、飛べ

火花。NGK・Vシリーズ。

スパーク・プラグ。





T-BIRD

HEARTY DELIVERY NETWORK

Heart on Speed

1991年。「こころ、こころに、とどく。」をコーポレートメッセージとして、新たなる物流ネットワークの新次元を求めてT-BIRDはスタートいたしました。そして1992年。私たちはそのハートとエネルギーをモータースポーツのフィールドに求めてのチャレンジをスタートします。モータースポーツシーンの熱いハートは私たちT-BIRDのハートと同じ。全日本選手権 TT-F1 クラスに参戦する、私たち T-BIRD with T-NET RACINGの新たなるチャレンジに応援をお願いいたします。

T-BIRD

HEARTY DELIVERY NETWORK

インフォメーションセンター
〒379-21群馬県佐波郡玉村町大字植越752
TEL.0270(64)0700㈹ FAX.0270(64)0703
本社
〒371 群馬県前橋市西片貝町1-300-5
TEL.0272(34)3270㈹ FAX.0272(34)2551

Racing Force



T-NET RACING OFFICE FACTORY
〒372 群馬県伊勢崎市宮子町1561-2
TEL.0270(25)5573㈹ FAX.0270(25)6999
HEAD OFFICE
〒371 群馬県前橋市西片貝町1-300-5
TEL.0272(34)3270㈹ FAX.0272(34)2551